

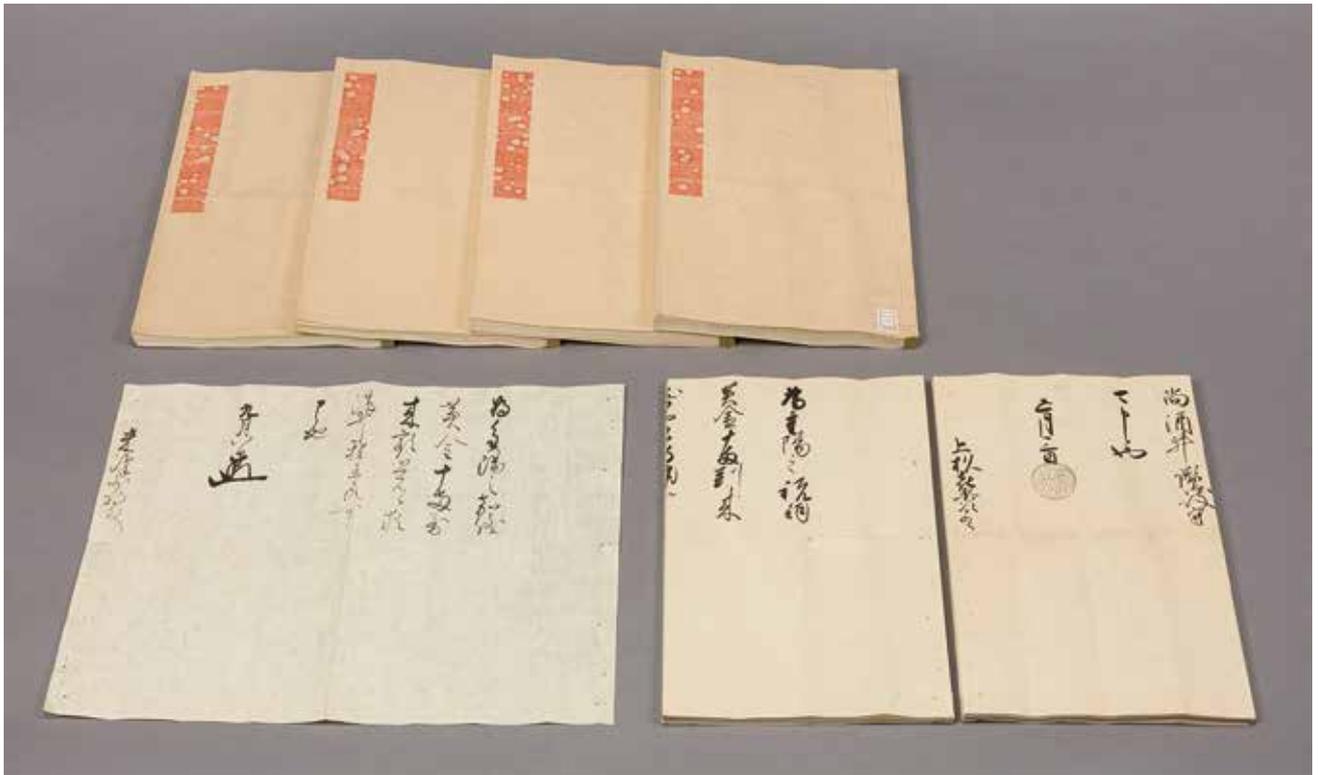
令和八年三月

上杉文書調査報告書

― 第一分冊

文書編一

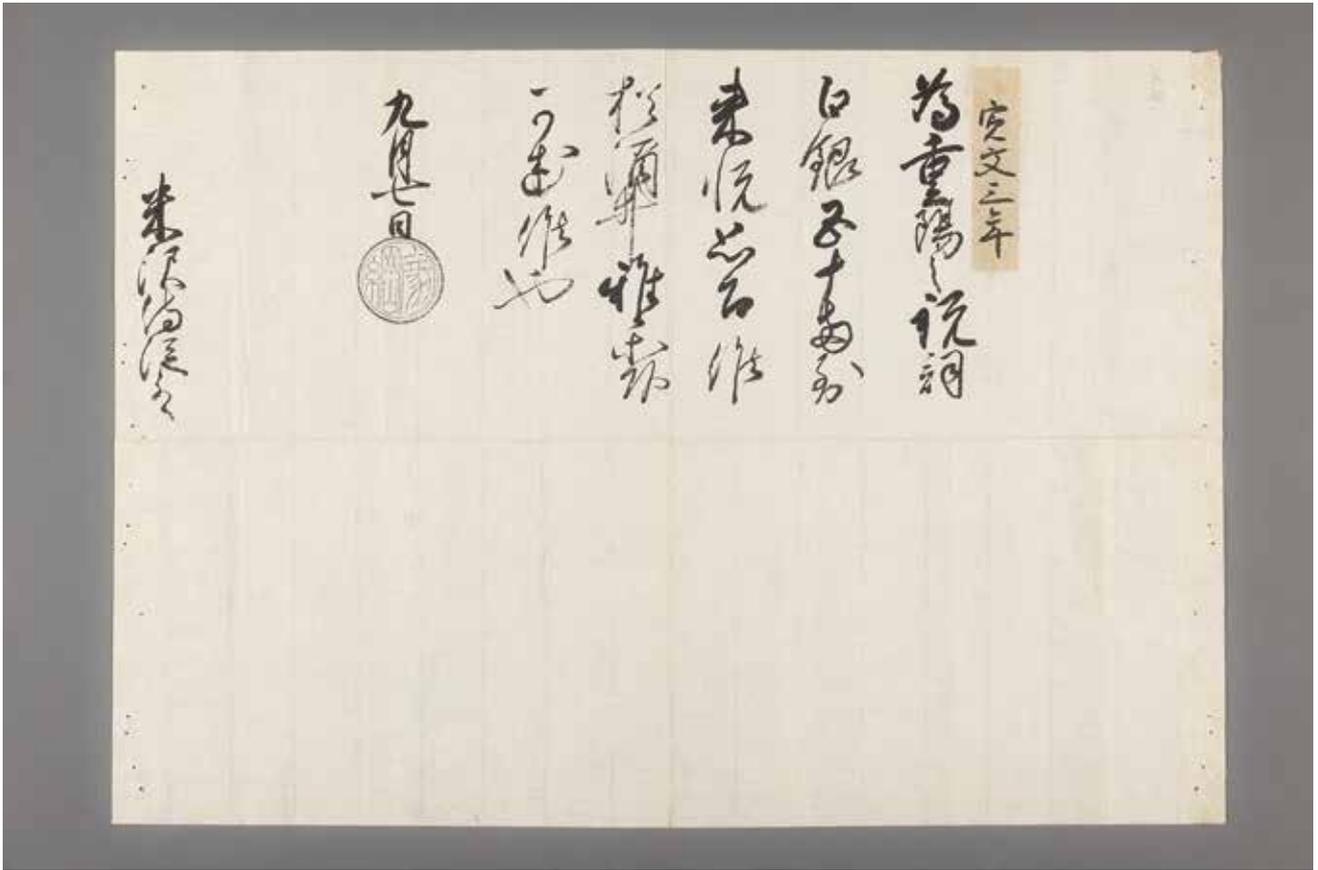
米沢市教育委員会



「御内書集」(史料番号0295～0299、上杉家-幕府 第一分冊72ページ参照)
解体前(後ろ)と解体後(手前)



「江戸幕府老中奉書集」(史料番号0302、上杉家-幕府 第一分冊79ページ参照)
解体前



(寛文3年・1663) 9月7日 上杉定勝宛 徳川家綱御内書
 (史料番号0296-01、上杉家-幕府 第一分冊74ページ参照) 解体後



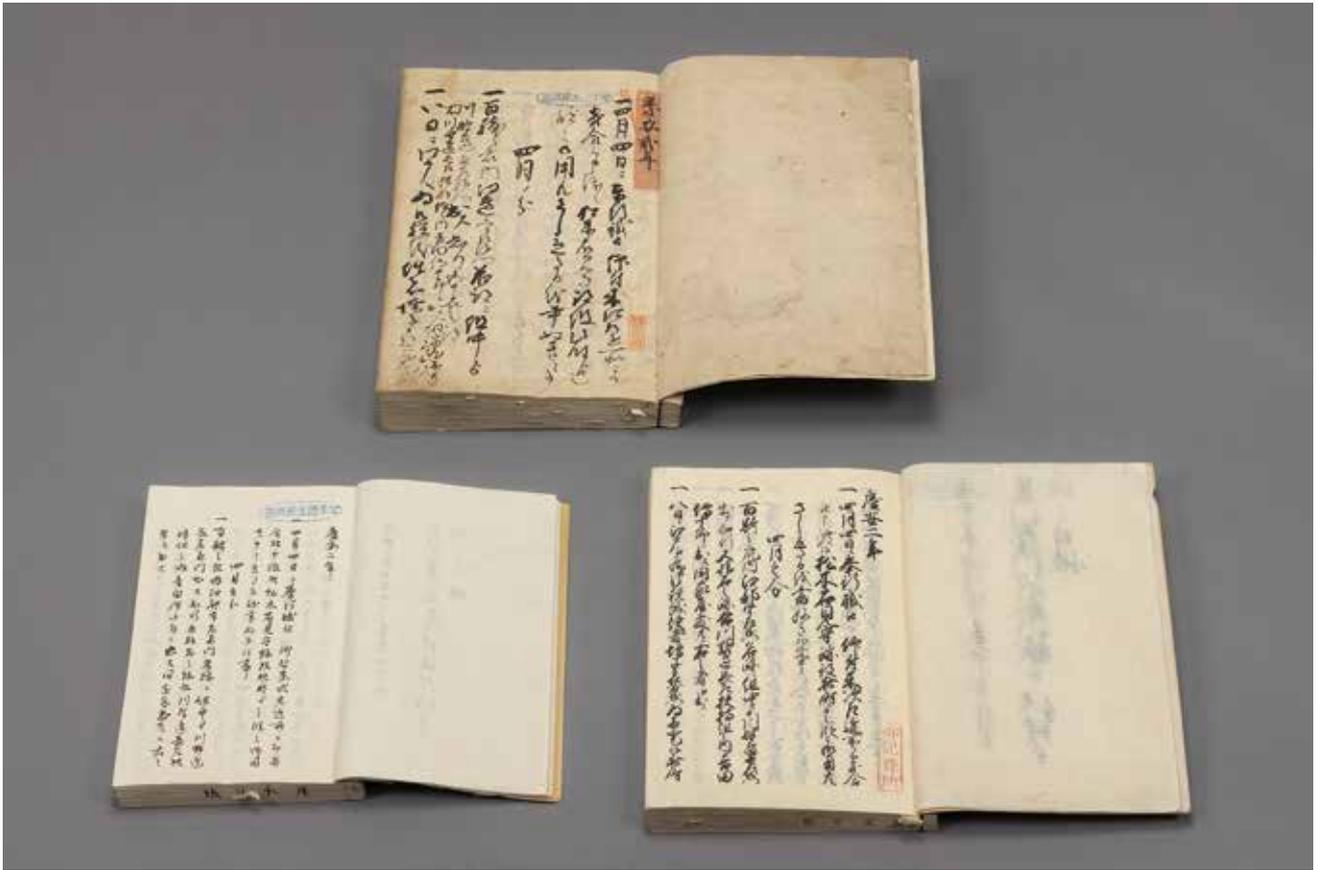
「歴代古案」(史料番号1069、上杉家-古文書集 第一分冊162ページ参照)



寛政6年(1794)正月 上杉顕孝葬儀関係資料 旧箱
 (史料番号0106 ~ 0163 を保管、上杉家一儀礼・儀式一葬儀 第一分冊210ページ参照)



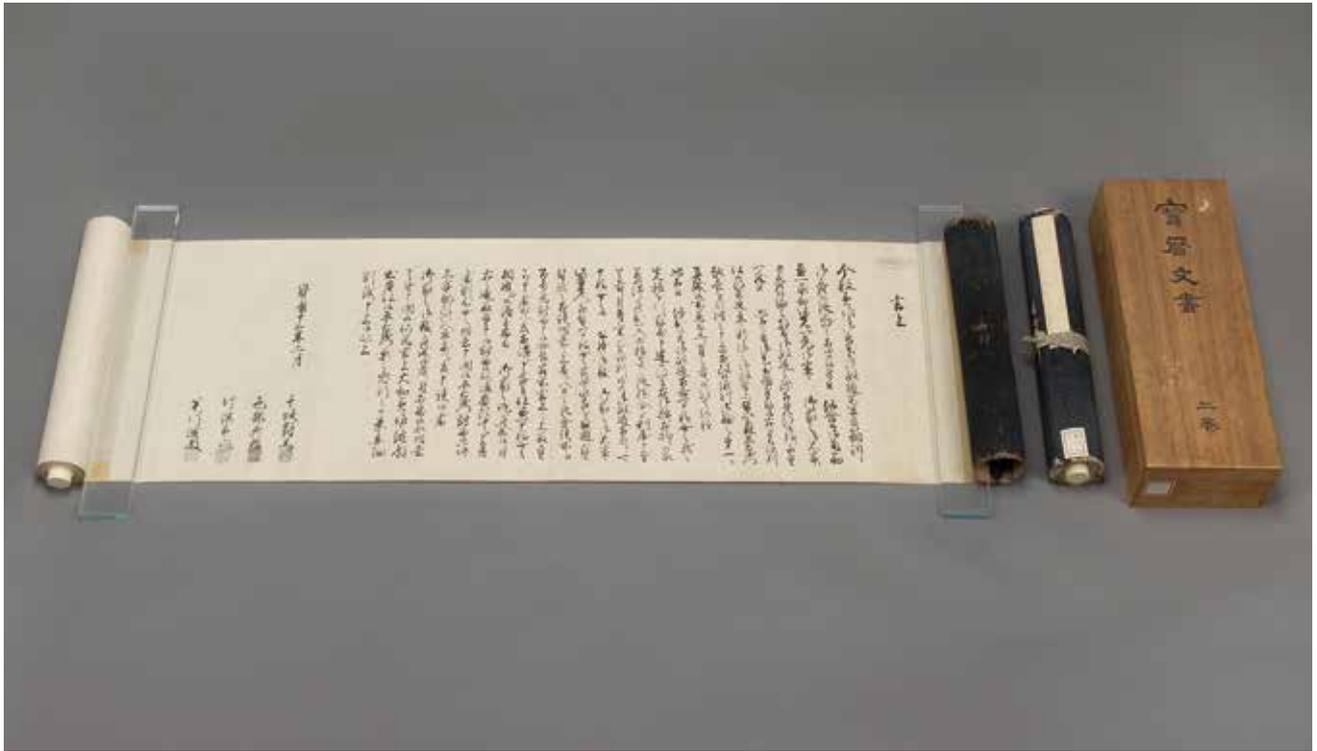
「旗指物馬験図」(史料番号0871、軍制一武器改め 第二分冊16ページ参照)



上：「黒川右衛門尉奉行職被 仰付の段々日帳」（史料番号0582、藩政－奉行－日帳類 第二分冊48ページ）
 右下：同資料の江戸時代後期の写本（史料番号0583） 左下：同じく近代の写本（史料番号0581）



(年未詳)10月16日 千坂高治宛 上杉定勝書状
 (史料番号0326、藩政－江戸家老－千坂高治宛書状 第二分冊55ページ参照)



宝暦文書（史料番号0729、藩政—森平右衛門一件 第二分冊83ページ参照）
開いている文書は1巻目（史料番号0729-01-01）冒頭 芋川正令他3名書状



右奥：「残存戊辰文書」乾・坤（史料番号1346、幕末維新期—明治元年—貼込・貼込 第二分冊157ページ参照）解体前
左奥、手前：「残存戊辰文書続集」乾・坤（史料番号1345、同前） 手前のみ解体後

図1 解体した冊子資料一覧（「上杉文書の形状と課題」41ページ参照）

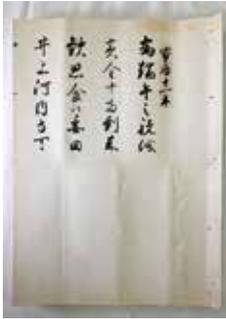
No	史料名	表紙写真	本紙写真	冊数	台紙点数	状態等
0295-0299	徳川将軍御内書集			5	130	縦二つ折り袋綴じ 本紙縦：45.0cm 本紙横：31.9cm
0302	江戸幕府老中奉書集			26	1150	縦二つ折り袋綴じ 本紙縦：45.0cm 本紙横：31.9cm
1065	古文書集			1	100	封紙二枚合わせ台紙に文書貼込 (台紙：老中奉書封紙) 本紙縦：32.1cm 本紙横：45.0cm
1189	外題なし			1	96	封紙二枚合わせ台紙に文書貼込 (台紙：老中奉書封紙) 本紙縦：32.4cm 本紙横：46.4cm 《未修理》

図1 解体した冊子資料一覧

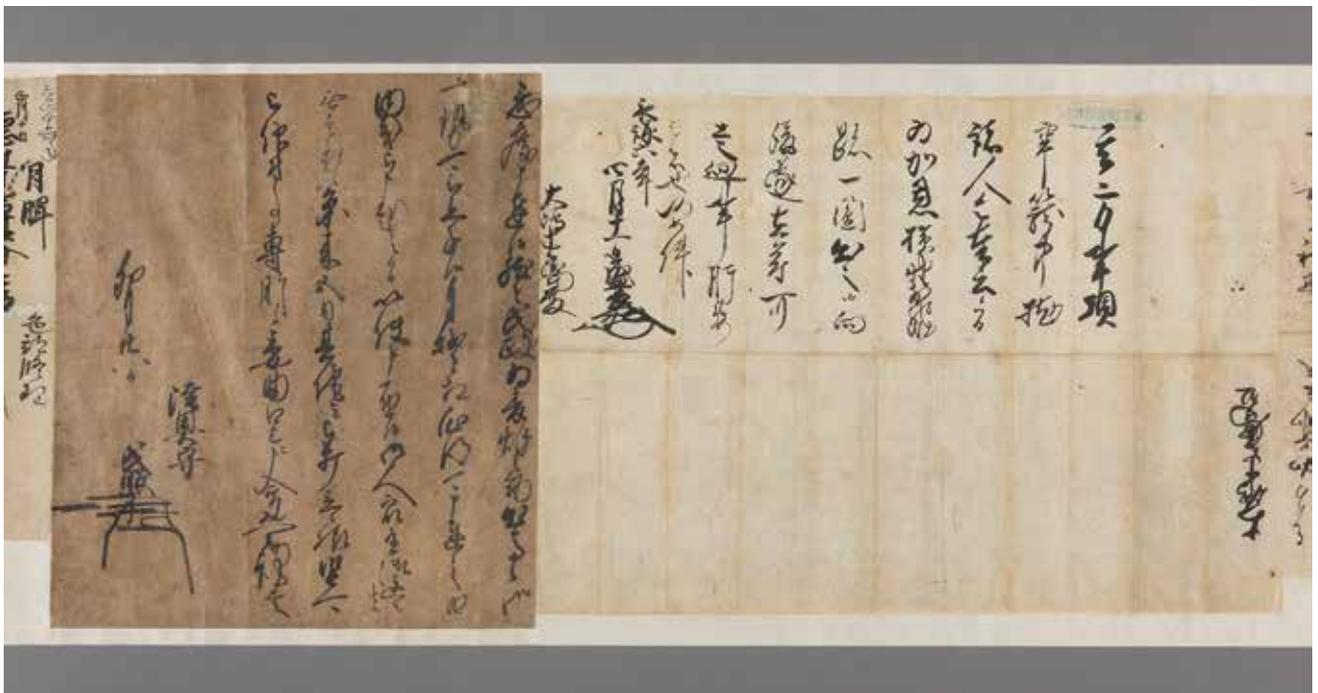
No	史料名	表紙写真	本紙写真	冊数	台紙点数	状態等
1 3 4 5	残存戊辰文書統集			2	184	折紙又は封紙二枚合わせ台紙に文書貼込 (台紙：毛利安田家宛歴代藩主書状) 本紙縦：31.2cm 本紙横：43.8cm
1 3 4 6	残存戊辰文書			2	78	折紙縦二つ折り袋綴じの台紙に文書貼込 (台紙：毛利安田家宛の歴代藩主書状) 本紙縦：39.9cm 本紙横：27.9cm
1 3 4 7	残存戊辰文書			1	96	折紙又は封紙二枚合わせ台紙に文書貼込 (台紙：老中奉書封紙) 本紙縦：32.3cm 本紙横：46.7cm
1 5 3 3	古文書集			1	90	折紙又は封紙二枚合わせ台紙に文書貼込 (台紙：老中奉書封紙) 本紙縦：32.6cm 本紙横：46.7cm 《未修理》

※調査時の採寸で表紙寸法、本紙（台紙）寸法、そして使用された料紙の寸法を測定した。こちらでは本紙（台紙）の寸法を記述した。
左右上下で違う場合は平均値とした。

△ 糸綴じ穴 ○ 中綴じ穴（紙釘） ⊙ その他
◻ 糸綴じ穴（旧） ◻ 中綴じ穴（紙縫り）



「編年上杉家記稿」（史料番号0045、伊佐早謙関係—編著書—上杉家記 第三分冊12ページ参照）



色部文書 五巻目（史料番号1063-05 諸家文書—色部文書 第三分冊142ページ参照）

右：永禄6年（1563）4月11日 大嶋十右衛門尉宛 鮎川盛長宛行状（1063-05-08）

左：（年未詳）4月28日 北条氏照書状（1063-05-09）

序 文

「上杉文書」は旧米沢藩主上杉家に伝来した史料群です。上杉家から米沢市へ譲渡され、現在は米沢市上杉博物館に所蔵されています。この史料群は近世の米沢藩の藩政史料を中心とし、中世史料や、上杉家記録編纂所総裁となった伊佐早謙の近代の蔵書、米沢藩の絵図方・岩瀬家の手がけた絵図などが含まれており、総点数は文書、絵図を合わせて九、〇〇〇点以上に及びます。

令和三年度から七年度にかけ、文化庁の国庫補助事業「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」を活用し、史料一点毎の詳細を明らかにする調査を行いました。本報告書は、その史料調査の成果をまとめたものです。本報告書を、多くの方々に役立てていただけますと幸いです。

最後になりましたが、本事業に多くの関係者から多大な御協力と御助言を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

令和八年三月

米沢市教育委員会
教育長 佐藤 哲

例言

- 一 本書は令和三年度から七年度にかけ、文化庁の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」を受けて行った上杉文書（米沢市上杉博物館所蔵）調査の報告書である。
- 一 調査は、上杉文書調査委員会、文化庁、山形県指導のもと、米沢市教育委員会社会教育文化課、米沢市上杉博物館、上杉文書調査委員、主任調査員、調査員、補助調査員が行った。
- 一 本書の作成は米沢市教育委員会社会教育文化課・米沢市上杉博物館が行った。調査概要については相田初実（米沢市教育委員会社会教育文化課）が担当した。史料解題は、左記の通り執筆した。
杉山 恵助（上杉文書調査委員・東北芸術工科大学教授）……………「上杉文書の形状と課題」
角屋由美子（米沢市上杉博物館上杉文化研究室長）……………「上杉文書の性格と伝来」
阿部 哲人（米沢市上杉博物館学芸員）、佐藤正三郎（同）……………「編成および史料解題」
池野 理（同）……………「米沢藩の絵図作成と岩瀬家文書」
- 一 史料の写真は、大型絵図等については松本正光氏（メモリー舎）、その他の絵図については小田浩昭（米沢市社会教育文化課課長、当時）、の撮影による。
- 一 データベースの構築は株式会社ノムラメディアスによる。
- 一 本書は文書編三冊、絵図編一冊、計四分冊である。
- 一 史料の中に、身分や職業に関する差別的な用語が記されている場合があるが、史実に基づいて調査する立場から本報告書にそのまま掲載したものであり、これらの差別を容認するものではない。

全体目次

第一分冊（文書編一）

巻頭写真	3
序文	11
例言	13
全体目次	14

上杉文書調査概要	15
----------	----

解題	19
----	----

上杉文書の性格と伝来	19
編成および史料解題	24
上杉文書の形状と課題	41

解体冊子史料一覧	47
主な蔵書印とラベルについて	48
参考資料	51
編成表	59
文書編目録 凡例	69
目録	71
上杉家	71

目録

第二分冊（文書編二）

軍制	9
家臣団統制	23
藩政	47
法制	85
幕末維新时期	115

第三分冊（文書編三）

伊佐早謙関係	9
典籍	101
諸家文書	139

第四分冊（絵図）

国絵図	16
預所絵図	40
領内絵図	48
指図	92
村絵図	119
堰絵図	128
合戦図	134
領外絵図	146

上杉文書調査概要

「上杉文書」は、旧米沢藩主上杉家から米沢市に譲渡された史料群である。平成十一年（一九九九）までは市立米沢図書館の所蔵であったが、米沢市上杉博物館の新設に伴い博物館に移管され、現在は博物館の所蔵となっている。この史料群は近世の米沢藩の藩政史料（公文書）をはじめ、中世史料や近代に入り上杉家記録編纂所総裁となった伊佐早謙の収集、編纂史料などを含む。文書の他に、国絵図や城絵図などの絵図も多く残されている。

本調査では、史料の総点数文書八、九〇七点、絵図二四一点について、詳細目録を作成した。

1 調査目的

同じく米沢市上杉博物館に所蔵されている「上杉家文書」も上杉家伝来の史料群であり、こちらは平成元年（一九八九）に上杉家から米沢市に寄贈され、博物館の所蔵となった。室町時代の中世文書を中心に、鎌倉時代から明治時代にかけての二、〇一八通、四帖、二六冊および附、歴代年譜三二五冊、両掛入文書箱等並赤筆筒三合、二棹が国宝に指定されている。江戸時代については上杉家当主個人の手紙（私文書）などが多く残されており、目録が刊行されている。

「上杉家文書」と「上杉文書」は同じ上杉家に伝来した史料群として、研究に供されてきた。しかし、現在「上杉文書」について研究するにあたり広く使用されているものは、雄松堂により発行されたマイクロフィルムと、そのリール番号・史料名が記載されている『マイクロフィルム版 上杉文書目録』（市立米沢図書館、一九六九年）であるが、詳細な目録は公開されていなかった。また、マイクロフィルム未収録の史料もあり、全体像が明らかになっておらず、さらに、原本、写本が混在しており、近年の研究の進展により、従来の分類を再考する必要性も出てきた。史料の状態にも課題があり、老中奉書が冊子状に製本されている、あるいは幕末維新期の史料が藩主書状の裏に貼り付けられ製本されているなど、本来の形では無い状態で保存されている史料もあった。

そのため、「上杉文書」全点の詳細調査を行い、内容を把握することで歴史的価値を明らかにするとともに、適切な史料の保存や研究、展示等での公開を図る

ことを目的とし、令和三年度から五ヵ年計画で本調査を実施した。なお、『マイクロフィルム版 上杉文書目録』では一九八〇番までとなっているが、刊行後一九八二～一九八六番が新たに加えられた。今回の調査では、新たに加えられた史料も含め、調査を行った。

2 調査組織

米沢市教育委員会社会教育文化課（令和三年度・文化課）と米沢市の指定管理者制度により管理を行っている米沢市上杉博物館（指定管理者：公益財団法人米沢上杉文化振興財団）に事務局を置き、上杉文書調査委員会を設置した。文化庁、山形県からの指導、助言のもと、上杉文書調査委員会委員及び主任調査員、調査員、調査補助員、事務局により調査を実施した。

【上杉文書調査委員会】

阿部 浩一 福島大学行政政策学類教授 *委員長
菅野 正道 元仙台市史編纂室長
小林 文雄 山形県立米沢女子短期大学日本史学科教授
杉山 恵助 東北芸術工科大学芸術学部文化財保存修復学科教授
原 淳一郎 山形県立米沢女子短期大学日本史学科教授（令和四年度）
布施 賢治 山形県立米沢女子短期大学日本史学科教授 *副委員長

【主任調査員】

天野 真志 国立歴史民俗博物館准教授
元 喜載 東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター准教授
栗原伸一郎 東北大学大学院文学研究科助教
高橋 玲奈 東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
友田 昌宏 防衛大学校人文社会科学群人間文化学学科准教授

【調査員・調査補助員】

高梨恵理子 米沢市上杉博物館資料調査員
渡部 碧衣 上杉神社学芸員（令和三、四年度）
東北芸術工科大学芸術学部文化財保存修復学学科

東北芸術工科大学大学院美術工学研究科保存修復領域
 福島大学行政政策学類社会と文化専攻、行政政策学類地域社会と文化コース
 福島大学大学院地域政策科学研究科地域政策科学専攻地域文化コース
 米沢女子短期大学日本史学科

【指導機関】

文化庁文化財第一課
 主任文化財調査官（歴史資料部門） 地主 智彦（令和三～七年度）
 文化財調査官（書籍・典籍、古文書部門） 佐藤 健治（令和三・五年度）
 文化財調査官（歴史資料部門） 水野 哲雄（令和三年度）
 文化財調査官（書籍・典籍、古文書部門） 宮田 直樹（令和三・六～七年度）
 文化財調査官（歴史資料部門） 吉岡 誠也（令和四年度）
 文化財調査官（歴史資料部門） 吉野 健一（令和六～七年度）

山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課

【事務局】

米沢市教育委員会教育管理部文化課（令和三年度）
 米沢市教育委員会教育管理部社会教育文化課（令和四年度～）

課長 高橋 允（令和七年度）
 小田 浩昭（令和三～四年度）
 課長 高橋 稔（令和五～六年度）
 伊藤 昌明（令和七年度）
 主幹兼課長補佐 大野 良子（令和三～四年度）
 課長補佐 平山 由紀子（令和五～六年度）
 文化財主査 佐藤 公保
 文化財担当 原田 悠人（令和四年度～）
 文化財担当 相田 初美（令和四年度～）
 文化財担当 井内 南奈香（令和三年度）

米沢市上杉博物館
 館長 曾根 伸之（令和六年度～）
 館長 島津 眞一（令和三～五年度）

上杉文化研究室長 角屋 由美子
 学芸員 阿部 哲人
 学芸員 佐藤 正三郎
 学芸員 池野 理

3 調査・活用

令和二年度に事前調査を行い、令和三年度から令和七年度まで、国庫補助事業「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」を活用し、実施した。

【目録作成】

調査にあたっては、事前に凡例を定め、史料一点ごとに『マイクロフィルム版 上杉文書目録』の史料番号を踏襲し、採録を行った。史料が作成され、機能していた時点で独立していたものは一点として扱った。文書を貼り継ぐ、合綴されているなど、複数の史料が一括で伝来している場合には、各史料に新たな枝番号を付した。なお、一部の封紙（台紙文書）は総史料点数に含めない。

文書は、史料名、内容、頁数、紙数、史料作成年月日（時代）、法量、形態、装丁、表紙、料紙、作成者と受給者の表記、書き出し、書き止め、端裏書、ラベル、蔵書印、史料状態、一括関係、備考などについて採録を行った。
 絵図は史料名、内容、紙数、史料作成年月日（時代）、法量（全体・折畳時・一紙）、裏書、料紙、作成者、ラベル、蔵書印、色彩、針孔、へら跡などについて採録を行った。



目録作成の様子

【冊子の状態に製本された史料の解体、綴じ穴の平滑化等】

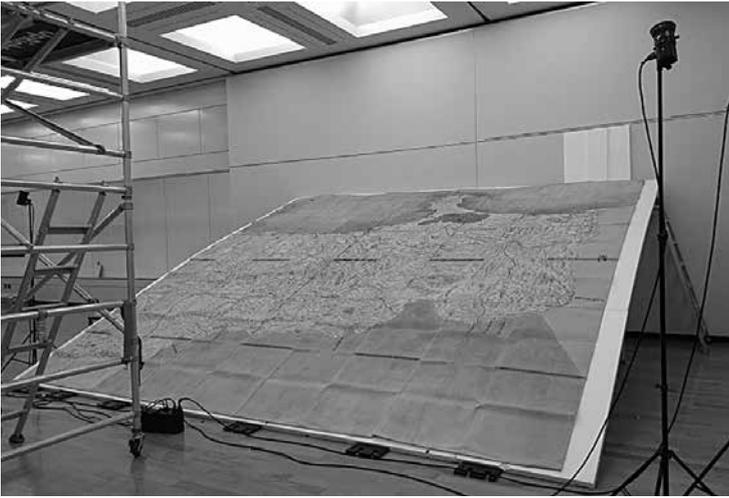
御内書や老中奉書、戊辰戦争期史料の一部等は、後世に冊子の状態に製本され、保管されていた。目録の作成、今後の史料管理を見直すため、冊子装となっていた史料の状態を把握した上で、解体を行った。老中奉書は解体後、綴じ穴部分の紙の凹凸部分の平滑化を行った。御内書・老中奉書は元の折りの状態に戻し、今後保管することとした（解体を行った史料の詳細については、41ページ杉山恵助氏の解題を参照）。

このほか、本紙から多数の付箋が剥離している史料が確認された。その中でも、現状のままでは目録採録が困難な一部史料については、付箋の貼り付けを試みた。

【撮影】

《絵図撮影》

画像がない、または高精細画像のない絵図史料については一点ごとに撮影を行った。極力、絵図上の最小文字が判読可能となるよう高精細画像（80MB程度）の撮影を実施した。



大型絵図の撮影

《冊子解体前の史料の撮影》

解体作業では史料の形態を不可逆的に変更するため、解体する前（冊子状）の史料の撮影を行った。

《マイクロフィルム未収録史料の撮影》

マイクロフィルム発行時、一部の史料が複本扱いや雑部に収録され、未収録となっていた。今後の史料への負担やデータ公開等をふまえ、未収録史料の一部について撮影を行った。

【データベースの構築】

新たに採録した目録データ集について、既存の米沢市上杉博物館・市立米沢図書館収蔵文化財総合データベースで検索可能とした他、上杉文書のみ詳細検索可能な「上杉文書データベース」を新たに構築した。

【調査事業の成果の一部を含んだ博物館での主な展示】

展示解説などの教育普及事業においても、本事業の成果や意義の発信に努めた。

コレクション展 「上杉文書をひらく」（令和四年度）

特別展 「上杉氏と国絵図の世界」（令和五年度）

常設展示室上杉文華館 「上杉家歴代の文書管理と歴史編纂」（令和五年度）

特別展 「上杉茂憲 最後の藩主と米沢士族」（令和六年度）

特別展 「上杉家の御殿、城・藩邸・伯爵邸」（令和七年度）

特別展 「上杉謙信の祈りと信仰」（令和七年度）

【上杉文書調査事業シンポジウム】

事業の成果を広く発信するため、「上杉文書史料調査公開シンポジウム」を開催した。

日時…令和八年三月一五日

場所…置賜総合文化センター

4 文化庁調査官調査指導・助言

令和三年度

第一回 令和三年八月一三日

第二回 令和三年十一月一五日

令和四年度

第一回 令和四年十一月一七日

第二回 令和四年十一月二二日

令和五年度

第一回 令和五年九月二五日

第二回 令和六年一月一、二二日

令和六年度

第一回 令和六年八月九日

第二回 令和六年二月二、四日

令和七年度

第一回 令和七年八月一八日

第二回 令和七年一〇月八、九日

第三回 令和七年二月一日

5 上杉文書調査委員会

令和三年度

第一回 令和三年五月二五日

第二回 令和三年一〇月二六日

第三回 令和四年一月二五日

令和四年度

第一回 令和四年六月七日

第二回 令和四年一〇月一八日

第三回 令和五年一月三一日

令和五年度

第一回 令和五年七月二五日

第二回 令和五年十一月一四日

第三回 令和六年二月一三日
令和六年度

第一回 令和六年一〇月一日

第二回 令和七年二月一三日

令和七年度

第一回 令和七年七月一日

第二回 令和七年二月二四日

6 事業費

令和三年度 二、〇〇〇千円（国庫補助額 一、〇〇〇千円）

令和四年度 二、七八六千円（国庫補助額 一、三九三千円）

令和五年度 三、二〇〇千円（国庫補助額 一、六〇〇千円）

令和六年度 三、五三二千円（国庫補助額 一、七六六千円）

令和七年度 七、八三二千円（国庫補助額 三、九一六千円）

上杉文書の性格と伝来

一 国宝「上杉家文書」と「上杉文書」

国宝「上杉家文書」は旧米沢藩主であった上杉家に伝来した史料群で、平成元年（一九八九）に上杉家一六代当主上杉隆憲から米沢市に寄贈され（書類上は平成二年（一九九〇）、当時は重要文化財）、米沢市上杉博物館が所蔵している。南北朝・室町時代の中世文書を中心に、江戸時代から明治時代に至る二、〇一八通、四帖、二六冊は平成一三年六月二二日、武家文書群として初めて国宝となった。上杉家文書は中世越後を中心に、東北、北陸、関東におよぶ地域の政治や社会の様子を明らかにする武家文書で中世史研究上の重要な史料であり、赤筆筒（坤）に納められた近世文書は、米沢藩はもとより近世大名の研究に大いに役立つものと思われる（歴代藩主の系図及び経歴の概要は51ページ参考資料を参照）。

そして、「上杉家文書」の特徴であり、最も重要な点は、多くの文書が受け取ったときの状態のまま保存されていることであり、掛軸や卷子（巻物）、冊子に形を変えず、本紙・封紙（懸紙）・包紙が残っており、そのたたみ方・巻き方・閉じ方など、実際に用いられた当初の姿を伝えているのである。それは日本の武家文書の機能、様式や形態、紙質等を研究する上で多くの貴重な情報を提供することになり、上杉家文書が武家文書研究の最高峰として国宝指定となった最大の理由である。

「上杉家文書」の整理はすでに江戸時代から行われ、「黒漆掛硯箱」には二代藩主上杉定勝が自ら古文書を書き写した文書案が二冊収納されており、最初の整理と考えられる。また収納文書について九代藩主上杉鷹山、米沢新田藩主上杉勝周、竹俣義秀の覚書、目録というべき入日記が納められている。竹俣義秀は四代藩主上杉綱憲の傳役で、寛文年間の大規模な整理を指導した江戸家老であった。明治三十七年（一九〇四）、最後の藩主だった上杉茂憲は自ら赤筆筒（坤）入文書を改め、新しい包紙をつけ、入日記を書き記した。国宝「上杉家文書」は藩主自ら、そして家老が指揮をして整理を行った、まさに「御家」の史料群なのである。

一方、「上杉文書」は国宝「上杉家文書」とは別の史料群であり、「上杉家文書」と「上杉文書」と呼び交わされてきた如く、「上杉文書」には「家」の文字がない。本調査（「上杉文書調査」）の成果を含む意義は後述するが、「上杉文書」は従来、米沢藩の領知、歴代藩主、法制、藩政、軍事、藩士、上杉氏の越後・会津時代、戊辰戦争、年表、編纂物などに絵図を加えた米沢藩の藩政史料というくくりの史

料群としての認識であった³。上杉家に伝来したが、昭和二九年（一九五四）、上杉家扶広瀬速水作成の「上杉古文書目録」（「米沢図書館へ引渡目録」とともに、一、九五六部、五、〇六二点が米沢市に売却され市立米沢図書館が所蔵した³。「上杉文書」の命名は市立米沢図書館によってなされた。当時の図書館は米沢城二の丸跡南側の南堀端町（現、米沢市丸の内一丁目）にあって、「上杉文書」は西書庫と呼ばれていた土蔵（旧上杉家の宝物庫）に収納された⁴。

新博物館が米沢市上杉博物館として平成一三年に開館するのに際し、重要文化財（当時）「上杉家文書」とともに収蔵されることが決定し、平成一一年に移管された。「上杉家文書」の国宝指定準備に際し、「上杉文書」中の原文書と上杉家伝来が明確であるものを、国宝に組み入れることが検討された。しかし、重要文化財指定であった「上杉家文書」群から離れて、すでに「上杉文書」として米沢市に譲渡されていたことから、伝来が異なるものとして見送られるとともに、「上杉文書」の目録整備と史料群の性格を明らかにすることが課題とされた。

二 伊佐早謙と「林泉文庫」

次に、「上杉文書」に深く関わる伊佐早謙について述べる⁵。伊佐早は安政五年（一八五八）一二月、上花沢信濃町（現・米沢市東一丁目）に生まれた。幼名を幸吉、縦軒、宕山と号した。家は代々御小納戸組として上杉家に仕えた米沢藩士である。藩校興譲館提学であった片山一貫の門人となり、漢学、経書、詩文等多方面の勉学に励んだ。

明治九年、松岬学校の訓導となったのを皮切りに山形師範学校助教諭、米沢中学校教諭、九里裁縫女学校（現・九里学園高等学校）嘱託講師を務め、また中学校、師範学校入学希望者のための私立学校を開設して教授した。九里裁縫女学校の嘱託講師には死去の日（昭和五年六月五日）までその任にあり、明治四〇年に図書館建設運動を始めるまで、主に教育者として活動した。

大正元年（一九一二）に第二代図書館長となった⁶。この間、明治二三年から上杉家記録編纂所の所員（後に総裁）として二代藩主上杉斉憲の年譜や、「上杉家記」（上杉文書0043他、以下、上杉文書を省略しNoのみ表記）の編纂などを継続、晩年まで勤めていることから、上杉家の古文書に容易に触れ、また、関係する文書の収集、売買がなされたものと考えられる。東京帝国大学史料編纂所等に出入りして研究者と交流し、一方地域の識者としての地歩を固めていったも

のと思われる。詳細は今後の研究に委るが、「上杉文書」中の千坂家文書（主に第二分冊【藩政―奉行／江戸家老】参照）、色部家文書、斉藤家文書など米沢藩の上級武士および岩間家文書など商家の古証書類など、諸家文書（第三分冊【諸家文書】参照）の挿入は伊佐早からの働きかけか、諸家からの依頼か未詳ながら関わりが想起される。

平成二十一年、米沢市（米沢市上杉博物館蔵）が所有することになった「色部氏古文書集」一巻七通（鎌倉時代後期〜江戸時代）は、色部家の庶家に伝来したものであった。色部家は、鎌倉時代初期に、越後国小泉庄色部条（現新潟県村上市）に入部し、慶長三年（一五九八）の上杉景勝の会津移封まで領主であった。この巻子を収めた箱書を伊佐早が書いており、また文書には付箋がつけられている。大正二年には色部辰之助の所蔵であったことがわかる。伊佐早が編纂した「読史堂史料 三下」（No.1471-103）には、色部達房氏所蔵文書として書写、採録されている。「色部氏古文書集」はその原本であって、伊佐早と色部家の関係が見てとれ、そのような事例はほかに複数存在する。

「上杉文書」の核となる「林泉文庫」について見ていく。「林泉文庫」とは、伊佐早の住居があった林泉寺町に由来し、彼が収集、編纂した膨大な史料群を指す。昭和五年、伊佐早の没後、その蔵書「林泉文庫」は子息の信により上杉家に寄贈された。従来ほとんど知られていないが、「林泉文庫書目 附樞軒著述目録 昭和七年八月調」（市立米沢図書館蔵）が作成された。作成者、作成機関の記述はないものの、書き込み等から上杉家側で作成されたものとみられるが、信の関わりもあろうかと思われる。最も早い段階で「林泉文庫」の全容を示す目録といえる。史料名を五十音順で配し、その史料名の頭部に、上杉家所蔵分に朱印で「本」、図書館寄託分に朱印で「図」、伊佐早家所蔵分に朱印で「○」が付されている。本調査の目録の「ラベル」欄で、「片仮名」④とある史料は、この整理に由来すると考えられる（50ページ参照）。

次いで昭和十三年、一一、二四〇点が上杉家から市立米沢図書館に寄託され、それには「林泉文庫寄贈書及書目」（上杉家作成）と題する目録が付されていた。市立米沢図書館が所蔵するその目録の表紙裏に昭和十三年一〇月、上杉家からの目録寄贈の記録が残る。「林泉文庫寄贈書及書目」の筆跡は上杉家扶福田長次郎の手による。目録構成は、上杉家本邸所蔵目録、市立米沢図書館寄託書目録、伊佐早家保留書目録からなっている。

その中から一部を昭和二十九年と同三年に当時の上杉家扶廣瀬速水から「林泉文庫より追加分」として米沢市が購入することになる。昭和二六〜二九年目録

（市立米沢図書館蔵）の一〜五〇五番（現状の史料番号とは別）は、昭和十三年の目録では抜けている主に米沢藩御記録方旧蔵と思われる史料群で上杉家に留め置かれたものである。米沢市の購入分の残りを米沢女子短期大学図書館、山形大学教育学部図書館、山形県西置賜郡白鷹町の瑞龍院の三カ所で購入した。米沢市購入分の選択は第七代図書館岡博と庶務係井上英夫が行った。

昭和二十六年の手書「上杉古文書目録」と翌二十七年にそれを原稿にガリ版摺りで刊行された『図書古文書目録』は、昭和二十九年に売却された文書を含んでいることから、整理作業が進められたことが窺える。昭和三〇年、市立米沢図書館では「上杉文書」に含まれない、残る林泉文庫中から郷土に關係する書籍を選び「林泉文庫郷土図書目録」を作成した。これを昭和三九年、タイプ印刷にて『林泉文庫目録』として刊行している。現在、市立米沢図書館が所蔵する「林泉文庫」である。

三 「上杉文書」の成立と現代の整理

「上杉文書」は昭和二十九年に米沢市が購入した「上杉家本邸所蔵目録」分に、上杉家に留め置かれた分を加えたものである。市立米沢図書館蔵となった「上杉文書」（旧林泉文庫の一部）は、分類カード目録により図書館を訪れる研究者、学生、文人、郷土史家等の要望に応じて閲覧対応を行っていたが、昭和三十七年、三八年に新しい目録作成に着手、新たに番号を付し、同時に雄松堂フィルム出版有限会社によってマイクロフィルム化がなされた。上杉文書目録とマイクロフィルムリール番号が付された冊子（『マイクロフィルム版 上杉文書目録』）が刊行されたのは昭和四四年のことであった。史料点数を五、〇六二点としている。目録作成は福島大学小林清治助教授（当時）の指導を得て、元小学校教諭で市立図書館嘱託の下平才次を中心に行われた。これにより市立米沢図書館蔵の「上杉文書」の認知度、活用の頻度は格段に向上した。一方、旧番号や収納情報は失われた。

次に平成七年、市立米沢図書館の古文書整理指導員の高橋豊が、昭和四四年度版の誤字訂正、記録不足および登録の補完を行っている。記録不足として形態・法量・丁数・保存状態・備考を追記した。また、登録の補完については、マイクロフィルムの撮影がなされなかったもので、目録からも抜けていたものが対象とされた。しかし、絵図については省略され、一括関係の史料群の個別採録もなさ

れなかったことから、昭和四四年度版を踏襲したものと云える。また、手書きで刊行されることもなかったため、内部資料にとどまった。

四 本調査事業について

本調査は、国庫補助事業であることから文化庁の指導を受け、多くを歴史研究者自ら採録を行うことで精度の高さを担保している。特徴として、全体的に採録項目の多さがある。史料名、内容、原本と写本の別、作成者、書き出し・書き止め、紙質などの採録には古文書解読力ははじめ、専門性を必要とした。また、時代も分野も多岐にわたるため、それぞれの研究者の指導・協力を得た。

一例に原本か写本かに重きを置き、史料名に反映している（一例として口絵6ページ）。従来は史料名から判断し閲覧して、ほとんどが近代の写本であったことに落胆した利用者もいたことであろう。それは大いに改善されたと思われるが、原本か写本かについては判断が非常に難しいものもあった。今後の研究に供し、誤りがあれば次代に委ねたい。

本調査ではことさらに史料点数を増やす意図はなかったものの、合綴史料の場合、合綴の意味を考慮し、原本の場合や、関係性が稀薄な場合はそれぞれ枝番を付して採録した。貼り継いだ文書や、挟込文書についても同様である。

また、「徳川將軍御内書集」(No.0295～0299)や「江戸幕府老中奉書集」(No.0302)など本来一通で機能していた文書が、数十通ごとに冊子にされていたものを解体し、一通ごと採録した。また、藩主の書状を台紙とし、多くは幕末、戊辰戦争期の文書を貼り込んだ史料群については、剥離は行わなかったもののそれぞれを採録している。結果として、史料点数は文書八、九〇七点、絵図二四一点に及んだ。

上杉文書中の史料作成年代の構成について、南北朝時代が三点、鎌倉時代三八点(全て色部文書)、室町時代七六点、桃山時代三〇点となっている。続いて江戸前期が三四〇点、江戸中期が二、七六〇点、江戸後期が二、九九〇点、近代が二、六六〇点(以上は概数、下限は昭和一七年)で、若干の現代の史料が含まれる。時代区分については凡例を参照されたい。

次いで、収納の変遷について検証および記録する。本史料群中、上杉綱憲の正室円光院の石塔関係絵図(No.0104)、上杉鷹山の実子顕孝の葬儀関係等の書類(No.0106～0163、箱は口絵5ページ)、重定の正室豊姫の和歌色紙(No.

0403)等は、江戸時代の木箱に収められている。上杉家から図書館への譲渡の際すべてが箱に入っていたわけではなかったが、市立米沢図書館が所蔵する古典籍類の保存箱とともに大量に焼却処分されている¹⁾。米沢図書館が昭和五〇年、南堀端町から金池三丁目の置賜総合文化センター内に移転されたことが契機であり、出納の利便性が優先されたものと思われる。しかし、現国宝「上杉家文書」の貴重性が知られる中で、保存箱の重要性が理解され、図書館では保存用桐箱の製作を事業化し、平成七年から収納を開始した。

前述のとおり、図書館が所蔵する多くの古文書、古典籍類のうち、「上杉文書」のみの新博物館移管が決定し、平成一年に移管となったが、新博物館は「枯らし」の時期を含めまだ完成しておらず、米沢市が所有する東蔵(旧上杉家の宝物庫)に収納した。ここで米沢市上杉博物館学芸員による点検および新博物館での計画収蔵の検討がなされた。平成の桐箱は一括の史料については一箱であったが、一点でも一箱という贅沢な造りであったため、これを収納スペースに合わせ包括する作業を行い、平成一三年に新博物館の収蔵庫に移動した。このたびの調査により形態が変わった文書もあるため、配架場所、保存箱等に若干の変更が生じた。

形状の改変

先にも触れた「徳川將軍御内書集」、「江戸幕府老中奉書集」は、本来一通で機能していた文書である。折紙という形式で書かれた本紙が封紙に包まれ上杉家に届いたものである。その本紙と封紙が別々にされ、本紙は数十通ごとに冊子にされ、封紙は他の文書を貼り付ける台紙となった。いつの時代に改変されたのだろうか。また、徳川將軍家と上杉家、江戸幕府と米沢藩だけの関係ではなく、上杉家と家臣団間の主に贈答に関する文書も台紙となった(「諸家文書―毛利安田家―歴代藩主書状」参照)。四代綱憲から一二代斉憲まで、九代鷹山の書状さえ



現在の収納状況



台紙文書（上杉鷹山書状）

も本来の役割を終えていた。本事業では、台紙となった文書（台紙文書）の封紙も採録したが、本紙と封紙を一体にすることはすでに不可能で、本紙の情報のみ報告書に掲載している。解体の詳細や時期に関する考察は、杉山恵助氏の解題「上杉文書の形状と課題」を参照されたい。

本事業では修理をすることは叶わないが、その必要性、優先順位の見極めができたことも幸いであった。文書自体も重要ながら、表具の状態が悪く固い裏打ち紙が本紙を痛めているのが、「色部文書」（No.1063）五巻である。

本来は色部氏や個別の中世文書を昭和三六年に表装成巻したものである。②。原本の文字がすでに流れて判読できず、『新潟県史資料編4』に翻刻掲載時は、「林泉文庫」所収の「古案記録草案」（市立米沢図書館蔵）で補ったことを付し、また、貼り込みに錯簡があることを指摘している。

次いで、「宝永三年 御状留」（No.0650-01）、「御状留」（No.0652-02）など非常に分厚くなって分冊されているもの、「色部氏年中行事全」（No.1040）など真新しい裏打ちは、主に昭和四〇年代後半から平成一〇年代に市立米沢図書館の業務委託者として古文書、典籍等の表具を行った大木正二による。「延享二年 分限帳」（No.0957）、「文化六年二月 分限帳」（No.0961）などは解体した際、コピーをとって先祖調べ用コピー版を作成、市立米沢図書館郷土資料室に配架して、市民をはじめとする先祖調べに供している。

絵図の改変については、昭和四二年、破損のひどいものの裏打ちを製本委託者の高橋祐次に、簡単な修理を製本委託補助者の古藤美枝子に依頼している。絵図は折りたたんだ状態で伝来したが、折り目から傷んでしまう。そのため大きなものを除き筒巻にした。③。軸芯をつけた表装ではなく、単に円筒形に巻いて桐箱に収

納している。折り畳み時に入っていた和紙の袋のみ一括して別置していたが、本調査では袋の情報を採録し、今後もその状態での保存を継続することになった。小さく折るほど痛みを進行させるため、現状折り畳み絵図については、負荷をかけたくない大きさでの折り畳みを検討し、保存箱を用意するなど、対策を検討する必要がある。

五 「上杉文書」の意義

「上杉文書」はかつての「林泉文庫」の一部であるが、伊佐早謙の意志で成立した訳ではない。その選定、分類等、それぞれの時代の関係者、研究者、識者が関わってきた。林泉文庫全体の目録である「林泉文庫書目 附樵軒著述目録 昭和七年八月調」の段階では、史料名は五十音順で配列されていた。五十音順での整理は整理分類の基本であろうが、活用の利便性を求めて主題別の分類目録を作成、マイクロフィルムでの公開が始まったのは昭和四四年のことであった。分類を行うという大きな転換期であった。

本調査においてもこの編成（分類）をどのように扱うかも大きな課題であった。すでに多くの研究者が、それにより研究成果を上げ、いまだ活用されていることから、全く新しく編成することは避けながらも、新たな編成を模索した。なお、これまでの研究蓄積との整合性を図るため、史料番号は従来のもを踏襲することとした。編成項目は主観的にならぬよう、文化庁の指導を受け、委員会に諮りながら丁寧な検討を進めた。詳細は、阿部哲人、佐藤正三郎の「編成および史料解題」を参照されたい。

上杉文書中の史料は、その貴重性から米沢市上杉博物館はもとより、貸出により多くの博物館の展示利用に供してきた。また、研究者の活用も多くの研究書、著書に取り上げられている。しかし、九、〇〇〇点に及ぶ史料がすべて活用の機会を得ているわけではなく、中には死蔵状態のものもある。五年におよぶ本事業の間、展示担当学芸員は積極的に「上杉文書」を利用した展示、「上杉文書」を紹介する展示を行った（17ページ、「上杉文書調査概要」のうち【調査事業の成果の一部を含んだ博物館での主な展示】参照）。

昭和四四年に発行された『マイクロフィルム版 上杉文書目録』にも採られず、マイクロフィルム未収録史料の中に沖縄関係史料【典籍―琉球】参照）があり、令和六年度の「上杉茂憲」展で公開され、沖縄県からも研究者等の来館があった。

上杉家記録編纂所総裁として上杉茂憲の年譜編纂を担っていた伊佐早は、第二代沖繩県令であった茂憲の事績調査のため沖繩を訪れ、史料の収集にあたった。⁽¹⁾ この史料は平成七年、市立米沢図書館古文書整理指導員の高橋豊が補遺調査を行った際、手書き目録に記載していたが、内部資料であり活用が図られなかった。本事業は大部な目録冊子とともにデータベースで公開されることから、活用の幅、深度は大いに改善される。

「上杉文書」中の個々の史料は無尽蔵の貴重性を持っている。すでに「歴代古案」など刊行されて資料集になっているものもある。先祖調べに欠かせない「先祖書」「勤書」、そして「分限帳」など一般の方から研究者まで、中世、近世、近代の上杉家および上杉家と関わる関東、北陸、信濃、越後の国衆、そして米沢藩とその崩壊まで、歴史研究に必須の史料群である。

中でも特筆されるのは絵図群である。第四分冊に全点、全カラーで掲載しているので、池野理の解題（第四分冊）とともに参照されたい。米沢藩の絵図方は岩瀬家が勤めている。岩瀬家は江戸時代に絵図目録を作成しており、目録と現物の残存状況が確認できる。さらに岩瀬家文書の存在により絵図作成についての背景も知ることができる。現在、「上杉文書」は米沢市上杉博物館蔵、岩瀬家文書は市立米沢図書館蔵となっているが、ともに米沢市所有である。

「上杉文書」中に上杉家旧蔵を示す整理札が貼ってあるものが二〇点ほど存在する。この整理札は屏風や器物等にも散見される。戦前に伯爵上杉憲章が専門家に依頼して行った宝物調査による整理札と思われる。上杉家旧蔵史料が「林泉文庫」に紛れこんだことになろう。国宝「上杉家文書」には、この整理札が貼られた史料は皆無であり、一部の箱に貼付がみられる。やはり、「御家」の文書としてすみ分けられていたものと思料するが、古文書管理の歴史もその時代性や位置づけ等、研究の対象となり続けるであろう。すでに、「林泉文庫」の全体像については、いくつかの共同研究が開始しており、あらたな成果も公開されるものと期待している。⁽¹⁵⁾

本稿の執筆にあたり助言を得た、市立米沢図書館元職員梅津幸保氏、植木伸子氏、青木昭博氏、石黒志保氏、現職員宮澤崇士氏に謝意を表す。

(角屋由美子)

註

- (1) 『上杉家文書 国宝への道―修復と紙の世界―』（米沢市上杉博物館、二〇一三年）。
- (2) 『マイクロフィルム版 上杉文書目録』（市立米沢図書館、一九六九年）。
- (3) 『市立米沢図書館所蔵 郷土資料の由緒』（市立米沢図書館、二〇〇四年）、同図書館蔵。
- (4) 『米沢図書館一〇〇年』（市立米沢図書館、二〇〇九年）。
- (5) 新宮学「近代山形最初の郷土史家、伊佐早謙の仕事」（『西村山地域史の研究』三六号、二〇一八年）。
- (6) 米沢市史編集資料第一二号『続米沢人国記（近・現代篇）』（米沢市、一九八三年）。
- (7) 石黒志保「伊佐早謙が収集した「林泉文庫」について 市立米沢図書館蔵書を中心に」（『山形大学歴史・地理・人類学論集』一三三号、二〇二二年）。
- (8) 「林泉文庫寄贈書及書目」（岩本篤志編『米沢藩興譲館書目集成』第四巻、ゆまに書房、二〇〇九年）として、影印本が刊行されている。
- (9) 『市立米沢図書館所蔵 郷土資料の由緒』。上杉家からの購入年について、同書のなかで昭和二八年、二九年の表記が見られるが、当時の新聞報道および市立米沢図書館の見解から昭和二九年とする。
- (10) 『林泉文庫目録』（市立米沢図書館、一九六四年）。
- (11) 「林泉文庫寄贈書及書目」（岩本篤志編『米沢藩興譲館書目集成』第四巻、ゆまに書房、二〇〇九年）。
- (12) 『新潟県史資料編4 中世二文書編Ⅱ』（新潟県、一九八三年）。
- (13) 『市立米沢図書館所蔵 郷土資料の由緒』。
- (14) 『林泉文庫の世界展 伊佐早謙が伝えない沖繩と米沢』（市立米沢図書館・山形大学附属博物館、二〇二一年）。
- (15) 令和六年一月一六日、米沢史学会による公開講演会・シンポジウム「米沢と上杉の記憶―「林泉文庫」と伊佐早謙が伝えた史料の行方」が開催された。当日の要旨などは『山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告』五三三号、二〇二六年に掲載予定。

編成および史料解題

編成の基本方針

これまで「上杉文書」は、昭和四四年（一九六九）に雄松堂から発行された『マイクロフィルム版 上杉文書目録』の分類と史料番号を用いて、現物及びマイクロフィルム版により、長く利用に供されてきた。今回の調査事業に際し、江戸時代や近代の早い段階に作成された網羅的な目録を探したもの、確認できなかった。また、かつての保管容器はほとんど現存しておらず、新たな保管容器（桐箱）に入れ替えられている。市立米沢図書館における整理段階で、分類に合わせて保管状況と番号が変更されたと考えられる。このため、現用段階の目録や保存容器に基づく編成は困難であった。

よって、今回の編成に際しては従来のマイクロフィルム版の分類を尊重し、第一項目を立項した。従来の分類（Ⅰ～Ⅻ）と本目録の編成項目の対応を示せば、
Ⅰ 領知・Ⅱ 藩侯↓上杉家、Ⅲ 法制↓法制、Ⅳ 藩政↓藩政、Ⅴ 軍事↓軍制、Ⅵ 藩士↓家臣団統制、Ⅶ 戊辰役↓幕末維新时期となる。Ⅷ 越後・会津、Ⅷ 年表、Ⅹ 其他、Ⅺ 雑（マイクロフィルム未収録）は適宜編成し直し、伊佐早謙関係、典籍、諸家文書を立項した。Ⅻ 絵図の編成は第四分冊に収めた。

第二項目については、従来の分類を参考にしつつ、出所や主題などに基づいて新たに立項した。第三、第四項目は、利用の際の利便性を考慮し、点数に留意しつつ、主題や機能、年代、形態に基づき、適宜新たに立項し編成した。

ところで、従来の分類には、一連の文書や記録が複数の項目に散在する、あるいは出所や主題の異なる史料が同一の項目に収録されるといった問題点があった^①。また、大名家文書の目録編成や構造分析に関しては、近世史とアーカイブズ学の分野において、三〇年ほどで研究が大きく進んでいる^②。

そこで、今回の編成にあたっては史料群全体の特徴や内部構造、出所（伝来した家や、当該史料の作成・担当部署など）に留意し、一点ごとに新たに編成を行った。史料ごとの出所や作成部署を究明するとともに、一連の業務や同種の書類（シリーズ）ごとにまとめ、編成した。編成に際しては、近世から近代にかけての文書目録類を参考にした^③。

また、貼込や貼継、合綴、旧来の保管容器や封紙による一括史料については、同一の項目に収めた。但し、現代の紙縫りや麻紐で括られた史料に関しては一括関係

を考慮せず、一点ごとに編成し直した。これらは現代に入ってから、管理のため便宜的に点数ごとに括った可能性が高いと判断したためである。

なお、利用時の利便性を考慮し、当該史料の全部または大部分が翻刻されているものは、一部を本解説中の註で補った。ほかにも『山形県史 資料編一六 近世史料一』^④には、上杉文書からも多くの史料が翻刻、紹介されている。

以下、史料の名称は「」（No+上杉文書の史料番号）、第一、第二項目はゴシックで表記し、第三項目以下は「【】」で表記した。編成表（59ページ）とあわせてご覧いただきたい。

上杉家 (二、七〇〇点)

狭義の「家」（御家）の文書である。中世から近世の、上杉家当主（藩主）としての領知、幕府・朝廷との儀礼や勤役、他大名家などとの交際などの史料、家に直接かわる近世段階の編纂物（年譜、系図、古文書集類）、先例や年中行事などの儀礼書、藩主や一族の私的活動に関する史料などを収めた。なお、近代の上杉伯爵家関係などは基本的に【幕末維新时期―廃藩置県以降】に収録した。

領知 (二九点)

将軍代替わりに伴う知行判物発給や国絵図作成をはじめ、幕府の命令によって提出を求められた帳面などを挙げた。「高辻帳」は、領知行判物発給のためのもの（No.0001～0006・0008～0012）、享保一〇年（一七二五）の幕府からの国目付派遣に伴うもの（No.0007）、天保期の幕府による国絵図作成に伴うもの（No.0013）がある。また、正保・元禄・天保の国絵図制作に関わって作られた「郷村帳」（No.0013・0015～0018）や「知行高目録」（No.0014）、「変地帳」（No.1810）がある。国絵図については、第四分冊の「国絵図」もあわせて参照いただきたい。

幕府 (一、三九六点)

ここには上杉家と幕府との贈答、幕府からの監察などへの対応に関する文書を収めた。

【御内書】は全五冊の冊子状にまとめられていた、秀忠時代から天明年間にかつたる、二代藩主定勝、三代綱勝、四代綱憲、五代吉憲、八代重定、九代鷹山宛の

江戸幕府將軍御内書を収めた。いずれも贈答への答礼状であり、内容は端午・重陽・歳暮の三季のみの発給に限定されていくが、秀忠や家光にはそれ以外の理由もみられる。景勝宛の家康・秀忠の御内書、家光を含めた將軍就任以前の書状などは国宝「上杉家文書」に収められている。

【老中奉書】は、元和九年（一六三三）から寛政二年（一七九〇）にわたる、二代藩主定勝、三代綱勝、四代綱憲、五代吉憲、八代重定、九代鷹山に宛てたものを収める。御内書同様に冊子状にされ、全二六冊に及んだ。基本的に編年でまとめられているが、最終巻は吉憲、重定、鷹山ら宛が含まれ、補遺の性格を持つものと推察される。

定勝・綱勝・綱憲宛は八通のみで、吉憲宛三四六通、重定宛四二二通、鷹山宛三八二通という構成である。内容は將軍家への献上に対する礼、將軍家の寺社参詣や慶弔、儀礼遂行などに関する見舞いへの返事、將軍家からの下賜に対する礼への返答や老中就任の祝意への礼など多岐にわたる。これらには老中のみならず、西丸付老中、側用人、老女、京都所司代、また武家伝奏や院伝奏などの朝廷の奉書も含まれている。さらに、受領した老中奉書を包んだ包紙も数点ある。江戸から米沢へ送付するもの、あるいは保存のためのものと推察される。以上の発給年次の比定は、『徳川実紀』、『上杉家御年譜』に拠った。

これらとは別にまとめられている綱憲宛の板倉重矩、土屋数直、稲葉正則らの各奉書（No.031101~09）も贈答関連の老中奉書である。そして、これらと綱憲宛武家伝奏千種有能奉書（No.031110）、吉憲宛本多忠英奉書（No.031111）がひとまとめにされている。齊憲宛稲葉正巳奉書（No.03118）は若年寄、重定宛牧野貞通書状は（No.0321）は京都所司代としての発給文書だが、ここに一括した。

【巡見使・国目付】は、幕府からの監察使に関する史料を収めた。巡見使は幕府が諸国の支配の実情を監察するために派遣した使節で、五代將軍綱吉以降は將軍の代替わりを契機に派遣された。ここには宝永七年（一七二〇）の事前準備から諮問への回答など（No.0766）、天保九年（一八三八）の事前準備（No.1676）の史料がある。

国目付は、大名が幼少で継承した大藩に派遣され、数ヶ月にわたって国元に滞在し、領内巡見を行い、国絵図や分限帳を提出させ、政務の状況を調査した。上記史料以外は、享保一〇年（一七二五）の国目付派遣に関するものである。

【贈答等】には右記には分類できない米沢藩・上杉家と幕府との関係を示す史料などを収めた。献上品（No.0089・0996）、下賜品と使者の記録（No.0

260-01・03）、幕府への申請手続きをめぐる文書（No.0284・0301・0938）などである。

御手伝普請（三二点）

ここには、【享保期】として享保七年（一七二二）五月に米沢藩が従事した江戸城の普請の先例をまとめて提出したもの（No.0285~0287・0701）と、【宝暦期】として宝暦四年（一七五四）の東叡山寛永寺普請の記録（No.0288~0294）を収めた。前者は、慶長から寛永年間を対象とした分と慶長から慶安三年（一六五〇）までの分があり、それと関わる江戸と米沢の通信の史料からなる。後者は、前年からの触書の集成、工事の経費や資材の受取などの史料である。

交際（六五点）

ほかの大名家や幕府関係者などとの交際、米沢藩から他家へ派遣された使者などに関する史料を収めた。

【他家より来状】は、齊憲もしくは茂憲に宛てた高野山清浄心院、大名、公家らの年始の祝賀の書状が中心である（No.0247・0248・0312・0314~0323）。また、前田綱紀の書状は参議任官に対する祝意への返書（No.0309）である。

【使者饗応】は、尾張藩からの使者への対応（No.0307・0308）、幕府からの奉書をもたらす使者への対応の記録（No.0566）からなる。

【御状留】には、米沢藩主が諸大名や幕府関係者などに送った書状の控えをまとめた。

米沢藩からは幕府や朝廷、また諸大名などに藩士が使者として派遣された。藩主の任官や江戸からの帰国の報告、幕府儀礼や朝廷への祝賀など、目的も多様である。それらに関する日記や先例に関する史料を【御使者勤】にまとめた。

古文書集（六五点）

【御書集】には、元禄年間の謙信・景勝の年譜作成のために行われた上杉家や藩士の所蔵文書の事前調査に際して制作された写本を収めた。上杉謙信発給・受給文書（No.1070・1072）、上杉景勝発給・受給文書（No.0076・0077）が該当する。また、「為景公御書」（No.1067）、「官庫書」（No.1080）も冊子の体裁や表紙の色、記載形式、筆跡などから元禄四年（一六九一）の一連

の制作と考えられている⁶⁾。その視点からは「古案」(No.1068)も同様の可能性がある。また、元禄四年の調査に際して作成された藩士の所蔵文書の目録(No.0394)もある。「上越市史」の資料編に翻刻されている⁷⁾。

南北朝期から近世初頭の文書の写しを収める「歴代古案」(No.1069)、口絵4ページ)は、一〇冊であるが、各冊二巻からなり、全二〇巻の構成である⁸⁾。文書の収載範囲や収録のされ方などから、上杉謙信・景勝の年譜編纂を直接の前提としないが、それと関わりを持つ周辺の人物によって、延宝年間から元禄末年、もしくは宝永年間に編纂されたものと考えられている。詳しくは、『歴代古案』第五の「解題」を参照されたい。

「秘庫存書」(No.0743)は、主に上杉家の「秘庫」保管の上杉鷹山関係の書状や意見書類が収録されている。現在の国宝「上杉家文書」のうち、赤筆笥(坤)入りの文書が多く、近代に入り編纂されたものと思われる。

歴代年譜 (三四五点)

御年譜は、謙信以下茂憲までの一四代にわたる上杉家当主、および一〇代当主鷹山の実子顕孝、米沢新田藩主初代勝周・二代勝承らの編年体の史書である⁹⁾。江戸時代には米沢藩の御記録方、明治以降は上杉家で編纂された。国宝「上杉家文書」には、謙信から三代当主斉憲、顕孝の分がある。「上杉文書」には、鷹山を除いた謙信から二代当主斉定までの年譜が収められている。鷹山については一冊にまとめられた略年譜(No.0061)と、上杉家の子女に与えた教訓書などを収めた付録五冊(No.0062)が「上杉文書」には収められている。ほかに景勝・斉定・斉憲の稿本(No.0053・0067・0068)、顕孝の略年譜(No.0064)などがある。

編纂物 (八八点)

上杉家当主の史書を中心に【家譜】として収めた。謙信以下の歴代ごとの叙述をする「三公外史」(No.0050)や「大政録」(No.1660、1662)、上杉憲実に遡って歴代を叙述する「大政秘鑑」(No.1659)など、中世山内上杉氏歴代や北条氏、長尾氏などの略伝などを載せる「米沢外史」(No.0048)、謙信や直江兼統の文書を収める国分左兵衛「御書」(No.1073)など、多様な史料がある。なお、「大政録追加」(No.1062)・「御書」は明治三〇年代の購入である。

以上は歴代を対象にした著作であるが、個人を対象にした【伝記】もある。片

桐忠成「盍言篇」(No.1044)・「朝陽私史」(No.1055)は謙信の、「景勝公一代略記」(No.0077)は景勝の伝記である。また、鷹山の言行録(No.0072・1696)などもここに収めた。

【系図】には、上杉家系図(No.0029、0034、0037、0038)のほか、長尾氏(No.0038・0039・1057・1060)、上杉家と姻戚関係にあった家(No.1599)の系図なども収めた。

先例集 (七二点)

「定例明鑑」(No.0538)は、藩主の叙任や上杉氏一門の家督継承、米沢における藩主の諸行事や江戸における年中行事などの先例について、宝暦一〇年(一七六〇)にまとめられた。「定例龜鑑」(No.0539・0540)は安永八年(一七七九)にまとめられ、「定例明鑑」と重なる項目も少なくないが、幕府からの御鷹の鶴の拝領や使者派遣や来訪、謙信景勝の法要や上級家臣の進退、政務などにより多くの分量を割いている。「御在府年於御国奉行江戸家老被 仰付先例書抜并定例龜鑑書抜□□」(No.0541)はこの抜書である。

儀礼・儀式 (五三九点)

主に上杉家で執り行われた【年中行事】と、【隠居・家督】【婚礼】【初入部】といった吉事と、【葬儀】の儀式と、米沢城本丸にあり上杉謙信の遺骸を祀った【御堂】関係を収めた。上杉家の当主や家族が作成、授受した文書というよりも、これを補佐し、事務を分担した藩内の各部署の作成した家政に関する記録が大部分を占める。

吉凶に関しては、藩内の各部署で作成された書類の原本が膨大に残る場合と、それらを案件ごとに編纂した大部の縦帳の二パターンが見られる。前者の書類原本については、明和六年(一七六九)の上杉鷹山の【初入部】と、旧来の木箱に収められた(口絵5ページ)、寛政六年(一七九四)の上杉顕孝の【葬儀】における事務連絡の書状類がまとまっている。なお、文政一〇年(一八二七)の上杉謙信二五〇年忌関係(No.0225、0227)については、便宜的に【葬儀】の項に収録した。

文芸・遊興 (五一点)

【目録】には、米沢藩の所有の書籍や刀剣、能・狂言で使用した諸道具の目録を配した。書籍の目録には、その増減や江戸から米沢への移動の記事などもみら

れる。^⑩

【漢詩】には鷹山、およびその実子顕孝の作品集、【和歌】には重定夫人豊姫の和歌や散文を収めた。能の興行や藩主の入湯、鷹狩などの記録は【遊興】としてまとめた。【馬術】は【諸家文書―武芸書】に収めるが、ここでは二代藩主斉憲が伝授された徒鞍流馬術書（No.1564、1566）を【馬術伝書】としてまとめた。受給者が上杉家の当主であることが明確なためである。

当主・家族 (一二点)

当主関連の日記(写しを含む)をはじめ、書状・著作などを便宜的に一括した。天正一四年(一五八六)の上杉景勝の上洛の日記(No.0565-01・1056)、三代藩主綱勝の上府の日記である「綱勝公御道中日記」(No.0263)、綱勝の寛文三年(一六六三)の動向を記した日記(No.0586)などをここに収めた。

改革に関わる鷹山の意見書(No.0178)やその姿勢に関する質問への回答(No.0741・1740)をはじめ、政務関連の史料の一部もここに収めた。第五代米沢新田藩主となる上杉勝道が、甥の勝心に送った新年の挨拶状(No.0392)も含まれる。

側方 (七点)

藩主の着衣などの管理に当たる御小納戸の任免や職務内容の先例集、上杉家奥付もしくは子息付きの家臣や一代藩主斉定の小姓、米沢新田藩家老の日記などを便宜的に収めた。

軍制 (二三九点)

ここには米沢藩の軍事行動に関する史料を収めた。過去の合戦などの先例や実際の出兵の記録、藩士の軍備の調査、江戸後期における出兵計画書などである。

軍制先例 (三三三点)

ここは米沢藩の軍制について、合戦や藩主の上洛、諸行事などの先例に関する史料を中心に収めた。

「御兵具所口伝書」(No.0867)五冊は、川中島合戦や会津勢遣などにおける

る軍事動員の状況や動員に当たっての武器の取り扱い、軍資金の用途の折衝の記録などを、御兵具頭の竹俣綱寛が安永五・六年(一七七六・七七)にまとめたものである。また、慶長一九年(一六一四)から翌年にわたった【大坂の陣】関連史料も、制作時期は区々だが、ここにまとめた。発布された軍令(No.0833)や藩士への貸付金の記録(No.0689)、冬の陣における上杉勢の動向(No.0876)など、実態を伝える史料がある。米沢藩の諜報部隊「伏嗅組」の大坂の陣での活動を記して、その結成を示した由緒書(No.0877)もここに収める。

【軍令・行列等】には藩主の外出時の隊列(No.0843)や鉄砲上覧(No.0845)の心得、その他の行列帳や軍令集などを収める。「上杉氏諸士掟書案」(No.0461)は、慶長五年(一六〇〇)九月三日付の直江兼統の山形出兵における軍令である。

武器改め (一一四点)

ここには米沢藩が調査してまとめた中級藩士以上の所有する武器・武器の書上げを収めた。明暦二年(一六五六)、寛政六年(一七九四)・同九年、文化八年(一八一)、天保二年(一八四二)、嘉永二年(一八四九)のものがある。江戸後期以降は外国船の来航や国内の政局による軍事的緊張の産物であろう。所属する組単位で作られている。また【旗指物馬験図】には「小旗之絵図」(No.0865)のように藩士の旗指物・馬験の図を集めた史料もここに収めた(口絵5ページ)。寛永八年(一六三二)、寛政六年、天保二年のものがある。

家中軍役人数 (二〇点)

ここには動員される軍勢数に関する史料を収めた。「具足紋等書上」(No.0862-01)は、下級藩士や足軽等の具足や被り物などの軍装の規定である。また、寛永八年(一六三一)の「軍役人数書上」(No.0862-02、09)は侍頭および各組ごとの動員数などをまとめている。「御記録所」印の押された文久二年(一八六二)に登坂高尚が筆写した「承応三年御軍役帳」写(No.0854)もここに収めた。

上洛 (二二点)

ここには江戸前期、二代藩主定勝の上洛関連史料をまとめた。幕末の斉憲や茂憲の上洛については【幕末維新时期―文久・元治年間/慶応元年〜三年】に収めた。定勝の上洛は元和九年(一六二三)、寛永三年(一六二六)、寛永一年の三度

に及ぶ。行列の記録 (No.0851・0858-101) のほか、供奉の藩士への支給金 (No.0259・1658)、輸送に使用した人馬の費用や宿賃 (No.0690)、在京中の交際・贈答の記録 (No.0261・0262) など、経費に関する史料が目立つ。「長大夫旧記」写 (No.1670) は、長尾家所蔵の寛永期の上洛の記録を、文久二年 (一八六二) 一月に登坂高尚が、上洛についての議論のために書写したことが記されている。

会津城請取 (一八二点)

寛永二〇年 (一六四三)、会津藩加藤家の改易に伴う会津若松城接收に関する史料である。派兵から帰陣までの記録 (No.0880)、軍勢の人数と内訳、条目など (No.0881・0884) の中には同時代とみられる史料も含まれ、勢遣の全容をまとめようとした意図が窺われる。

明和年間手配 (二二点)

これらは幕命による出兵を想定した軍事編成や体制再編を、米沢藩重臣が確認・検討した史料とみられる。おそらく先例をふまえた形で軍法や陣立て、軍勢の構成、派遣軍と留守勢の人事、軍旗の由緒などをまとめた明和三年 (一七六六) 三月一三日付の史料 (No.0836-101・05・0837・0855、主に縦帳) を収めた。これについては、対応関係は不明だがもう一組確認できる (No.0841, 0840, 0856, 0839, 0544, 0861, 0838、主に横帳)。また、翌四年九月付の史料は、近隣への出兵を想定したより具体的な体制の検討に関するものか (No.0836-106・07, 0885, 0893, 0894)。

海岸警備 (四一点)

ここには江戸後期の外国船来航や開国に伴う海岸警備に関する史料を収めた。

【文化年間】の「蝦夷松前役越後岩船郡役豫備」(No.0888) は三〇冊からなる、文化五年 (一八〇八) にまとめられたロシア船の来航に備えた蝦夷松前への派兵や、預地のあった越後岩船郡の海岸警備の計画書である。奥羽諸藩の蝦夷地派兵などの事態をふまえて作成された。これに伴って会津藩の蝦夷地派兵をめぐる史料も作成されている (No.0887・0892)。蝦夷地図 (No.1967) なども含め、米沢藩は蝦夷地に関する情報を会津藩から得ていた。

【嘉永年間】の「嘉永元年五月七日出張面附」(No.0850)・「嘉永元異船警備記」(No.0889) は、嘉永元年 (一八四八) 四・五月に日本海沿岸に外国船

が出現したことに對する対応の記録である。

嘉永六年の「御出馬押前御行列」(No.0844) は同年のアメリカのペリー、ロシアのプチャーチンらの来航をふまえたもの、「続異船警備記附文久三江戸警備 完」(No.0890) は越後に加えて江戸警備なども含まれており、開国をめぐる情勢への対応を受けて作成されたものとみられる。

家臣団統制 (三九四点)

ここには、上杉家家臣団の由緒や勤役、分限帳、諸役職の任免に関する記録や先例集などを収めた。後述の【藩政―御記録方】で編纂、管理されていた冊子類が多く含まれている。

先祖書・勤書 (二九一点)

先祖書・勤書は藩士が藩に対して、一定期間の父祖を含めた勤務状況について報告したものを、藩士の所属単位でまとめたものである。定勝以来を対象とした元文五年 (一七四〇) の先祖書 (No.0967)、元文五年以来の天明五年 (一七八五) の先祖書・勤書 (No.0968・0970)、天明五年以来の文化一四年 (一八一七) の先祖書 (No.0979)、文化一四年以来の弘化二年 (一八四五) の勤書 (No.0981) と、四度にわたって米沢藩で作成された。

【年代未詳等】には、明和六年 (一七六九) に作成された家臣団構成の一つ「組外御扶持方」の成立、変遷などの書き上げである「組外御扶持方由緒書古実書上申帳」(No.0970) や、上級家臣や藩医など、特定の家の由緒をまとめたもの (No.0969・0972・0974) などを収めた。

分限帳 (四九点)

分限帳は、上杉氏・米沢藩の家臣団のリストである。米沢藩で制作されるようになると、名前に所属・禄高などが記録されるようになる。ここには内容の時代順に編成した。「上杉文書」に収められるほかにも、逐一挙げないが、市立米沢図書館にも別の年次に制作された分限帳が所蔵されている。

はじめに【越後・会津時代】として、ここには戦国期以後の越後・会津時代の家臣団を収めたが、一部江戸前期までを対象とするものもある。そのほとんどが江戸後期の写本で、「御記録所」印が押されたものが三分の一に及ぶ。

「文禄三甲午歳定納員数目録上」(No.1087)は、所謂「文禄三年定納員数目録」で越後時代の景勝家臣団の基本史料として周知である。「越後分限帳」写(No.1085)は慶長二年(一五九七)の分限帳を基調に制作されたことが指摘されている。¹³⁾「上田士籍 附三扶持方新手明百挺」写(No.1082)は景勝の実家に当る上田長尾氏の家臣団リストである。

慶長五年(一六〇〇)の直江兼統家臣および配下の上杉氏家臣のリストが三点ある。「慶長五年直江支配」(No.1088)は、それとともに慶長九年(一六〇四)の中級家臣のリストも載せている。「慶長五直江支配分限帳」写(No.1089)は、No.1088の前半部分の写しである。「直江支配長井郡分限帳全」写(No.0944)も同様のリストで、江戸中期の写本である。

続けてまとめた【江戸前期】の内容を持つ分限帳は、いずれも後代の写本である。「分限帳」の名を冠するものは上級家臣の侍組以下、家臣団を広く対象としたものとみられる(No.0945・0948・0949・0951・0953)。一方で「差紙帳」とされるものは大小姓以下の一部を対象としている(No.0983・0984)。侍組に属した色部隆長の書写したNo.0951以外には、「御記録所」印が押されている。藩の公務として保管されたことが窺われる。また隆長は、家伝文書を「古案記録草案」(市立米沢図書館蔵)としてまとめ、戦国期の実態を示す「色部氏年中行事」(No.1040)を書写したことも知られる。

【江戸中期】は「延享二年 分限帳」二冊(No.0957)が全容を示すが、上巻のみのNo.0956がその正本とみられる。「家中分限帳」(No.0955)は享保一〇年(一七二五)に来訪した国目付に提出した分の控えとみられている。また「家中分限帳」(No.0965)は江戸後期におけるその写しとみられる。家臣団全体ではなく一部家臣のものがみられる。「御記録所」印がNo.0954・0956・0958・0986に捺されている。

【江戸後期】については、寛政九年(一七九七)・文化六年(一八〇九)・慶応元年(一八六五)のものが家臣団の全容を示すとみられる(No.0960・0961・0963)。「三輯一覽」(No.0523)・「文化十年帳 上」(No.0610)・「役人調書」(No.0962)のように藩士の序列や任免に関する記録も作られている。

【近代】には、幕末以来の軍制改革によって構築された新たな軍事編成を反映した明治二年(一八六九)の分限帳(No.0964)が作成されている。また桜幸盛の作成による与板組の分限帳(No.0966)が含まれる。

諸役任免一覽 (七三三点)

御記録方(後に御記録所)が編纂した、藩内の主要な役職の歴代補任者一覽である。次項に収めた先例集の一種だが、点数が多く特徴的なため、別に立項した。

「御役成勤式」(No.0522)は宝暦年間(一七五〇年代)までの記載で、役職就任時「御役成」の儀式に加え、職掌が比較的詳しく記載されている。「代徭集」¹⁴⁾(No.0515)は横半帳で各職の見出し索引があり、一部は幕末期まで記載がある。「御役成勤式」に比べて記載範囲はより下級の役人の一部を含む。

「紹襲録」(No.0519)は役職ごとの概要と変遷、役職の就任者とその前職・後職、就任期間、禄高などが記されている。嘉永六年(一八五三)に完成し、その後は明治初期まで追記されている。

先例 (六六六点)

家臣団の隠居・家督、婚姻などに関する先例集と、先例に関する疑義照会などの関連記録を収めた。【済口】は史料用語で、明確な定義づけは現状では困難だが、事務処理の結果を示すと考えられる。「済口手引」「済口簡明」「済口雜例」といった表題で、何度か先例集の編纂が行われたことがわかる。表紙などに「物書所」の記載が見られ、奉行付物書の作成であろう。

【五匹・六義】は、御記録所で作成された先例集で、文化二年(一八〇五)以降分がまとまって伝来する。このほかに、物書所や御記録所、個人などが作成した様々な先例集があり、【手控】として一括した。

江戸番転 (二二一点)

【江戸番転】は、藩士が江戸藩邸での勤番(番手)を勤めることをいう。中級藩士に関して、江戸番転の交代を記した名簿類である。

俸禄・手当 (四二点)

家臣への俸禄の付与や加増、賞与に関する文書四点を収めた。

藩政 (五七八点)

藩庁(役所)の文書と、藩士が職務に伴い作成、授受した文書を収めた。基本的には職制と職掌によって、上位から下位、家政に準じる職務から行政や周縁的

な職務の順で編成した。編成と以下の解説については、「御役成動式」(No.052 2)と、馬場頼綱編「遺穂集」¹⁵⁾に基づき、江戸時代中期から後期の職制と職掌を考慮し、以下の解説に反映した。¹⁶⁾

御日帳 (一九点)

御日帳は藩の公式日記として、御右筆所の御日帳方で作成された。主な記載内容は、儀礼や他所出といった藩主の行動、家臣からの献上などに加え、在府中であれば幕府との交渉や、諸大名との交際などである。原本のほか、写や御日帳の【目録】を含む。なお、明治元年分以降は家臣に関する記載が増えるなど記載内容に変化があるため、【幕末維新时期—明治元年—編纂物】に収めた。

奉行 (二〇一点)

奉行は他藩の国家老に相当し、江戸時代初期以外は基本的に三名で、藩政全体を統括した。下僚として役所役や奉行付物書が実務を担った。元来は奉行経験者の各家に伝来した文書と考えられ、宝暦年間の長尾景風の日帳(日記)や、宝暦から安永期の奉行と重臣間の状留、同時期の千坂高敦宛の上杉勝承書状が比較的主とまっている。慶長期の直江兼統の書状留を含む。国許の奉行と江戸家老間の用状留、日記、寄合記録などは、参加者のうち上位者、または受給者や作成者に基づいて編成した。

史料の名称と機能、主題に応じて、【日帳類】、【状留】、【触状留】、【寛政改革】、【千坂家宛書状】、そのほかの【書状類】からなる。なお、奉行は金銭の出納や借入にも関わったが、この関連史料は後述の【藩政—勘定関係】に収めた。

江戸家老 (六二点)

江戸家老は当初は一人で定府であったが、享保四年(一七一九)以降は二名となり、四年または二年詰め交代制となった。江戸時代前期の江戸家老・千坂高治に宛てた上杉定勝と綱勝の書状が五六通と、大部分を占める。江戸家老の下僚が作成したと考えられるため、【日記類】として江戸藩邸の略日記二冊と、桜田邸の役所の日記一冊を収めた。

城代・侍頭・役屋将 (九点)

上級藩士である侍組から任命された重職の関連文書を便宜的に一括した。城代は一名で、米沢城本丸にあった御堂をはじめ、城内の取り締まりにあたった。侍

頭は番方の役職であり、侍組(侍衆ともいう、一〇〇家弱)を五つの組に分け、一組(一隊)ごとの大将を指す。役屋将は領内の支城(役屋)の城代である。

中之間 (二八一点)

米沢城本丸御殿の中之間は、最上位の座敷である表御座の間の手前に位置する、表向きの座敷を指す。中之間年寄は六人おり、六人年寄、六老とも呼ばれ、この座敷に詰めた。その職掌は奉行のもとで政事にあたり、家中の惣横目と、「御不断御勝手向」(財政)の「総元締」、役職任命時の候補者の入札も担った。中之間年寄の公務日記「中之間日帳」を中心に、中之間詰の中級藩士を束ねた番頭の日記も便宜的に一括した。

御右筆所 (二二点)

御右筆所は中之間に隣接した一面にあり、藩主書状の作成や文書の管理、先例の調査にあたった。筆頭のもと、吟味方、日帳方、御記録方(次項を参照)といった部局がおかれた。文化・安政期の日記九冊などが伝来する。

御記録方 (七七一点)

御記録方は、「歴代年譜」をはじめ、諸記録の編纂と先例調査、重要文書の保管にあたった部署である。上杉鷹山による藩政改革にも深く関与し、安永七年(一七七八)には、御右筆所の一部局から独立し、「御記録所」として専用の執務空間が与えられた。【日記類】をはじめ、上杉家の系図や鷹山時代の藩政改革に関わる【意見書・答書類】、そのほかの【手控】がある。

なお、御記録所が収集、編纂した記録や、そこで保管されていたと考えられる書類はほかにも数多くあり、「上杉文書」の中核をなしている。先行研究や「御記録所」の蔵書印、御記録方の寺島貞経の識語などが判断の手掛かりなる。特に【上杉家—古文書集/歴代年譜/先例集】の編纂、【家臣団統制—先祖書・勤書/分限帳/諸役任免一覽/先例】の清書や編纂、【法制】の法令集の編纂と書写を担い、【法制—御呵御免】においても主要な役割を果たした。

絵図方 (三二点)

絵図の作成部局であり、岩瀬家が担った時期が多い。絵図の目録二冊と、絵図の調整に関する文書が含まれる。【上杉家—幕府—巡見使・国目付】にも関連史料がある。第四分冊絵図編も参照。

郷村関係 (六二点)

郷村支配に関わる、郡代、郡奉行、代官、郷村出役関係の史料を収めた。一点ごとに出所や役職を究明することは困難であり、主題別に編成した。なお、「郷村手引」(No.0460)は全文が翻刻されている。¹⁵⁾【貢租】は、江戸時代前期の内容を多く含む。【訴訟】は主に享保一二年(一七二七)の、米売払の輸送方法をめぐる赤湯村問屋と、砂塚村、高梨村などが代官所に訴えた一件書類を貼り継いだもの、【免許百姓】は、由緒や、村役人勤、献金などの功績により特権を認められた百姓の由緒書である。【手控】には、林政を含めそのほかの史料を便宜的に一括した。

御預所 (七一点)

寛文四年(一六六四)の半知により、屋代郷は幕府領となったが、その支配は幕府から米沢藩に任され、預地となった。米沢藩の預地は、元禄二年(一六八九)から寛保二年(一七四二)の中断を経て、文久三年(一八六三)に私領同様扱いとなるまで継続した。御預所役所が置かれ、御預所奉行以下の支配機構があった。

本項の史料は、元禄二年の【御預所廃止】に伴う、幕府領と米沢藩領との飛地に関する諸貢租の調整や地替に関する帳面と村方の願書が六一点とまとまっている。御預所代官・室高六右衛門や舟田善右衛門のほか、藩領側の代官・小嶋次左衛門も関わって調整は進められた。絵図編の「預所絵図」もあわせてご参照いただきたい。その他は、【幕藩関係】に収めた。

なお、幕末期の屋代郷騒動関係は、後述の【幕末維新时期―文久・元治年間】に一括した他、【諸家文書―斉藤家】にも関連史料が含まれる。また【諸家文書―村方/貼継・貼込】には、屋代郷の村方文書が多数伝来する。

町奉行 (一七一点)

正徳四年(一七一四)編纂の町奉行所の先例集「当官記事」(No.0525)一三冊が大部分を占める。

勘定関係 (二二点)

金銭の出納や借入といった勘定方(勘定奉行)扱いの業務関連の文書を収めた。享保年間に奉行中條清資の量(担当)により進められた御貯金一件の関連史料が七点とまとまっている。勘定方の業務外だが、点数が少ないため、借金関係や青苧取引などに関与する京都屋敷関係と、現金出納にあたる御金蔵関係もここに収

めた。

寺社・宗門関係 (一五一点)

寺社奉行と宗門奉行の関連で、両職は兼帯の場合も多かったため統合した。【寺社】には、安政二年(一八五七)の亀岡村大聖寺の昇進一件の文書四点、【宗門改】には領内の総人口を記した元禄期の「宗門改人数目録」(No.0664)六点がある。

藩校 (四一点)

藩校興譲館について、上杉鷹山のもとで設置(再興)された際の記録と、行事関連がわずかに伝来している。

意見書 (一六一点)

鷹山時代の重臣・竹俣当綱と莅戸善政による意見書の写本をはじめ、米俣安定や備前に関する近世後期のものが多い。

孝子褒賞 (五四一点)

領内の善行者に対する褒賞関係で、「孝子伝」(No.0757・0763ほか)四二冊と、【幕府へ書上】、状ものの【申渡書】に編成した。

森平右衛門一件 (一五一点)

宝暦一三年(一七六三)、森平右衛門利真が藩政を専断した罪に問われ、竹俣当綱により殺害された事件の関連史料である。「宝暦文書」として二巻の卷子に貼り継がれた書状類(口絵7ページ参照)は、ほとんどが『山形県史資料編一六近世史料一』に翻刻されている。ほかに、同事件に関する編纂物の二冊を含む。

法制 (五二七一点)

江戸時代中期以降に編纂された法令集と判例集を中心に、裁判の結果を記した裁許状とその編纂物、赦免や減刑に関する帳面類が大部分を占める。ほとんどが、奉行のもとで先例調査にあたった御役所(役所役)と、御記録方で作成、編纂された史料である。

幕法 (一六二点)

幕府法に関する法令集を収めた。「將軍家令條」(No.0432~0435)は、「記室要録」(No.0549)によれば、明和七年(一七七〇)に御記録方が清書を命じられ、翌年に完成し奉行詰の間に置かれた。本書は以後も書き継がれたものであろう。「憲法部類」(No.0437)は、享保元年(一七一六)から安永五年(一七七六)までの幕府法令を石野広中が一〇巻に編集したものである。上記以外の法令や触達の留は【触達留】として便宜的に一括した。

藩法 (一七四点)

「御代々御式目」は歴代藩主ごとに編纂された法令集で、複数組が伝来する。¹⁹⁾「大令策」(No.0457)は、大部分に国分威胤の蔵書である旨の記載や、国分家歴代の役職などが補記されており、国分家旧蔵の私的な編纂物であろう。

【条目】は、藩主名または奉行連署により出された箇条書きの法令・規則で、江戸時代前期のものが多い。【触状・触留】は、主に藩内の触達とその手控えで、冊子体のものを先に掲出した。

判例集 (九〇点)

判例を罪科ごとに分類した編纂物である。「御阿附引合」(No.0496)一〇冊は、寛永二年(一六三三)以降の判例が収録されている。天明三年(一七八三)に成立し、文化二四年(二八一七)まで追記がある。「中典類聚」(No.0483)六六冊は、寛政三年(一七九二)から天保八年(一八三七)までの判例を収録し、²⁰⁾「御裁許鈔」(No.0487)七冊は、天保三年から慶応三年(一八六七)までを対象とする。

「博奕鈔」(No.0513)は、寛政四年(一七九二)から安政二年(一八五五)まで、年代ごとの博打の摘発事件について収録する。他にNo.0486があり、一冊だけのため便宜的に一括した。

裁許 (三九点)

刑事裁判の判決を記した裁許書の留書や写しで、御記録方に伝来した書類が中心となっている。「御濟口留」(No.0495~01~04)は文化三~文政元年(一八〇六~一八)の御記録方による裁許書の控えで、その写が多数挟み込まれている。「御裁許留」(No.0495~05~16)も同様の史料で、文政元年(一八一八)以降が伝来する。表題が異なるものの、一連の記録であろう。【裁許書】は、

状ものの原本または控えである。

御阿御免 (一六二点)

改易や欠所、領内外の追放、閉門や遠慮、慎といった刑罰に処された場合、当人または子孫が、ある程度の期間を経て赦免または減刑されることがあり、これを史料上、「御阿御免」と称した。「御阿御免」は、上杉謙信の命日に関連する毎年三月や、上杉家の慶事にあわせて行われた。奉行のもとで実務を担った御役所と、先例や該当者の調査などにあたった御記録方が作成した文書が大部分を占める。以下、史料用語と内容を勘案し、項目を設定した。

【先例集】は、寛政元年(一七八九)から天保二年(一八三一)頃の先例を罪科別に分類した「阿御免者早引」(No.0510)などがある。

【御免伺】は、「御阿御免」の対象者を選定する段階の文書のように、御記録方と御役所の両系統の分が伝来する。毎年一冊の場合が多いものの、複数年を一括する場合(No.1007~06~09)もある。史料は年代順に配列した。

【御免掛】については未詳な点も多いが、御阿(処罰)の対象者のうち、減刑や赦免の対象となることを意味する語のようである。先例をまとめた【御免掛事例】のうち、「御阿者御免懸」(No.0497)は、御記録方の片山紀兵衛が、「御免掛」の先例調査の効率化のため、天明三年(一七八三)に編纂した身分格式別の先例集である。「御阿御免懸者書拔帳」(No.1003)は、宝暦六年(一七五六)以降の事例が判明する。【書上】は、主に御役所で作成された関連書類を収めた。【御免申渡】は、「御阿御免」の実行段階の申渡書の下書等で、当番の奉行の量(担当)であった。

幕末維新时期 (一、四七九点)

基本的に文久元年(一八六一)以降の史料を収めた。重臣間の書状類の原本と、文久上洛や戊辰戦争など重要な出来事に関する編纂物が多い。一括関係などにより、それ以前(嘉永~安政年間)の史料が数点含まれる。

なお、一連の史料の場合は、年代で分断することはせず、藩政、法制などに一括して収めた。幕末維新时期の史料は、後述の【伊佐早謙関係―合綴史料集】や、【諸家文書―斉藤家】にも多数含まれる。

文久・元治年間 (二二三点)

文久年間に入ると、米沢藩は幕末の全国的な情勢の変化に大きく関わることになる。【文久上洛】では、文久三年(一八六三)、將軍徳川家茂に供奉して上杉斉憲が上洛した関係で、当時の書類を編纂した「御上洛量帳」(No.0270)四五冊をはじめ、御日帳や重臣の【日記類】、近代に編纂された「礪山公上洛記」(No.0268)からなる。

【屋代郷】は、幕府からの預地であった同郷が、文久三年に上杉家の私領同様扱いが認められた際、村方が仙台藩に撤回を訴え出た騒動の関連史料である。恐らく伊佐早謙のもとで貼り継がれ、「文久三年屋代郷事件 蟻斧」乾坤の二巻(No.0826)として伝来した。なお、屋代郷の村方文書については、後述の【諸家文書―村方―屋代郷等】も参照いただきたい。

【貼込帳】(口絵7〜9ページ、解体については41ページ解題参照)のうち、No.1189とNo.1533はいずれも無題で、老中奉書の封紙を台紙にした貼込帳となっている(以下、貼り込まれていた書状類について述べる)。No.1189は安政三年(一八五六)から慶応二年(一八六六)、No.1533は嘉永六年(一八五三)から元治元年(一八六四)の書状などである。いずれも、文久・元治年間の主に江戸と米沢の重臣間の書状が多く重要な史料だが、マイクロフィルム版には未収録で、今回の調査により初めて目録が公表された。そのほか、【手控】には同時期の冊子体の史料を、【書状類】には状ものを便宜的に一括した。

慶応元年〜三年 (三六六点)

ほとんどが慶応二年(一八六六)に世子茂憲が藩主斉憲の名代として上洛した際の関連史料である。「茂憲公御名代御上洛記」(No.0276)のほか、形態に応じて、冊子体は【日記・諸記録】、状ものは【書状類】として編成した。

明治元年 (九〇二点)

明治元年(一八六八)の、大部分が戊辰戦争に関する史料である。なお、改元は慶応四年九月八日だが、本目録では基本的に明治元年に表記を統一した(史料原本の記載を転記した場合を除く)。同じ書状類であっても、史料の伝来した形態に応じて、状ものと【貼継・貼込】に分かれるため、利用に際しては留意して頂きたい。

状ものは、米沢藩の政治的な立場の変化を考慮しつつ、便宜的に以下の通りに区分した。奥羽における戊辰戦争の開戦以前の【二月〜四月】、奥羽(越)列藩

同盟の結成と、同盟側で戦った【閏四月〜八月】、新政府への降伏後の【九月〜十二月】である。なお、第三項目以下については、史料番号順に配列した。全史料を月日順に配列し直すことは、困難なためである。

【貼継・貼込】は、伊佐早謙が与えたとしき外題に従い、「戊辰文書」(No.1330)、「残存戊辰文書」(No.1346)、「残存戊辰文書統集」(No.1345)、「外題無し」に区分した。重要な文書は、前段の状ものよりも【貼継・貼込】に多く含まれる。伊佐早謙による選別の結果と考えられ、主な文書は『米沢藩戊辰文書』として刊行されている²¹⁾。

【日記・手控】は日記のほか、京都藩邸からの報告書類などを含む。

【戊辰戦争時軍制】は、マイクロフィルム版の目録にあわせて別に立項した。陣中での命令、指令類、法度や心得、各地の人数配置などである。

【編纂物】は、明治元年の戊辰戦争期を主題としたもので、編纂の完了は明治二年以降と思われる。【御日帳】と【東京御帳】は明治二年以降を含み、抜粋して活字化されている²²⁾。「機事叢録」(No.1352)は米沢に届いた重要書類を発信地別にまとめたもので、「奉行詰之間」印があり、明治初期の編纂であろう。「戊辰軍記」(No.1338)は、国会図書館所蔵の写本によれば、軍事編纂方により明治四年に完成した。稿本や関係すると思われる書類を続いて配列した。

【戊辰事情等】は、類似の表題のものを便宜的に一括しており、各史料の成立事情や編纂者を考慮して編成したものではない。

【上杉史料】は堀尾重興や甘粕継成などの日記の写本で、「本郷上杉氏」の野紙を使用している。近代上杉家における年譜編纂事業の一環であろう。慶応二年(一八六六)の上洛に関する、堀尾重興の「御上洛日記」(No.0626)が八冊含まれる。以上の編纂物については、後述の【伊佐早謙関係―編纂書】との関連性が考えられる。

明治二年〜四年 (二九二点)

明治二年から明治四年六月の廃藩置県までの文書を、年ごとに分けて編成した上で、基本的に史料番号順に配列した。【明治二年】分は二二四点と最も多く、米沢と東京、会津間の書状や意見書、報告書などがある。【明治三年】と【明治四年】については、点数が限られ、新政府からの通達や、新政府宛の伺、藩内での通達といった公的書類の控が中心となっている。

廃藩置県以降 (二七点)

明治四年の廃藩置県以降、大正期までの史料を含めて便宜的に一括した。廃藩以降の史料が極めて限定的である点は、本史料群の特徴と言えよう。廃藩置県により成立した【米沢県・置賜県】の書類は二点に過ぎない。

【上杉伯爵家】は、旧藩時代の藩士からの借米関係の清算や、上杉家内部の法規としての家範関係などの書類である。辰戦争以降の戦没者祭祀の史料についても、実施・編纂主体に関わらず、便宜的にここに一括した。

【米沢義社】は、廃藩置県に際し、当主茂憲が米沢の士族に下賜した一七万両余の資産の管理、運用のために結成された、相互扶助組織である。関連する資金の勘定帳と、米沢製糸場の設置資金を巡る売切騒動関連の帳簿や記録がわずかに伝来する。

伊佐早謙関係 (一、五一七点)

伊佐早謙(一八五八～一九三〇)の編著書や、編纂や収集した史料集、史料採訪の記録などを一括した。マイクロフィルム版の目録では、X其他の1伊佐早謙氏編纂物に収録されていた史料が中心である。

伊佐早は、上杉家における歴史編纂とは別に、大正四年(一九一五)刊行の『編年西村山郡史』の監修をはじめ、大正九年の『山形県史』の編纂主任を務めるなど、自治体史の編纂に従事、協力した。大正二年には米沢市史の編纂も委嘱されたものの、同六年の米沢大火により原稿類が類焼し、出版は実現しなかった。本項の史料は伊佐早の調査研究や史料収集、自治体史等とのかかわりを如実に反映している。

以下、本項目には、伊佐早の名前が明記されているものや、ほかの史料で彼の関与が判明した史料に加え、題名などに伊佐早の号である「読史堂」や「樞軒」が含まれるものも収めた。

なお、伊佐早の収集や筆写、編纂した史料であっても、本項以外に収めた文書がある。例えば、上杉家の葬儀に関する記録(No.0232)を、伊佐早が後年に収集した場合は、江戸時代段階の主題を重視し【上杉家―儀礼・儀式―葬儀】に収めた。伊佐早の収集や筆写などに関する情報については、備考欄に記した。

編著書 (一五一点)

伊佐早の編著書、または上杉氏編纂所で編纂された成果物であることが一定程度、明確なものを収めた。但し、史料集については、次項に分けた。

【上杉家記】は上杉憲房から四代藩主綱憲までの年譜(No.0043・0044)と、明治三一年時点の【稿本】(No.0045、口絵10ページ)がある。後者には「上杉氏編纂所」の原稿用紙を使用しており、上杉家からの委嘱業務として伊佐早が編纂にあたったことがわかる。「戊辰紀事」(No.1337・1334)は、上杉家に納められたのは昭和三年(一九二八)だが、昭和元年刊行の『編年西村山郡史』の典拠史料に挙げられており、同年には成立していたことが判明する。

【伝記】は、上杉謙信、景勝、鷹山に関するもので、「鷹山公実録稿」(No.0074)が明治一九年(一八八六)と最も早く成立している。

「米沢文伝」(No.1664)は、歴代米沢藩主と、直江兼続や雲井龍雄といった藩士の漢詩集である。【論考等】は、論文二点と、米沢市史の草稿「自著雑稿」(No.1495)三冊と講義録からなる。

編纂史料集 (一三六一点)

伊佐早のもとで採録され、一定の意図や秩序をもって編集し、史料を書写、配列した史料集を収めた。史料を書写した冊子で、原本はほぼ含まれない。中世から近世、近代へと、主に収録史料の時代順に配列した。

「編年文書」五一冊(No.1488～1491)は、仁平三年(一一五三)から安永二年(一七七三)まで、史料番号順ではなく、巻数(収録年代)順に配列した。大正九年刊行の旧版『山形県史』では「編年文書」を典拠とする記事が多数確認できる。

「奥羽文書纂」(No.1440～1442)の統と別集を含め三〇冊については、主に中世文書が収録されている。伊佐早の編纂か否かは、判然としない。しかし、一部に「上杉氏編纂所」の原稿用紙を用いており、その可能性が高いと考えられる。明治三三年の伊佐早編「置賜史」(山形大学中央図書館蔵)では、「奥羽文書纂」を典拠史料として記載している。

「読史堂史料」(No.1471)二〇冊は、一部に「米沢市史編纂用紙」を使用する。ほとんどが江戸時代の史料の写本で、後半は米沢・最上・庄内と山形県内の地域別に分類されている。『米沢市史』や『山形県史』の編纂業務との関連性が指摘できよう。

「読史余纂」(No.1486)一〇冊は、上杉、奥羽関連の中世文書を楷書で書

写したもので、越後や東北各地の所蔵者や出典の記載がある。うち六冊には「史料雑纂」の内題がある。巻九の末尾に明治一三年八月に伊佐早謙が書写した旨の記載があり、伊佐早による写本と判明する。

「史料」(No.1487)一三冊は、江戸時代中期から明治初期の記録類の写で、「米沢市史編纂用紙」を用いたものが多く、同市史編纂事業の一環であろう。

合綴史料集 (一、一一九点)

史料の原本や写本、伊佐早編著の原稿類などの冊子類を合綴し、表紙を付したものを収めた。合綴史料集の表紙と、合綴されている史料のうち原本については、一点として採録した。マイクロフィルム版目録では外題のみの採録であったが、今回の調査により、どのような史料が収められているか、初めて詳細が明らかになった。藩政や幕末維新期に関する史料の原本も多く含まれるため、利用に際しては、本項の史料にも目配りをしていただきたい。

「鶏肋前集」(No.1455)二三冊は、主に安永元年(一七七二)から天保年間(一八三〇年代)までの冊子体の原本がほとんどで、上杉家の家政と米沢藩の藩政に関する文書類が中心である。

「鶏肋後集」(No.1456)三八冊は、主に文久二年(一八六二)から明治二年(一八六九)までで、こちらも原本が中心となっている。年ごとの記事をまとめた冊子(〇〇年記事として採録)が散見され、斉憲の年譜編纂事業との関連性が考えられる。

「鶏肋集」(No.1457)二三冊は、江戸後期の書類や、大正一〇年代までの伊佐早宛ての書簡や書類などの原本が中心である。明治中期以降の書類が多く、「鶏肋前集」、「鶏肋後集」よりも後に編綴されたと考えられる。

「縦軒秘笈」(No.1464、1470)一九冊は、主に江戸中期から明治初期の諸記録で、原本と写本が混在している。他の合綴史料集に比べて、米沢・置賜以外の東北地方に関する史料が多く含まれる。

「読史堂叢書」(No.1472、1494)は一三〇冊と最も冊数が多く、主に寛政年間から明治初期までの諸記録で、原本と近代の写本が混在する。また、大正期から昭和初期にかけて、伊佐早のもとに集積した書類の原本がある。写本は「上杉氏編纂所」や「米沢市史編纂用紙」の原稿用紙を用いたものが含まれる。

「縦軒雑集」(No.1494)三冊は、ほとんどが写本と、大正期から昭和初期の伊佐早謙宛の葉書、書簡類の原本である。写本の内容は、主に安土桃山時代から幕末期にかけて、上杉家、米沢藩関係が中心となっている。

「匯纂」(No.1450)一三冊の中身は、江戸中期から明治四年まで、米沢藩関係の雑多な記録類の原本がほとんどである。「匯纂」に関しては、伊佐早が収集、編纂にあたった痕跡(書き込みや原稿用紙など)が確認できず、彼による史料集か否かは検討の余地があるが、便宜的にここに収めた。表紙題には巻一〜一六までであるが、巻三、四、一四を欠く。史料番号順ではなく、表紙記載の巻順に配列した。【文書集】には、その他の合綴の史料集を便宜的に一括した。

斉憲年譜編纂 (二〇点)

明治二四年(一八九一)から同三一年(一八九八)まで、上杉斉憲の年譜編纂が行われた際の編纂局の日誌七冊である。伊佐早は編纂局の主務を務め、御手伝として立岩則親が参加した。編纂業務のほか、関連史料の書写や書籍の購入、上杉家関係の書画や宝物類などの調査も行った様子が判明する。

史料探訪 (二八点)

主に明治三〇年代に伊佐早が山形県内はじめ東北各地と、北陸、関東などの史料所蔵者を訪ね、採録した【古文書集】二一点と【探訪目録】七冊からなる。

筆写史料 (四六点)

伊佐早が筆写または校閲したことが明確な、単一または一群の史料の写本を便宜的に一括した。なお、全点の筆跡の確認、判断は困難であり、同様の写本は「西條夜交江口安部系図」写(No.0919)など、他の項目にも散見される。

暦 (二七点)

「読史堂存暦」(No.1483)の外題を付した、宝永二年(一七〇五)から明治元年(一八六七)の木版の伊勢暦である。

典籍 (五八八点)

上杉家と家臣団、米沢琉球関係の内容の史料は、本史料群の特徴を示すため、別に項目を立てた。また、系図は点数が多いため、一枚刷りの見立て番付類と暦は形態が異なるため、特徴的な史料として立項した。そのほかについては、『国書総目録』分類表により、主題に基づいて編成した。

上杉家 (二七点)

米沢藩内で編纂された主なものは既述の【上杉家―編纂物】に収め、本項には一般に流布した【軍記】と家譜を含む【伝記】の類を収めた。

家臣団 (二二点)

上杉家家臣や近代の米沢士族の編著書、家臣団に関する伝記、系図などを収めた。家臣団の【編著書】として、【笹戸善政】による教訓書の写本類や【藩政―意見書】も参照)、【年表・参考書】、和歌や漢詩といった【文芸他】がある。【武門要鑑抄関連】は、越後流の兵学に関する安永二年(一七七三)成立の滋野正相【参考 要門管窺抄】関連がまとまっている。【伝記】には、家譜や略系譜の類も収めた。

【系図】に関しては、上杉氏家臣のものを本項にまとめ、内容題に所属する組や家格、記載範囲を採録した。それぞれの成立時期や、編纂の意図、藩による系図編纂の有無などについては、今後の課題である。

米沢関係 (三六点)

米沢藩政の記録や、上杉鷹山の師匠の一人である細井平洲の著作などをまとめた。【一般】的な書物のほか、【赤穂事件】関係は、特に米沢藩に關係する重大事件のため、ここに収めた。

系図 (四二点)

上杉家とその家臣団を除く、他の大名家などの系図類を収めた。主に徳川家に關する【將軍家】と、旗本、他藩重臣などを含む【他大名家等】、複数の家に関する【系図集】に区分した。

総記・学問・文学、仏教、歴史、政治・法制・経済、教育、曆、芸術・諸芸、武学・武術に関しては、上述の通り『国書総目録』の「分類」項目表にそって立項し、区分した。史料点数に応じて、適宜、類似の項目は統合した。なお、武学・武術のうち、【兵学】に関して、伝授を伴う目録・伝書類(主に卷子本)については、後述の【諸家文書―武芸書】に収めた。

琉球 (五点)

本史料群の特徴の一つを示すものであり、特に立項した。大正一三年、伊佐早

謙は沖縄県令を務めた上杉茂憲の年譜編纂業務の一環として、沖縄を訪れ、史料の収集に努めており、その成果物と考えられる。

漢籍 (四点)

「上杉文書」中の漢籍は、「范文正公集」の写本(No.1726、1730)四冊だけである。漢籍の少なさは本史料群の特徴と言えよう。

一枚刷 (五二点)

主に木版一枚刷の番付や絵図などを貼り継いだもの三巻分で、貼紙の記載や「林泉文庫」の蔵書印から、伊佐早謙が収集したものと推定される。大部分が江戸時代後期の見立て番付である。「諸番附類」天・地(No.1756)の一部は、裏に文書を補強紙として使用している。

諸家文書 (八八五点)

米沢藩士の家や、領内外の有力町人や村方役人の家などから、主に近代になって流入した可能性が高い史料について、出所(伝来した家)が明確な場合は家分けとした。そのほかは武家や町方、村方の別、主題や伝来した形態に応じて編成した。

色部家 (六四点)

色部氏は、平姓秩父氏の一族で、鎌倉初期に越後國小泉庄色部条に地頭職を得た領主で、戦国期には越後の有力国衆であった。謙信・景勝期に上杉氏の家中に編成され、上杉氏の会津、米沢への移封に従い、米沢藩では上級家臣の侍組に位置付けられた。ここにはその色部家関連史料を収めた。

「色部文書」五巻(No.1063、口絵10ページ)は、建長年間から永禄年間の文書を収め、『新潟県史 資料編4 中世二』に翻刻されている。「色部氏年中行事 永禄年中全」(No.1040)は、戦国期の色部氏の年中行事を記す故実書で、宝暦年間(一七五一―一七四四)の写本とみられる。色部氏の文書は、新潟県立歴史博物館が収蔵する重要文化財「越後文書宝翰集」、米沢市上杉博物館収蔵の「色部氏古文書集」のほか、各所に散在している。

毛利安田家 (一二四点)

毛利安田氏は、鎌倉時代に越後佐橋庄に入部した毛利氏が、南北朝期に獲得した隣接する鶴河庄安田条を領した庶子憲朝に始まる。一五世紀後半には越後守護上杉氏の政権に参加し、以後長尾上杉氏とも密接な関係を維持した。上杉景勝の移封に伴って米沢へ移り、侍組に編成された。江戸時代前期は安田氏、明和八年(一七七二)以降は本姓の毛利氏を称した。ここには、その毛利安田家当主宛の藩主からの書状(藩主御内書)を収めた。

四代綱憲から一二代斉憲までの藩主から、清元から業広までの毛利安田家当主に宛てられている。内容はほとんどが年頭祝儀太刀一腰の贈答への礼状で、ほかに藩主の家督、入部の祝儀への礼状が若干ある。これらは【幕末維新时期—明治元年】の「残存戊辰文書」、「残存戊辰文書続集」の貼込帳の台紙として使われているものである。今回の整理事業で解体し、ほとんどが毛利安田家当主宛であることから「毛利安田家文書」としてまとめた。なお、典籍や絵図の一部(No.1860、1889)などにも、同家旧蔵と思われる史料が含まれる。

斉藤家 (一五五点)

斉藤家は侍組に属した上級藩士である。糠野目役屋将や戊辰戦争時の参謀を務めた斉藤篤信の関係史料が大部分を占め、その先代庸信の日記類を含む。維新後、篤信は教部省に出仕し、旧米沢城下の第一〇大区の区長、初代の山形県師範学校長、文部省御用係や学習院教授補などを歴任した。幕末期は達書が、明治期に入ると「維新手翰集」(No.1380)として卷子装に仕立てられた書簡類が多い。

なお、先述の【伊佐早謙関係—合綴史料集】のうち、「鶏肋後集」「鶏肋集」「樞軒秘笈」「読史堂叢書」には、篤信の旧蔵文書が散在しており、全体で三〇点以上となる。斉藤が校長を務めた山形師範学校では、伊佐早謙も教鞭を執っていた。両者の交流を通じて、斉藤家から伊佐早に史料が譲渡されたと考えられる。

武家 (五三二点)

元来は主に米沢藩士の家に伝来したと思われる史料を中心に、その他の武家旧蔵と思われる文書を含め便宜的に一括した。日記のほか、中世文書の写(No.1079は原本)、書状類、漢詩文などが含まれる。

武芸書 (六五二点)

ここには【剣術・弓術】【兵学・砲術】【馬術】【馬医術】に関する史料を収めた。

大部分が武家文書と考えられるものの、点数が多いため別に立項した。

剣術は三点が伝わり、そのうちの二つ登坂安之丞宛友光「長刀目録」(No.1570)は卜伝末期流の伝書であり、この流派は景勝以下の藩主も学んだ流派である。²⁷⁾「日置流弓目録」(No.1571-101)の日置流は米沢藩が導入した弓術流派の一つである。

馬術書は黒川氏が許された八條流(No.1563)、色部光長の人見流(No.1567)の伝書がある。後者は慶長一八年(一六一三)に創始者人見宗次が米沢を訪れた際に伝授され、同じく平林正恒にも与えられている。この時、宗次は米沢城二の丸に馬場を設営している。人見流は米沢藩に導入された。米沢藩では徒鞍流馬術も導入され、一二代藩主斉憲への伝書も「上杉文書」に伝わる(【上杉家—文芸・遊興】参照)。「馬医術」は桑島流が多く収められている。米沢藩で馬の管理を行った御厩方の人事からは、複数の馬術の流派が確認できる。

岩間家 (一五一点)

米沢城下大町の商人で、質屋を本業とした岩間勘三郎家の旧蔵文書がまとまって伝来し、江戸時代中期の証書類が多い。藩への上納金に関する【献金受領書】によれば、御手伝普請や江戸屋敷の類焼などに際し、岩間家は度々、数十両から一〇〇両ほどを上納しており、その財力が窺われる。

その他は冊子を含め【証文等】として一括して編成した。これらの文書から、岩間家が福島や江戸、大坂まで範囲を広げ、古手などの船荷や為替の取引にかかわったことが判明する。複数の証書類を貼り継いで卷子状にし、貼紙で「古証文」の外題を付したものがほとんどを占める。これは後述の通り、伊佐早謙による収集、整理とみられる。

町方 (二二点)

ほとんどが藩への御用金関係の文書で、出所としては、大町の検断・寺島半七家や、同町の質屋・遠藤権兵衛家、東町の酒造業・小嶋弥左衛門家などが想定される。

村方 (三四点)

【米沢藩領】と、寛文四年(一六六四)以降は幕府領となった【屋代郷等】に区分した。後者は伊達郡や村山郡高楯村関係の文書を含む。【屋代郷等】の関連文書は、【藩政—御預所】と、後述の【諸家文書—貼継・貼込—古証文】も参照。

貼継・貼込(二一八点)

収集史料を貼り継いで卷子に、または貼り込んで冊子に仕立てたもので、出所が一定でないものを収めた。後補表紙外題などの記載から、伊佐早謙が収集・編纂したものが一部含まれることがわかる。

「古文書集」(No.1065)は、中・近世の文書を主体とし、台紙に貼り付けられ、冊子状にされていた。「明応六 国衙之帳」(No.1065-08)、「国衙之日記」(No.1065-09)は一五世紀の検地帳であり、ほかにも中世の越後における領主支配の一端を示す史料が多く含まれる。天正一八年(二五九〇)の奥羽仕置関連の史料がまとまって収められている(No.1065-24、34)。また、武田信清の江戸出府(No.1065-51)や元和九年(一六二二)の上杉定勝上落(No.1065-40、41)、龍涎香の調合法(No.1065-52、53)、古碑の拓本(No.1065-45ほか)など、収められた文書の内容は多岐にわたれる。

「古筆題」(No.1458)は、著名人の名筆や古筆を貼り込んだ、いわゆる手鑑の類で、江戸時代前期の連歌の懐紙も含まれる。年代未詳のものが多く、目録上は仮に大部分を「江戸後期」としたが、より古い史料も含まれている可能性がある。

「諸名家真蹟集帖」(No.1640)は、主に古賀精里や伺庵、米沢藩では神保蘭室といった儒学者や文人の漢詩が貼り込まれている。

【古証文】は、主に縦紙や継紙の文書類を貼り継いで一巻とし、表紙には文書の紙背を転用している(表紙に転用された文書類も基本的に一点として採録した)。卷子の表紙にあたる部分に、伊佐早の筆跡で「古証文」の表題と、内容の目録を記載したものが多く(同様の「古証文」式の整理方法は、No.0242、0246、0768などでも確認できる、備考欄を参照)。出所としては、屋代郷のうち高畠村、川井村などの村方文書が中心である。No.1743のみ性格が異なり、江戸前期の訴状、金銭の受領書、江戸中期の御師一志大夫の由緒書などが貼り継がれている。

【表題無し】は、江戸時代前期から後期の状ものを貼り継いだもので、簡単な卷子三巻分となっている。武家と町方、村方の文書が混在し、町方では遠藤権兵衛家や、銅屋町の検断・長谷川次郎右衛門家の関連文書が含まれる。

註

(1) 例えば、マイクロフィルム版目録の「IV藩政―1日帳・記録」では、出所を明示せず、藩全体の公的な「御日帳」と、奉行、御記録所や中の間といった諸部局の公務日記、個人の日記が混在している。

- (2) 国文学研究資料館『幕藩政アーカイブズの総合的研究』(思文閣出版、二〇一五年)、同前『近世大名のアーカイブズ資源研究』(思文閣出版、二〇一六年)他。
- (3) ①天明六年(一七八六)頃の「旧記目録」(市立米沢図書館所蔵・林泉文庫421)、②文化元年(一八〇四)の「御記録所扱御長持入記」(No.1465-05「樞軒秘笈第二集五」)、③一八四〇～五〇年代の「局中書籍」と「分限帳目録」(No.1457-16「鶏肋集」)、④明治元年(一八六八)頃の「御絵図目録別帳目録諸書物共」(No.1975)。
- (4) 『山形県史 資料編一六 近世史料一』(山形県、一九七六年)。
- (5) 『国史大系 徳川実紀』第一～二〇篇(吉川弘文館、一九九九年)、『上杉家御年譜』巻一～三(米沢温故会、一九八八年)。
- (6) 福原圭一「米沢藩御書集」と『上杉家御書集成』、『上越市史叢書六 上杉家御書集成I』、上越市、二〇〇一年)。
- (7) 『上越市史叢書七 上杉家御書集成I・II』(上越市、二〇〇二年)や、『上越市史 別編1・2 上杉氏文書集1・2』(上越市、二〇〇三・二〇〇四年)に翻刻されている。
- (8) 『歴代古案』(続群書類従完成会、一九九三～二〇〇二年)全五冊として翻刻されている。
- (9) 『上杉家御年譜』第一～二巻(米沢温故会、一九八八年)として翻刻されている。
- (10) 主なものは岩本篤志編『米沢藩興讓館書目集成 第一巻』(ゆまに書房、二〇〇九年)に影印版が収録されている。
- (11) No.1056は『上越市史 別編二 上杉氏文書集(二)』などに翻刻されている。
- (12) No.1082・「古代士籍」(No.1083)・No.1087は『新潟県史 別編三 人物編』(新潟県、一九八七年)、No.1087は『上越市史 別編二 上杉氏文書集二』(上越市史、二〇〇四年)にも、No.1085は矢田俊文・福原圭一・片桐昭彦編『上杉氏分限帳』(高志書院、二〇〇八年)などで翻刻されている。
- (13) 矢田俊文・福原圭一・片桐昭彦編『上杉氏分限帳』。
- (14) 類似の名称の編纂物として「代徭備考」二一冊が宝暦七年(一七五七)に編纂されている(片山一積「先祖書」)。
- (15) 国立国会図書館デジタルコレクション所収。

- (16) あわせて渡部恵吉「米沢藩の職制について」（『米沢市史編集資料 第一号』、一九八〇年）を参照した。
- (17) 御記録方の活動と編纂した史料などについては、浅倉有子「記録方から見た米沢藩中期藩政改革」（『論集近世国家と幕府・藩』、岩田書院、二〇一九年）他を参照。
- (18) 『米沢市史 資料篇2 近世史料1』（米沢市、一九八三年）。
- (19) 『米沢市史編集資料』第七・一一・一三・一六・一九号（米沢市史編さん委員会、一九八一年～一九八七年）として翻刻されている。
- (20) 『米沢市史資料編二（近世史料一）』（米沢市、一九八三年）に翻刻されている。
- (21) 『米沢藩戊辰文書』（日本史籍協会、一九三五年）。
- (22) 『米沢市史資料編四（近現代史料一）』（米沢市、一九八七年）。
- (23) 東京大学史料編纂所では、一九三三年（昭和八年）の謄写本二〇冊と、筆写年未詳の「編年上杉家記稿」巻一三～一五の写本三冊を所蔵している（同所データベースにおいてウェブ公開されている）。
- (24) 但し、紙幅の制限などにより、「縦軒秘笈」「読史堂叢書」「匯纂」については、中身が一点だった場合は表紙と中身を分けて、あわせて一点として採録した。
- (25) 国文学研究資料館のサイト (<https://kokusho.nijl.ac.jp/page/guide.html>) 参照。あわせて、同館「国書データベース」の分類を参考にした。
- (26) 『新潟県史 資料編4 中世二』（新潟県、一九八三年）。
- (27) 『米沢市史 近世編二』（米沢市、一九九一年）。
- (28) 『新潟県史 資料編4 中世二』や『上越市史 別編1・2 上杉氏文書集一・二』（上越市、二〇〇三・二〇〇四）に越後分の史料が翻刻されている。

（阿部哲人・佐藤正三郎）

上杉文書の形状と課題

―冊子装の解体作業からみる装丁の来歴と保存方針―

一 はじめに（上杉文書解体調査の概要）

上杉文書には、複数の史料を台紙に貼り付けて綴じ合わせ、冊子状に再構成されたものが含まれている。これらの冊子装は、伊佐早謙による編纂事業の一環として一定数が作成されたと考えられているが、その装丁や編集過程の詳細な記録は残されていない。冊子化は、主題別に文書が整理・集成され、利便性を高めた一方、当初の形態を変容させ、史料本来の情報や価値を損なう危険性もはらんでいた。

このため、本調査事業では、冊子装の構造を再検討し、目録作成や将来の保管方針を見直す過程で、冊子を解体し個別に保存する必要性が検討された。ただし、冊子を解体すること自体もまた、編集・装丁されたという歴史の痕跡を失わせる行為である。ゆえに、解体の過程で得られる情報を丁寧に記録し、後世に伝えることが極めて重要である。

筆者は保存修復の専門家として本事業に参加し、冊子装の解体作業を担当した。作業を通じて、綴じ糸や紙縫りの痕跡、過去の修理の跡などを観察し、文書がいに再構成・保存されてきたのかを把握する具体的な手がかりが得ることができた。

本稿では、解体作業の経過とともに、装丁の痕跡や構造的特徴を記録し、これまでの編綴の履歴を整理する。また、そこから見えてきた保存上の課題や、今後の活用と安定的保存に向けた展望についても併せて考察する。

今回対象とした冊子装は、大きく二種に分類できる。一つは御内書または老中奉書を袋綴じにして冊子化したもの、もう一つは折紙や封紙を台紙とした冊子に文書を貼り込んだものである（口絵8～9ページ、カラー図1）。それぞれ性格が異なり、保存・活用の意図や史料の扱われ方に特徴が認められるため、本稿では章を分けて解説する。

なお、本調査は令和三年（二〇二一）度に開始され、東北芸術工科大学文化財保存修復研究センターおよび同大学文化財保存修復学科東洋絵画修復室の研究員と学生により、延べ五年間にわたり実施された。

二 御内書・老中奉書を編綴した冊子装の構造と来歴

「徳川将軍御内書集」（No.0295～0299）の五冊（以下、御内書集）および「江戸幕府老中奉書集」（No.0302）二六冊（以下、老中奉書集）の延べ三一冊は、いずれもほぼ同じ外観で冊子装に仕立てられていた（口絵写真3ページ）。これらは、もともと一通ずつ折紙の形で保管されていた書状を、明治時代以降の整理過程で複数まとめて冊子としたものである。折紙の書状は上下に開いて左右を合わせるように折り畳み、袋綴じされていた。大きさは概ね揃っているが、中には小判のものも含まれる（43ページ図1）。冊子装に仕立て直す際、平滑化を意図したためか、折れ山には金槌で叩いたとみられる痕が残っている（図2）。

冊子装は、中綴じとして紙釘（錐で穿孔した穴に太い紙縫りを通して固定する部材）を用い三箇所綴じられ、さらに上下の背角を角裂で補強した上で表紙を付け、糸による五つ目綴じが施されている（図3）。角裂には裏打ちを施した表紙が見返しには封紙を転用している。

用紙はいずれも厚手で上質な楮紙であるが、御内書には縮緬状の皺が見られることから檀紙と判断される（図4）。「御内書集」のうちNo.0296～0299の平均の料紙寸法は縦四五・〇cm（一尺四寸八分五厘）、横六四・一cm（二尺一寸一分五厘）、No.0295のみ、これより縦六mm、横一四mm小さいものの、いずれも大高檀紙に該当すると考えられる。一方、「老中奉書集」はひと回り小さく、縦三九・五cm（一尺三寸〇分五厘）、横五五・六cm（一尺八寸三分五厘）ほどの奉書紙が使用されていた。

解体調査により、これらの冊子は過去に改装（仕立て直し）を経ていることが確認された。現状、表紙には糸綴じが施されており、内部を見ると三つ目錐を使用した穴が五箇所確認できる。表紙を取り外すと、中綴じに紙釘が三箇所打ち込まれているほか、千枚通しのような丸錐で開けられた穴が確認できる。これらは、かつて紙縫り綴じが施されていた痕跡と推測される。その穴数は史料によって異なり、丈の長い「御内書集」は四組八箇所、そして老中奉書は三組六箇所の穴が開いている。また、表紙の見返し部分には以前の角裂が残っていた（図5）。このことから、前回の仕立て直しの際には旧来の形式を踏襲し、見返し用紙などの部材を再利用していたことがわかる。

文書を取り外すため、角裂の除去を行った。除去には水分による接着剤の軟化

を試みたが、水分の浸透が著しく悪く、難航した。伝統的な小麦澱粉糊であれば、可逆性が高く比較的容易に除去可能である。しかし、本史料におけるこの疎水的な挙動から、昭和三〇年代以降に普及した酢酸ビニル樹脂系等の合成接着剤（いわゆる「化学糊」）が使用されている可能性が高いと推測される。

三 折紙・封紙を台紙とした冊子装の構造と来歴

主に中世文書を貼り込んだ「古文書集」（No.1065）、いずれも幕末維新期の文書を貼り込んだ、外題無し（No.1189）、「残存戊辰文書続集」（No.1345-01、1345-02）、「残存戊辰文書」（No.1346-01）（No.1346-02）、（No.1347）、「書状類綴」（No.1533）の計八冊は、折紙の書状または封紙を台紙として冊子装に仕立てられ、その台紙上に書状が貼り付けられていた。

No.1346は老中奉書集と同様に、折紙の書状を上下に開いて左右を合わせるように折り畳み、袋綴じの冊子に仕立ててある。しかし、老中奉書集とは違い、書状の表面を内側に折り畳み裏面を表に出し、縦本の台紙として利用している。その他の史料はすべて横本の冊子装に仕立てられており、折紙の書状や封紙を二枚とも表面を内側にして面合わせとし、左右両端に約一・五cm幅に糊を塗布して貼り合わせて台紙にしてある（図6・図7）。綴じ背部分には、貼り合わせ時に補強用の細い紙片が挿入されていた。No.1347とNo.1533には後方に文書の貼り付けがない台紙のみの頁が存在することから、あらかじめ封紙や書状を貼り合わせて台紙を作成し、その後、順に文書を貼り付けていったと考えられる（図8）。

台紙には様々な形式そして大きさの史料が貼り込まれている。一紙物の文書その他、巻紙（切継紙）も多く見られる。巻紙は台紙の寸法に合わせて裁断され、周辺部に糊を塗布して袋貼りされている例が多い。

No.1346は本項で取り上げる中で唯一の縦長本であり、台紙には毛利安田家宛の歴代藩主（四代綱憲から八代重定）書状が転用されている。その台紙および本紙（料紙）の寸法・紙質は老中奉書集（No.0302）に類似することから、同種の紙が使用されたと推測される。一方、No.1345は他と同様に横長本に仕立てられている。台紙には毛利安田家宛の歴代藩主（重定から一二代斉憲）書状の折紙と封紙が使用されているが、寸法は縦三一・二cm、横四三・八cmと、他の冊

子に比べてやや小ぶりである。また紙質も大きく異なり、簾の目が明瞭で、地合（じあい）のむらが目立つ紙が用いられている。No.1346の紙質とは顕著な差異が認められることから、米沢藩で使用された料紙における、時代による変遷が示唆される。No.1345の台紙寸法は、転用された書状等の料紙の原形寸法よりも小さいため、折紙・封紙ともに周縁部が裁断されている。書状についても文面の途中で切断されていることから、これらは文書としての保存を意図したものでなく、あくまで台紙材料として転用されたことが窺える（図9）。

No.1189、No.1347、No.1533の三冊の台紙は、平均寸法が縦三一・四cm、横四六・六cmと揃っている。No.1065は縦三一・一cm、横四五・〇cmと横幅がわずかに狭いものの、概ね同等の寸法である。なお、これら四冊の台紙には、いずれも老中奉書の封紙が使用（転用）されている。

表紙の材質は一樣ではなく、史料ごとに差異が見られる。No.1065は藍地の抜染により桐・菊・雲文様を表した木綿布を使用し、橙色の題簽を貼付しているものの書名の記載はない。一方、No.1345、No.1346の四冊は、簾の目の明瞭な薄手の紺地漉き返し紙を表紙とし、題簽には書名が記されている。また、No.1189、No.1347、No.1533の三冊は、封紙を転用した簡素な仕立てとなっている。これら表紙の仕様の違いが、冊子の構造や台紙の寸法と関連している点の特筆される。

No.1189、No.1347、No.1533のうち、No.1189とNo.1533は未修理であり、原装（当初の装丁形態）を留めている。これら二冊は、いずれも背（右端）を三箇所（計六穴）の紙縫りで綴じている点は共通するが、構造に差異が見られる（図10）。No.1189は表紙を付した上から紙縫りで綴じているのに対し、No.1533はあらかじめ本紙のみを紙縫りで綴じ、その上から表紙を糊で貼付した構造である。一方、No.1347は既往の修理において表紙（封紙）に補修および裏打ちによる補強が施されている。その際、装丁が大きく変更されており、三箇所（計六穴）の紙縫りによる中綴じと五穴の糸綴じが施され、他の冊子と同様の形態に仕立て直されている。

他のNo.1065、No.1345、No.1346の計五冊については、すべて過去に修理が施されており、本紙の綴じ直しに加え、表紙や題簽の裏打ち紙の打ち替えも行われている。現状はいずれも三箇所（計六穴）の紙縫りによる中綴じと五穴の糸綴じとなっているが、表紙を解体し、内部の旧綴じ痕を確認するとその履歴は複雑である。まず、いずれの冊子にも三箇所（計六穴）の紙縫り綴じ痕が共通して確認される。このことから老中奉書集と同様に、かつては紙縫りで中綴じが施されてい

たと推測される。加えて、これら五冊については、表紙に残る旧糸綴じ穴の位置が現状の糸綴じと一致しない。台紙に残る痕跡から判断すると、以前の糸綴じは三穴であったと考えられる。また、No.1346の二冊については、本紙の背部分に、三箇所（計六穴）の紙縫り綴じ痕があるが、その一部は化粧断ちにより裁ち落とされている（図11）。このことから、前回の仕立て直しの際に台紙の背部分を裁断されたことが窺える。

四 冊子解体作業の記録

冊子解体

本調査では、目録作成と将来的な保管方針の再検討を行うため、上述の「御内書・老中奉書を編綴した冊子装」および「折紙・封紙を台紙とした冊子装」の解体作業を行った。解体に先立ち、冊子装としての現状を記録するため、全頁の写真撮影を行った。採寸と状態確認の後、物理的な解体に着手した。まず、綴じ糸をピンセットおよび竹べらを用いて取り外し、続いて中綴じに用いられていた紙釘や紙縫りを取り外した。紙釘の抜き取りには持針器やラジオペンチを用い、紙縫り綴じ箇所はピンセットを用いて慎重に取り外した（図12）。つぎに接着箇所の分離を行った。「御内書集」と「老中奉書集」の背の両端に貼付されていた角裂については、水またはエタノール水溶液を塗布して接着剤を軟化させ、ピンセットや金属ヘラを用いて除去した。折紙や封紙を貼り合わせた台紙については、接着部分に対し筆で局所的に水分を与え、接着剤を軟化させたうえで剥離して取り除いた。料紙上に残留した接着剤についても、可能な限り除去を行った。解体後の御内書と老中奉書については、本来の形態である折紙の状態（一紙ずつ折り畳んだ形式）に戻し、新調した楮紙製の包紙に収めて保管することとした。

綴じ穴の平滑化作業

一紙ごとの保管に移行するにあたり、冊子装によって生じた綴じ穴を目立たなくさせるため、平滑化処置を行った。解体後の調査において、御内書と老中奉書には、表紙を取り付けるための糸綴じ穴（五か所）のほか、中綴じに使用された紙釘の穴（三か所）、および旧装丁に由来する紙縫り綴じ穴（四か所）が確認された。なお、二度目の糸綴じは既存の穴を再利用しているため、新規の穿孔は少ないことが確認されている。

今回の処置では、補修紙を用いた穴埋め補修は行わず、錐によって押し広げられた繊維を本来の位置に戻す「整形」の手法をとった。具体的には、ポリエステルフィルム（マイラーシート）を下に敷いた状態で本紙に筆でエタノール水溶液を少量塗布して局所的に湿潤させた。少し時間を置いた後、ピンセットで繊維を穴の中心へ寄せ、穴の上にポリエステル製不織布（「ニード」）を置いた上から、プラスチック製平滑棒（市販品トランサー）等を用いて押さえ、平滑化を図った（図13）。水分を与えすぎると穴周辺部の料紙の色が沈んでしまうため、水分量を極力減らして作業するようにした。結果として、特に三つ目錐による糸綴じ穴については、良好な結果が得られた。また、径の大きな紙釘や紙縫り綴じの穴についても、繊維の復元と平滑化によって周囲と馴染み、全体として非常に自然な仕上がりととなった（図14）。

五 おわりに（保存・活用に向けた課題と提言）

本事業では、上杉文書に含まれる一部の冊子装資料の解体、およびそれに伴う構造調査と保存処置を実施した。一連の工程を通じて得られた成果と、今後の展望・課題について以下にまとめる。

解体調査によって史料の「来歴」が可視化された。折紙や封紙の台紙への転用について、編纂事業でどのような作業が行われたのかに関する情報を得ることができた。今回の調査で、台紙を冊子化した後に文書を切り貼りして編纂した痕跡も確認され、当時の史料整理の実態を示す興味深い事例である。また、綴じ穴の複雑な重複や化粧断ちの痕跡からは、これまで幾度かの修理と改変が行われてきたことが分かった。現在糸綴じがされているNo.1347は修理前にはNo.1189とNo.1533同様に紙縫り綴じで簡易に冊子に装丁されていたことが確認できた。現状で見られる糸綴じの形状は比較的新しい装丁である可能性が確認された。

本調査では、老中奉書の封紙が台紙として活用されていたほか、折紙の書状も台紙として使われていることが確認された。No.1346では折紙が裏返しに台紙として用いられ、さらに書状の一部が断ち切られていた。このことから、御内書集と老中奉書集が史料保存を意図して冊子化されたのに対し、台紙貼りの冊子に關しては、その台紙に使われた折紙や封紙を保存する意図はなく、良質な料紙の再利用を目的として優先されたことがうかがえる。しかし、本史料で使用された折紙は上杉家に伝来する老中奉書ではなく、毛利安田家宛歴代藩主書状である点

は、意図的な選択であったのか興味深い。また、この毛利安田家に伝来した折紙の書状について、No.1346に使用されたものは、老中奉書集（No.0302）に見られる奉書紙と同様の品質であったが、より後代のNo.1345に使用された折紙はそれよりも質の落ちる紙であった。これは、米沢藩における公の文書に使用する紙質の変化を確認する材料となりえる。

保存と活用の課題として、損傷の著しい史料に対する修理対応が挙げられる。「老中奉書集」のうちNo.0302-07には大きな欠損と白カビ様の付着がみられ、脆弱化も著しいため、補修および補強が必要である（史料15・16）。また、今回の解体対象ではないが、卷子装に仕立てられた「色部文書」（No.1063）は料紙の劣化が顕著で、裏打ち紙からの剥離が進行しており、緊急の本格修理を要する。他にも巻紙の継ぎ目や付箋の糊止めが剥離している史料が多く確認されており、これらについても適切な処置が必要である。いずれにしても、史料を長期的に活用していくためには、定期的な点検とメンテナンスが不可欠である。

また、本事業の中では、書状や封紙を台紙とした史料は一紙ごとに分離し、さらには切り貼りされた巻紙を本来の形に戻す可能性も検討された。しかし、これには大きな労力を伴うとともに、過去の編纂事業全体を俯瞰的に検証する作業を経てからの、慎重な判断が求められるため、今回は現状の形態を維持することとした。

最後に、上杉文書調査委員会の一員として参加し、歴史学の諸先生方よりご教示をいただきながら保存修復に携わることができたのは、大変貴重な経験であった。文書の背景を理解しながら処置を行うことの重要性を改めて実感するとともに、今後は歴史調査と保存修復が一層密接に連携していく必要があることを再認識した。本事業を通じて得られた数多くの学びに、心より感謝申し上げます。

（東北芸術工科大学 杉山恵助）

註 (1)

伊佐早による装丁変更について、上杉文書中で時期が明らかな史料としては、「模本六沢文書 完」（No.1441）がある。この史料は伊佐早が明治四一年六月に入手し、仮表装した旨の記載と、「林泉文庫主人」の署名が確認できる。また、本報告書の【諸家文書―貼継・貼込―古証文】中の史料は、伊佐早のもとで豎紙を貼り継ぎ、簡単な卷子に仕立てられている。

(2) 大高檀紙の寸法については『新選紙鑑』では一尺七寸一分×二尺二寸三分、『諸国紙名録』では一尺七寸三分×二尺二寸五分と見える。久米康夫『和紙文化辞典』によれば、『懐紙夜鶴抄』や『古今要覧稿』では縦一尺五寸ほどとされ、御内書の料紙寸法に近い。

(3) 合成樹脂系接着剤の表具への初期使用例として、株式会社一雅堂による特許「掛物及び巻物の防湿表装法」（昭和三一年出願、同三四年公告）が挙げられる。これはポリ酢酸ビニルエマルジョンとカルボキシメチルセルロース（CMC）を混合した糊であり、近年まで「片岡糊」の名称で市販されていた。

(4) No.1345-01のみ、中綴じの後に背紙を貼り付け、背を保護した後に表紙が取り付けられていた。

(5) 伊佐早による編纂事業において、老中奉書の封紙を転用した事例としては、明治二〇〜三〇年代に編纂された「上杉家記」（No.0044）の表紙が挙げられる。



図1 解体後写真 (No.302-4)



図2 金槌の痕 (No.296)

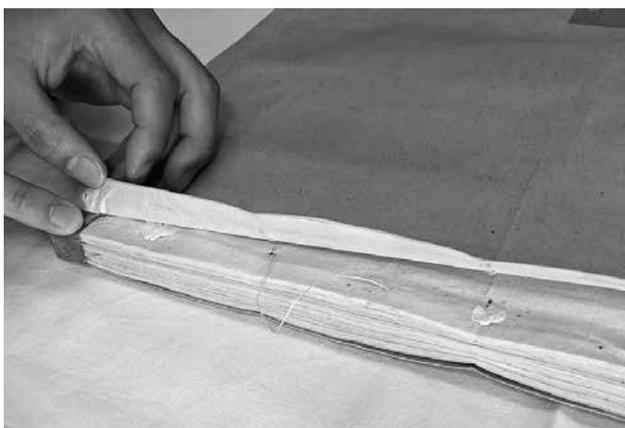


図3 解体作業 (No.295)

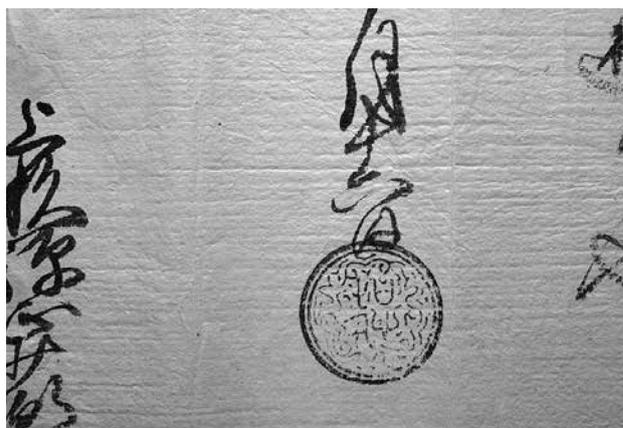


図4 御内書料紙 (No.295)

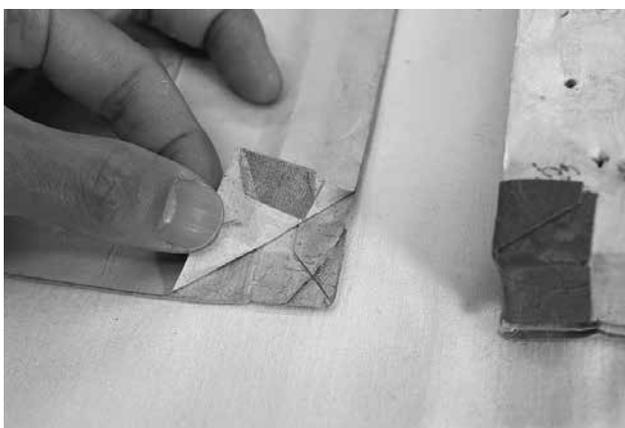


図5 新旧角裂の比較



図6 台紙内部 (No.1189)



図7 台紙の取り外し (No.1345-1)



図8 台紙に挟まれた文書 (No.1533)

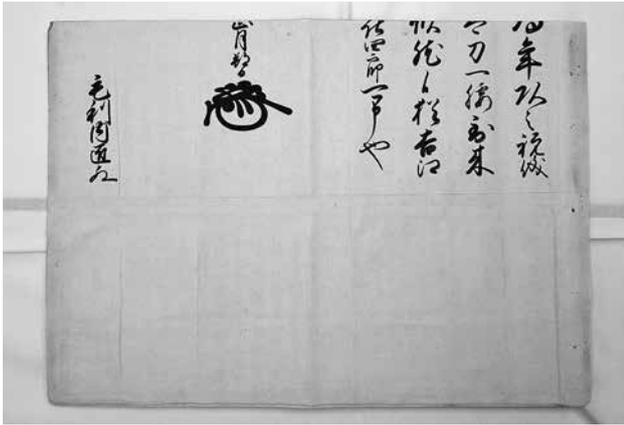


図9 裁断された折紙 (No.1345-02)



図10 紙縫りの取り外し (No.1533)



図11 裁断された紙縫り穴痕 (No.1346-01)



図12 解体作業 (紙釘の取り外し)

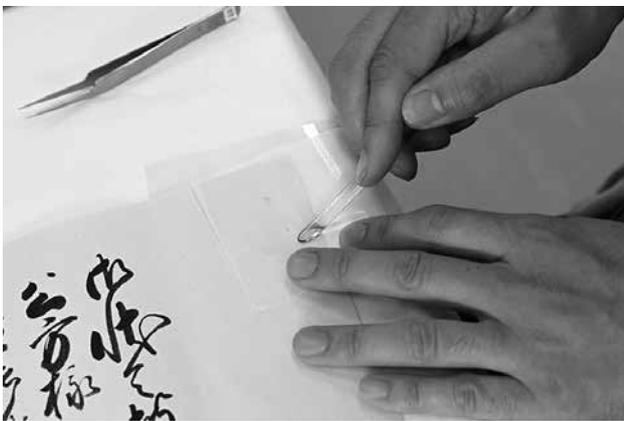


図13 綴じ穴の平滑化作業

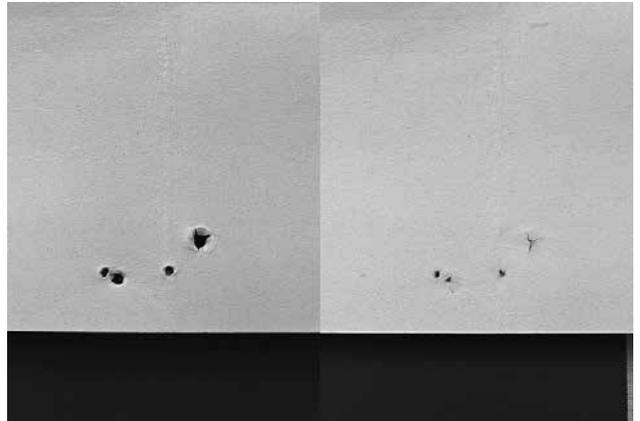


図14 平滑化作業前後比較 (No.302-07)



図15 料紙の脆弱化と欠損 (No.302-07)



図16 白カビの付着 (No.302-07)

解体冊子史料一覧（詳細は杉山恵助氏解題41ページ、口絵8ページ参照。）

【折紙の書状を左右合わせるように折り畳み、袋綴の冊子で管理されていた史料】

史料番号	史料名	点数
0295-01-41	徳川将軍御内書集	四一
0296-01-22	将軍徳川家綱御内書集	二二
0297-01-20	将軍徳川家綱御内書集	二〇
0298-01-26	徳川将軍御内書集	二六
0299-01-21	将軍徳川家治御内書集	二一
0302-01-01、 0302-26-37（二六冊）	江戸幕府老中奉書集	一一九六

※江戸幕府老中奉書集の点数は、袋綴の冊子で管理されていたときの表紙や、綴じられていた書状の包紙を含む。

【折紙の書状・封紙を台紙とし冊子装に仕立て、その台紙上に書状を貼り付け管理されていた史料】

史料親番号	史料名	台紙上に貼られた史料番号	点数	台紙とされた書状類の史料番号	点数	台紙とされた封紙の史料番号	点数
1065	古文書集	1065-01-58	五八	—	—	1065-59-158	一〇〇
1189	外題なし	1189-01-56	五九	—	—	1189-57-158	一〇二
1345-01	「残存戊辰文書統集乾」	1345-01-01-79	八二	1345-01-92-171のうち	三七	1345-01-80-172のうち	五六
1345-02	「残存戊辰文書統集坤」	1345-02-01-81	八一	1345-02-84-139のうち	一一	1345-02-82-176のうち	八四
1346-01	「残存戊辰文書乾」	1346-01-01-30	三〇	1346-01-31-60	三〇	—	—
1346-02	「残存戊辰文書坤」	1346-02-01-45	四五	1346-02-46-90	四五	—	—
1347	残存戊辰文書	1347-01-65	六六	—	—	1347-66-164	九九
1533	古文書集	1533-01-54	五四	—	—	1533-55-156	一〇二

※台紙とされた封紙については、番号を付した後、本史料群から除外したため欠番となっている。

※紙幅の都合上、史料番号の孫番を省略したものもある。

※封紙の点数は、冊子装で管理されていたときの表紙の台紙とされていたものや断簡も含む。

主な蔵書印とシラブルについて

一 米沢藩・上杉家関係

↓は押印のある史料の例。
特に注記のないものは朱印。



「米沢蔵書」 米沢藩上杉家で使用。
↓『牧民忠告』(No.1698)、『景德伝燈録』
(No.1715) 二冊。



「興讓館蔵書」 藩校興讓館で使用。
↓全て「歴代古案」(No.1069) 一〇冊。



「稽古堂蔵書」 上杉鷹山の蔵書印。
↓「西明寺殿百首之詠歌」(No.0402)
一冊。



「章好館蔵書」 上杉顕孝が使用。
↓全て「章好館詩稿」(No.0406) 七冊。



「麻谷蔵書」 江戸の麻布屋敷保管分。
↓「足利家系図但」(No.1608) 一冊。



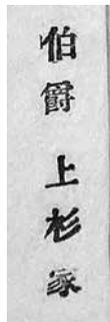
「詰之間」 奉行詰の間で使用か。
↓全て明治元年〜二年の奉行詰之間の用状
類を収めた「機事叢録」(No.1352)
二三冊。



「御記録所」 御記録所で使用。
↓御記録所の旧蔵書(主に「家臣団統制—
分限帳」と、「紹襲録」(No.0519)、「記
室要録」(No.0549)、「藩政—御記録
方」といった御記録所作成の編纂物等、
計一四五点。近代の史料への使用は確認
できない。



「上杉伯爵家蔵書」
↓「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」(No.000
3)、「上杉家記」(No.0043)の一部等、
計二〇点。



「伯爵上杉家」(黒インク)。
↓「米沢外史」(No.0048・0049) 一三冊、
伊佐早謙「戊辰紀事」(No.1337) 一一冊等、
計二八点。

二 伊佐早謙関係



「林泉文庫」 計一〇七二点。うち五六二点は
「伊佐早謙関係」に編成される。



「伊佐早謙古書之宝」
↓計四八点。「天正十四年御上落日帳」(No.1056)
等の桃山時代の史料の他、「対問」写(No.0
741)等の江戸後期の史料にも確認出来る。



「羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙」
↓計二八点。「赤穂土論」写(No.1655-01)
等、典籍への使用が比較的多い。



「伊佐早蔵本」
↓計二一点。「御先祖記」(No.1602) 九冊
等、一八点は典籍に使用されている。



「兼印」
↓計六点。「諸名家真蹟集帖」(No.1640)、
諸家文書)の他は、「雪堂集乾」(No.17
21-01)等、典籍に使用されている。
なお、「雪堂集」には、「兼印」の他、「君氏益」
の印が確認できる。

三 米沢藩士関係 *全体の点数は少なく、大規模な流入は見られない。



「毛利蔵書」

↓四点。「毛利氏略系譜全」(No.093
2)に押印あり、侍組の毛利安田家
と推定(37ページ)【諸家文書―毛利
安田家】を参照。



「香坂維直」香坂は興讓館提学。

↓「台湾鄭氏紀事」(No.1724)三冊。



「窪田蔵書」興讓館提学の窪田梨溪が使

用。

↓「三掛一覽」(No.0523)他、計三
点。



「齊藤蔵書」侍組の齊藤家と推定(37ペー

ジ)【諸家文書―齊藤家】を参照。

↓青山延光『赤穂四十七士伝』

(No.1650)二冊。

「安田蔵書」(黒印)侍組の安田家(先

述の毛利安田家とは別系統)。山形大
学付属博物館所蔵の安田家文書中の
史料にも使用例がある。

↓「対問全」(No.1740)と、「好古堂
随筆 弟子則」写(No.1031)の二冊。



「土肥蔵書」米沢藩士旧蔵と推定。

市立米沢図書館所蔵の興讓館本に多
数の使用例が確認できる。

↓甘粕継成撰「本藩中興名臣録」写
(No.1029)三冊他、計四点。

四 その他 *印影は一部省略



「柳塘蔵書」

使用者は未詳だが、米沢藩
上杉家関係の史料で複数、使用が確
認できる。

↓「歴代古案」(No.1069)一〇冊は「興
讓館蔵書」、「刻石伝 附録 共三冊」(No.
1695-101)一冊は「伯爵上杉家」
の印を伴う。



・「阿波国文庫」

阿波藩主蜂須賀家で使用。

↓「荒曆御記」写(No.1712)、「巳巳雑糅全」(No.1349)各一冊。

・「不忍文庫」

幕臣、国学者の屋代弘賢の蔵書印。

↓「巳巳雑糅全」(No.1349)一冊。

なお、蔵書印についても、「上杉文書データベース」で検索が可能であり、
あわせてご利用いただきたい。

判読不能分

森利真旧蔵の茶道書(No.1577-15
78)の一丁目の上部に押印されている。
蔵書印か否かを含め未詳。

五 主な貼紙とラベル



①表紙貼紙

白紙に「分類 漢数字 写本」の順で墨書で記載されている。分類は「旧藩史料政事」二四点をはじめ、「国史系譜」一五点、「国史雑史」二二点、「書目」三点、「国史地理」二点、このほかに「国史」のみや「国史教訓」、「国史和歌」といった記載が確認できる。続く漢数字は冊数(一、共二など)である。最後は「写本」または「古写本」といった記載が見られる。全て「林泉文庫」印が押されており、伊佐早家における分類、整理の痕跡と推定される。

②「図書第 号」ラベル

赤色飾り枠のラベルに、「図書第 号」の判子を押し、番号の漢数字が墨書で記入されている。貼付例は四四点あり、番号は二〜八七まで確認できる(番号の抜けあり)。「御記録所」印のあるものが一五点と比較的多い一方、「林泉文庫」印は三点と少ない。



③「片仮名〇本」ラベルとその類似系

赤枠のラベルに、片仮名で史料名の一文字目を墨書する。その下に㊦の朱印を押す。㊦は、上杉家本邸保管分を示す(20ページ解題を参照)。

なお、貴重書を意味すると思われる「貴」の朱印を伴う例が一三点、「重」の朱印を伴う例が六点ある。「貴」と「重」の使い分けについては未詳である。

また、飾りのある赤枠に、片仮名で史料名の一文字目を墨書し、黒色の「本」印を押すラベルも確認できる。



④「漢数字」ノ(アラビア数字)「ラベル

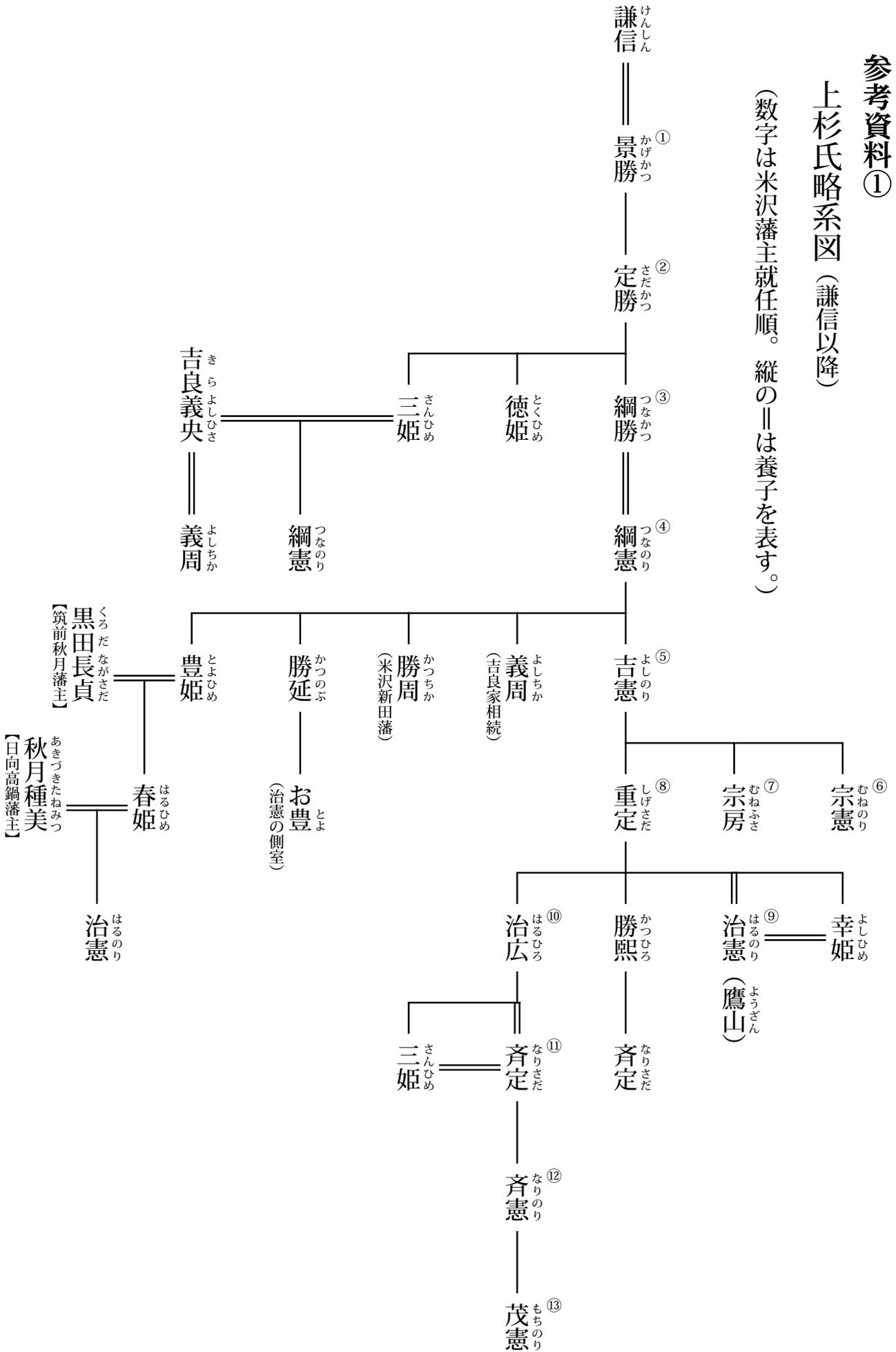
赤枠のラベルに、漢数字と片仮名の「ノ」に続いてアラビア数字を赤色のインクで記入。漢数字は一〜二一四まで(番号の抜けあり)。計一二五点ほどあり、うち四五点は「林泉文庫」印が押されている。

これらの貼紙やラベルは、上杉伯爵家や伊佐早家、米沢図書館などで、何度かにわたる史料整理や目録作成などの痕跡を示すものと考えられる。詳細な検討については他の史料群との比較を含め、今後の課題としたい。

参考資料①

上杉氏略系図（謙信以降）

（数字は米沢藩主就任順。縦の〳は養子を表す。）



公孝顯 (五治)	公広治 (聖治)	公定重	公房宗	公憲宗	公憲吉		公憲綱	公勝綱		公勝定	公勝景		支侯	君夫人
尾張夫人 幸姫	夫人 重定公 尾張夫人	尾張夫人 幸姫	尾張夫人 近姫	土佐夫人 幸姫	肥前夫人 幸姫	筑前夫人 公姫	紀伊夫人 幸姫 始姫	四辻夫人 幸姫	会津夫人 幸姫	肥前夫人 市姫	四辻夫人 幸姫	甲州夫人 幸姫		
松平中務大輔義敏 松平大学頭頼寛女			松平出雲守義方 松平安芸守古長女	松平土佐守豊隆 妾	松平丹後守光茂 幸姫	松平右衛門佐綱政 立花飛騨守鑑虎養女	伏見院貞清親王女 紀伊大納言光貞 幸姫	四辻大納言公理 加賀中納言利常養女 美前田孫四郎利勝女	保科肥後守正之 藤木氏	鍋島信濃守勝茂 岡部内膳正長盛女 家康公御養女	四辻大納言公 遠杉原氏	武田大膳大夫 晴信 甲州油川氏	御父母	揭題
			尾張中納言宗春		松平丹後守吉茂								御養父母	
	宝曆三年七月十五日 江府	享保二年	正徳三年 江府	享保二年	元禄十六年 佐賀	元禄六年 江府	万治三年 江府	寛永十七年	文禄三年	京都	永禄元年 甲府	御誕生		
							寛文四年十月帰京 年々四百石贈之						夫人 支侯 御室 異例	
													夫人 支侯 御出府 御嫡子成	
天明二年十月十一日内約 同日内約 同日十八日 台命	宝曆九年春 内約 同年六月廿七日願濟	延享二年十一月廿八日内約 同年十一月十九日台命	元文元年七月十九日願濟	享保九年十一月廿三日内約 同年十一月十二日願濟	正徳元年五月内約 同年八月十八日願濟	元禄十二年十二月五日願濟	延宝元年三月廿七日願濟	承応三年五月廿八日願濟	元和九年七月十九日願濟		天正六年六月	夫人 支侯 御縁組 御嫡子成		
天明二年十一月六日	明和六年八月廿三日	延享四年三月四日	元文二年正月廿三日	享保十年二月廿二日	正徳元年四月九日	元禄十三年十月晦日	延宝元年七月廿六日	承応三年七月廿二日	寛永九年正月十八日			夫人 納結御		
天明二年十一月廿三日	明和六年八月廿三日	寛延元年八月廿五日	元文二年九月十九日	享保十年六月廿一日	不昏	不昏	延宝六年八月朔日	万治二年九月廿六日 米府一ノ丸	寛永元年正月廿一日		天正六年十月廿日 春日山	越引御		
久千代吉		弥姫君 幸姫君 偶姫君							徳姫君 虎姫君 徳松君	定勝公		御子		
												支侯 管家御		
												夫人 御信位		
												支侯 御役		
	天明二年三月九日 江府		延享三年八月十八日	享保十年九月五日 月廿九日			宝永元年六月四日					御天 御隠居		
文化十三年七月九日 江府		宝暦七年八月十六日 江府	宝暦元年五月廿五日 江府	元文元年二月廿一日 江府	正徳二年六月七日 佐賀	宝永七年五月十四日 江府	宝永二年閏四月廿六日 江府	寛文九年十二月九日 京都	万治元年七月廿八日 江府	寛永十二年六月三日 江府	慶長九年八月十七日 米府	慶長九年二月十六日 京都	御逝去	
七十五	十三	三廿	九十三	十二	五十	八十	六十四		九十	二十四		二十四	年享御 (享)	
院威有 興禪寺	院龍台 興禪寺	院蔡香 伝通院	院蓮胎 小川 伝通院	院賢亮 興禪寺	院理性 佐賀 高伝寺	院宝成 麻布 天真寺	院巴光 池上 本門寺	院巴成 鷺馬 上善寺	院清光 林泉寺	院伝高 林泉寺	院桂岩 林泉寺 極楽寺	院大義 京都妙 心寺中 龜仙庵	御姿	御葬地

公広治		公憲治		公定重				公憲吉			公憲綱				公勝定					
貞姫君	久千代君	寛之助君	吉之助君	信政君	勇五郎君	斐姫君	勝姫君	俱姫君	弥姫君	悦姫君	幸千代君	豊姫君	勝延君	憲孝君	安千代君	義周君	三姫君	鶴松君	龜姫君	
伏谷氏	尾張夫人	勝延君女	同上	同上	橋本氏	同上	小川氏	同上	尾張夫人	京都浪士女	山本氏	同上	同上	同上	櫻田氏	茨木氏	同上	同上	齊藤氏	
尾張夫人				内藤越前守信義 酒井駿河守忠温女						畠山主計義躬					吉良上野介義央 定勝公御女					
寛政四年 二月廿日 米府	天明四年 七月十五日 江府	安永七年 六月廿日 米府	安永六年 四月廿五日 米府	明和八年 五月廿八日 米府	宝曆十三年 四月廿三日 江府	宝曆十一年 二月十一日 米府	宝曆十年 二月廿四日 米府	宝曆五年 三月廿六日 江府	寛延二年 十一月六日 江府	正徳五年 八月廿九日 江府	正徳四年 正月廿七日 米府	元禄十五年 十一月十一日 米府	元禄十一年 二月廿四日 米府	元禄五年 五月廿二日 米府	元禄三年 八月廿七日 米府	貞享三年 二月廿日 米府	寛永廿二年 六月十一日 江府	寛永十九年 五月八日 江府	寛永十四年 五月廿二日 米府	
板倉甲斐守勝俊				養父信義女						養父義躬女		黒田甲斐守長貞	江府浪士女淑勢孫保 十八年四月廿四日向初享四 十八年六月廿四日享四十一才 院林林等				吉良上野介義央		松平飛騨守利明	
文化五年 五月				寛永十年 十月						元文四年 三月		正徳元年 四月	正徳四年 五月	宝永五年 七月		元禄三年 四月		寛永十年 九月	寛永十四年 五月	
文化二年二月 内約 同年七月廿二日 願濟				享和元年正月 四日内約 同年六月二十日 願濟						元文元年四月八日 願濟		享保元年十二月 十九日願濟				元禄二年十一月 九日願濟		明暦三年九月廿 九日内約 万治三年二月八日 願濟	万治元年九月廿九 日内約 同年十二月三日 願濟	
文化五年 八月廿三日												享保二年 四月九日							万治三年 年十月 二月晦日 廿日	
文化五年 六月廿七日				享和元年 六月二十七日						元文五年 三月十一日		享保三年 四月廿一日				元禄三年 四月十八日			寛永元年 二月晦日	
				享和二年 七月廿三日						元文五年 三月十一日						元禄十 四年十二 月十二日				
一 九鬼大隅守隆都室 二 亥三郎 三 花房越中守室 六 菊次郎				① 駒之丞信友 信友室				一 於米君 二 齊定公 三 齊定公 四 勝姫君 五 勝義君 六 助義君 七 於克君					一 織部義福 二 安之進 三 野伊守資施 四 深谷縫殿右工門長寛室 五 久志本内蔵允常統室 六 藤義周 七 本主膳常誠 八 女子四人早世				一 松平藤摩守綱貴室 二 振姫 三 綱憲公 四 津縣采女政尚室 五 大炊御門大納経首室 六 三郎			
										明和六年 四月五日		宝曆四年 十月朔日				元禄十六年 二月四日信州 高島配流				
文政二年 十月十八日 江府	天明五年 十一月十六日 江府	安永八年 十月廿九日 米府	安永六年 五月朔日 米府	享和三年閏正 月十四日江府 公三月十九日 江府	宝曆十三年 六月十五日 米府	宝曆十二年 十一月廿二日 米府	文化四年 七月六日 米府	宝曆五年 六月十日 江府	寛延三年 六月十四日 江府	享保一年 十一月廿六日 江府	正徳五年 十一月十七日 米府	安永七年 十一月廿六日 江府	安永元年 六月朔日 米府	宝永五年 十一月廿四日 江府	元禄三年 九月廿三日 米府	宝永三年 正月廿日 配所	宝曆元年 八月八日 江府	寛永十九年 八月九日 江府	寛永四年 七月廿五日 江府	
八廿	二	二	一	三十三	一	一	八十四	一	二	十八	三	二	七十七	七十	一	一廿	二十六	一	八廿	
院殿 淑容	院殿 華月	院殿 心安	院殿 浮光	院殿 嶺松	院殿 宗鉄	院殿 観月	院殿 幻容	院殿 理心	院殿 清玉	院殿 興賢	院殿 瑠貞	院殿 遊夢	院殿 瑞耀	院殿 法性	院殿 桂林	院殿 室灯	院殿 梅嶺	院殿 天夢	院殿 法泉	
宝泉寺	興禪寺	林泉寺	林泉寺	魚籃寺	林泉寺	林泉寺	林泉寺	伝通院	興禪寺	臨江寺	興禪寺	林泉寺	祥雲寺	林泉寺	林泉寺	法華寺	高島	東北寺	廣徳寺	

公定齊										公広治										
肅姫君	鉄丸君	桃之助君	敬姫君	滋姫君 後仁	鶴丸君	巖千代君	孝姫君	良姫君 後徳	龜之助君	伴姫君	玉千代君 立御世子	光姫君	雍姫君	庸姫君	彝姫君	長姫君	増姫君	祇姫君	演姫君 始御世子	
鈴木氏	讃岐夫人	鈴木夫人	讃岐夫人	同上	鈴木氏	土佐夫人	太田氏	同上	安芸夫人	太田氏	同上	安芸夫人	畠山氏	夫人	畠山氏	本間氏	同上	同上	同上	
							安芸夫人			池田丹波守政範 松平左兵衛督直妻 安芸夫人		安芸夫人	安芸夫人	安芸夫人	尾張夫人	尾張夫人	尾張夫人	尾張夫人		
安政元年 十一月十五日 米府	嘉永六年 正月二十日 江府	嘉永三年 三月二十日 江府	嘉永二年 三月二十日 江府	嘉永元年 五月廿一日 米府	弘化三年 三月七日 米府	弘化二年 正月十日 江府	文政十一年 十一月十七日 米府	文政十年 正月十四日 江府	文政八年 二月十六日 江府	文政七年 閏八月十二日 米府	文政六年 五月八日 江府	文政四年 六月十八日 江府	文政元年 六月九日 米府	文政十四年 二月廿九日 江府	文化十三年 七月七日 米府	文化三年 三月朔日 米府	文化元年 四月三日 米府	寛政十年 正月十七日 米府	寛政八年 二月十一日 米府	
				相良越前守			弘化三年十一月一日羅縁 山崎守助助義厚 同四年三月九日	秋元但馬守志朝		池田安之進政修 池田山城守政和 不昏			秋月佐渡守種殿	秋月宋之助種殿	板倉内膳正勝顯	戸田中務大輔氏敏	畠山飛騨守義宣	畠山飛騨守義宣	松平土佐守義興 松平因幡守齊稜 不昏	
							天保十四 九月廿七日			天保十一 年八月			天保七 年八月	天保三 年九月	天保三 年九月	文政四 年二月	文政元 年八月	文化十二 年三月	文化十 年四月	
				文久元年五月廿六日 相良願濟			天保六年十二月十九日 同七年九月廿五日 願濟	天保四年八月七日 同五年十一月十六日 願濟		天保四年八月七日 同五年十一月十六日 願濟	天保二年八月 同四年八月廿七日 願濟		天保八年十一月七日 同九年十一月十四日 願濟	天保六年六月十五日 同七年七月十二日 願濟	天保六年八月十三日 同七年九月十三日 願濟	文政七年閏八月 廿七日内約	文政十四年八月廿二日 内約	文政七年七月廿二日 願濟	享和三年三月廿七日 同三年三月廿七日内約 文化九年八月廿七日 同十年十二月十四日 願濟	
										天保十四 年八月			天保八 年正月	天保六 年十月	天保六 年十一月	文政四 年三月	文政元 年九月	文化十二 年六月	文化十 年六月廿七日 内昏 同十四年十一月朔日 昏因御届	
																文政四 年四月七日			一男子 二民部大輔齊衆 三齊衆室妾腹 四賢姫	
																				文政元年五 月二十一日 公廿四日 江府
			嘉永三年 八月十四日 江府		嘉永元年 九月廿七日 米府	弘化一年 正月十九日 江府	弘化四年 五月十六日 江府	嘉永一年 八月二十五日 江府	文政八年 公五月二日 江府	文政五年 十月八日 江府	文政七年 三月十三日 江府	文政五年 公九日 江府	天保九年 八月十二日 江府	文政八年 十二月廿二日 江府	文政八年 公廿五日 江府	文政五年 七月朔日 江府	文政八年 公四月 朔日 江府	文政八年 公五月 朔日 江府	文政十四年四 月二十七日 朔日 江府	文政元年五 月二十一日 公廿四日 江府
一			二		三	一	十二	三廿	一		二	二	一廿	九	七十	二廿	十二	三廿		
良性 智峯			蘭芳 心		露桂 光	梅雲 院殿	孝林 院殿	清容 院殿	真証 院殿		瑤林 院殿	真珠 院殿	紫光 院殿	香雲 院殿	華名 院殿	貞諒 院殿	靈珠 院殿	天珠 院殿		
林泉寺			興禪寺		林泉寺	興禪寺	興禪寺	護国院 上野	興禪寺		興禪寺	興禪寺	崇嚴寺 六本木	興禪寺	法恩寺	臨江寺	臨江寺	弘福寺 牛島		

君定勝	君承勝	君周勝	君庸勝	君熙勝	君延勝	君延勝	君延勝
於誰君 於初君	仙松君 於才君	正矩君 幸之助 後漢高	於雷君 勝心君 主水初若吉 遊五郎	於克君 助敬君 八郎兵衛 初政之助 采女勝詮 名顯字 忠義 号厚軒	於豐君 初野君の子夢	於常君 初武女	於光君 初武女
同上	同上	同上	山口氏	同上	同上	同上	江府浪士女
		金田幸次郎正峯 織田圖書女		松野八郎兵衛助完 松野八郎兵衛助善女			畠山義紀君
寛政十二年 四月十九日 江府	寛政六年 七月十一日 江府	明和四年 五月十八日 江府	享保十七年 正月二十七日 江府	寛政九年 六月二日 米府	寛政六年 十一月廿七日 米府	元文二年 閏十一月三日 米府	享保十九年 正月廿六日 米府
毛利刑部匡民 宇津釣之助 教成	勝義君	養父正峯女		日野玄蕃 貴盈	養父助完女	治憲公	高力大学直賢 中条山城守信敬
				享和二年 九月	文政元年 四月		宝曆二年 九月
文政元年 七月十七日 願濟 文政二年 八月二日 願濟 文政三年 八月二日 願濟 九月十八日 願濟	寛政十年 八月十九日 内約 文化十一年 六月九日 文化十二年 十月三日 願濟	明和七年 三月十五日 願濟		享和二年 八月十四日 内約 同年十一月廿日 願濟		明和七年 六月十四日	享保十九年 正月廿六日 再縁
文政三年 二月廿七日	文化十一年 二月十五日 願濟 十二年 十月三日 昏因 御厨	明和七年 十二月廿七日		享和二年 九月十八日 年台台		明和八年 五月四日 御本丸へ	宝曆六年 六月廿七日 昏因
		享和元年 十月廿七日	天保十一年 十月十五日 准公孫				
		一 庄次郎 言目 二 養子正職室 三 鑓之丞 四 左近正職 ⑩		一 大学 貴邦 二 虎吉 三 猪之助 四 鍋吉 一 土岐功之助室 二 女子早世 三 猪之助 四 美寿太郎 五 女子 六 美寿太郎	一 都之助 二 三宮丸 三 松女 四 勝心君	顯孝公 寛之助君	⑩ 河内守 信義 信義室
		享和二年 十一月廿九日		文化十四年 八月七日			文化十二年 十月晦日
	安永二年 七月四日 江府	明和八年 正月廿五日 江府	文化六年 十一月廿四日 江府	享保十七年 十一月十四日 江府	天保七年 六月晦日 米府	文政四年 十一月十七日 米府	文政五年 九月朔日 江府
						元文二年 閏十一月十日 米府	文化五年 九月十八日 江府
	二	五	三十七	一	二十四	三	四十七
	院 光林 院 殿	院 円明 院 殿	院 良忠 院 殿	院 指月 院 殿	院 峯松 院 殿	院 観照 院 殿	院 高寿 院 殿
	興禪寺	興禪寺	高石寺	興禪寺		林泉寺	最教寺 坪上

編成表

() 内は史料点数

第一分冊 (文書編一)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
上杉家 (2700)	領知 (29)			71
	幕府 (1396)	御内書 (136)		72
		老中奉書 (1211)		79
		巡見使・国目付 (40)		150
		贈答等 (9)		152
	御手伝普請 (31)	享保期 (4)		153
		宝暦期 (27)		153
	交際 (65)	他家より来状 (13)		155
		使者饗応 (6)		156
		御状留 (21)		156
		御使者勤 (11)		158
		贈答 (14)		158
	古文書集 (65)	御書集 (47)		159
		為景 (1)		159
		謙信 (12)		159
		景勝 (25)		160
		古案 (4)		162
		官庫書 (5)		162
		歴代古案 (10)		162
		秘庫存書 (8)		163

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
上杉家	歴代年譜 (345)	謙信 (28)		163
		景勝 (41)		165
		定勝 (20)		167
		綱勝 (20)		168
		綱憲 (23)		169
		吉憲 (16)		170
		宗憲 (10)		171
		宗房 (10)		172
		重定 (15)		172
		鷹山 (6)		173
		顕孝 (5)		173
		治広 (36)		174
		齊定 (62)		176
		齊憲 (53)		179
		清書 (33)		177
		稿本 (29)		177
		清書 (30)		165
		稿本 (11)		166

第一分冊(文書編一)

	第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
	上杉家	編纂物(88)	家譜(52)	三公外史(10)	182
				大政録(19)	182
				大政秘鑑(5)	183
				米沢外史(13)	184
				その他(5)	184
			伝記(22)	謙信(13)	185
				景勝(2)	185
				鷹山(7)	186
			系図(14)		186
		先例集(72)	定例明鑑(25)		187
			定例亀鑑(47)		188
		儀礼・儀式(539)	年中行事(7)		191
			隠居・家督(5)		191
			婚礼(15)		191
			初入部(267)		192
			葬儀(232)		209
			御堂(13)		223
		文芸・遊興(51)	目録(12)		224
			漢詩(12)		225
			和歌(14)		226
			遊興(5)		226
			馬術伝書(8)		227
		当主・家族(12)			227
		側方(7)			228

第二分冊(文書編二)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
軍制(239)	軍制先例(23)	御兵具所口伝書(5)		9
	武器改め(114)	大坂の陣(6)		9
		軍令・行列等(12)		
		明暦(14)		10
		寛政(10)		11
		文化(16)		12
		天保(25)		13
		嘉永(28)		14
		旗指物馬験図(21)		15
	家中軍役人数(10)			16
	上洛(12)			17
	会津城請取(18)			18
	明和年間手配(21)			19
	海岸警備(41)	文化年間(35)		20
		嘉永年間(6)		22

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
家臣団統制(394)	先祖書・勲書(191)	元文(42)		23
		天明(28)		25
		文化(54)		26
		弘化(57)		29
		年代未詳等(10)		32
	分限帳(49)	越後・会津時代(12)		32
		江戸前期(11)		33
		江戸中期(9)		34
		江戸後期(13)		35
		近代(4)		35
	諸役任免一覧(73)	御役成勤式(10)		36
		代徭集(16)		36
		紹襲録(47)		37
	先例(66)	濟口(20)		40
		五匹・六義(16)		41
		手控(30)		42
	江戸番転(11)			44
	俸禄・手当(4)			45

第二分冊(文書編二)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
藩政(578)	御日帳(19)	御日帳(8)		47
	奉行(101)	日帳類(29)		48
		目録(3)		48
		米藩日記(8)		47
		狀留(29)		50
		觸狀留(6)		52
		寛政改革(12)		52
		千坂家宛書狀(9)		53
		書狀類(16)		53
	江戸家老(62)	千坂高治宛書狀(59)		54
		日記類(3)		58
	城代・侍頭・役屋將(9)			58
	中之間(18)			59
	御右筆所(13)			60
	御記録方(77)	日記類(31)		61
		意見書・答書類(36)		63
		手控(10)		65
	絵図方(3)			65

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
藩政	郷村関係(62)	手引(7)		66
	御預所(71)	御預所廃止(61)		70
		幕藩関係(10)		75
	町奉行(17)			76
	勘定関係(22)			76
	寺社・宗門関係(15)	寺社(7)		78
		宗門改(8)		78
	藩校(4)			79
	意見書(16)			79
	孝子褒賞(54)	孝子伝(42)		80
		幕府へ書上(7)		82
		申渡書(5)		83
	森平右衛門一件(15)			83

第二分冊(文書編二)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
法制(527)	幕法(62)	將軍家令條(39)		85
		憲法部類(9)		87
		觸達留(14)		87
	藩法(174)	御代々御式目(144)		88
		大令策(6)		95
		条目(9)		96
		觸狀・觸留(15)		96
	判例集(90)	御呵附引合(10)		97
		御呵附引合(10)		97
		御裁許鈔(7)		101
		御裁許鈔(7)		101
		博奕鈔等(7)		101
	裁許(39)	御濟口留(23)		102
		御裁許留(13)		103
		裁許書(3)		104
		先例集(5)		104
	御呵御免(162)	御免伺(94)	御記録方(74)	105
		御免掛(48)	御役所(20)	109
		御免掛(48)	御免掛事例(14)	110
		御免掛(48)	書上(34)	111
		御免申渡(15)		113

第二分冊 (文書編二)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
幕末維新时期 (1479)	文久・元治年間 (223)	文久上洛 (64)	御上洛量帳 (45)	115
		日記類 (11)	日記類 (11)	117
		慶応元年～三年 (36)	曠山上洛記 (8)	118
		茂憲公御名代		
		御上洛記 (13)		129
		書状類 (7)		128
		手控 (17)		127
		貼込帳 (115)		120
		屋代郷 (20)		118
		明治元年 (902)		
		一月～四月 (37)		131
		閏四月～八月 (192)		133
		九月～二月 (160)		145
		貼継・貼込 (367)		155
		戊辰文書 (23)		157
		残存戊辰文書 (7)		162
		残存戊辰文書統集		165
		外題無し (102)		172

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
幕末維新时期	明治元年	日記・手控 (17)		179
		戊辰戦争時軍制 (33)		180
		編纂物 (96)	御日帳 (8)	181
			東京御帳 (11)	182
			機事叢録 (24)	182
			戊辰軍記 (19)	184
			御維新以降原稿 (7)	185
			戊辰事情等 (9)	185
			上杉史料 (12)	186
			戊辰史料 (6)	187
	明治二年～四年 (291)	明治二年 (224)		187
		明治三年 (50)		202
		明治四年 (17)		205
		米沢県・置賜県 (2)		206
		上杉伯爵家 (19)		206
		米沢義社 (6)		207
	廃藩置県以降 (27)			

第三分冊 (文書編二)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
伊佐早謙関係 (1517)	編纂書 (151)	上杉家記 (90)	清書 (52)	9
			稿本 (38)	12
		戊辰紀事 (23)	清書 (11)	14
			稿本 (12)	15
		伝記 (19)	謙信 (7)	15
			景勝 (3)	16
			鷹山 (9)	16
		米沢文伝 (7)		17
		論考等 (12)		17
	編纂史料集 (136)	編年文書 (63)		18
		奥羽文書纂 (30)		21
		読史堂史料 (20)		23
		読史余纂 (10)		24
		史料 (13)		25

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
伊佐早謙関係	合綴史料集 (1119)	鶏肋前集 (159)		26
		鶏肋後集 (167)		35
		鶏肋集 (101)		45
		縦軒秘笈 (164)		51
		読史堂叢書 (426)		61
		縦軒雑集 (33)		86
		匯纂 (57)		88
		文書集 (12)		91
	齊憲年譜編纂 (10)			92
		古文書集 (21)		92
		採訪目録 (7)		94
	筆写史料 (46)	中世、江戸前期 (33)		94
		江戸中後期 (10)		96
		幕末維新时期 (3)		97
	暦 (27)			97

第三分冊 (文書編三)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
典籍 (588)	上杉家 (27)	軍記 (23)		101
	家臣団 (212)	伝記 (4)		102
		編著書 (51)	菅野善政 (8)	102
			年表・参考書 (10)	103
			文芸他 (33)	103
	米沢関係 (36)	武門要鑑抄関連 (35)		106
		伝記 (6)		108
		資料集 (5)		108
		系図 (115)		108
		一般 (19)		115
		赤穂事件 (17)		116
	系図 (42)	将軍家 (6)		117
		他大名等 (14)		118
		系図集 (22)		119
	総記・学問・文学 (11)			120
	仏教 (13)	経典 (4)		121
		縁起・由緒 (3)		121
		伝記 (6)		122

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
典籍	歴史 (65)			122
	政治・法制・経済 (27)			126
	教育 (7)			128
	暦 (5)			128
	芸術・諸芸 (25)	茶道 (18)		128
		鷹書 (4)		130
		諸芸 (3)		130
	武学・武術 (44)	兵学 (30)		130
		武器 (14)		132
	琉球 (5)			133
	漢籍 (4)			133
	一枚刷 (52)			133
	近代活版本 (13)			136

第三分冊 (文書編三)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
諸家文書 (885)	色部家 (64)	文書 (62)		139
	毛利安田家 (124)	冊子類 (2)		143
		歴代藩主書状 (122)	綱憲 (28)	143
			吉憲 (16)	145
			宗憲 (7)	146
			宗房 (10)	146
			重定 (16)	147
			鷹山 (10)	148
			治広 (19)	149
			齊定 (8)	150
			齊憲 (8)	150
	齊藤家 (155)	その他 (2)		151
		冊子類 (8)		151
		状物 (65)		152
		維新書簡集 (82)		156
	武家 (53)	冊子 (9)		163
		状物 (44)		163
	武芸書 (65)	剣術・弓術 (6)		166
		兵学・砲術 (4)		167
		馬術 (31)		167
		馬医術 (24)		169

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
諸家文書	岩間家 (151)	献金受領書 (31)		170
	町方 (21)	証文等 (120)		172
	村方 (34)	米沢藩領 (12)		182
		屋代郷等 (22)		182
	貼継・貼込 (218)	古文書集 (59)		184
		古筆題 (47)		187
		諸名家真蹟集帖 (22)		190
		参考断片 (10)		191
		古証文 (55)		192
		表題無し (25)		196

第四分冊 (絵図編)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
絵図 (241)	国絵図 (34)	国絵図 (13)		16
	領内絵図 (63)	藩境 (39)		70
	預所絵図 (12)	城下絵図 (24)		48
	指図 (51)	御殿絵図 (44)	江戸上屋敷 (桜田邸) (16)	92
			江戸中屋敷 (麻布邸) (5)	100
			江戸下屋敷 (白銀邸) (6)	102
			米沢城内 (13)	105
			米沢藩内の陣屋など (4)	113
		屋敷図 (7)		115
		村絵図 (17)		119
		村絵図等 (10)		
		村境絵図 (4)		124
		御普請 (3)		126
		堰絵図 (13)		128
		合戦図 (20)		134
		陣形図 (17)		136
		領外絵図 (31)		146
		米沢以外の城絵図 (18)		155
		他所・道中絵図 (13)		

文書編目録 凡例

全体について

- ・原則として当用漢字を用い、虫損や破損などによって判読困難な文字は■で示し、その他の解読不能な文字は□で示した。

編成と配列の順序について

- ・従来の分類を尊重しつつ、新たに項目を立て、史料一点ごとに編成し直した。基本的な考え方については、24ページの解題を参照。
- ・同一項目内の配列については、史料番号順を基本とした。但し、編年や、史料の主題などを考慮し、一部調整した箇所がある。
- ・これらの編成と調整により、目録上の配列は史料番号順ではない。

目録の記載内容について

- ・各史料の目録の記載内容は、次の通りである。
- ①史料番号 ②史料名(内容) ③員数(紙数または丁数) ④年代または時代 ⑤法量 ⑥形態 装丁 表紙 料紙 ⑦作成者表記↓受給者表記 ⑧(文書の場合のみ)書き出し…書き止め ⑨(文書で記載がある場合のみ)端書・端裏書 ⑩ラベル記載 蔵書印 ⑪状態 ⑫一括関係 ⑬備考 ⑭マイクロフィルムのリール番号

なお、史料上に記載が確認できない項目は、目録内容に記載していない。

- ①史料番号は、従来用いていた番号を踏襲した。これにより、雄松堂発売のマイクロフィルム版の目録と、親番号(冒頭の四桁)は共通する。包紙や箱などの一括史料や、複数の原本を貼り継ぐ、または合綴した史料などで、枝番号が無い場合は、新たに付与した。
- ・史料が作成・機能した時点で物理的に独立していたものは基本的に一点として扱い、目録に採録した。

- ・合綴史料集(複数の縦帳を合綴し、後補表紙を付した史料)の表紙と、書状や証書類を貼り継いだものの冒頭の表紙(主に反故紙を転用)は、基本的に一点として採録した(一部の史料集で内身が一点の場合は表紙とあわせて一点とした)。合綴や貼り継ぎ、外題の付与といった、伝来過程における史料管理の痕跡を示すものと判断したためである。

- ②史料名について、文書の場合は、受給者宛 発給者十文書名とした。受給者と

発給者は最も一般的な名称を用い、その他は実名を基本とした。三名以上の場合は、他〇名と略記した。省略する場合は、原則として、受給者は先頭の一名、作成者は最奥の一名のみを記した。

- ・記録や典籍の史料名については、外題や内題などの原表題がある場合は「」で括弧をつけて採用し(刊本の場合は「」)、冒頭に作成者を付すことを原則とした(一部、作成者を省略したものがある)。原表題が無い場合は、作成者十機能名とした。

以上の史料名の付与については、国宝「上杉家文書」に関して、米沢市上杉博物館で従来用いていた、館内データベースの入力規則に準じた。

- ③員数は、一紙もの場合は通・巻・枚、冊子の場合は冊、帖などを記した。
- ④史料の作成年代が判明する場合は、史料の記載に関わらず、和暦、月日の形式に改めて記載し、推定した場合は()で括弧をつけて表記した。年代が判明しない場合は、形態や料紙などから時代区分を推定して記載した。時代区分の年代幅は次の通り。

室町時代(一三九二～一五七三) 桃山時代(一五七三～一六〇二)

江戸前期(慶長八年・一六〇三～延宝八年・一六八〇)

江戸中期(天和元年・一六八一～安永九年・一七八〇)

江戸後期(天明元年・一七八一～慶応三年・一八六七)

近代(明治元年・一八六八～昭和二〇年・一九四五)

現代(昭和二十一年・一九四六以降)

- ・写本類については、筆写された年代を記し、原本の年代は内容欄に記した。

- ⑤法量は、縦×横の順に記し、単位はcmで統一した。

- ⑥形態については、状もの場合は縦紙・折紙・継紙・切継紙などを記した。

- ・冊子の場合は、形態(縦帳・横帳・横半帳・洋装本)に続いて、装丁(袋綴冊子装・紙綴綴冊子装・長帳綴など)と、原表紙・後補表紙の色と模様を記した。
- ・料紙は、楮紙・斐紙・三椀紙・機械漉紙などと区分し、基本的に目視で判定可能な範囲にとどめ、一部については顕微鏡を用いて判断した。

- ⑦作成者表記と受給者表記は、住所や肩書、脇付、敬称等を含め、史料記載のまま採録することを原則としたが、長い場合は適宜省略した。また、三名以上の場合は、史料名と同様の基準で省略して記載した。

- ・筆写史料については、原本の作成者ではなく、筆写者を採録した。

- ⑧書き出しと書き止めは、文書の場合のみ、数文字分を採録した。

- ⑨文書の内容や年代などを記した端書や端裏書、端裏の付箋がある場合は採録し

た。但し、長い場合は適宜省略した。

⑩ラベル記載は、ラベル記載の文字を転記した。「ア㊦」といった記載の場合は、ア○本と採録した。市立米沢図書館の蔵書印や、現代の整理を示すペン書きの付箋類は、採録を省略した。

⑪状態は、史料原本を取り扱う際に注意が必要なほど破損している場合などに限定して記した。裏打ちなどの補修がある場合、この欄に記した。

⑫容器、封紙や包紙、合綴、紐などによる一括関係を採録した。なお、編成にあたり、一括関係のあるものは同一項目に収めた。但し、現代の麻紐や紙繕などで一括された史料については、一点ごとに編成しなおした。

⑬備考には、柱題、前欠や後欠、附属物、推定事項などを記した。

⑭雄松堂から発行されたマイクロフィルムのリール番号を記した。マイクロフィルムに未収録の場合は、「無」と記載した。なお、目録とリール番号の照合は、時間的な制約により、一部にとどめた。現物とマイクロフィルムで、枝番号が異なる場合などがある。

欠番（原本所在不明）の史料等について

・No.0087、1278、1451は、マイクロフィルム版目録の作成時点で原本が確認できず、今回の調査においても確認できなかった。マイクロフィルムに未収録で、米沢市上杉博物館でも現在、所蔵が確認できないため、欠番とした。

・マイクロフィルム版では、No.1272の安田治部書状を、No.1262-02として二重に撮影している。このため、No.1262-02は欠番とした。

・No.1065、1189、1347、1533の台紙となっていた封紙と、1345の台紙のうち封紙分は欠番とした（第一分冊47ページ表を参照）。

原本および複製の閲覧について

・原本の閲覧等に際しては、米沢市上杉博物館の特別利用許可申請の手続きをとること（詳細については、事前に同館に問合せ）。

・複製については、本史料群の大部分が、雄松堂により撮影され、マイクロフィルムとして販売されており、国立国会図書館はじめ国内外の主要な図書館等で閲覧できる。

・市立米沢図書館の郷土資料担当では、本史料群の主要史料について、マイクロフィルムの紙焼きを配架し、公開している。

上杉家—領知

- 0001 上杉綱憲「出羽国之内置賜郡村高辻帳」(貞享元年)／一冊(二六丁)／貞享元年四月／三三・二×二二・一／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼／乙第六三号古文書図書■経巻仏像■出羽国置賜郡村高辻一冊■庫階下■段第上欄／裏打あり／001
- 0002 上杉綱憲「出羽国之内置賜郡村高辻帳」控(貞享元年)／一冊(二五丁)／貞享元年／二九・五×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／上杉弾正大弼／テ○本・八六 林泉文庫／原表紙に「正」の墨書あり、0001の控／001
- 0003 上杉吉憲「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(宝永八年)／一冊(三三丁)／宝永八年三月五日／三〇・七×二二・一／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉民部大輔／上杉伯爵家蔵書／裏打あり／墨書あり／001
- 0004 上杉吉憲「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(享保元年)／一冊(三三丁)／享保元年一月／三〇・三×二二・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉民部大輔／上杉伯爵家蔵書／裏打あり／001
- 0005 上杉宗憲「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」(享保一〇年)／一冊(三三丁)／享保一〇年／三〇・三×二二・八／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼／乙第六五号古文書図書経巻仏像仏器出羽国置賜郡ノ内郷村高辻七冊北倉庫階下■段第上欄)／001
- 0006 上杉宗房「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(延享三年)／一冊(三三丁)／延享三年二月／二九・五×二〇・八／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉民部大輔／上杉伯爵家蔵書／裏打あり／表紙に御小印表記あり／001
- 0007 上杉重定「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(宝曆一〇年)／一冊(三三丁)／宝曆一〇年一〇月／二九・九×二二・八／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭／上杉伯爵家蔵書／裏打あり／001
- 0008 「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(天保九年)／一冊(二七丁)／天保九年／三二・二×二二・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉伯爵家蔵書／表紙に墨書「天保九戌年御書上之節 御勘定所分書出候分」あり／001
- 0009 「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(安政六年)／一冊(二七丁)／安政六年／三一・八×一九・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉伯爵家蔵書／

表紙に貼紙墨書「安政六年御書上之節 御勘定所分書出候原本」あり／001

- 0010 上杉斉定「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(天保九年)／一冊(三三丁)／天保九年四月一日／三一・四×二二・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼／袋入、袋に「上杉伯爵家蔵書」印あり／001
- 0011 上杉斉憲「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(嘉永七年)／一冊(三三丁)／嘉永七年／三一・四×二二・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼／袋入、袋に「上杉伯爵家蔵書」印あり／001
- 0012 上杉斉憲「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(安政六年)／一冊(三三丁)／安政六年／三一・五×二二・六／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼／袋入、袋に「乙第六四号古文書図書経巻仏像仏器郷村高辻三冊 北倉庫階下第北棚段第上欄」ラベル貼付／001
- 0013 上杉治広「出羽国置賜郡之内郷村高辻帳」控(天保七年)／一冊(三三丁)／天保七年／二九・七×二二・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／上杉弾正大弼／オ○本・石高調上長井村々扱外 林泉文庫／裏打あり／001
- 0014-001 佐竹義隆「出羽国知行高目録」控(田川、櫛引、遊佐、由利の各郡)／一冊(二七九丁)／正保三年／三〇・六×二〇・六／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／佐竹修理大夫／図書第四〇号／002
- 0014-002 佐竹義隆「出羽国知行高目録」控(正保年間、雄勝、平鹿、山本、豊嶋、秋田、檜山の各郡)／一冊(一六九丁)／江戸前期(年月日未詳)／三〇・六×二〇・六／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／佐竹修理大夫／002
- 0015 「羽州置賜郡郷村帳」控(正保三年)／一冊(六七丁)／正保三年一〇月二日／三二・三×二二・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／表紙に「二」墨書あり／002
- 0016 上杉弾正大弼「領分附出羽国米沢領郷帳」控(元禄一三年)／一冊(三五丁)／元禄一三年三月四日／三一・〇×二二・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼／袋入、袋に墨書「控」、「乙第六二号古文書図書■経巻仏像■出羽国米沢領郷帳一冊 ■庫階下 ■第上欄」ラベル貼付／002
- 0017 「出羽国郷村帳」控(元禄一三年)／一冊(二八丁)／元禄一三年三月四日／三〇・三×二二・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／袋入、表紙貼紙「此通り之郷村帳二冊御上納 内一冊八御書物蔵 一冊八御勘定所へ相納之由」／002

0018 上杉弾正大弼「領分附 出羽国米沢領郷帳」控（元禄一三年）／一冊（三五丁）／元禄一三年三月四日／二九・六×二一・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／上杉弾正大弼／テ〇本 林泉文庫／上杉弾正大弼は綱憲／002

0020 幕府勘定所宛 高橋吉輔「出羽国置賜郡村仮名附帳」（米沢藩内の村の名称と口留番所）／一冊（三四丁）／享和三年六月／二九・六×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／上杉弾正大弼家来 高橋平左衛門↓御勘定所／テ〇本 林泉文庫／002

0021 代官別村名書上帳（上村九左衛門他九名扱い分）／一綴（六紙）／江戸後期（年月日未詳）／一五・二×一八・六／横半帳 仮綴 共紙原表紙 楮紙／002

0019-01 「上杉領村目録 一」（上長井分笹野村他四カカ村、米・漆・紅花・綿・馬他につき）／一冊（五八丁）／江戸後期（年月日未詳）／一五・四×一九・三／横半帳 長帳綴 縹地菊唐草模様原表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／表紙墨書「御無類本宜珍藏」、小口墨書「村目録上長井 一」、付箋の痕跡あり／002

0019-02 「上杉領村目録 二」（中郡分時田村他三〇カカ村、米・漆・紅花・綿・馬他につき）／一冊（四〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／一五・五×一九・三／横半帳 長帳綴 縹地菊唐草模様原表紙 楮紙／林泉文庫／小口墨書「村目録中郡 二」／002

0019-03 「上杉領村目録 三」（北条郷分糠野目村他五三カカ村、米・漆・紅花・綿・馬他につき）／一冊（六〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／一五・二×一九・四／横半帳 長帳綴 縹地菊唐草模様原表紙 楮紙／林泉文庫／小口墨書「村目録北条 三」／002

0019-04 「上杉領村目録 四」（下長井東通分伊佐沢村他二五カカ村、米・漆・紅花・綿・馬他につき）／一冊（四六丁）／江戸後期（年月日未詳）／一五・〇×一九・三／横半帳 長帳綴 縹地菊唐草模様原表紙 楮紙／林泉文庫／小口墨書「村目録下長井東 四」／002

0019-05 「上杉領村目録 五」（下長井西通分析窪村他二四カカ村、米・漆・紅花・綿・馬他につき）／一冊（三三丁）／江戸後期（年月日未詳）／一五・三×一九・四／横半帳 長帳綴 縹地菊唐草模様原表紙 楮紙／林泉文庫／小口墨書「村目録下長井西 五」／002

0019-06 「上杉領村目録 六 全」（小国外中津川分小国町小坂分と六七カカ村、米・漆・紅花・綿・馬他につき）／一冊（六七丁）／江戸後期（年月日未詳）／一五・

三×一九・四／横半帳 長帳綴 縹地菊唐草模様原表紙 楮紙／林泉文庫／小口墨書「村目録小国外中津川 六 完」／002

1810-01 「出羽国米沢領変地帳」（正保期の郷帳に基づいて元禄期に変更された場所をまとめ、幕府に提出した控え）／一冊（二一丁）／元禄一五年九月／三二・〇×二二・六／豎帳 紙釘装 共紙原表紙 楮紙／上杉弾正大弼内岩瀬小右衛門／1810-02を紙縫で括り付け／管理記号「レ」、幕府側の絵図役人に係る貼紙朱書きの付札 墨付九丁、もとは0017の郷村帳の袋に同封／234

1810-02 岩瀬小右衛門宛 町野新兵衛書状（国絵図と郷帳の村高記載につき拝領高と合致するよう対応すべし）／一通（二紙）／（元禄一三年）四月二七日／一八・三×六一・一／切継紙 楮紙／昨日者御渡：御座候以上／端裏書「岩瀬小右衛門様 町野新兵衛」／1810-01に紙縫で括り付け／町野は幕府役人／234

上杉家—幕府—御内書

0295 徳川將軍御内書集（0295-01〜41の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／四四・六×三〇・七／0295-0299は冊子状に加工されたものを解体、本来の折式に復元、袖・奥裁断ありカ／045

0295-01 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書（黄鷹贈答への答札）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）一〇月一六日／四四・五×六〇・五／折紙 檀紙／（黒印）↓上杉弾正少弼とのへ／黄鷹一居重而到来：大炊頭可申候也／045

0295-02 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書（移徙祝儀の太刀一腰・馬代黄金一〇兩贈答への答札）／一通（一紙）／江戸前期（年未詳）一〇月一八日／四四・五×六一・〇／折紙 檀紙／（黒印）↓上杉弾正少弼とのへ／為移徙之祝儀：大炊頭可申候也／045

0295-03 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書（端午の贈答黄金一〇兩への答札）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）五月二日／四四・五×六一・四／折紙 檀紙／（黒印）↓米沢侍従とのへ／為端午之嘉祥：大炊頭可申候也／045

0295-04 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書（新春の贈答太刀一腰・馬代黄金一〇兩への答札）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）一月七日／四四・五×六一・四／折紙 檀紙／（黒印）↓米沢侍従とのへ／為当春嘉祥：大炊頭可申候也／045

0295-05 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書（歳暮の贈答黄金一〇兩への答札）／一

通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一二月二四日／四四・五×六一・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮祝儀…大炊頭可申候也／045

0295-106 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書(新春の祝儀の使者、太刀一腰・馬代黄金一〇両の贈答への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一月一日／四四・五×六一・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将とのへ／為新春之祝儀…大炊頭可申候也／宛所を残すため、製本時の折り目が元と異なる可能性あり／045

0295-107 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書(新春の祝儀の使者、太刀一腰・馬代黄金一〇両の贈答への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一月二三日／四四・五×六一・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将とのへ／為年始之佳慶…大炊頭可申候也／045

0295-108 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書(姫宮誕生の祝儀、使者派遣、酒三荷・両種贈答への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一〇月五日／四四・五×六一・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将とのへ／為姫宮降誕之…大炊頭可申候也／宛所を残すため、製本時の折り目が元と異なる可能性あり／045

0295-109 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 五月三日／四四・五×六一・七／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将とのへ／為端午之佳兆…大炊頭可申候也／045

0295-110 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書(初鶴贈答への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月五日／四四・五×六一・八／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将とのへ／初鶴到来悦思…大炊頭可申候也／045

0295-111 上杉定勝宛 徳川秀忠御内書(鷹狩見舞いの蠟燭五〇〇挺贈答への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一二月二〇日／四四・六×六一・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将とのへ／為鷹野見廻…大炊頭可申候也／045

0295-112 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一二月二六日／四四・五×六一・七／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮祝儀…讃岐守可申候也／見返しに鉛筆書／045

0295-113 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一二月二七日／四四・五×六一・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮祝儀…讃岐守可申候也／045

0295-114 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 五月三日／四四・五×六一・七／折紙 檀紙／(黒印)

↓上杉喜平次とのへ／為端午之祝詞…讃岐守可申候也／虫損あり／045

0295-115 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月七日／四四・五×六一・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽之祝儀…讃岐守可申候也／045

0295-116 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月七日／四四・五×六一・九／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽之礼節…讃岐守可申候也／045

0295-117 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月七日／四四・六×六一・七／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽之祝詞…讃岐守可申候也／045

0295-118 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月七日／四四・六×六一・八／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽之祝儀…讃岐守可申候也／045

0295-119 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 五月三日／四四・六×六一・〇／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為端午祝儀…讃岐守可申候也／045

0295-120 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 五月三日／四四・五×六一・八／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為端午之祝儀…讃岐守可申候也／045

0295-121 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 五月三日／四四・五×六一・八／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為端午之祝儀…讃岐守可申候也／045

0295-122 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月七日／四四・五×六一・八／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽之祝詞…讃岐守可申候也／045

0295-123 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一二月二七日／四四・五×六一・八／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮之祝儀…讃岐守可申候也／045

0295-124 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一二月二七日／四四・六×六一・八／折紙 檀紙／(黒印)

印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮之祝儀…讃岐守可申候也／045

0295-25 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 二月二七日／四四・五×六一・九／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮之祝詞…讃岐守可申候也／045

0295-26 上杉綱勝宛 徳川家光御内書(蒲節(端午)の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 五月三日／四四・五×六一・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為蒲節之祝儀…讃岐守可申候也／045

0295-27 上杉定勝宛 徳川家光御内書(移徙の使者派遣・祝儀太刀・馬代黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一月七日／四四・六×六一・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／就移徙使者殊…雅楽頭可申候也／045

0295-28 上杉定勝宛 徳川家光御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 二月二五日／四四・五×六一・八／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮嘉祥…雅楽頭可申候也／045

0295-29 上杉定勝宛 徳川家光御内書(改年の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一月八日／四四・七×六一・〇／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為改年之嘉儀…雅楽頭可申候也／045

0295-30 上杉定勝宛 徳川家光御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 五月四日／四四・七×六一・〇／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉弾正少弼とのへ／為端午之嘉儀…雅楽頭可申候也／045

0295-31 上杉定勝宛 徳川家光御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 二月二八日／四四・五×六一・〇／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将とのへ／為歳暮之祝儀…大炊頭可申候也／045

0295-32 上杉定勝宛 徳川家光御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月八日／四四・五×六一・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将とのへ／為重陽之佳慶…雅楽頭可申候也／045

0295-33 上杉定勝宛 徳川家光御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月八日／四四・五×六一・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将殿／為端午之祝儀…大炊頭可申候也／045

0295-34 上杉定勝宛 徳川家光御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 二月二八日／四四・五×六一・七／折紙 檀紙／(黒

印) ↓米沢少将殿／為歳暮之祝儀…大炊頭可申候也／045

0295-35 上杉定勝宛 徳川家光御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月八日／四四・五×六一・八／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将殿／為重陽之佳祥…雅楽頭可申候也／045

0295-36 上杉定勝宛 徳川家光御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 二月二八日／四四・五×六一・七／折紙 檀紙／(花押) ↓米沢少将殿／為歳暮之慶事…雅楽頭可申候也／045

0295-37 上杉定勝宛 徳川家光御内書(年始の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一月七日／四四・六×六一・九／折紙 檀紙／(花押) ↓米沢少将殿／為年頭之嘉儀…雅楽頭可申候也／045

0295-38 上杉定勝宛 徳川家光御内書(白鳥の贈与への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 一〇月七日／四四・五×六一・六／折紙 檀紙／(花押) ↓米沢少将殿／為音信白鳥…雅楽頭可申候也／045

0295-39 上杉定勝宛 徳川家光御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 五月四日／四四・六×六一・九／折紙 檀紙／(花押) ↓米沢少将殿／為端午之嘉慶…雅楽頭可申候也／045

0295-40 上杉定勝宛 徳川家光御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月八日／四四・六×六一・七／折紙 檀紙／(花押) ↓米沢少将殿／為重陽之嘉儀…雅楽頭可申候也／045

0295-41 上杉定勝宛 徳川家光御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳) 九月八日／四四・五×六一・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢少将殿／為重陽之祝儀…大炊頭可申候也／045

0296 將軍徳川家綱御内書集(0296-01-22の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／四五・五×三二・二／045

0296-01 上杉定勝宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答白銀五〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文三年) 九月七日／四五・二×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝詞…雅楽頭可申候也／貼紙「寛文三年」あり／045

0296-02 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答白銀五〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文五年) 五月三日／四五・二×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為端午之祝儀…雅楽頭可申候也／貼紙「寛文五月廿九日」あり、文書

の受領日カ／045

0296-03 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答白銀五〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文五年)九月七日／四五・二×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽之祝儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文五年」あり／045

0296-04 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答白銀五〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文五年)二月二七日／四五・一×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮之嘉儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文五年之御歳暮也」あり／045

0296-05 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答白銀五〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文六年)五月三日／四五・一×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為端午之祝儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文六年」あり／045

0296-06 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答白銀五〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文六年)二月二七日／四五・二×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮之嘉儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文六年」あり／045

0296-07 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文七年)五月三日／四五・二×六四・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽之嘉儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文七端午」あり／045

0296-08 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文八年)五月三日／四五・二×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為端午之祝詞：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文八年つちのへ申五月十八日」あり／045

0296-09 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文八年)九月七日／四五・二×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽之祝儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文八年十月廿五日」あり／045

0296-10 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文八年)二月二七日／四五・二×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮祝儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文八年歳暮」あり／045

0296-11 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文八年)二月二七日／四五・二×六四・五／折紙 檀紙／(黒印)

↓上杉喜平次とのへ／為歳暮嘉祥：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文八年」あり／045

0296-12 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文九年)五月三日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為蒲節之祝儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文九年」あり／045

0296-13 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文九年)五月三日／四五・二×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為端午之嘉祥：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文九年」あり／045

0296-14 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文一〇年)九月七日／四五・二×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽之祝詞：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文十年端午之」あり／045

0296-15 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文一〇年)二月二七日／四五・二×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮之祝詞：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文十年庚戌年」あり／045

0296-16 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文一一年)五月三日／四五・二×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為蒲節之祝詞：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文一一年」あり／045

0296-17 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文一一年)二月二七日／四五・二×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮之祝儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文一一年」あり／045

0296-18 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文一二年)五月三日／四五・二×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為端午之嘉祥：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文一二年」あり／045

0296-19 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文一二年)九月七日／四五・二×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽祝詞：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文一二年」あり／045

0296-20 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛文一二年)二月二七日／四五・一×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮之嘉儀：雅楽頭可申候也／貼紙「寛文一二年」あり／045

5

0296-21 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (寛文一三年) 五月三日 / 四五・二×六四・二 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為端午祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「寛文十三年」あり / 045

0296-22 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (寛文一三年) 二月二七日 / 四五・一×六四・二 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為歳暮之嘉詞: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「寛文十三年」あり / 045

0297 將軍徳川家綱御内書集(0297-01-20の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 四五・三×三二・〇 / 045

0297-01 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝元年) 九月七日 / 四五・〇×六四・〇 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為重陽之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝元年」あり / 045

0297-02 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝二年) 五月三日 / 四五・〇×六四・〇 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為重陽之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝二年」あり / 045

0297-03 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝二年) 九月七日 / 四五・〇×六四・〇 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為重陽之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝二年重陽」あり / 045

0297-04 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝二年) 二月二七日 / 四五・〇×六四・〇 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為歳暮佳節: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝二年」あり / 045

0297-05 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝三年) 五月三日 / 四五・〇×六四・〇 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為端午之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝三年」あり / 045

0297-06 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝三年) 九月七日 / 四五・〇×六四・二 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為重陽之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝三年」あり / 045

0297-07 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝三年) 二月二七日 / 四五・〇×六四・二 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓

↓上杉喜平次とのへ / 為歳暮之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝三年」あり / 045

0297-08 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝四年) 五月三日 / 四五・〇×六四・二 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
沢侍従とのへ / 為端午之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝四年」あり / 045

0297-09 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答白銀五〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝四年) 九月七日 / 四五・一×六四・二 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為重陽之嘉祥: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝四年」あり / 045

0297-10 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝四年) 九月七日 / 四五・一×六四・四 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
沢侍従とのへ / 為重陽之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝四年」あり / 045

0297-11 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝四年) 二月二七日 / 四五・二×六四・三 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
米沢侍従とのへ / 為歳暮之嘉祝: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝四年歳暮」あり / 045

0297-12 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝五年) 五月三日 / 四五・〇×六四・三 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
沢侍従とのへ / 為端午之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝五年」あり / 045

0297-13 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝五年) 九月七日 / 四五・一×六四・三 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
沢侍従とのへ / 為重陽祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝五年」あり / 045

0297-14 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(端午の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝六年) 五月三日 / 四五・一×六四・四 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
沢侍従とのへ / 為端午之嘉儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝六年」あり / 045

0297-15 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(重陽の贈答白銀五〇両への答礼) / 一通(一紙) / (寛文六年) 九月七日 / 四五・一×六四・三 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
上杉喜平次とのへ / 為重陽之嘉儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「寛文六年」あり / 045

0297-16 上杉綱憲宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝六年) 閏二月二七日 / 四五・一×六四・三 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓
米沢侍従とのへ / 為歳暮之祝儀: 雅楽頭可申候也 / 貼紙「延宝六年」あり / 045

0297-17 上杉宛 徳川家綱御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答礼) / 一通(一紙) / (延宝六年) 閏二月二七日 / 四五・一×六四・三 / 折紙 檀紙 / (黒印) ↓

紙)／江戸中期(年未詳)一二月二七日／四五・一×六四・四／折紙 檀紙／(黒印)
↓米沢侍従とのへ／為歳暮祝詞：雅楽頭可述候也／名宛人は綱勝か綱憲／045

0297-118 上杉綱憲宛 徳川家綱吉御内書(歳暮の贈答白銀五〇両への答札)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月二七日／四五・一×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為歳暮之祝儀：雅楽頭可申候也／045

0297-119 上杉綱憲宛 徳川家綱吉御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月七日／四五・一×六四・〇／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽嘉祝：雅楽頭可述候也／045

0297-120 上杉綱憲宛 徳川家綱吉御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月七日／四五・二×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓上杉喜平次とのへ／為重陽嘉儀：雅楽頭可申候也／045

0298 徳川將軍御内書集(0298-01-26の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／四五・三×三二・一／045

0298-01 上杉吉憲宛 徳川綱吉御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝永三年)一二月二九日／四五・二×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：相模守可述候也／「宝永三年」の貼紙あり／045

0298-02 上杉吉憲宛 徳川綱吉御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝永四年)九月七日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：相模守可述候也／「宝永四年」の貼紙あり／045

0298-03 上杉吉憲宛 徳川綱吉御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝永四年)一二月二九日／四五・二×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：加賀守可述候也／「宝永四年」の貼紙あり／045

0298-04 上杉吉憲宛 徳川綱吉御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月三日／四五・〇×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：丹後守可述候也／受給は老中稲葉丹後守の在職期間から／045

0298-05 上杉吉憲宛 徳川家宣御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(正徳元年)九月七日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：豊後守可述候也／「正徳元年九月七日」の貼紙あり／045

0298-06 上杉吉憲宛 徳川家宣御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月二七日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：伯耆守可述候也／「宝永四年」の貼紙あり／045

0298-07 上杉吉憲宛 徳川家継御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月二七日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之賀儀：但馬守可述之候也／「正徳三年」の貼紙あり／045

0298-08 上杉吉憲宛 徳川吉宗御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(享保二年)九月七日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：山城守可述候也／「享保二年」の貼紙あり／045

0298-09 上杉吉憲宛 徳川吉宗御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(享保四年)五月三日／四五・〇×六四・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：河内守可述候也／「享保四年」の貼紙あり／045

0298-10 上杉吉憲宛 徳川吉宗御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(享保四年)九月七日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：和泉守可述候也／「享保四年」の貼紙あり／045

0298-11 上杉吉憲宛 徳川吉宗御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(享保七年)一二月二七日／四五・〇×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：和泉守可述候也／「享保七年」の貼紙あり／045

0298-12 上杉重定宛 徳川家重御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(延享四年)一二月二七日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：相模守可述候也／「延享四年」の貼紙あり／045

0298-13 上杉重定宛 徳川家重御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛延二年)五月二日／四五・一×六四・七／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：伯耆守可述候也／「寛延二年」の貼紙あり／045

0298-14 上杉重定宛 徳川家重御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛延二年)九月七日／四五・一×六四・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：右近将監可述候也／「寛延二年」の貼紙あり／045

0298-15 上杉重定宛 徳川家重御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(寛延四年)九月七日／四五・一×六四・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米

沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：相模守可述候也／「寛延四年」の貼紙あり／045

0298-116 上杉重定宛 徳川家重御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦元年)五月四日／四五・〇×六四・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：左衛門尉可述候也／「宝暦元年」の貼紙あり／045

0298-117 上杉重定宛 徳川家重御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦三年)五月二日／四五・一×六四・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：伯耆守可述候也／「宝暦三年」の貼紙あり／045

0298-118 上杉重定宛 徳川家重御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦三年)九月七日／四五・〇×六四・七／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：相模守可述候也／「宝暦三年」の貼紙あり／045

0298-119 上杉重定宛 徳川家重御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦三年)二月二七日／四五・一×六四・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：隠岐守可述候也／「宝暦三年」の貼紙あり／045

0298-120 上杉重定宛 徳川家重御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦七年)五月四日／四五・一×六四・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：隠岐守可述候也／「宝暦七年」の貼紙あり／045

0298-121 上杉重定宛 徳川家重御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦七年)九月七日／四五・〇×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：右近将監可述候也／「宝暦七年」の貼紙あり／045

0298-122 上杉重定宛 徳川家重御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦七年)二月二七日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：左衛門尉可述候也／「宝暦七年」の貼紙あり／045

0298-123 上杉重定宛 徳川家重御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦九年)五月二日／四五・一×六四・六／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：右京大夫可述候也／「宝暦九年」の貼紙あり／045

0298-124 上杉重定宛 徳川家重御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦九年)九月七日／四五・一×六四・五／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：右近将監可述候也／「宝暦九年」の貼紙あり／045

0298-125 上杉重定宛 徳川家重御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一

通(一紙)／(宝暦九年)二月二七日／四五・一×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：左衛門尉可述候也／「宝暦九年」の貼紙あり／045

0298-126 上杉重定宛 徳川家重御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月二七日／四五・一×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：伯耆守可述候也／受給は老中本多伯耆守の在職期間から／045

0299 将軍徳川家治御内書集(0299-101、21の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／四五・三×三一・九／045

0299-101 上杉重定宛 徳川家治御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦一年)五月二日／四五・〇×六四・〇／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：河内守可述候也／「宝暦一年」の貼紙あり／045

0299-102 上杉重定宛 徳川家治御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦一年)九月七日／四五・〇×六四・〇／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：左衛門尉可述候也／「宝暦一年」の貼紙あり／045

0299-103 上杉重定宛 徳川家治御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦一年)二月二七日／四五・〇×六一・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：但馬守可述候也／「宝暦一年」の貼紙あり／045

0299-104 上杉重定宛 徳川家治御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(宝暦二年)五月二日／四五・〇×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：右京大夫可述候也／「宝暦十二年」(墨書)、「宝暦十二」(朱書)の貼紙あり／045

0299-105 上杉重定宛 徳川家治御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(明和二年)五月二日／四五・〇×六四・一／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：右京大夫可述候也／「明和二年」の貼紙あり／045

0299-106 上杉重定宛 徳川家治御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(明和二年)九月七日／四五・〇×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：右近将監可述候也／「明和二年」の貼紙あり／045

0299-107 上杉重定宛 徳川家治御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一

通(一紙)／(明和二年)二月二七日／四五・〇×六四・一／折紙 檀紙／(黒印)
↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：伊予守可述候也／「明和二年」の貼紙あり／045

通(一紙)／(天明元年)九月七日／四五・一×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：周防守可述候也／「天明元年」の貼紙あり／045

0299-08 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(明和八年)九月二七日／四五・〇×六四・一／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：右京大夫可述候也／「明和八年」の貼紙あり／045

0299-17 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(天明元年)二月二七日／四五・一×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：大和守可述候也／「天明元年」の貼紙あり／045

0299-09 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(明和八年)五月二日／四五・〇×六四・一／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：佐渡守可述候也／「明和八年」の貼紙あり／045

0299-18 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(天明三年)五月二日／四五・一×六四・三／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：主殿頭可述候也／「天明三年」の貼紙あり／045

0299-10 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(安永二年)九月七日／四五・一×六四・一／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：周防守可述候也／「安永二年」の貼紙あり／045

0299-19 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(天明三年)九月七日／四五・一×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：大和守可述候也／「天明三年」の貼紙あり／045

0299-11 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(安永八年)九月七日／四五・一×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為重陽之祝儀：佐渡守可述候也／「安永八年」の貼紙あり／045

0299-20 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(天明元年)二月二七日／四五・一×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：周防守可述候也／「天明三年」の貼紙あり／045

0299-12 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(安永八年)二月二七日／四五・一×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：右京大夫可述候也／「安永八年」の貼紙あり／045

0299-21 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(天明三年)五月二日／四五・一×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：主殿頭可述候也／「天明四年」の貼紙あり／045

0299-13 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(安永八年)二月二七日／四五・一×六四・二／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：主殿頭可述候也／「安永八年」の貼紙二枚(墨書・朱書)あり／045

0300 覚書(三季御内書交付における担当老中病気に伴う三例の次第)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・一×一〇・一八／切継紙 楮紙／宝暦十一年十二月：相勤候以上／端裏書「御内書御渡之異事」／宝暦十一年二月一六日、明和四年一月二二日の重陽、寛政二年六月二五日の端午の御内書渡しを対象／045

上杉家—幕府—老中奉書

0299-14 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(歳暮の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／江戸中期(年月未詳)二月二七日／四五・二×六四・四／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為歳暮之祝儀：周防守可述候也／米沢侍従は重定の可能性もあり／045

0302-01 江戸幕府老中奉書集(0302-01-01-51の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三九・四×二七・八／素紙後補表紙／0302は冊子状に加工されたものを解体、本来の折式に復元、袖・奥裁断ありカ／046

0299-15 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(端午の贈答黄金一〇両への答札)／一通(一紙)／(天明元年)五月二日／四五・〇×六四・一／折紙 檀紙／(黒印) ↓米沢侍従とのへ／為端午之祝儀：右京大夫可述候也／「天明元年」の貼紙二枚(墨書・朱書)あり／045

0302-01-01 上杉定勝宛 酒井忠世・土井利勝奉書(徳川家光の將軍宣下に伴う参内への供奉命令)／一通(一紙)／(元和九年)八月二日／三九・二×五五・〇／折紙 奉書紙／酒井雅楽頭忠世(花押)・土井大炊頭利勝(花押) ↓上杉弾正少弼殿／就將軍 宣下：可被成御尋候恐々謹言／046

0299-16 上杉鷹山宛 徳川家治御内書(重陽の贈答黄金一〇両への答札)／一

0302-01-02 上杉定勝宛 土井利勝他二名奉書(明日江戸城西丸における能興行見物のための登城命令)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳)九月一日／三九・四×五四・四／折紙 奉書紙／土井大炊頭利勝(花押)他二名↓上杉弾正少弼殿人々御中カ／明日於西丸一条殿：可被成御登城候恐々謹言／袖・奥裁断あり／046

0302-01-03 上杉定勝宛 松平信綱・阿部重次奉書(定勝の所勞のため医師玄勝派遣)／一通(一紙)／(正保二年カ)九月四日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／松平伊豆守信綱(花押)・阿部对馬守重次(花押)↓上杉弾正少弼殿／貴殿所勞付而：上意候恐々謹言／046

0302-01-04 上杉定勝宛 松平信綱・阿部重次奉書(定勝の所勞のため林丹波守派遣)／一通(一紙)／(正保二年カ)九月六日／三九・四×五五・〇／折紙 奉書紙／松平伊豆守信綱(花押)・阿部对馬守重次(花押)↓上杉弾正少弼殿／其方所勞之趣：可為演說候恐々謹言／正保二年のものと次回説の貼紙あり／046

0302-01-05 上杉綱勝宛 酒井忠清他三名奉書(徳川秀忠遠忌に伴う將軍家光の「御仏殿」参詣の祝賀使派遣の報告)／一通(一紙)／(寛文四年)二月一日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／酒井雅楽頭忠清(花押)他三名↓上杉播磨守殿／御状令拝見候：可及上聞候恐々謹言／046

0302-01-06 上杉綱憲宛 花山院定誠・千種有能書状(新造内裏に伴う遷幸の靈元天皇および女御への祝儀の礼状)／一通(一紙)／(延宝三年)二月四日／三九・四×五五・四／折紙 楮紙／定誠・有能↓上杉喜平次殿／新造内裏江就：喜悅之事候恐々謹言／「延宝三年一月一四」の貼紙あり、発給者は武家伝奏／046

0302-01-07 上杉綱憲宛 土屋政直奉書(將軍徳川綱吉への「御肴一種」献上の綱吉への披露)／一通(一紙)／(元禄五年カ)正月二日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押)↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：遂披露候恐々謹言／「元禄五年」の貼紙あり／046

0302-01-08 上杉綱憲宛 戸田忠昌奉書(將軍徳川綱吉の正月二日の山王参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月五日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／戸田山城守忠昌(花押)↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：及言上候恐々謹言／046

0302-01-09 上杉綱憲宛 戸田忠昌奉書(將軍徳川綱吉の正月二七日の知足院参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月七日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／戸田山城守忠昌(花押)↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：及言上候恐々謹言／046

0302-01-10 上杉綱憲宛 戸田忠昌奉書(將軍徳川綱吉の正月二四日の増上寺参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月六日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／戸田山城守忠昌(花押)↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：及言上候恐々謹言／裏面に「元禄五、四枚」の貼紙／046

0302-01-11 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(將軍徳川綱吉の護国寺参詣の見舞いの綱吉に報告)／一通(一紙)／(宝永二年カ)二月一日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押)↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：及高聴候恐々謹言／袖・奥裁断ありカ、袖に「宝永二年」の貼紙、年号の根拠不明／046

0302-01-12 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(二月五日の降雪に伴う見舞状の將軍への披露)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月一日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押)↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：及高聴候恐々謹言／発給者は老中、0302-01-13と同日付カ／046

0302-01-13 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(二月五日の降雪に伴う見舞状の確認)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月一日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押)↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：令承知候恐々謹言／袖・奥裁断ありカ、側用人発給／046

0302-01-14 上杉吉憲宛 稻葉正通奉書(二位様(桂昌院)死去に伴う見舞状の將軍徳川綱吉への披露)／一通(一紙)／(宝永二年)七月八日／三九・四×五五・六／折紙 奉書紙／稻葉丹後守正通(花押)↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：及言上候恐々謹言／046

0302-01-15 上杉吉憲宛 松平吉保・松平輝貞奉書(一位様死去に伴う見舞状の確認)／一通(一紙)／(宝永二年)七月八日／三九・四×五五・六／折紙 奉書紙／松平美濃守吉保(花押)・松平右京大夫輝貞(花押)↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：令承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-01-16 上杉吉憲宛 土屋政直他四名奉書(吉憲の初帰国に伴う贈答を將軍徳川綱吉に報告)／一通(一紙)／(宝永二年)七月九日／三九・四×五五・六／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押)他四名↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：及言上候恐々謹言／046

0302-01-17 上杉吉憲宛 松平吉保・松平輝貞奉書(吉憲の初帰国に伴う贈答の確認)／一通(一紙)／(宝永二年)七月一日／三九・四×五五・七／折紙 奉書紙／松平美濃守吉保(花押)・松平右京大夫輝貞(花押)↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：令承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-01-18 上杉吉憲宛 稲葉正通奉書〔御檜重〕の献上を將軍に報告
／一通(一紙)／(宝永六年)七月三日／三九・四・五五・七／折紙 奉書紙／稲葉
丹後守正通(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：遂披露候恐々謹言／046

0302-01-19 上杉吉憲宛 松平輝貞奉書〔御檜重〕の献上の確認／一通(一
紙)／(宝永六年)七月一日／三九・四・五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝
貞(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：得其意候恐々謹言／側用人発給、松平吉
保が病氣のため今後署判しない旨を追而書に記載／046

0302-01-20 上杉吉憲宛 松平輝貞奉書(將軍徳川綱吉・大納言家宣の見舞
状の確認)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月二七日／三九・四・五五・六／折
紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：得其意候恐々
謹言／側用人発給／046

0302-01-21 上杉吉憲宛 稲葉正通奉書(將軍徳川綱吉・大納言家宣の見舞
状の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月二七日／三九・五・五五・七／折
紙 奉書紙／稲葉丹後守正通(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：及高聞候恐々
謹言／046

0302-01-22 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書〔御肴〕献上を將軍徳川綱吉に
披露)／一通(一紙)／(宝永二年カ)八月五日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙
／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：遂披露候恐々謹言／0
46

0302-01-23 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(桂昌院死去に伴う香典奉納を將軍
徳川綱吉に報告)／一通(一紙)／(宝永二年)八月一日／三九・五・五五・七／折
紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／桂昌院様御逝去：高聽候恐々
謹言／桂昌院死去により年次比定／046

0302-01-24 上杉吉憲宛 稲葉正通奉書(端午・八朔の祝儀献上の將軍徳川
綱吉への報告)／一通(一紙)／(宝永二年カ)八月晦日／三九・五・五五・六／折紙
奉書紙／稲葉丹後守正通(花押) ↓上杉民部大輔殿／為端午之御祝儀：遂披露候恐々謹
言／046

0302-01-25 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(將軍徳川綱吉の八月二二日の増上
寺参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝永二年)九月四日／三九・五・五五・五
／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：及言上候
恐々謹言／046

0302-01-26 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(大納言徳川家宣の八月二四日の増

上寺参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝永二年)九月六日／三九・五・五五・
五／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：及高聞
候恐々謹言／046

0302-01-27 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(大納言徳川家宣の九月八日東叡
山御堂参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝永二年)九月二一日／三九・五・五
五・六／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：
及言上候恐々謹言／046

0302-01-28 上杉吉憲宛 松平輝貞奉書(紀州藩主徳川頼職死去の弔意の受
理)／一通(一紙)／(宝永二年)九月二八日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／
松平右京大夫輝貞(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：令承知候恐々謹言／徳川
頼職死去から年次比定、側用人発給／046

0302-01-29 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(紀州藩主徳川頼職死去の弔意を將
軍徳川綱吉に報告)／一通(一紙)／(宝永二年)九月二八日／三九・五・五五・六／
折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：及高聞候
恐々謹言／徳川頼職死去から年次比定／046

0302-01-30 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(紀州藩主徳川頼職死去の弔意を
將軍徳川綱吉に報告)／一通(一紙)／(宝永二年)九月二八日／三九・五・五五・七
／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：及言上
候恐々謹言／徳川頼職死去から年次比定／046

0302-01-31 上杉吉憲宛 土屋政直奉書(大久保加賀守・井上河内守の老中
就任の祝賀の報告)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月一〇日／三九・五・五五・七
／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々
謹言／大久保・井上両名は宝永二年九月二一日老中就任／046

0302-01-32 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(大久保加賀守・井上河
内守の老中就任につき祝賀の受諾)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月一〇日／三九・
五・五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓
上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／大久保・井上両名は宝永二年九月二
一日老中就任、側用人発給／046

0302-01-33 上杉吉憲宛 本多正永奉書(大久保加賀守・井上河内守の老中
就任の祝賀の報告)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月一〇日／三九・五・五五・六
／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々
謹言／大久保・井上両名は宝永二年九月二一日老中就任／046

0302-01-33 上杉吉憲宛 本多正永奉書(大久保加賀守・井上河内守の老中

0302-01-34 上杉吉憲宛 土屋政直奉書(梨子二箱献上を將軍徳川綱吉への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月一日／三九・五×五五・七／折紙奉書紙／土屋相模守政直(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／発給者は老中／046

0302-01-35 上杉吉憲宛 本多正永奉書(梨子二箱献上を世子徳川家宣への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月一日／三九・五×五五・七／折紙奉書紙／本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-01-36 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(梨子二箱の献上を受諾)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月二日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-01-37 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(一〇月四日の徳川家宣の増上寺御仏殿参詣に関する見舞状の受諾)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月二日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-01-38 上杉吉憲宛 本多正永奉書(一〇月四日の徳川家宣の増上寺御仏殿参詣に関する見舞状の家宣への報告の通知)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月二七日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-01-39 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(徳川綱吉養女・水戸夫人八重姫の抱瘡の回復の祝意の書状の受諾)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月一日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-01-40 上杉吉憲宛 稲葉正通奉書(徳川綱吉養女・水戸夫人八重姫の抱瘡の回復の祝意を將軍へ報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月一日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／稲葉丹後守正通(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高間候恐々謹言／046

0302-01-41 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(徳川家宣の一〇月二九日の東叡山参詣の見舞状の將軍徳川綱吉への報告)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月一日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-01-42 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(御肴一種献上を世子家宣に報告)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月一日／三九・五×五五・八／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-01-43 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(徳川綱吉養女・水戸夫人八重姫の抱瘡の回復の祝意を將軍へ報告)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月一日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-01-44 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(徳川家宣に御肴一種献上の報告を通知)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月二日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-01-45 上杉吉憲宛 本多正永奉書(鮭甘子五桶・脊腸五桶献上を將軍に報告)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月三日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-01-46 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(鮭甘子五桶・脊腸五桶献上を受諾)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月三日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-01-47 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(鮭甘子・脊腸献上を將軍に報告)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-01-48 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(將軍徳川綱吉の観音堂参詣の見舞状を受諾)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月九日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-01-49 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(將軍徳川綱吉の観音堂参詣の見舞状を將軍への報告)／一通(一紙)／(宝永二年)一〇月九日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高間候恐々謹言／046

0302-01-50 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(將軍徳川綱吉の護国寺

御成参詣の見舞状を受諾)／一通(一紙)／(宝永二年)二月二日／三九・五・五
五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠栄(花押) ↓上杉民
部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-011-51 上杉吉憲宛 稲葉正通奉書(一月五日江戸城近所の火災に対
する見舞いを將軍へ報告)／一通(一紙)／(宝永二年)一月一日／三九・五・五
五・五／折紙 奉書紙／稲葉丹後守正通(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高
聞候恐々謹言／046

0302-02 江戸幕府老中奉書集(0302-02-01、31の表紙)／一冊／
近代(年月日未詳)／三九・五・二七・八／素紙後補表紙／046

0302-02-01 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠栄奉書(幕府での年始行事の終
了の祝意を承知)／一通(一紙)／(宝永三年カ)一月九日／三九・五・五・四／折
紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠栄(花押) ↓上杉民部大輔殿
御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給、「宝永三年」の貼紙あり、○に誤の鉛筆
の加筆あり／046

0302-02-02 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(幕府での年始行事の終了の祝意
を將軍に報告)／一通(一紙)／(宝永三年カ)一月九日／三九・五・五・四／折紙
奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言
／「宝永三年」の貼紙あり／046

0302-02-03 上杉吉憲宛 小笠原長重・本多正永奉書(年頭祝儀太刀一腰・
御馬代黄金一〇両献上を將軍に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日
／三九・四・五・四／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押)・本多伯耆守正永(花
押) ↓上杉民部大輔殿／為年頭之御祝儀：披露候恐々謹言／046

0302-02-04 上杉吉憲宛 土屋政直他四名奉書(年頭祝儀太刀一腰・御馬代
黄金一〇両献上を將軍に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・
五・五・四／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) 他四名 ↓上杉民部大輔殿／為年
頭之御祝儀：披露候恐々謹言／046

0302-02-05 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書(正月二〇日の將軍徳川綱吉の東
叡山参詣の見舞いを綱吉に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月六日／三九・
五・五・五／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披
見候：高聞候恐々謹言／046

0302-02-06 上杉吉憲宛 本多正永奉書(徳川家宣に御肴一種献上を報告)
／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月九日／三九・五・五・五／折紙 奉書紙／

本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／西丸付老
中発給カ／046

0302-02-07 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠栄奉書(正月二四日の増上寺、
翌二五日の護持院参詣への見舞いを受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月九
日／三九・四・五・五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠栄(花
押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-02-08 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書(正月二四日の増上寺、翌二五
日の護持院参詣への見舞いを報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月九日／三九・
五・五・五・五／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披
見候：高聞候恐々謹言／046

0302-02-09 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書(將軍徳川綱吉に御肴一種献上を
將軍に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月九日／三九・五・五・五／折
紙 奉書紙／大久保加賀守忠増(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々
謹言／046

0302-02-10 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書(二月六日將軍徳川綱吉の松平美
濃守邸御成の見舞いを綱吉に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月一日
／三九・五・五・五／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増(花押) ↓上杉民部大輔殿／御
状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-02-11 上杉吉憲宛 本多正永奉書(二月九日の松平輝貞邸への徳川綱
吉御成の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝永三年)二月三日／三九・五・五・五・
六／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候
恐々謹言／046

0302-02-12 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書(二月九日の松平輝貞邸への徳川
綱吉御成の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝永三年)二月三日／三九・四・五・五・
六／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞
候恐々謹言／046

0302-02-13 上杉吉憲宛 松平輝貞奉書(二月九日の私宅への徳川綱吉御成
の見舞いの受理)／一通(一紙)／(宝永三年)二月三日／三九・四・五・五・六／折
紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々
謹言／側用人発給／046

0302-02-14 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書(徳川家宣の二月一日の柳沢吉
保邸来訪の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝永三年)二月五日／三九・四・五・五・

六／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聴候恐々謹言／046

0302-02-15 上杉吉憲宛 本多正永奉書（徳川家宣の二月一日の柳沢吉保邸来訪の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝永三年）二月二五日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-02-16 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書（徳川家宣の二月一四日の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月二七日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-02-17 上杉吉憲宛 本多正永奉書（徳川家宣の二月一四日の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月二七日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-02-18 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（徳川家宣の二月一四日の増上寺参詣の見舞いの承知）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月二七日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-02-19 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書（徳川家宣の二月二七日の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月一〇日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸付発給カ／046

0302-02-20 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（将軍徳川綱吉に御肴献上を受理）／一通（一紙）／（宝永三年カ）三月一三日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-02-21 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書（徳川家宣に御肴一種献上を報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月一五日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-02-22 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書（徳川家宣の浜御殿訪問の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）四月九日／三九・五・五五・六／折紙 奉

書紙／秋元但馬守喬朝（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-02-23 上杉吉憲宛 本多正永奉書（徳川家宣の浜御殿訪問の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）四月九日／三九・五・五五・七／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-02-24 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書（将軍徳川綱吉の日光御門跡御成の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝永三年）四月一〇日／三九・五・五五・七／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-02-25 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書（徳川家宣の四月四日の小石川御殿訪問の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝永三年）四月一六日／三九・五・五五・七／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-02-26 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（将軍徳川綱吉の日光御門跡御成の見舞いの受理）／一通（一紙）／（宝永三年）四月一〇日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-02-27 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書（徳川家宣に御肴一種献上の報告）／一通（一紙）／（宝永三年カ）五月一八日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-02-28 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（将軍徳川綱吉に御肴一種献上を受理）／一通（一紙）／（宝永三年カ）五月一八日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／『歴代年譜』宝永三年五月一八日条に幕府・西の丸に干鱈一箱ずつ献上の記事あり、側用人発給／046

0302-02-29 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書（将軍徳川綱吉の五月八日東叡山御堂参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝永三年）五月二一日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-02-30 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（将軍徳川綱吉の五月八

日東叡山御堂参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／(宝永三年)五月二日／三九・五五・五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠栄(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-02-31 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(將軍徳川綱吉の五月八日東叡山御堂参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝永三年)五月二日／三九・四・五五・七／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-03 江戸幕府老中奉書集(0302-03-01-52の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三九・五・二七・八／素紙後補表紙／046

0302-03-01 上杉吉憲宛 土屋政直他四名奉書(帰国の暇・拝領物への謝意の受理と使者・献上物への將軍の謝意)／一通(一紙)／(宝永四年カ)六月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) 他四名 ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-03-02 上杉吉憲宛 本多正永奉書(徳川家宣へ御肴一種献上の報告)／一通(一紙)／(宝永四年カ)六月二日／三九・四・五五・二／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-03-03 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠栄奉書(將軍徳川綱吉に御肴献上の報告)／一通(一紙)／(宝永四年カ)六月二日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠栄(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-04 上杉吉憲宛 土屋政直奉書(將軍徳川綱吉へ御肴一種献上の報告)／一通(一紙)／(宝永四年カ)六月二日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-05 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(土用の見舞いとして御肴兩種献上の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月二日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-06 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠栄奉書(土用の見舞いとして御肴兩種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月二日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠栄(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-07 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠栄奉書(桂昌院三回忌仏事と、徳川綱吉・家宣の増上寺参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／(宝永四年)七月九日／三九・五・五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠栄(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-08 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(桂昌院三回忌の香典を増上寺に献上を將軍に報告)／一通(一紙)／(宝永四年)七月九日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／今度 桂昌院様：高聞候恐々謹言／046

0302-03-09 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠栄奉書(將軍徳川綱吉に御肴献上の受理)／一通(一紙)／(宝永四年)七月二日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠栄(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-10 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠栄奉書(家千代誕生祝意の書状の受理)／一通(一紙)／(宝永四年)七月二日／三九・五・五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠栄(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-11 上杉吉憲宛 稲葉正通奉書(家千代誕生の祝意の將軍徳川家綱への報告)／一通(一紙)／(宝永四年)七月二日／三九・五・五五・七／折紙 奉書紙／稲葉丹後守正通(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-03-12 上杉吉憲宛 土屋政直他三名奉書(八朔の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇兩献上の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月三日／三九・五・五五・一／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) 他三名 ↓上杉民部大輔殿／為八朔之御祝儀：披露候恐々謹言／046

0302-03-13 上杉吉憲宛 小笠原長重・本多正永奉書(徳川家宣・家千代への八朔祝儀の目録献上の披露)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月三日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押)・本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／為八朔之御祝儀：披露候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-03-14 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(七月一八日の徳川家千代の七夜の祝儀の終了に対する祝意の報告)／一通(一紙)／(宝永四年)八月四日／三九・五・五五・七／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-03-15 上杉吉憲宛 小笠原長重・本多正永奉書（七月一八日の徳川家千代の七夜の祝儀の終了に対する祝意の報告）／一通（一紙）／（宝永四年）八月四日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重（花押）・本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-03-16 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（吉憲伯母清姫の縁組の承認への謝意の受理）／一通（一紙）／（宝永四年）八月一九日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-17 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書（吉憲伯母清姫の縁組の承認への謝意の受理、諸城一覽の通知）／一通（一紙）／（宝永四年）八月一九日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-03-18 上杉吉憲宛 本多正永奉書（吉憲伯母清姫の縁組の承認への謝意の受理）／一通（一紙）／（宝永四年）八月一九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-03-19 上杉吉憲宛 小笠原長重・本多正永奉書（重陽の祝儀の世子への披露）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）九月七日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重（花押）・本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／為重陽之御祝儀：披露候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-03-20 上杉吉憲宛 土屋政直奉書（徳川家宣の九月一四日の増上寺御仏殿参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月二日／三九・五×五五・八／折紙 奉書紙／土屋相模守政直（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-03-21 上杉吉憲宛 本多正永奉書（徳川家千代死去の見舞いの言上）／一通（一紙）／（宝永四年）一〇月一日／三九・五×五五・八／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-03-22 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書（徳川家千代死去の見舞いの言上）／一通（一紙）／（宝永四年）一〇月一日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-03-23 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月二三日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松

平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-24 上杉吉憲宛 本多正永奉書（見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月一三日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-03-25 上杉吉憲宛 本多正永奉書（一〇月四、五日の地震見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月六日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-03-26 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（一〇月四、五日の地震見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月一六日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-27 上杉吉憲宛 本多正永奉書（梨子二箱献上の披露）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月二日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-28 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（梨子二箱献上の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月二三日／三九・六×五五・八／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-29 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（御肴献上の了承）／一通（一紙）／（宝永四年カ）一一月一九日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-30 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（御肴献上の披露）／一通（一紙）／（宝永四年カ）一一月一九日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-31 上杉吉憲宛 土屋政直他三名奉書（次の参府時期の質問に来年四月中と回答）／一通（一紙）／（宝永四年）一一月二三日／三九・五×五五・八／折紙 奉書紙／土屋相模守政直（花押）他三名↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-03-32 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(御肴献上の了承)／一通(一紙)／(宝永四年カ)一月二三日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-33 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(御肴一種献上の披露)／一通(一紙)／(宝永四年カ)一月二三日／三九・五×五五・八／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-34 上杉吉憲宛 本多正永奉書(江戸での降雪に対する見舞いの言上)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月二日／三九・五×五五・八／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-03-35 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(去る九日の江戸での降雪に対する見舞いの了承)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月二日／三九・六×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-36 上杉吉憲宛 本多正永奉書(寒中見舞い、鮭甘子・同脊腸献上の披露)／一通(一紙)／(宝永四年カ)二月二日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-37 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(寒中見舞い、鮭甘子・同脊腸献上の了承)／一通(一紙)／(宝永四年カ)二月二日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-38 上杉吉憲宛 小笠原長重・本多正永奉書(歳暮の祝儀献上の披露)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月二日／三九・五×五五・一／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押)・本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／為歳暮之御祝儀：披露候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-03-39 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(新年の挨拶と年始行事の終了の見舞いの言上)／一通(一紙)／(宝永五年カ)一月九日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／「宝永五年」の貼紙あり／046

0302-03-40 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(御肴一種献上の披露)／一通(一

紙)／(宝永五年カ)一月二三日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-41 上杉吉憲宛 土屋政直奉書(御肴一種献上の披露)／一通(一紙)／(宝永五年カ)一月二三日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-42 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(徳川家宣、二月一八日の柳沢吉保邸訪問の見舞いの披露)／一通(一紙)／(宝永五年)二月晦日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-03-43 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(將軍徳川綱吉、二月一三日の松平輝貞邸御成の見舞いの了承)／一通(一紙)／(宝永五年)二月二日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-44 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(將軍徳川綱吉、二月一三日の松平輝貞邸御成の見舞いの披露)／一通(一紙)／(宝永五年)二月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-03-45 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(將軍徳川綱吉、二月一三日の松平輝貞邸御成の見舞いの披露)／一通(一紙)／(宝永五年)二月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-03-46 上杉吉憲宛 土屋政直他三名奉書(八重姫の安産の祝儀の披露)／一通(一紙)／(宝永五年)二月七日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) 他三名 ↓上杉民部大輔殿／八重姫君様就御安：披露候恐々謹言／046

0302-03-47 上杉吉憲宛 本多正永奉書(御肴一種献上の披露)／一通(一紙)／(宝永五年カ)三月九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-48 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(御肴一種献上の披露)／一通(一紙)／(宝永五年カ)三月九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-03-49 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（御肴一種献上の了承）／一通（一紙）／（宝永五年カ）三月九日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-50 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（徳川家宣へ家宣の二月二九日の東叡山御仏殿参詣の見舞いの了承）／一通（一紙）／（宝永五年）三月一日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-03-51 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書（徳川家宣へ家宣の二月二九日の東叡山御仏殿参詣の見舞いの披露）／一通（一紙）／（宝永五年）三月一日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-03-52 上杉吉憲宛 本多正永奉書（徳川家宣へ家宣の二月二九日の東叡山御仏殿参詣の見舞いの披露）／一通（一紙）／（宝永五年）三月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高間候恐々謹言／046

0302-04 江戸幕府老中奉書集（0302-04-01-43の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三九・五・二七・八／素紙後補表紙／046

0302-04-01 上杉吉憲宛 間部詮房奉書（昨年一二月二五日の降雪につき徳川家宣へ家宣への見舞いの了承）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給、「宝永六年」の貼紙あるも、同年正月一〇日に將軍綱吉死去、状況的に書状発給あるか／046

0302-04-02 上杉吉憲宛 間部詮房奉書（徳川家宣へ家宣の正月二四日の増上寺御仏殿参詣の見舞いの了承）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月七日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-04-03 上杉吉憲宛 土屋政直他五名奉書（徳川家宣へ家宣將軍宣下の祝儀の家宣への披露の通知）／一通（一紙）／（宝永六年）五月一六日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直（花押）他五名↓上杉民部大輔殿／今度 將軍宣下：披露候恐々謹言／046

0302-04-04 上杉吉憲宛 土屋政直奉書（〇〇祝儀能への招待についての祝詞

の家宣への報告の通知）／一通（一紙）／（宝永六年カ）六月五日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／土屋相模守政直（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高間候恐々謹言／046

0302-04-05 上杉吉憲宛 土屋政直他五名奉書（吉憲帰国とそれをめぐる贈答への礼状）／一通（一紙）／（宝永六年）六月五日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直（花押）他五名↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-04-06 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書（一二月二五日の降雪に対する見舞いの披露の通知）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月六日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／「宝永六 一」の貼紙あるも、宝永三年、正徳元年の間、但し宝永六年を除く／046

0302-04-07 上杉吉憲宛 土屋政直奉書（御機嫌伺と贈答の報告を通知）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）六月一八日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／土屋相模守政直（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-04-08 上杉吉憲宛 間部詮房奉書（御機嫌伺と贈答の了承）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）六月一九日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-04-09 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書（御機嫌伺と贈答の報告を通知）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）七月二日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-04-10 上杉吉憲宛 間部詮房奉書（御機嫌伺と贈答の了承）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）七月二五日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-04-11 上杉吉憲宛 土屋政直他四名奉書（八朔の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上の報告の通知）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）八月三日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直（花押）他四名↓上杉民部大輔殿／為八朔之御祝儀：披露候恐々謹言／046

0302-04-12 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書（初鶴献上の將軍への披露の通知）

／一通(一紙)／(宝永六年カ)八月七日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／老中発給／046

0302-04-113 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書(初鶴献上の將軍への披露の通知)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月二五日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：御仕合候恐々謹言／老中発給／046

0302-04-114 上杉吉憲宛 間部詮房奉書(初鶴献上の將軍への披露の了承)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月一日／三九・四×五五・六／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-04-115 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(水戸藩世子徳川家宣へ吉孚死去への弔意と見舞いの家宣への報告)／一通(一紙)／(宝永六年)一〇月二七日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-04-116 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(天皇の疱瘡全快につき徳川家宣へ家宣への祝詞の報告)／一通(一紙)／(宝永六年)一月七日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-04-117 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(雁三献上の將軍への披露)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)十一月一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬朝(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-04-118 上杉吉憲宛 土屋政直他五名奉書(徳川家宣の西丸から本丸移徙の祝儀の披露)／一通(一紙)／(宝永六年)十一月一日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) 他五名 ↓上杉民部大輔殿／今度御本丸御移：仕合候恐々謹言／046

0302-04-119 上杉吉憲宛 土屋政直他五名奉書(吉憲の参勤時期の問い合わせに来年四月と回答)／一通(一紙)／(宝永六年カ)十一月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) 他五名 ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-04-120 上杉吉憲宛 土屋政直奉書(將軍徳川家宣へ家宣の「御曲輪廻」への見舞いの家宣への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月四日／三九・

五×五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-04-121 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書(徳川綱吉一回忌の香典の東叡山納入の家宣への報告)／一通(一紙)／(宝永六年)二月一六日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増(花押) ↓上杉民部大輔殿／今度常憲院様一：高聞候恐々謹言／046

0302-04-122 上杉吉憲宛 土屋政直奉書(徳川家宣への寒中見舞いの肴兩種献上の報告)／一通(一紙)／(宝永六年)二月三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-04-123 上杉吉憲宛 間部詮房奉書(將軍徳川家宣への御肴一種献上の受理)／一通(一紙)／(宝永六年)二月二三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-04-124 上杉吉憲宛 土屋政直奉書(徳川綱吉一回忌法会への参詣への見舞い家宣への報告)／一通(一紙)／(宝永六年)二月二六日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-04-125 上杉吉憲宛 間部詮房奉書(徳川家宣への寒中見舞いの肴兩種献上の受理)／一通(一紙)／(宝永六年)二月二八日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-04-126 上杉吉憲宛 間部詮房奉書(徳川綱吉一回忌法会への家宣の参詣への見舞いの受理)／一通(一紙)／(宝永六年)二月晦日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-04-127 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書(徳川家宣への新春の祝意の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-04-128 上杉吉憲宛 間部詮房奉書(徳川家宣への新春の祝意の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙

／間部越前守詮房（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人
発給／046

0302-04-29 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書（東叡山参詣の見舞いの徳川家宣
への報告）／一通（一紙）／（宝永七年）一月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉
書紙／大久保加賀守忠増（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高間候恐々謹言／
046

0302-04-30 上杉吉憲宛 庭田重條・高野保春書状（東山上皇死去に伴う使
者派遣の報告）／一通（一紙）／（宝永七年）一月二日／三九・四・五五・四／折紙
奉書紙／重條・保春↓上杉民部大輔殿／新院就 崩御使者：言上候恐々謹言／武家伝奏
発給／046

0302-04-31 上杉吉憲宛 松平信庸書状（東山上皇死去に伴う香典受領の返
信）／一通（一紙）／（宝永七年）一月二日／三五・九・四九・〇／折紙 楮紙／松
平紀伊守信庸（花押）↓上杉民部大輔殿御報／貴札致拝見候：御報候恐々謹言／京都所
司代発給／046

0302-04-32 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書（將軍家宣への見舞いの肴一種献
上の報告）／一通（一紙）／（宝永七年カ）一月二日／三九・五・五五・五／折紙
奉書紙／大久保加賀守忠増（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言
／046

0302-04-33 上杉吉憲宛 間部詮房奉書（將軍の東叡山参詣の見舞いの受理）
／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙
／間部越前守詮房（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人
発給／046

0302-04-34 上杉吉憲宛 梅小路共方・藤谷為茂書状（東山上皇死去に伴う
使者派遣の報告を約束）／一通（一紙）／（宝永七年）一月二日／三九・四・五五・
四／折紙 奉書紙／共方・為茂↓上杉民部大輔殿／東山院崩御依是：申沙汰候恐々謹言
／院伝奏発給／046

0302-04-35 上杉吉憲宛 間部詮房奉書（將軍への見舞いの肴一種献上の受
理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・四・五五・四／折紙 奉
書紙／間部越前守詮房（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側
用人発給／046

0302-04-36 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書（正月二四日の徳川家宣の増上寺
参詣への見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝永七年カ）二月六日／三九・五・五五・

五／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高間
候恐々謹言／「宝永七二」の貼紙あり／046

0302-04-37 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（浄光院（徳川綱吉夫人）一回忌の
香典献上の將軍徳川家宣への報告）／一通（一紙）／（宝永七年）二月三日／三九・
五・五五・四／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／今度浄光院
様一：言上候恐々謹言／046

0302-04-38 上杉吉憲宛 庭田重條・高野保春書状（遷幸の祝儀太刀・馬代
献上の報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月五日／三九・〇・五二・八／
折紙 奉書紙／重條・保春↓上杉民部大輔殿／芳翰令披見候：御事候恐々謹言／武家伝
奏発給／046

0302-04-39 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書（浄光院（徳川綱吉夫人）一回忌
への参詣の見舞いを徳川家宣へ報告）／一通（一紙）／（宝永七年）二月二日／三九・
四・五五・四／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披
見候：言上候恐々謹言／046

0302-04-40 上杉吉憲宛 間部詮房奉書（家宣の浄光院（徳川綱吉夫人）一
回忌への参詣の見舞いを受理）／一通（一紙）／（宝永七年）二月晦日／三九・四・五
五・四／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其
意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-04-41 上杉吉憲宛 本多正永奉書（見舞いの鴨五献上の將軍徳川家宣
への報告）／一通（一紙）／（宝永七年）三月七日／三九・四・五五・三／折紙 奉書
紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／04
6

0302-04-42 上杉吉憲宛 本多正永奉書（二月二八日の將軍東叡山参詣の見
舞いの將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月一日／三九・四・五
五・三／折紙 奉書紙／本多伯耆守正永（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言
上候恐々謹言／046

0302-04-43 上杉吉憲宛 間部詮房奉書（二月二八日の將軍東叡山参詣の見
舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月三日／三九・四・五五・三／
折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々
謹言／側用人発給／046

0302-05 江戸幕府老中奉書集（0302-05-01、45の表紙）／一冊／
近代（年月日未詳）／三九・五・二七・五／素紙後補表紙／046

0302-05-01 上杉吉憲宛 秋元喬知他三名奉書(米沢城堀浚いの許可)／一通(一紙)／正徳元年七月晦日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬知(花押) 他三名↓上杉民部大輔殿／羽州米沢城堀所々：申付候恐々謹言／046

0302-05-02 上杉吉憲宛 井伊直治奉書(將軍徳川家宣の浜御殿御成の見舞いの受理)／一通(一紙)／(正徳元年)八月二日／三九・五×五四・八／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直治(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-03 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(吉憲と松平吉茂養女との縁組のお礼の將軍への報告)／一通(一紙)／(正徳元年)九月五日／三九・四×五四・九／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-05-04 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(吉憲と松平吉茂養女との縁組の將軍徳川家宣へのお礼の受理)／一通(一紙)／(正徳元年)九月七日／三九・五×五五・〇／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-05 上杉吉憲宛 井伊直治奉書(吉憲と松平吉茂養女との縁組の將軍徳川家宣へのお礼の受理)／一通(一紙)／(正徳元年)九月七日／三九・五×五五・〇／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直治(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-06 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(一四日の將軍徳川家宣の増上寺御仏殿参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月二七日／三九・五×五五・一／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-05-07 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(將軍徳川家宣の御堀廻への見舞いの報告)／一通(一紙)／(正徳元年)一〇月六日／三九・五×五五・〇／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬知(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／老中発給／046

0302-05-08 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍徳川家宣の御堀廻への見舞いの受理)／一通(一紙)／(正徳元年)一〇月七日／三九・四×五五・一／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-09 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍徳川家宣の御堀廻への見舞い

の受理)／一通(一紙)／(正徳元年)一〇月七日／三九・四×五五・〇／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-10 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍への梨子献上の了承)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月一六日／三九・五×五五・〇／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-11 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書(將軍への雁献上の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)十一月三日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後守正喬(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-05-12 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍への雁献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)十一月五日／三九・五×五五・一／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-13 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書(十一月五日の降雪に対する見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／(正徳元年カ)十一月八日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後守正喬(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-05-14 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(十一月五日の降雪に対する將軍への見舞いの受理)／一通(一紙)／(正徳元年カ)十一月九日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承届候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-15 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍への御肴一種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)十一月二三日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-16 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍への御肴一種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)十一月二五日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-17 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書(將軍に対する朝鮮通信使の対応への見舞いの報告)／一通(一紙)／(正徳元年)一二月二日／三九・四×五五・三／

折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-05-118 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍に対する朝鮮通信使の対応への見舞いの受理)／一通(一紙)／(正徳元年)二月三日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-119 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍への寒中見舞い、御肴兩種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-120 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(將軍への年賀の報告)／一通(一紙)／(正徳二年カ)一月九日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／「正徳二年」の朱書貼紙あり／046

0302-05-121 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(將軍の正月一日東叡山御仏殿参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二三日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-05-122 上杉吉憲宛 秋元喬知他三名奉書(年頭祝儀太刀一腰・御馬代黄金一〇兩献上を將軍に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬知(花押) 他三名 ↓上杉民部大輔殿／為年頭之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-05-123 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍への年頭祝儀太刀一腰・御馬代黄金一〇兩献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-124 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍への年頭祝儀太刀一腰・御馬代黄金一〇兩献上)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-125 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(將軍への年始に祝儀として御肴一種献上の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二五日／三九・四×五五・二

／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-05-126 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍への年始に祝儀として御肴一種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二七日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-127 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍の正月一日東叡山御仏殿参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二七日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-128 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍への年始に祝儀として御肴一種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二九日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承届候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-129 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(徳川家康百回忌に將軍の日光山参詣の表明に祝意の使者派遣の報告)／一通(一紙)／(正徳二年)二月五日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬知(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-05-130 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(徳川家康百回忌に將軍の日光山参詣の表明に祝意の使者派遣の受理)／一通(一紙)／(正徳二年)二月七日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-131 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(徳川家康百回忌に將軍の日光山参詣の表明に祝意の使者派遣の受理)／一通(一紙)／(正徳二年)二月七日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承届候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-132 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(正月二四日の將軍の増上寺参詣に対する見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月一日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬知(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-05-133 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(正月二四日の將軍の増上寺参詣に対する見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月二日／三

九・四×五五・五／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）
↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-34 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍徳川家宣の山王社参詣への見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月六日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-35 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書（將軍徳川家宣の山王社参詣への見舞いの報告）／一通（二紙）／（正徳二年）三月二日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後守正喬（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-05-36 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書（鴨五献上の將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月七日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正喬（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-05-37 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書（將軍徳川家宣の根津社参詣への見舞い）／一通（一紙）／（正徳二年）三月九日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正喬（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-05-38 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍へ鴨献上を受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-39 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍徳川家宣の根津社参詣への見舞いの受理）／一通（一紙）／（正徳二年）三月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-40 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書（將軍徳川家宣の二月二八日の東叡山参詣見舞いの報告）／一通（一紙）／（正徳二年）三月一日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後守正喬（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-05-41 上杉吉憲宛 井伊直該奉書（將軍徳川家宣の根津社参詣への見舞いの受理）／一通（一紙）／（正徳二年）三月二日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-42 上杉吉憲宛 井伊直該奉書（將軍へ鴨献上を受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月二日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／大老発給、「歴代年譜」正徳四年三月七日条の記載と関連カ／046

0302-05-43 上杉吉憲宛 井伊直該奉書（將軍徳川家宣の二月二八日の東叡山参詣見舞いの受理）／一通（一紙）／（正徳二年）三月一日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-05-44 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍徳川家宣の二月二八日の東叡山参詣見舞いの受理）／一通（一紙）／（正徳二年）三月一日／三九・五×五五・一／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承届候恐々謹言／側用人発給／046

0302-05-45 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書（月光院の叙位祝儀一種御樽代献上の將軍への報告）／一通（一紙）／（正徳三年）二月六日／三九・五×五五・一／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬知（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-06 江戸幕府老中奉書集（0302-06-01-31の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三九・二×二七・七／素紙後補表紙／046

0302-06-01 上杉吉憲宛 秋元喬知他二名奉書（御服以下拝領の礼・帰国の礼の献上につき使者へ將軍から謝意）／一通（一紙）／（正徳三年カ）五月一日／三九・二×五五・〇／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬知（花押）他二名↑上杉民部大輔殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／「正徳三年」の貼紙あり／046

0302-06-02 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（土用の御機嫌伺い、鯖子三桶・春腸二桶献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）六月九日／三九・二×五五・〇／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-06-03 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍への土用の見舞いに御肴兩種献上の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）六月一日／三九・三×五五・〇／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：令承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-06-04 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書（申鮑一箱献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／（正徳三年カ）七月二日／三九・一×五五・二／折紙 奉書紙／秋元

但馬守喬知(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：仕合候恐々謹言/046

0302-06-05 上杉吉憲宛 秋元喬知他二名奉書(八朔の祝儀(太刀・馬代)に対する將軍の謝意)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳)八月三日/三九・三×五五・二/折紙 奉書紙/秋元但馬守喬知(花押) 他二名 ↓上杉民部大輔殿/為八朔の御祝儀：仕合候恐々謹言/046

0302-06-06 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(尾張徳川吉通死去のお悔みと將軍への伺いの披露)/一通(一紙)/ (正徳三年)八月一日/三九・二×五五・二/折紙 奉書紙/間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：承知候恐々謹言/側用人発給/046

0302-06-07 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書(尾張徳川吉通死去のお悔みと將軍への伺いの披露)/一通(一紙)/ (正徳三年)八月一日/三九・二×五五・二/折紙 奉書紙/阿部豊後守正喬(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：上聞候恐々謹言/046

0302-06-08 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(尾張徳川吉通死去のお悔みと將軍への伺いの披露)/一通(一紙)/ (正徳三年)八月一日/三九・三×五五・三/折紙 奉書紙/井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：承知候恐々謹言/大老発給/046

0302-06-09 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(久世重之の老中就任の祝意の受理)/一通(一紙)/ (正徳三年)八月二日/三九・三×五五・三/折紙 奉書紙/間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：承知候恐々謹言/側用人発給/046

0302-06-10 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書(初鶴一隻献上への將軍の謝意)/一通(一紙)/ (正徳三年)八月二日/三九・二×五五・三/折紙 奉書紙/阿部豊後守正喬(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：仕合候恐々謹言/046

0302-06-11 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(初鶴一隻献上への受理)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳)八月二日/三九・三×五五・四/折紙 奉書紙/間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：承知候恐々謹言/側用人発給/046

0302-06-12 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(梨子献上への受理)/一通(一紙)/ (正徳三年)一〇月一日/三九・四×五五・四/折紙 奉書紙/井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：承届候恐々謹言/大老発給/046

0302-06-13 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(徳川家宣一周忌の香典奉納の將軍への言上の報告)/一通(一紙)/ (正徳三年)一〇月二日/三九・二×五五・三/折紙 奉書紙/秋元但馬守喬知(花押) ↓上杉民部大輔殿/今度文昭院様一回：言上候恐々謹言/046

0302-06-14 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(徳川家宣一周忌の仏事終了への見舞いの受理)/一通(一紙)/ (正徳三年)十一月二日/三九・二×五五・三/折紙 奉書紙/井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：承知候恐々謹言/大老発給/046

0302-06-15 上杉吉憲宛 久世重之奉書(徳川家宣一周忌の仏事終了への見舞いを將軍に報告)/一通(一紙)/ (正徳三年)十一月二日/三九・三×五五・三/折紙 奉書紙/久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：上聞候恐々謹言/046

0302-06-16 上杉吉憲宛 久世重之奉書(尾張徳川五郎太死去のお悔みと將軍への伺いの披露)/一通(一紙)/ (正徳三年)十一月六日/三九・三×五五・三/折紙 奉書紙/久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：上聞候恐々謹言/046

0302-06-17 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(徳川家宣一周忌の仏事終了への見舞いの受理)/一通(一紙)/ (正徳三年)十一月六日/三九・三×五五・三/折紙 奉書紙/間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：承知候恐々謹言/側用人発給/046

0302-06-18 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(尾張徳川五郎太死去のお悔みと將軍への伺いの受理)/一通(一紙)/ (正徳三年)十一月六日/三九・三×五五・三/折紙 奉書紙/井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：承知候恐々謹言/大老発給/046

0302-06-19 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(尾張徳川五郎太死去のお悔みと將軍への伺いの受理)/一通(一紙)/ (正徳三年)十一月九日/三九・二×五五・四/折紙 奉書紙/間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：承知候恐々謹言/側用人発給/046

0302-06-20 上杉吉憲宛 久世重之奉書(雁三献上への將軍の謝意)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳)十一月三日/三九・二×五五・三/折紙 奉書紙/久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿/御状令披見候：仕合候恐々謹言/046

0302-06-21 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍への雁献上への受理)/一通(一

紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-06-22 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍への雁献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-06-23 上杉吉憲宛 久世重之奉書(鱧二献上への將軍の謝意)／一通(一紙)／(正徳三年カ)一月二九日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-06-24 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍への雁献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-06-25 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(寒中見舞い鮭甘子・鮭脊腸の献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月三日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬知(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-06-26 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍への御肴兩種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月四日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-06-27 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍への御肴一種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月六日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-06-28 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍への御肴兩種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月七日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-06-29 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(徳川家継生母の従三位叙位の將軍へ祝儀献上の受理)／一通(一紙)／(正徳三年)一月二七日／三九・三×五五・三／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々

謹言／大老発給／046

0302-06-30 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(徳川家継生母の従三位叙位の將軍へ祝儀献上の受理)／一通(一紙)／(正徳三年)一月一日／三九・三×五五・三／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-06-31 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(一月二九日の降雪による見舞いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二六日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07 江戸幕府老中奉書集(0302-07-01、28の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三九・五×二七・七／素紙後補表紙／046

0302-07-01 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍の正月儀礼の遂行に対する祝意の受理)／一通(一紙)／(正徳四年カ)一月九日／三九・四×五五・〇／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給、「正徳四年」の貼紙／046

0302-07-02 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月九日／三九・四×五五・〇／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-07-03 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月九日／三九・四×五五・〇／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／欠損あり／046

0302-07-04 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二五日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-07-05 上杉吉憲宛 井伊直該奉書(將軍への御肴一種献上を受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二五日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙／井伊掃部頭直該(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／大老発給／046

0302-07-06 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書（鴨五羽献上に対する將軍の謝意）
／一通（一紙）／（正徳四年カ）三月七日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙／阿部
豊後守正喬（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-07-07 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍への鴨献上の受理）
／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月一日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙
／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見
候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-08 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書（嘉定の祝儀に上杉主税が初めてお
菓子頂戴した礼の受理）／一通（一紙）／（正徳五年カ）六月二九日／三九・四×五
五・二／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：覽
之事候恐々謹言／「正徳五年」の貼紙／046

0302-07-09 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（嘉定の祝儀に上杉主税
が初めてお菓子頂戴した礼の受理）／一通（一紙）／（正徳五年カ）七月四日／三九・
四×五五・三／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓
上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-10 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（土用の見舞いとして御
肴向種献上の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）七月五日／三九・四×五五・
三／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大
輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-11 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍への御肴一種献上
の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）七月二五日／三九・四×五五・四／折紙
奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿／御状
令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-12 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（病氣見舞いの使者派遣の將軍への
報告）／一通（一紙）／（正徳五年）七月二七日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙
／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-07-13 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍に対する病氣見舞
いの使者派遣の受理）／一通（一紙）／（正徳五年）七月晦日／三九・四×五五・三／
折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿
／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-14 上杉吉憲宛 井上正岑他四名奉書（八朔祝儀への將軍の謝意）
／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）八月三日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙

井上河内守正岑（花押）他四名↓上杉民部大輔殿／為八朔之御祝：仕合候恐々謹言／0
46

0302-07-15 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書（病氣見舞いの使者派遣の將軍への
報告）／一通（一紙）／（正徳五年）八月四日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙
／阿部豊後守正喬（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-07-16 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍に対する病氣見舞
いの使者派遣の受理）／一通（一紙）／（正徳五年）八月七日／三九・四×五五・四
／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿
／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-17 上杉吉憲宛 久世重之奉書（病氣回復の見舞いと鴨五羽献上の
將軍の礼）／一通（一紙）／（正徳五年カ）九月五日／三九・四×五五・三／折紙 奉
書紙／久世大和守重之（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／0
46

0302-07-18 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍への病氣回復の見
舞いと鴨五羽献上の受理）／一通（一紙）／（正徳五年カ）九月九日／三九・四×五五・
四／折紙 奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大
輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-19 上杉吉憲宛 久世重之奉書（病氣回復後の將軍の面々との対面
に対する祝意の報告）／一通（一紙）／（正徳五年）九月二五日／三九・四×五五・四
／折紙 奉書紙／久世大和守重之（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々
謹言／046

0302-07-20 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（將軍と八十宮婚約の祝意の將軍へ
の報告）／一通（一紙）／（正徳五年）一〇月一八日／三九・四×五五・三／折紙 奉
書紙／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／0
46

0302-07-21 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書（將軍と八十宮婚約の祝
意の受理）／一通（一紙）／（正徳五年）一〇月二日／三九・四×五五・四／折紙
奉書紙／間部越前守詮房（花押）・本多中務大輔忠良（花押）↓上杉民部大輔殿／御状
令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-22 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（梨二箱献上に対する將軍の謝意）
／一通（一紙）／（正徳五年カ）一〇月二七日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙
／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-07-23 上杉吉憲宛 水野忠之奉書(將軍への梨二箱献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二日／三九・四・五五・二／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-24 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書(雁三羽献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／(享保五年カ)一月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正喬(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-07-25 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍への雁三羽献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月八日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-07-26 上杉吉憲宛 井上正岑他三名奉書(来年四月中の参勤命令)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二日／三九・四・五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) 他三名 ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-07-27 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書(二月一八日の降雪の見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月晦日／三九・四・五五・三／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-07-28 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(將軍への鴨献上の受理)／一通(一紙)／(享保元年カ)三月九日／三九・四・五五・二／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／「正徳六年」(享保一年)の貼紙あり、側用人発給／046

0302-08 江戸幕府老中奉書集(0302-08-01-45の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三九・五・二七・七／素紙後補表紙／046

0302-08-01 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(土用の見舞い献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／(享保二年)六月三日／三九・五・五五・〇／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-02 上杉吉憲宛 阿部正喬奉書(申鮑一箱献上への謝意の通知)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月二日／三九・五・五五・〇／折紙 奉書紙／阿部豊後守正喬(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-03 上杉吉憲宛 井上正岑他三名奉書(八朔の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上の將軍の謝礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月三日／三九・五・五五・〇／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) 他三名 ↓上杉民部大輔殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-08-04 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書(鴨五羽献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／(享保二年)九月五日／三九・五・五五・〇／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／「享保二年」の貼紙あり／046

0302-08-05 上杉吉憲宛 井上正岑他二名奉書(領地判物授与に対するお礼の使者派遣の將軍への報告)／一通(一紙)／(享保二年)一月二日／三九・五・五五・一／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) 他二名 ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-08-06 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(水野忠元老中就任の祝儀の將軍に対する報告)／一通(一紙)／(享保二年)一月八日／三九・五・五五・〇／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-08-07 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(梨二箱献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二日／三九・六・五五・二／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-08 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(將軍の増上寺御仏殿参詣への見舞いの將軍に対する報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二五日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-08-09 上杉吉憲宛 久世重之奉書(浜御殿御成の見舞いを將軍徳川吉宗に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月六日／三九・六・五五・二／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-08-10 上杉吉憲宛 久世重之奉書(雁三羽献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月三日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

- 0302-08-11 上杉吉憲宛 久世重之奉書(黄鷹一居献上への將軍の礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一六日／三九・六×五五・二／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-08-12 上杉吉憲宛 井上正岑他二名奉書(来年四月中の参勤命令)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二二日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) 他二名 ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046
- 0302-08-13 上杉吉憲宛 久世重之奉書(二月七日隅田川辺での鷹狩への見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／(享保二年)一月二二日／三九・七×五五・二／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046
- 0302-08-14 上杉吉憲宛 久世重之奉書(二月一日の御堀の実見の見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／(享保二年)一月二二日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046
- 0302-08-15 上杉吉憲宛 戸田忠貞奉書(鱧二献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／(享保二年)一月二五日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／戸田山城守忠貞(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-08-16 上杉吉憲宛 戸田忠貞奉書(鮭甘子五桶・背腸五桶献上に対する將軍の礼)／一通(一紙)／(享保二年カ)一月一六日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／戸田山城守忠貞(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-08-17 上杉吉憲宛 戸田忠貞奉書(二月四日小松川筋での鷹狩への見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／(享保二年)一月一八日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／戸田山城守忠貞(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046
- 0302-08-18 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(二月二七日の江戸での降雪の見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／(享保三年)一月一一日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／「享保三年」の貼紙あり／046
- 0302-08-19 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(鯉節献上に対する將軍の礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二五日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-08-20 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(正月一〇日の東叡山御堂参詣の見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二五日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046
- 0302-08-21 上杉吉憲宛 水野忠之奉書(正月晦日の増上寺御仏殿参詣の見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／(享保三年)二月二日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／水野和泉守忠之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046
- 0302-08-22 上杉吉憲宛 井上正岑他三名奉書(帰国に伴う拝領への謝意の受理、献上・使者派遣への將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月八日／三九・七×五五・四／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) 他三名 ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046
- 0302-08-23 上杉吉憲宛 水野忠之奉書(徳川吉宗男源三死去の見舞いを將軍への報告)／一通(一紙)／(享保四年)五月二三日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／水野和泉守忠之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046
- 0302-08-24 上杉吉憲宛 井上正岑他三名奉書(八朔の祝儀(太刀・馬代)に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月三日／三九・七×五五・四／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) 他三名 ↓上杉民部大輔殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046
- 0302-08-25 上杉吉憲宛 水野忠之奉書(申海鼠一箱献上への將軍の謝意)／一通(一紙)／(享保四年カ)九月一九日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／水野和泉守忠之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-08-26 上杉吉憲宛 久世重之奉書(梨子二箱献上に伴う將軍の謝意)／一通(一紙)／(享保四年カ)一〇月一三日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-08-27 上杉吉憲宛 久世重之奉書(黄鷹一居献上に伴う將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月二一日／三九・八×五五・四／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-28 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書（江戸での降雪の見舞いの將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月七日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聴候恐々謹言／046

0302-08-29 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書（鯛一箱献上に伴う將軍の謝意）／一通（一紙）／（享保四年カ）一月一日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-30 上杉吉憲宛 井上正岑他三名奉書（来年四月中の参府命令）／一通（一紙）／（享保四年）一月二日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）他三名↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／各老中の在任期間から年代を比定／046

0302-08-31 上杉吉憲宛 水野忠之奉書（正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告）／一通（一紙）／（享保五年カ）一月一日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／水野和泉守忠之（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／「享保五年」の朱筆貼紙あり／046

0302-08-32 上杉吉憲宛 水野忠之奉書（鯉節献上に対する將軍の礼）／一通（一紙）／（享保五年カ）一月二日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／水野和泉守忠之（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-33 上杉吉憲宛 水野忠之奉書（一月一〇日の東叡山参詣の見舞いの將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／水野和泉守忠之（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-08-34 上杉吉憲宛 久世重之奉書（一月二四日の増上寺参詣の見舞いの將軍への報告）／一通（一紙）／（享保五年）二月九日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／久世大和守重之（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-08-35 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書（干鯛一箱献上に伴う將軍の謝意）／一通（一紙）／（享保五年カ）三月五日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-36 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書（鱧二献上に伴う將軍の謝意）／一通（一紙）／（享保四年カ）二月一日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-37 上杉吉憲宛 水野忠之奉書（四月晦日の増上寺参詣の見舞いの將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月二日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／水野和泉守忠之（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-08-38 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（串鮑一箱献上に伴う將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）七月二日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-39 上杉吉憲宛 井上正岑他二名奉書（八朔の祝儀（太刀・馬代）に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）八月三日／三九・七×五五・四／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）他二名↓上杉民部大輔殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-08-40 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（鴨二羽献上に伴う將軍の謝意）／一通（一紙）／（享保六年カ）九月九日／三九・七×五五・三／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-41 上杉吉憲宛 水野忠之奉書（黄鷹一居献上に伴う將軍の謝意）／一通（一紙）／（享保六年カ）一〇月二日／三九・七×五五・二／折紙 奉書紙／水野和泉守忠之（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-42 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書（鱧二献上に伴う將軍の謝意）／一通（一紙）／（享保六年カ）一月二日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-43 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（鮭甘子五桶・背腸五桶献上に対する將軍の礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月二日／三九・七×五五・二／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-44 上杉吉憲宛 戸田忠真・水野忠之奉書（年頭祝儀の贈答（太刀一腰・馬代黄金一〇両）へ將軍の謝意）／一通（一紙）／（享保七年カ）一月一日／三九・七×五五・二／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）・水野和泉守忠之（花押）↓上杉民部大輔殿／為年頭乃御祝儀：仕合候恐々謹言／「享保七年」の朱書き貼紙あり／046

0302-08-45 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書（鯉節献上に対する將軍の礼）／一通（一紙）／（享保五年カ）一月二日／三九・七×五五・一／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-08-46 上杉吉憲宛 戸田忠真・水野忠之奉書（病の吉憲に養生すべしとの將軍の意向を通知）／一通（一紙）／（享保七年）四月三日／三九・七×五五・〇／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）・水野和泉守忠之（花押）↓上杉民部大輔殿／其方病氣之段及：如斯候恐々謹言／046

0302-09 江戸幕府老中奉書集（0302-09-01、37の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三九・六×二七・七／素紙後補表紙／046

0302-09-01 上杉重定宛 西尾忠尚奉書（重定養母（蓮胎院）への將軍家からの歳暮の祝儀拝領の礼の受理）／一通（一紙）／（延享四年）一月九日／三九・六×五五・〇／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／「延享四年」の貼紙あり、老中発給／046

0302-09-02 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（重定養母（蓮胎院）への將軍・大御所からの歳暮の祝儀の礼の受理）／一通（一紙）／（延享四年カ）一月九日／三九・六×五五・〇／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／延享四年であれば西丸若年寄発給／046

0302-09-03 上杉重定宛 酒井忠恭奉書（重定養母（蓮胎院）への將軍・大御所からの歳暮の祝儀の礼の受理）／一通（一紙）／（延享四年）一月九日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／酒井雅楽頭忠知（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：一覽之事候恐々謹言／046

0302-09-04 上杉重定宛 さえた他五名奉書（御鷹之鶴拝領の礼を將軍への報告）／一通（一紙）／（寛延元年カ）／三五・八×四九・一／折紙 奉書紙／さえた他五名↓上杉大炊頭様人々御中／御ふみ下され候：めてたく以上／裏に「延享三年十二月廿三日付」と朱書きあり、老女発給／046

0302-09-05 上杉重定宛 さえた他五名奉書（重定養母（蓮胎院）への將軍・大御所からの歳暮の祝儀の礼の報告）／一通（一紙）／（延享四年一月九日カ）／三五・七×四九・三／折紙 奉書紙／さえた他五名↓上杉大炊頭様御返事人々御中／十二月廿八日付に：めてたく以上／老女発給／046

0302-09-06 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（歳暮の祝儀黄金一〇両献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月二七日／三九・五×五五・一／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／為歳暮之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-09-07 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（年頭の祝儀太刀一腰馬代黄金一〇両献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／（延享五年カ）一月一日／三九・五×五五・

二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／「延享五年」の貼紙あり／046

0302-09-08 上杉重定宛 西尾忠尚奉書（年頭の祝儀太刀一腰馬代黄金一〇両献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・六×五五・二／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚（花押）↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-09-09 上杉重定宛 酒井忠知他三名奉書（年頭の祝儀太刀一腰馬代黄金一〇両献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・六×五五・二／折紙 奉書紙／酒井雅楽頭忠知（花押）他三名↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-09-10 上杉重定宛 西尾忠尚奉書（正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・六×五五・二／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-09-11 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（鯉節一箱献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・六×五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-12 上杉重定宛 酒井忠知奉書（鯉節一箱献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／酒井雅楽頭忠知（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-13 上杉重定宛 酒井忠知奉書（正月一〇日の將軍徳川家重の東叡山参詣の見舞いを家重に報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月一日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／酒井雅楽頭忠知（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-09-14 上杉重定宛 堀田正亮奉書（正月二四日の將軍徳川家重の増上寺参詣の見舞いを家重に報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月一日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-09-15 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（世子徳川家治母死去に伴う見舞いの報告）／一通（一紙）／（寛延元年）三月一日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-09-116 上杉重定宛 松平武元奉書（世子徳川家治母死去に伴う見舞いの報告）／一通（一紙）／（寛延元年）三月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-09-117 上杉重定宛 松平武元奉書（世子徳川家治母死去に伴う吉宗への見舞いの報告）／一通（一紙）／（寛延元年）三月一日／三九・五・五五・一／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-09-118 上杉重定宛 松平武元奉書（鴨二羽献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月七日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-119 上杉重定宛 堀田正亮奉書（去る一二日の將軍・大御所から妻女への歳暮に対する礼の受理）／一通（一紙）／（寛延二年カ）一月二六日／三九・六・五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：一覽之事候恐々謹言／「寛延二年」の貼紙あり／046

0302-09-120 上杉重定宛 西尾忠尚奉書（去る一二日の妻女への歳暮に対する礼の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二六日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-09-121 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（去る一二日の將軍・大御所から妻女への歳暮に対する礼の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二六日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-09-122 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（帰国に伴う拝領物への礼と帰国後の使者派遣・贈答への將軍の謝意）／一通（一紙）／（宝暦元年カ）五月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-09-123 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（土用のご機嫌伺いと鯖子三桶・脊腸二桶への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）六月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-124 上杉重定宛 松平武元奉書（土用のご機嫌伺いと鯖子三桶・脊

腸二桶への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）六月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-125 上杉重定宛 堀田正亮他二名奉書（八朔のご祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）八月四日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）他二名↓上杉大炊頭殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-09-126 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（初鶴献上辺將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）九月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-127 上杉重定宛 本多正珍奉書（初鶴献上辺將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）九月一日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-128 上杉重定宛 松平武元奉書（増上寺御靈屋参詣の見舞いを將軍に報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月二八日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-09-129 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（養母・妻への御鷹の雁拝領の謝意の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二六日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-09-130 上杉重定宛 西尾忠尚奉書（養母・妻への御鷹の雁拝領の謝意の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二六日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-09-131 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（養母・妻への歳暮の祝儀拝領の謝意の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月六日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／「寛延三年」の貼紙あるも、同年は一二日に奉書拝受／046

0302-09-132 上杉重定宛 堀田正亮奉書（去る一〇日の東叡山参詣の見舞いを將軍に報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二六日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々

謹言／046

0302-09-133 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-09-134 上杉重定宛 堀田正亮奉書（鏝節一箱献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-135 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（鏝節一箱献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-136 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（鴨二羽献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月七日／三九・五・五五・〇／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-09-137 上杉重定宛 本多正珍奉書（鴨二羽献上への將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月七日／三九・六・五五・〇／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110 江戸幕府老中奉書集（0302-110-01-61の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三九・五・二七・七／素紙後補表紙／046

0302-110-01 上杉重定宛 松平武元奉書（將軍世子徳川家治への端午の祝儀黄金一〇両に対する謝意）／一通（一紙）／（宝暦元年カ）五月四日／三九・五・五五・一／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／為端午之御祝儀：仕合候恐々謹言／「宝暦元年」の朱書き貼紙あり、西丸老中発給カ／046

0302-110-02 上杉重定宛 堀田正亮奉書（將軍世子徳川家治の「御袖留」への見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝暦元年）五月一日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-110-03 上杉重定宛 西尾忠尚奉書（將軍世子徳川家治の「御袖留」への見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝暦元年）五月一日／三九・四・五五・二／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-110-04 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（將軍世子徳川家治の「御袖留」への見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝暦元年）五月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-110-05 上杉重定宛 堀田正亮奉書（將軍徳川家重の増上寺参詣への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月一日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-110-06 上杉重定宛 西尾忠尚奉書（帰国に伴う將軍家からの拝領物への謝意と使者派遣の報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月一日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-110-07 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書（帰国に伴う將軍家からの拝領物への謝意と使者・献上物への謝意）／一通（一紙）／（宝暦元年カ）五月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）他三名↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-110-08 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（帰国に伴う將軍家からの拝領物への謝意と使者・献上物への謝意）／一通（一紙）／（宝暦元年カ）五月一日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-110-09 上杉重定宛 堀田正亮奉書（五月八日の將軍徳川家重の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月二日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-110-10 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書（重定養母蓮胎院死去に対する將軍のお悔み）／一通（一紙）／（宝暦元年）五月二日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）他三名↓上杉大炊頭殿／養母死去之儀及：如此候恐々謹言／046

0302-110-11 上杉重定宛 本多正珍奉書（蓮胎院死去に伴う奉書発給への答礼使派遣の將軍への報告）／一通（一紙）／（宝暦元年）閏六月二日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-10-12 上杉重定宛 堀田正亮奉書(檜重一組献上の將軍への報告)／一通(一紙)／(宝暦元年)閏六月二三日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿／御檜重一組被献：披露候恐々謹言／046

0302-10-13 上杉重定宛 堀田正亮奉書(徳川吉宗死去について將軍家重・世子家治への見舞いに対する返書)／一通(一紙)／(宝暦元年)七月一日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-10-14 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(徳川吉宗死去について將軍家重・世子家治への見舞いに対する返書)／一通(一紙)／(宝暦元年)七月一日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-10-15 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(葛粉一箱献上に対する將軍の謝意の通知)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月四日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-10-16 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(葛粉一箱献上に対する將軍への報告の通知)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月四日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-10-17 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(將軍徳川家重・世子家治への見舞いの報告の通知)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月七日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-10-18 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(鯛一折献上に対する將軍の謝意の通知)／一通(一紙)／(宝暦元年)七月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／鯛一折被献之候：仕合候恐々謹言／046

0302-10-19 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鯛三献上に対する將軍の謝意の通知)／一通(一紙)／(宝暦元年)七月一日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／鯛三被献之候：仕合候恐々謹言／046

0302-10-20 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(東叡山での徳川吉宗法事執行と家重・家治の参詣への見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝暦元年)七月一日／三九・

五・五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-10-21 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(東叡山での徳川吉宗法事執行と家重・家治の参詣への見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝暦元年)七月一日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-10-22 上杉重定宛 松平武元奉書(徳川吉宗の法事への香典を東叡山に納めたことの將軍への報告)／一通(一紙)／(宝暦元年)七月二日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：要確認：言上候恐々謹言／046

0302-10-23 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(串鮑一箱献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月二三日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-10-24 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(串鮑一箱献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月二三日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-10-25 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月四日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-10-26 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月四日／三九・六・五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-10-27 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(初鶴一隻献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／(宝暦元年カ)九月二日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-10-28 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(重陽の祝儀黄金一〇両献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月七日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為重陽之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-110-29 上杉重定宛 本多正珍奉書(鴨二献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／(宝暦元年カ)九月一八日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-30 上杉重定宛 本多正珍奉書(鴨二献上に対する世子徳川家治の謝意)／一通(一紙)／(宝暦元年カ)九月一八日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-31 上杉重定宛 本多正珍奉書(黄鷹一居献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／(宝暦元年カ)九月二九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-32 上杉重定宛 本多正珍奉書(鶴一隻献上に対する世子徳川家治の謝意)／一通(一紙)／(宝暦元年カ)九月二九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-33 上杉重定宛 堀田正亮奉書(九月二〇日の東叡山徳川吉宗廟参詣の見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月五日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-110-34 上杉重定宛 堀田正亮奉書(梨子二箱献上に対する世子徳川家治の謝意)／一通(一紙)／(宝暦元年カ)一〇月一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／老中発給／046

0302-110-35 上杉重定宛 堀田正亮奉書(梨子二箱献上に対する將軍徳川家重の謝意)／一通(一紙)／(宝暦元年カ)一〇月一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-36 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(江戸城における火災への見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一一月二日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-110-37 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(江戸城における火災への見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一一月二日／三九・六×五五・四／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々

謹言／046

0302-110-38 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書(参勤時期の照会につき来年四月中と回答)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一一月／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押)他三名 ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-110-39 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(雁二羽献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一一月一日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-40 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(雁二羽献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一一月一日／三九・六×五五・四／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-41 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(参勤時期の照会の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一一月一六日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-110-42 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(改元の祝意を將軍に報告)／一通(一紙)／(宝暦元年)一一月一六日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-110-43 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(改元の祝意を將軍に報告)／一通(一紙)／(宝暦元年)一一月一六日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-110-44 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(参勤時期の照会の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一一月二日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-110-45 上杉重定宛 松平武元奉書(一〇月一四日の増上寺参詣の見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月二七日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-110-46 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(歳暮の祝儀黄金一〇両献上への將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月二七日／三九・七×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為歳暮之御祝儀：仕合候恐々

謹言／西丸老中発給カ／046

0302-110-47 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鮭甘子五桶・背腸五桶献上に対する將軍の礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月四日／三九・七×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-48 上杉重定宛 松平武元奉書(鮭甘子五桶・背腸五桶献上に対する將軍の礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月四日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-49 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(重定妻への將軍からの歳暮拝領への謝意の受理)／一通(一紙)／(宝暦元年カ)一月二日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-110-50 上杉重定宛 松平武元奉書(重定妻への將軍からの歳暮拝領への謝意の受理)／一通(一紙)／(宝暦元年カ)一月二日／三九・七×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-110-51 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(米沢新田藩上杉勝承の叙爵に対する謝意の受理)／一通(一紙)／(宝暦二年)一月四日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-110-52 上杉重定宛 本多正珍奉書(將軍家の新春儀礼終了の見舞いを報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-110-53 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(將軍家の新春儀礼終了の見舞いを報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-110-54 上杉重定宛 堀田正亮他二名奉書(年頭祝儀太刀一腰・御馬代黄金一〇両献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・六×五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他二名 ↓上杉大炊頭殿

／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-110-55 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(年頭祝儀太刀一腰・御馬代黄金一〇両献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・七×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-110-56 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鯉節一箱献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-57 上杉重定宛 本多正珍奉書(鯉節一箱献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-58 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(正月二五日の増上寺参詣の見舞いを將軍に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月一日／三九・六×五五・四／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-110-59 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鴨二羽献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)三月一日／三九・七×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-60 上杉重定宛 堀田正亮奉書(鴨二羽献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)三月一日／三九・七×五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-110-61 上杉重定宛 本多正珍奉書(米沢新田藩上杉勝承の叙爵に対する謝意の受理)／一通(一紙)／(宝暦二年)一月四日／三九・七×五五・四／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-111 江戸幕府老中奉書集(0302-111-01、61の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三九・四×二七・六／素紙後補表紙／046

0302-111-01 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(東叡山中堂修復・御宮仁王門再建の受命の使者派遣の將軍への報告)／一通(一紙)／(宝暦四年)一月九日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／「宝暦四年」の貼紙あり／046

0302-111-02 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／「宝曆四五六」の貼紙あり／046

0302-111-03 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書（正月祝儀太刀一腰・御馬代黄金一〇両献上に対する將軍の礼の通知）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）他三名↓上杉大炊頭殿／為年頭之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-111-04 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（正月祝儀太刀一腰・御馬代黄金一〇両献上に対する將軍の礼の通知）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／為年頭之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-111-05 上杉重定宛 本多正珍奉書（正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告の通知）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-111-06 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（重定妻女への將軍からの歳暮の拝領物に対する謝意の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月三日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-111-07 上杉重定宛 本多正珍奉書（重定妻女への將軍からの歳暮の拝領物に対する謝意の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月三日／三九・二×五五・七／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-111-08 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書（御鷹之鶴「下賜」）／一通（一紙）／（宝曆四年）一月一九日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）他三名↓上杉大炊頭殿／一筆令啓候公方：差越之候恐々謹言／046

0302-111-09 上杉重定宛 本多正珍奉書（鯉節一箱献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-10 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（鯉節一箱献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙

／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-11 上杉重定宛 さえた他四名奉書（御鷹之鶴拝領の礼の將軍への報告）／一通（一紙）／（宝曆四年一月二五日カ）／三六・〇×四八・三／折紙 奉書紙／さえた他四名↓上杉大炊頭様御返事／正月廿五日付にて：めてたくかく／老女発給／046

0302-111-12 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（御鷹之鶴拝領の礼の將軍への報告）／一通（一紙）／（宝曆四年）二月五日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-111-13 上杉重定宛 堀田正亮奉書（御鷹之鶴拝領の礼・干鯛一箱献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／（宝曆四年）二月五日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-14 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（正月二六日の徳川家治の東叡山至心院御霊前参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月一日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-111-15 上杉重定宛 堀田正亮奉書（増上寺御霊屋参詣の見舞いの將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月八日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-111-16 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（二月二七日の徳川家治の東叡山至心院御霊前参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝曆四年）閏二月八日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-111-17 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（鴨二羽献上に対する將軍の礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月七日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-18 上杉重定宛 松平武元奉書（鴨二羽献上に対する將軍の礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月七日／三九・三×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-19 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（端午の祝儀黄金一〇両献上に対す

る礼状) / 一通(二紙) / 江戸中期(年未詳) 五月二日 / 三九・三×五五・五 / 折紙奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 為端午之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 西丸老中発給カ / 046

0302-111-20 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(帰国の礼樽肴献上への將軍の謝意) / 一通(一紙) / (宝曆三年) 五月二日 / 三九・三×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 之御事候恐々謹言 / 046

0302-111-21 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(五月八日の東叡山参詣の見舞いの將軍への報告) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 五月二日 / 三九・二×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-111-22 上杉重定宛 酒井忠寄他三名奉書(帰国の礼樽肴・蠟燭二〇〇挺献上への將軍の謝意) / 一通(一紙) / (宝曆三年) 五月二日 / 三九・四×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 酒井左衛門尉忠寄(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 之御事候恐々謹言 / 046

0302-111-23 上杉重定宛 松平武元奉書(米沢新田藩主上杉勝承の駿府加番拜命への礼の受理) / 一通(一紙) / (宝曆四年) 六月一日 / 三九・三×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 之事候恐々謹言 / 046

0302-111-24 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(米沢新田藩主上杉勝承の駿府加番拜命への礼の受理) / 一通(一紙) / (宝曆四年) 六月一日 / 三九・三×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 承知候恐々謹言 / 老中発給 / 046

0302-111-25 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(日光山御宮修復・遷宮の終了の祝儀の將軍への報告) / 一通(一紙) / (宝曆三年) 六月二日 / 三九・四×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 言上候恐々謹言 / 046

0302-111-26 上杉重定宛 本多正珍奉書(日光山御宮修復・遷宮の終了の祝儀の將軍への報告) / 一通(一紙) / (宝曆三年) 六月二日 / 三九・四×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 言上候恐々謹言 / 046

0302-111-27 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鯖子三桶・背腸二桶献上に対する將軍の謝意) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 六月二日 / 三九・三×五五・三 /

折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-111-28 上杉重定宛 松平武元奉書(鯖子三桶・背腸二桶献上に対する將軍の謝意) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 六月二日 / 三九・四×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-111-29 上杉重定宛 松平武元奉書(徳川家重三回忌・六月二日の御霊前参詣の見舞いの將軍への報告) / 一通(一紙) / (宝曆三年) 七月一日 / 三九・三×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-111-30 上杉重定宛 松平康福奉書(徳川家重三回忌法要の見舞いの將軍への報告) / 一通(一紙) / (宝曆三年) 七月一日 / 三九・四×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 言上候恐々謹言 / 老中発給 / 046

0302-111-31 上杉重定宛 堀田正亮奉書(徳川吉宗三回忌法要と家重・家治の東叡山参詣への見舞いの報告) / 一通(一紙) / (宝曆三年) 七月一日 / 三九・四×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-111-32 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(徳川吉宗三回忌法要と家重・家治の東叡山参詣への見舞いの報告) / 一通(一紙) / (宝曆三年) 七月一日 / 三九・四×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 言上候恐々謹言 / 046

0302-111-33 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(徳川吉宗三回忌法要の香典を東叡山に納めたことの報告) / 一通(一紙) / (宝曆三年) 七月二日 / 三九・四×五五・六 / 折紙 奉書紙 / 酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 今度 有徳院様 : 言上候恐々謹言 / 046

0302-111-34 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(串鮑一箱献上に対する謝意) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 七月二日 / 三九・四×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-111-35 上杉重定宛 堀田正亮奉書(串鮑一箱献上に対する謝意) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 七月二日 / 三九・四×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-111-36 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書（八朔の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への將軍の謝意）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）八月四日／三九・五・五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）他四名↓上杉大炊頭殿／為八朔の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-111-37 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（八朔の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への將軍の謝意）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）八月四日／三九・四・五・五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／為八朔の御祝儀：仕合候恐々謹言／老中発給／046

0302-111-38 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（重陽の祝儀黄金一〇両献上への將軍の謝意）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）九月七日／三九・四・五・五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／為重陽の御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-111-39 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（初鶴一隻の献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）九月一日／三九・四・五・五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-40 上杉重定宛 本多正珍奉書（初鶴一隻の献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／（宝曆三年）九月一日／三九・四・五・五・四／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／正珍の任期から年次比定／046

0302-111-41 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（鴨二羽の献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）九月二七日／三九・四・五・五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-42 上杉重定宛 本多正珍奉書（鴨二羽の献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）九月二七日／三九・四・五・五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-43 上杉重定宛 酒井忠寄奉書（黄鷹一居献上に対する謝意）／一通（一紙）／（宝曆三年）一〇月二八日／三九・四・五・五・二／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-44 上杉重定宛 松平武元奉書（梨子二箱献上に対する謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・四・五・五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-45 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（梨子二箱献上に対する謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・五・五・五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-46 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（雁二羽の献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・五・五・五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-47 上杉重定宛 松平武元奉書（雁二羽の献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・五・五・五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-111-48 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（参勤時期の問い合わせの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・五・五・五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-111-49 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書（参勤時期の問い合わせに来年四月中と回答）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二日／三九・五・五・五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）他四名↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-111-50 上杉重定宛 さえた他四名奉書（重定夫人の「御鷹の雁」拝領の謝意を將軍へ報告）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三六・三・五〇・四／折紙 奉書紙／さえた他四名↓上杉大炊頭殿返事 人々御中／十一月廿五日付にて：めてたくかくし／老女発給／046

0302-111-51 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（世子徳川家治の婚禮の祝詞の報告）／一通（一紙）／（宝曆四年）一月三日／三九・四・五・五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-111-52 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（重定夫人の「御鷹の雁」拝領の謝意の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月四日／三九・五・五・五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-111-53 上杉重定宛 西尾忠尚奉書（世子徳川家治の婚禮の祝詞の報告）／一通（一紙）／（宝曆四年）一月三日／三九・五・五・五・五／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／老中発給／046

- 0302-111-54 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(重定夫人の「御鷹の雁」拝領の謝意の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月四日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046
- 0302-111-55 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書(東叡山中堂修復・御宮仁王門再建のお手伝命令につき参勤の免除)／一通(一紙)／(宝曆三年)一二月二〇日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿／東叡山中堂御修復：参府候恐々謹言／046
- 0302-111-56 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(小次郎死去の見舞いを將軍に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月三日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046
- 0302-111-57 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鮭甘子五桶・背腸五箱献上に対する謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月三日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-111-58 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(小次郎死去の見舞いを將軍に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月三日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046
- 0302-111-59 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(鮭甘子五桶・背腸五箱献上に対する謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月三日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-111-60 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(歳暮の祝儀黄金一〇両献上に対する謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月二七日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為歳暮之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046
- 0302-111-61 上杉重定宛 さえた他四名奉書(重定夫人への拝領物に対する謝意を將軍に報告)／一通(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／三六・〇×四九・五／折紙 奉書紙／さえた他四名 ↓上杉大炊頭様御返事／正月二日付にて：めてたくかしく／老女発給／046
- 0302-112-01 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(干鱈一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(宝曆五年カ)五月二日／三九・一×五五・〇／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／「宝曆五年」の朱書き貼紙あり／046
- 0302-112-02 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(干鱈一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-112-03 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書(帰国に伴う暇や拝領物への謝意の言上と進上物へ將軍の謝意)／一通(一紙)／(宝曆五年カ)六月九日／三九・三×五五・二／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他四名 ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046
- 0302-112-04 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(初鶴一隻の献上に対する礼)／一通(一紙)／(宝曆五年カ)九月七日／三九・三×五五・二／折紙 奉書紙／秋元涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046
- 0302-112-05 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(重陽の祝儀黄金一〇両に対する礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月七日／三九・〇×五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為重陽之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046
- 0302-112-06 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(参勤時期の照会に対する受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)十一月二日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046
- 0302-112-07 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書(来年七月中の参勤命令)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一二月一日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他四名 ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046
- 0302-112-08 上杉重定宛 広橋兼胤奉書(女御入内の祝儀に対する礼)／一通(一紙)／(宝曆五年)一二月九日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／兼胤 ↓上杉大炊頭殿／芳翰令披見候：申渡候恐々謹言／武家伝奏発給／046

0302-112-109 上杉重定宛 柳原光胤奉書(女御入内の祝儀に対する礼)／一通(一紙)／(宝曆五年)一月九日／三九・〇×五三・三／折紙 奉書紙／光綱↓上杉大炊頭殿／芳簡令披見候：演説候恐々謹言／武家伝奏発給／046

0302-112-110 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(女御入内の祝儀の使者派遣の將軍への報告)／一通(一紙)／(宝曆五年)一月二三日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／西尾隱岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-112-111 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(女御入内の祝儀の使者派遣の將軍への報告)／一通(一紙)／(宝曆五年)一月二三日／三九・一×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-112-112 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(重定妻女への歳暮に対する礼の報告)／一通(一紙)／(宝曆六年カ)一月三日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／「宝曆六年」の朱書貼紙あり／046

0302-112-113 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-112-114 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他四名↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-112-115 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(端午の祝儀黄金一〇両への謝意)／一通(一紙)／(宝曆七年カ)五月四日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為端午の御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ、「宝曆七年」の朱書貼紙あり／046

0302-112-116 上杉重定宛 松平武元奉書(五月八日の東叡山御霊前参詣の見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二三日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-112-117 上杉重定宛 大岡忠光奉書(帰国に伴う將軍・世子からの拝領

物への謝意、使者・献上物の受理)／一通(一紙)／(宝曆七年カ)六月四日／三九・一×五五・四／折紙 奉書紙／大岡出雲守忠光(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-112-118 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書(帰国に伴う將軍・世子からの拝領物への謝意、使者・献上物の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)六月三日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他四名↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-112-119 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(帰国に伴う將軍・世子からの拝領物への謝意、使者・献上物の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)六月三日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-112-120 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(土用の見舞いとして糶一箱・申海鼠一箱献納に対する謝意)／一通(一紙)／(宝曆七年)六月一日／三九・一×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-112-121 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(土用の見舞いとして糶一箱・申海鼠一箱献納に対する謝意)／一通(一紙)／(宝曆七年)六月一日／三九・一×五五・四／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-112-122 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(徳川吉宗法事終了への見舞いの報告への謝意)／一通(一紙)／(宝曆七年カ)七月二日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／西尾隱岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-112-123 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(徳川吉宗七回忌法事終了の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝曆七年)七月二日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-112-124 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書(重定夫人死去への見舞い)／一通(一紙)／(宝曆七年)七月二〇日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他三名↓上杉大炊頭殿／妻女死去之段及：如此候恐々謹言／046

0302-112-125 上杉重定宛 本多正珍奉書(徳川吉宗七回忌につき香典の東叡山奉納の報告)／一通(一紙)／(宝曆七年)七月二〇日／三九・三×五五・三／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／今度有徳院様七：言上候恐々謹言／

046

0302-112-26 上杉重定宛 松平武元奉書(妻女死去につき將軍への見舞いの通知報告) / 一通(一紙) / (宝曆七年)八月七日 / 三九・一×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-112-27 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(紀伊徳川宗直死去についての見舞いへの返書) / 一通(一紙) / (宝曆七年)八月七日 / 三九・一×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-112-28 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(八朔の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への將軍の謝意) / 一通(一紙) / (宝曆七年)八月一日 / 三九・一×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 為八朔之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-29 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書(八朔の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への將軍の謝意) / 一通(一紙) / (宝曆七年)八月一日 / 三九・一×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 堀田相模守正亮(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿 / 為八朔之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-30 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(串鮑一箱献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)八月九日 / 三九・一×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-31 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(重陽の祝儀黄金一〇両献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)九月七日 / 三九・一×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 為重陽之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 西丸老中發給カ / 046

0302-112-32 上杉重定宛 本多正珍奉書(串鮑一箱献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)八月九日 / 三九・二×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-33 上杉重定宛 堀田正亮奉書(初鶴一隻献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)九月九日 / 三九・二×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-34 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(初鶴一隻献上に対する礼) / 一通

(一紙) / 江戸中期(年未詳)九月九日 / 三九・一×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-35 上杉重定宛 堀田正亮奉書(鴨二羽献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)九月二日 / 三九・二×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-36 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鴨二羽献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)九月二日 / 三九・〇×五五・〇 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-37 上杉重定宛 松平武元奉書(黄鷹一居献上への礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ)一〇月二七日 / 三九・一×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-38 上杉重定宛 松平武元奉書(増上寺御靈屋参詣の見舞いへの礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)一〇月二八日 / 三九・〇×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-112-39 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(雁二羽献上への礼) / 一通(一紙) / (宝曆七年カ)十一月五日 / 三九・二×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-40 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(雁二羽献上への礼) / 一通(一紙) / (宝曆七年カ)十一月五日 / 三九・〇×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-41 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(梨子二箱献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)十一月二日 / 三九・〇×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-42 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(梨子二箱献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)十一月二日 / 三九・一×五五・二 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-112-43 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(江戸参勤時期の問い合わせの受理) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳)十一月二日 / 三九・一×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 承知候恐々謹言 / 046

0302-112-44 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(徳川家綱五十回忌・將軍の一月一〇日東叡山参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝曆七年)一月二五日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-112-45 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書(来年四月中の江戸参勤命令)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二六日／三九・一×五五・三／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他四名 ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-112-46 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(歳暮の祝儀黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二七日／三九・〇×五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為歳暮之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-112-47 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(鮭甘子五箱・同背腸五箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二五日／三九・〇×五五・三／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-112-48 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鮭甘子五箱・同背腸五箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二五日／三九・〇×五五・〇／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-112-49 上杉重定宛 松平武元奉書(徳川綱吉五十回忌につき香典の東叡山奉納の報告)／一通(一紙)／(宝曆七年)一月二〇日／三九・二×五五・〇／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／今度常憲院様：言上候恐々謹言／046

0302-113 江戸幕府老中奉書集(0302-113-01-59の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三九・一×二七・六／素紙後補表紙／表紙表に「宝曆八〇一〇」、同裏に「宝曆八年、〃九〃、〃一〇〃」鉛筆書きあり／046

0302-113-01 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告)／一通(一紙)／(宝曆八年カ)一月一日／三九・一×五五・一／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／「宝曆八年」の朱書き貼紙あり／046

0302-113-02 上杉重定宛 本多正珍奉書(正月儀礼の遂行に対する祝意の將

軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・二×五五・一／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-113-03 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一九日／三九・〇×五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-113-04 上杉重定宛 堀田正亮他三名奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一九日／三九・一×五五・三／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-113-05 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鯉節一箱献上に対する謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二五日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-06 上杉重定宛 本多正珍奉書(鯉節一箱献上に対する謝意)／一通(一紙)／(宝曆八年カ)一月二五日／三九・二×五五・五／折紙 奉書紙／本多伯耆守正珍(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／正珍の任期から年次比定／046

0302-113-07 上杉重定宛 堀田正亮奉書(二月二三日の曲輪内での出火の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月二七日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-113-08 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(二月二三日の曲輪内での出火の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月二七日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-113-09 上杉重定宛 松平武元奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)三月七日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-10 包紙(0302-113-01の包紙カ)／一枚(一紙)／宝曆八年正月一日／三一・六×三一・八／杉原紙／046

0302-113-111 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年末詳)三月七日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-112 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(大納言徳川家治の東叡山至心院様御霊前参詣に見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年末詳)三月一日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-113-113 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(大納言徳川家治への端午の祝儀黄金一〇両への謝意)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)五月二日／三九・二×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為端午之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-113-114 上杉重定宛 松平武元奉書(將軍の増上寺御霊屋参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年末詳)五月一日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-113-115 包紙(0302-113-113の包紙カ)／一枚(一紙)／宝曆九年五月二日／三〇・八×四〇・〇／杉原紙／046

0302-113-116 上杉重定宛 大岡忠光奉書(帰国に伴う家治からの拝領物への礼と到着に伴う献上物の受理)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)五月一日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／大岡出雲守忠光(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／若年寄発給／046

0302-113-117 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(帰国に伴う大納言からの拝領物への礼と到着に伴う献上物の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年末詳)五月二日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-113-118 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書(帰国に伴う大納言からの拝領物への礼と到着に伴う献上物の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年末詳)五月二日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他四名 ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-113-119 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(土用の見舞いである鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)七月六日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々

謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-113-120 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(土用の見舞いである鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)七月六日／三九・二×五五・五／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-121 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)七月三日／三九・二×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-113-122 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)七月三日／三九・三×五五・三／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-123 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書(八朔の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への將軍の謝意)／一通(一紙)／(宝曆九年)八月四日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他四名 ↓上杉大炊頭殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／各老中の在任期間から年次比定／046

0302-113-124 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(八朔の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年末詳)八月四日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-113-125 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(初鶴一隻献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)八月二日／三九・三×五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-126 上杉重定宛 松平輝高奉書(初鶴一隻献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)八月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-127 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(重陽の祝儀黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年末詳)九月七日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為重陽之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-113-128 上杉重定宛 松平武元奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月二日／三九・三×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-129 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月二日／三九・三×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-130 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(梨子二箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月二日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-131 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(梨子二箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-132 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(黄鷹一居献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)一〇月二日／三九・二×五五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-133 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(清水重好元服・叙任の祝儀の報告)／一通(一紙)／(宝曆九年)一〇月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-113-134 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(清水重好元服・叙任の祝儀の報告)／一通(一紙)／(宝曆九年)一〇月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-113-135 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(雁二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・三×五五・六／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-136 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(雁二羽献上への礼)／一通(一紙)／(延享四年カ)一月一日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-137 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書(来年四月中の江戸参勤命令)／一通(一紙)／(宝曆九年)一月二五日／三九・三×五五・六／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他四名 ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／各老中の在任期間から年代比定／046

0302-113-138 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(参勤時期の伺いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二日／三九・二×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-113-139 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(寒中見舞い鮭甘子五桶・同背腸五桶献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)一月二九日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-140 上杉重定宛 西尾忠尚奉書(寒中見舞い鮭甘子五桶・同背腸五桶献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆九年カ)一月二九日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／西尾隠岐守忠尚(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-141 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(歳暮の祝儀黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月二七日／三九・三×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為年頭之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸付老中発給カ／046

0302-113-142 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書(御鷹の鶴拝領につき宿次での送付を通知)／一通(一紙)／(宝曆九年)二月二五日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮(花押) 他四名 ↓上杉大炊頭殿／一筆令啓候公方：越之候恐々謹言／各老中の在任期間から年代比定／046

0302-113-143 上杉重定宛 松平武元奉書(御鷹の鶴拝領の礼である「干鯛一箱」献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆一〇年)一月一日／三九・四×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／朱書貼紙「宝曆十年」あり／046

0302-113-144 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(御鷹の鶴拝領の礼の報告)／一通(一紙)／(宝曆一〇年)一月一日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-113-145 包紙(0302-113-143・44の包紙)／一枚(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／二九・三×三八・七／楮紙／046

0302-113-146 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(正月儀礼の遂行に対する祝意の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-113-47 上杉重定宛 松平武元奉書（正月儀礼の遂行に対する祝意の報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-113-48 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（年頭祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇兩献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月八日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-113-49 上杉重定宛 堀田正亮他四名奉書（年頭祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇兩献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月八日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）他四名↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-113-50 上杉重定宛 松平武元奉書（鯉節一箱献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二五日／三九・四×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-51 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（鯉節一箱献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二五日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-52 上杉重定宛 酒井忠寄奉書（正月一〇日將軍の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月二日／三九・三×五五・三／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-113-53 上杉重定宛 松平輝高奉書（正月二四日將軍の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-113-54 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（正月二六日世子徳川家治の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝曆一〇年）二月一五日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸付老中発給、家治の右大將の官途より年代比定／046

0302-113-55 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（徳川家重の右大臣転任、家治の右大將兼任の儀礼の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝曆一〇年）二月二九日／三九・

三×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-113-56 上杉重定宛 酒井忠寄奉書（徳川家重の右大臣転任、家治の右大將兼任の儀礼の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝曆一〇年）二月二九日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-113-57 上杉重定宛 堀田正亮奉書（鴨二羽献上への礼）／一通（一紙）／（宝曆一〇年カ）三月三日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／堀田相模守正亮（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-113-58 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（鴨二羽献上への礼）／一通（一紙）／（宝曆一〇年）三月三日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／徳川家治の右大將の官途より年代比定／046

0302-113-59 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（世子徳川家治二月二七日東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝曆一〇年）三月三日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／右大將の官途より年代比定／046

0302-114 江戸幕府老中奉書集（0302-114-01-58の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三九・五×二七・八／素紙後補表紙／表紙表に「宝曆十一、十二、同裏に「宝曆一、二」の鉛筆書きあり／046

0302-114-01 上杉重定宛 井上利容奉書（四月二日將軍徳川家治の山王山参詣見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝曆一一年）五月一日／三九・五×五五・〇／折紙 奉書紙／井上河内守利容（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／朱書貼紙「宝曆十一年」あり／046

0302-114-02 上杉重定宛 松平武元奉書（四月二九日將軍の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月一六日／三九・六×五五・一／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-03 上杉重定宛 板倉勝清奉書（帰国に伴う拝領物への礼と帰国後の使者派遣・贈答の受理）／一通（一紙）／（宝曆一一年）五月一六日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-114-04 上杉重定宛 酒井忠寄他三名奉書(帰国に伴う拝領物への礼と帰国後の使者派遣・贈答への謝意)／一通(一紙)／(宝暦一年)五月一日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) 他三名↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-114-05 上杉重定宛 松平輝高奉書(帰国に伴う拝領物への礼と帰国後の使者派遣・贈答への謝意)／一通(一紙)／(宝暦一年)五月一日／三九・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／大御所付老中発給カ／046

0302-114-06 上杉重定宛 松平武元奉書(五月八日將軍の東叡山参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二日／三九・五五・五／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-07 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(大御所徳川家重死去への見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)六月二日／三九・五五・五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-114-08 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(土用の見舞い葛粉一箱献上の報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)六月二日／三九・五五・五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：披露候恐々謹言／046

0302-114-09 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(樽重一組献上の報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)六月晦日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御檜重一組被献：披露候恐々謹言／046

0302-114-10 上杉重定宛 松平武元奉書(尾張徳川宗勝死去の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)七月一日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-114-11 上杉重定宛 松平武元奉書(將軍への見舞状の報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)七月四日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-114-12 上杉重定宛 井上利容奉書(鯛一折献上への礼)／一通(一紙)／(宝暦一年)八月三日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／井上河内守利容(花押) ↓上杉大炊頭殿／鯛一折被献之候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-13 上杉重定宛 酒井忠寄他三名奉書(八朔祝儀の太刀一腰・馬代

黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／(宝暦一年)八月六日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) 他三名↓上杉大炊頭殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-114-14 上杉重定宛 松平武元奉書(万寿姫御七夜祝儀の目録献上への謝意)／一通(一紙)／(宝暦一年)八月五日／三九・五五・五・七／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／万寿姫君様為御：仕合候恐々謹言／046

0302-114-15 上杉重定宛 松平武元奉書(徳川家重の法事の終了と七月二八日の増上寺参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)八月一日／三九・五五・五・七／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-16 上杉重定宛 松平武元奉書(將軍夫人・一日誕生の姫への見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)八月二日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：申上候恐々謹言／046

0302-114-17 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(徳川家重の法事への香典を増上寺へ奉納した旨の報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)八月二日／三九・五五・五・七／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／惇信院様御法事：言上候恐々謹言／046

0302-114-18 上杉重定宛 井上利容奉書(將軍夫人の出産見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)八月二日／三九・五五・五・七／折紙 奉書紙／井上河内守利容(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-19 上杉重定宛 松平武元奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月二日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-20 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(万寿姫の命名・御七夜執行の祝詞の報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)九月三日／三九・五五・五・七／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-21 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(万寿姫の三七夜執行の祝詞の報告)／一通(一紙)／(宝暦一年)九月一日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-22 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月二九日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-23 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(増上寺惇信院御霊前参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝曆一年)一〇月二三日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-24 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(初鶴一隻献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆一年)一〇月二六日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-25 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(梨子二箱献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆一年)一〇月一九日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-26 上杉重定宛 井上利容奉書(徳川家宣五十回忌法要と一〇月二七日の家治の参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月二日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／井上河内守利容(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-27 上杉重定宛 井上利容奉書(黄鷹一居献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月七日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／井上河内守利容(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-28 上杉重定宛 松平武元奉書(徳川家宣五十回忌の香典を増上寺へ奉納の報告)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月四日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／今度文昭院様五十：言上候恐々謹言／046

0302-114-29 上杉重定宛 井上利容奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月五日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／井上河内守利容(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-30 上杉重定宛 松平武元・秋元涼朝奉書(来年四月中の江戸参勤命令)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月二九日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押)・秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-114-31 上杉重定宛 板倉勝清奉書(参勤時期の伺いの受理)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月二九日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-114-32 上杉重定宛 松平輝高奉書(参勤時期の伺いの受理)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月二九日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-114-33 上杉重定宛 松平武元奉書(万寿姫のお色直し祝いの礼)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月二日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／万寿姫君様為御：仕合候恐々謹言／046

0302-114-34 上杉重定宛 松平武元奉書(万寿姫のお色直し挙行への祝いの報告)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月一九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-35 上杉重定宛 松平武元奉書(松平輝高の月番加判任命祝いの報告)／一通(一紙)／(宝曆八年)一二月一九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-36 上杉重定宛 松平武元他三名奉書(上杉勝承を名代として領知判物頂戴についての礼を將軍に報告)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-37 上杉重定宛 松平武元奉書(鮭甘子五桶・同背腸五桶献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆一年)一二月二三日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-38 包紙(0302-114-37の包紙)／一枚(一紙)／宝曆一年一二月二三日／二九・三×三七・三／杉原紙／046

0302-114-39 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(腰痛による参勤の再延期の了承)／一通(一紙)／(宝曆二年)六月二五日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-114-40 包紙(0302-114-39の包紙)／一枚(一紙)／(宝曆二年六月)／三〇・〇×三八・〇／杉原紙／046

0302-114-41 上杉重定宛 松平武元他三名奉書（年頭祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押） 他三名↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-114-42 上杉重定宛 松平輝高奉書（鯉節一箱献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二五日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-43 上杉重定宛 松平輝高奉書（正月儀礼の遂行に対する祝意の報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-44 上杉重定宛 松平輝高奉書（正月一〇日將軍の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二八日／三九・五×五五・七／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-45 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（正月二四日將軍の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月一三日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-46 上杉重定宛 井上利容奉書（二月二二日の曲輪内火災の見舞いの將軍への報告）／一通（一紙）／（宝曆二年）三月七日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／井上河内守利容（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-47 上杉重定宛 井上利容奉書（鴨二羽献上への礼）／一通（一紙）／（宝曆二年カ）三月一三日／三九・六×五五・七／折紙 奉書紙／井上河内守利容（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-48 上杉重定宛 井上利容奉書（二月二六日東叡山至心院様御靈前参詣への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月一五日／三九・六×五五・六／折紙 奉書紙／井上河内守利容（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-49 上杉重定宛 酒井忠寄奉書（痔疾痛・腰痛による参勤の延期の承諾）／一通（一紙）／（宝曆二年）四月二八日／三九・六×五五・七／折紙 奉書紙

紙／酒井左衛門尉忠寄（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-114-50 上杉重定宛 松平武元奉書（四月二〇日の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝曆二年）閏四月六日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-51 上杉重定宛 松平武元奉書（四月晦日の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝曆二年）閏四月一九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-52 上杉重定宛 松平武元奉書（痔疾痛・腰痛による参勤の再延期の承諾）／一通（一紙）／（宝曆二年）閏四月二六日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-114-53 上杉重定宛 松平輝高奉書（五月八日將軍の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月二五日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-54 上杉重定宛 松平輝高奉書（腰痛による参勤の再延期の承諾）／一通（一紙）／（宝曆二年）五月二七日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-114-55 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（土用の見舞い鯖子三桶・同背腸二桶献上への報告）／一通（一紙）／（宝曆二年カ）六月六日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-114-56 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（徳川家重一回忌法要後の六月二二日の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝曆二年）六月二九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-114-57 上杉重定宛 井上利容奉書（腰痛による参勤の再延期と来月の参勤の了承）／一通（一紙）／（宝曆二年）七月一五日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／井上河内守利容（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

46

0302-14-58 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(宝曆一二年カ)八月二日／三九・五五・五・三／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-15 江戸幕府老中奉書集(0302-15-01、42の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三九・五五・二七・八／素紙後補表紙／表紙表に「宝曆十三十四」同裏に「宝曆一三、一四」鉛筆書きあり／046

0302-15-01 上杉重定宛 松平康福奉書(端午の祝儀黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／(宝曆一三年カ)五月二日／三九・五五・五・三／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿／為端午之御祝儀：仕合候恐々謹言／「宝曆十三年」朱筆貼紙あり、西丸老中発給カ／046

0302-15-02 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(四月晦日の増上寺参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二六日／三九・五五・五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-15-03 上杉重定宛 板倉勝清奉書(帰国に伴う拝領物への礼と帰国後の使者派遣・贈答の受理)／一通(一紙)／(宝曆一三年)五月二一日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-15-04 上杉重定宛 松平康福奉書(帰国に伴う拝領物への礼と帰国後の使者派遣・贈答への礼)／一通(一紙)／(宝曆一三年)五月二三日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-15-05 上杉重定宛 松平武元他二名奉書(帰国に伴う拝領物への礼と帰国後の使者派遣・贈答への礼)／一通(一紙)／(宝曆一三年)五月二三日／三九・五五・五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) 他二名 ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-15-06 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(五月八日將軍の東叡山参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二五日／三九・五五・五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-15-07 上杉重定宛 松平武元奉書(土用の見舞い鯖子三桶・土襖背腸二桶献上の礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)六月二一日／三九・五五・五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-15-08 上杉重定宛 松平康福奉書(土用の見舞い鯖子三桶・土襖背腸二桶献上の礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)六月二一日／三九・五五・五・四／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-15-09 上杉重定宛 酒井忠寄奉書(徳川家重三回忌の香典を増上寺に奉納したことを報告)／一通(一紙)／(宝曆一三年)七月二一日／三九・五五・五・四／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) ↓上杉大炊頭殿／今度惇信院様：言上候恐々謹言／046

0302-15-10 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(徳川吉宗十三回忌の香典を東叡山に奉納したことを報告)／一通(一紙)／(宝曆一三年)七月二〇日／三九・五五・五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／今度有徳院様：言上候恐々謹言／046

0302-15-11 上杉重定宛 松平康福奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(宝曆一三年)七月二九日／三九・五五・五・三／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-15-12 上杉重定宛 松平輝高奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(宝曆一三年カ)七月二九日／三九・五五・五・四／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-15-13 上杉重定宛 酒井忠寄他三名奉書(八朔祝儀の太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月四日／三九・五五・五・四／折紙 奉書紙／酒井左衛門尉忠寄(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-15-14 上杉重定宛 松平康福奉書(八朔祝儀の太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月四日／三九・五五・五・四／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-15-15 上杉重定宛 松平康福奉書(重陽祝儀の黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月七日／三九・五五・五・四／折紙 奉書紙／

松平周防守康福（花押）↓上杉大炊頭殿／為重陽之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中
發給カ／046

0302-115-116 上杉重定宛 松平康福奉書（若君様御宮参りの祝儀献上の礼）
／一通（一紙）／（宝曆一三年）九月一日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松
平周防守康福（花押）↓上杉大炊頭殿／若君様御宮参相濟：仕合候恐々謹言／046

0302-115-117 上杉重定宛 松平輝高奉書（若君様御宮参りの祝儀献上の礼）
／一通（一紙）／（宝曆一三年）九月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松
平右京大夫輝高（花押）↓上杉大炊頭殿／若君様御宮参相濟：仕合候恐々謹言／046

0302-115-118 上杉重定宛 松平康福奉書（初鶴一隻献上への礼）／一通（一
紙）／（宝曆一三年）九月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平周防守康
福（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-115-119 上杉重定宛 秋元涼朝奉書（初鶴一隻献上への礼）／一通（一
紙）／（宝曆一三年）九月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守
涼朝（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-115-120 上杉重定宛 松平武元奉書（梨子二箱献上への礼）／一通（一紙）
／江戸中期（年未詳）一〇月一日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／松平右近將
監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-115-121 上杉重定宛 松平康福奉書（梨子二箱献上への礼）／一通（一紙）
／江戸中期（年未詳）一〇月一日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／松平周防守
康福（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-115-122 上杉重定宛 松平武元奉書（一〇月五日山王社参詣への見舞い
の報告）／一通（一紙）／（宝曆一三年）一〇月二日／三九・五×五五・三／折紙
奉書紙／松平右近將監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／
046

0302-115-123 上杉重定宛 松平武元奉書（黄鷹一居献上への礼）／一通（一
紙）／（宝曆一三年）一〇月二日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平右近
將監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-115-124 上杉重定宛 松平武元奉書（一〇月一四日増上寺参詣への見舞
いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月一日／三九・五×五五・三／折
紙 奉書紙／松平右近將監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹
言／046

0302-115-125 上杉重定宛 松平武元・松平輝高奉書（来年四月中の江戸参動
命令）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一二月三日／三九・五×五五・二／折紙
奉書紙／松平右近將監武元（花押）・松平右京大夫輝高（花押）↓上杉大炊頭殿／御状
令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-115-126 広橋兼胤・姉小路公文奉書（後桜町天皇即位に伴う天皇・女院
らに対する祝儀献上への礼）／一通（一紙）／（宝曆一三年）一二月七日／三九・五×
五五・三／折紙 奉書紙／兼胤・公文↓上杉大炊頭殿／芳札礼披見候：可演説候恐々謹
言／武家伝奏発給／046

0302-115-127 上杉重定宛 松平武元奉書（鮭甘子五桶・同背腸五桶献上への
礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一二月三日／三九・五×五五・三／折紙
奉書紙／松平右近將監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／
046

0302-115-128 上杉重定宛 松平康福奉書（鮭甘子五桶・同背腸五桶献上への
礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一二月三日／三九・五×五五・四／折紙
奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／0
46

0302-115-129 上杉重定宛 松平武元奉書（後桜町天皇即位に伴う祝儀献上へ
の礼）／一通（一紙）／（宝曆一三年）一二月五日／三九・五×五五・二／折紙 奉
書紙／松平右近將監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／今度御即位為：仕合候恐々謹言／0
46

0302-115-130 上杉重定宛 松平康福奉書（後桜町天皇即位に伴う祝儀献上へ
の礼）／一通（一紙）／（宝曆一三年）一二月五日／三九・五×五五・二／折紙 奉
書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉大炊頭殿／今度御即位為：仕合候恐々謹言／04
6

0302-115-131 上杉重定宛 松平康福奉書（即位儀礼完了の見舞いの報告）
／一通（一紙）／（宝曆一三年）一二月二日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松
平周防守康福（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-115-132 上杉重定宛 松平武元奉書（即位儀礼完了の見舞いの報告）
／一通（一紙）／（宝曆一三年）一二月二日／三九・四×五五・二／折紙 奉書紙／松
平右近將監武元（花押）↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-115-133 上杉重定宛 松平康福奉書（正月儀礼の遂行に対する祝意の報
告）／一通（一紙）／（明和元年）一月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／

松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：言上候恐々謹言/「宝曆十四年」の朱書貼紙あり/046

0302-115-134 上杉重定宛 松平輝高奉書(正月儀礼の遂行に対する祝意の報告) /一通(一紙) / (明和元年カ) 一月一日/三九・五×五五・三 /折紙 奉書紙 /松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：上聞候恐々謹言/046

0302-115-135 上杉重定宛 松平輝高奉書(鏝節一箱献上への礼) /一通(一紙) /江戸中期(年未詳) 一月二五日/三九・五×五五・一 /折紙 奉書紙 /松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：仕合候恐々謹言/046

0302-115-136 上杉重定宛 松平康福奉書(鏝節一箱献上への礼) /一通(一紙) / (明和元年カ) 一月二五日/三九・五×五五・二 /折紙 奉書紙 /松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：仕合候恐々謹言/046

0302-115-137 上杉重定宛 松平康福奉書(年頭祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼) /一通(一紙) /江戸中期(年未詳) 一月二七日/三九・五×五五・二 /折紙 奉書紙 /松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿/為年頭之御祝儀：仕合候恐々謹言/046

0302-115-138 上杉重定宛 酒井忠寄他三名奉書(年頭祝儀の太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼) /一通(一紙) /江戸中期(年未詳) 一月二七日/三九・五×五五・一 /折紙 奉書紙 /酒井左衛門尉忠寄(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿/為年頭之御祝儀：仕合候恐々謹言/046

0302-115-139 上杉重定宛 松平輝高奉書(正月一〇日の東叡山参詣への見舞いの報告) /一通(一紙) /江戸中期(年未詳) 一月二八日/三九・五×五五・〇 /折紙 奉書紙 /松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：上聞候恐々謹言/046

0302-115-140 上杉重定宛 松平輝高奉書(二月二六日の東叡山至心院様御靈前参詣への見舞いの報告) /一通(一紙) /江戸中期(年未詳) 三月一三日/三九・五×五五・〇 /折紙 奉書紙 /松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：上聞候恐々謹言/046

0302-115-141 上杉重定宛 松平輝高奉書(朝鮮通信使の饗応完了の見舞いの報告) /一通(一紙) / (明和元年) 三月一六日/三九・五×五五・〇 /折紙 奉書紙 /松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：上聞候恐々謹言/046

0302-115-142 上杉重定宛 松平康福奉書(朝鮮通信使の饗応完了の見舞いの

報告) /一通(一紙) / (明和元年) 三月一六日/三九・五×五五・九 /折紙 奉書紙 /松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：言上候恐々謹言/046

0302-116 江戸幕府老中奉書集(0302-116-01より41の表紙) /一冊 /近代(年月日未詳) /三九・七×二七・八 /素紙後補表紙 /表紙表に「明和二」、同裏に「明和二」鉛筆書きあり/046

0302-116-01 上杉重定宛 松平輝高奉書(秋元涼朝の老中および西丸付再任への祝意の報告) /一通(一紙) / (明和三年) 一月九日/三九・五×五五・一 /折紙 奉書紙 /松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：上聞候恐々謹言/「明和二」の朱書付箋あり/046

0302-116-02 上杉重定宛 阿部正右奉書(秋元涼朝の老中および西丸付再任への祝意の若君様への報告) /一通(一紙) / (明和三年) 一月九日/三九・五×五五・〇 /折紙 奉書紙 /阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：言上候恐々謹言/046

0302-116-03 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(御鷹の鶴拝領の礼の報告) /一通(一紙) / (明和三年) 一月九日/三九・五×五五・一 /折紙 奉書紙 /秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：言上候恐々謹言/046

0302-116-04 上杉重定宛 松平輝高奉書(御鷹の鶴拝領の干鯛一箱の返礼に対する將軍の謝意) /一通(一紙) / (明和三年) 一月九日/三九・五×五五・二 /折紙 奉書紙 /松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候：仕合候恐々謹言/046

0302-116-05 上杉重定宛 清はし他六名奉書(御鷹の鶴拝領の礼に対する返書) /一通(一紙) / (明和三年カ) /三六・三×四九・五 /折紙 奉書紙 /清はし他六名 ↓上杉大炊頭殿御返事人々御中 /十二月廿一日附：めてたくかしく /老女発給 /046

0302-116-06 上杉重定宛 阿部正右奉書(徳川家康百五十回忌法会終了に伴う若君様への樽肴献上に対する礼) /一通(一紙) / (明和二年) 四月二五日/三九・五×五五・三 /折紙 奉書紙 /阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿 /今度就東照宮百：仕合候恐々謹言/046

0302-116-07 上杉重定宛 松平武元他三名奉書(徳川家康百五十回忌法会終了に伴う將軍への樽肴献上に対する礼) /一通(一紙) / (明和二年) 四月二五日/三九・五×五五・三 /折紙 奉書紙 /松平右近將監武元(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿 /今度就東照宮百：仕合候恐々謹言/046

0302-116-08 上杉重定宛 阿部正右奉書(端午の祝儀黄金一〇両献上への礼) / 一通(一紙) / (明和三年カ) 五月二日 / 三九・三・五五・三 / 折紙 奉書紙 / 阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 為端午之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 西丸付老中発給カ / 046

0302-116-09 上杉重定宛 松平武元奉書(鯖子三桶・鯖背腸二桶献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 六月一日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-10 上杉重定宛 阿部正右奉書(鯖子三桶・鯖背腸二桶献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 六月三日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-11 上杉重定宛 松平武元奉書(六月二日将軍の増上寺参詣に対する見舞いの報告) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 六月二日 / 三九・五・五五・三 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-116-12 上杉重定宛 阿部正右奉書(帰国に伴う拝領物への礼と使者派遣・献上物に対する若君カの礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 七月九日 / 三九・六・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 御事候恐々謹言 / 046

0302-116-13 上杉重定宛 松平武元他三名奉書(帰国に伴う拝領物への礼と使者派遣・献上物に対する将軍の礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 七月九日 / 三九・六・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 御事候恐々謹言 / 046

0302-116-14 上杉重定宛 板倉勝清奉書(帰国に伴う拝領物への礼と帰国後の使者派遣・贈答の受理) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 七月七日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 承知候恐々謹言 / 側用人発給 / 046

0302-116-15 上杉重定宛 松平康福奉書(串鮑一箱献上に対する礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 七月二五日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-16 上杉重定宛 阿部正右奉書(串鮑一箱献上に対する礼) / 一通

(一紙) / (明和二年カ) 七月二五日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-17 上杉重定宛 松平武元奉書(若君への八朔祝儀の太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 八月四日 / 三九・五・五五・三 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 為八朔之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-18 上杉重定宛 松平武元他三名奉書(将軍への八朔祝儀の太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 八月四日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) 他三名 ↓上杉大炊頭殿 / 為八朔之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-19 上杉重定宛 松平輝高奉書(鴨二羽献上への礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 九月二日 / 三九・五・五五・三 / 折紙 奉書紙 / 松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-20 上杉重定宛 阿部正右奉書(鴨二羽献上への礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 九月二日 / 三九・五・五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-21 上杉重定宛 阿部正右奉書(重陽の祝儀黄金一〇両への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 九月七日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 為重陽之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 西丸老中発給カ / 046

0302-116-22 上杉重定宛 松平輝高奉書(初鶴一隻献上への礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 九月三日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-23 上杉重定宛 阿部正右奉書(初鶴一隻献上への礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 九月三日 / 三九・五・五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-24 上杉重定宛 松平武元奉書(梨子二箱献上への礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 一〇月四日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-116-25 上杉重定宛 阿部正右奉書(梨子二箱献上への礼) / 一通(一紙) / (明和二年カ) 一〇月四日 / 三九・五・五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部伊予守正右(花

押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-116-26 上杉重定宛 阿部正右奉書(黄鷹一居献上への礼)/一通(一紙)/明和二年カ)一〇月二七日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-116-27 上杉重定宛 松平武元奉書(一〇月一四日將軍の増上寺參詣の見舞いの報告)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳)一月一日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/松平右近將監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:上聞候恐々謹言/046

0302-116-28 上杉重定宛 松平康福奉書(万寿姫深曾幾の祝儀に対する献上物への礼)/一通(一紙)/明和二年)一月四日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿/万寿姫君様御深:仕合候恐々謹言/046

0302-116-29 上杉重定宛 阿部正右奉書(万寿姫深曾幾の祝儀に対する献上物への礼)/一通(一紙)/明和二年)一月四日/三九・五×五五・五/折紙 奉書紙/阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿/万寿姫君様御深:仕合候恐々謹言/046

0302-116-30 上杉重定宛 松平康福奉書(雁二羽献上への礼)/一通(一紙)/明和二年カ)一月三日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-116-31 上杉重定宛 阿部正右奉書(雁二羽献上への礼)/一通(一紙)/明和二年カ)一月三日/三九・五×五五・五/折紙 奉書紙/阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-116-32 上杉重定宛 阿部正右奉書(万寿姫深曾幾の祝儀執行への見舞い)/一通(一紙)/明和二年)一月九日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:言上候恐々謹言/046

0302-116-33 上杉重定宛 松平康福奉書(万寿姫深曾幾の祝儀執行への見舞い)/一通(一紙)/明和二年)一月九日/三九・五×五五・三/折紙 奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:上聞候恐々謹言/046

0302-116-34 上杉重定宛 阿部正右奉書(来年の參勤時期の問い合わせの受領)/一通(一紙)/明和二年)一月二日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/046

0302-116-35 上杉重定宛 松平康福奉書(若君への鮭甘子五桶・鮭背腸五桶献上への礼)/一通(一紙)/明和二年カ)二月五日/三九・五×五五・三/折紙 奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-116-36 上杉重定宛 阿部正右奉書(將軍への鮭甘子五桶・鮭背腸五桶献上への礼)/一通(一紙)/明和二年カ)二月五日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-116-37 上杉重定宛 松平武元他三名奉書(来年四月中の江戸參勤命令)/一通(一紙)/明和二年カ)二月七日/三九・五×五五・三/折紙 奉書紙/松平右近將監武元(花押) 他三名↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:其趣候恐々謹言/046

0302-116-38 上杉重定宛 松平武元他三名奉書(御鷹の鶴を宿次で送付する旨の通知)/一通(一紙)/明和二年)二月六日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/松平右近將監武元(花押) 他三名↓上杉大炊頭殿/一筆令啓候公方:差越候恐々謹言/046

0302-116-39 上杉重定宛 阿部正右奉書(若君の家基改名への祝儀言上の報告)/一通(一紙)/明和二年)二月二日/三九・五×五五・三/折紙 奉書紙/阿部伊予守正右(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:上聞候恐々謹言/046

0302-116-40 上杉重定宛 松平康福奉書(若君の家基改名への祝儀言上の報告)/一通(一紙)/明和二年)二月二日/三九・五×五五・三/折紙 奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿/御状令披見候:言上候恐々謹言/046

0302-116-41 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(歳暮の祝儀黄金一〇両献上への礼)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳)二月二七日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿/為歳暮之御祝儀:仕合候恐々謹言/西丸老中発給カ/046

0302-117 江戸幕府老中奉書集(0302-117-01~38の表紙)/一冊/近代(年月日未詳)/三九・五×二七・七/素紙後補表紙/表紙表に「明和三、六」同裏に「明和三、三、六」鉛筆書きあり/046

0302-117-01 上杉重定宛 松平武元他三名奉書(年頭祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼)/一通(一紙)/明和三年カ)一月一日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/松平右近將監武元(花押) 他三名↓上杉大炊頭殿/為年頭之御祝儀

…仕合候恐々謹言／「明和三年」の朱書貼紙あり／046

0302-17-02 包紙(0302-108・09の包紙)／一枚(一紙)／(明和三年一月カ)／三二・九×四三・六／杉原紙／046

0302-17-03 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-17-04 上杉重定宛 松平輝高奉書(正月儀礼の遂行に対する祝意の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-17-05 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(正月儀礼の遂行に対する祝意の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-17-06 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(鯉節一箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二三日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-17-07 上杉重定宛 松平輝高奉書(鯉節一箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二三日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-17-08 上杉重定宛 松平武元奉書(若君の着袴の祝儀への献上に対する礼)／一通(一紙)／(明和三年)一月二八日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／若君様御着袴：仕合候恐々謹言／046

0302-17-09 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(若君の着袴の祝儀への献上に対する礼)／一通(一紙)／(明和三年)一月二八日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／若君様御着袴：仕合候恐々謹言／046

0302-17-10 上杉重定宛 松平武元奉書(一月二〇日の將軍東叡山参詣への見舞いの報告)／一通(一紙)／(明和三年)二月九日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-17-11 上杉重定宛 松平武元奉書(若君着袴儀礼の遂行に対する祝意の報告)／一通(一紙)／(明和三年)二月九日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-17-12 上杉重定宛 秋元涼朝奉書(若君着袴儀礼の遂行に対する祝意の報告)／一通(一紙)／(明和三年)二月九日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／秋元但馬守涼朝(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-17-13 上杉重定宛 松平武元奉書(一月晦日の將軍増上寺参詣への見舞い)／一通(一紙)／(明和三年)二月九日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-17-14 上杉重定宛 松平康福奉書(水戸徳川宗翰死去の見舞いの報告)／一通(一紙)／(明和三年)三月五日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-17-15 上杉重定宛 松平康福奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／(明和四年カ)三月五日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／「明和三年」の朱書貼紙あり／046

0302-17-16 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(重陽の祝儀黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／(明和六年カ)九月七日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為重陽の御祝儀：仕合候恐々謹言／「明和六年」の朱書貼紙あり／046

0302-17-17 包紙(明和六年大納言様西丸移徙祝儀奉書等の包紙)／一枚(一紙)／(明和六年二月カ)／三〇・七×三九・二／杉原紙／046

0302-17-18 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(銀杏二箱献上への礼)／一通(一紙)／(明和六年カ)一月六日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-17-19 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(銀杏二箱献上への礼)／一通(一紙)／(明和六年カ)一月六日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-17-20 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(黄鷹一居献上への礼)／一通(一紙)／(明和六年カ)一月七日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝

清(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-117-21 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(銀杏献上の了承)/一通(一紙)
/ (明和六年カ) 十一月一日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/田沼主殿頭意次
(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/側用人発給カ/046

0302-117-22 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(黄鷹一居献上の了承)/一通(一紙)
/ 江戸中期(年未詳) 十一月一日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/田沼主
殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/側用人発給カ/
046

0302-117-23 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(初帰国につき使者派遣・蠟燭二〇
〇挺献上の了承)/一通(一紙)/ (明和六年) 十一月八日/三九・五×五五・四/
折紙 奉書紙/田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々
謹言/側用人発給カ/046

0302-117-24 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(初帰国につき大納言徳川家基へ使
者派遣・樽肴献上への礼)/一通(一紙)/ (明和六年) 十一月二五日/三九・五×五
五・四/折紙 奉書紙/板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:御
事候恐々謹言/046

0302-117-25 上杉鷹山宛 松平武元他三名奉書(初帰国につき使者派遣・蠟
燭二〇〇挺献上への礼)/一通(一紙)/ (明和六年) 十一月二五日/三九・五×五五・
五/折紙 奉書紙/松平右近将監武元(花押) 他三名 ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候
:御事候恐々謹言/046

0302-117-26 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(雁二羽献上への礼)/一通(一紙)
/ (明和六年) 十一月二五日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/板倉佐渡守勝清(花
押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-117-27 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(大納言徳川家基への雁二羽献上へ
の礼)/一通(一紙)/ (明和六年) 十一月二五日/三九・五×五五・四/折紙 奉書
紙/板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/西丸
老中発給/046

0302-117-28 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(雁二羽献上の了承)/一通(一紙)
/ 江戸中期(年未詳) 十一月二七日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/田沼主殿頭
意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/側用人発給カ/04
6

0302-117-29 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(参勤時期の問い合わせの受理)/
一通(一紙)/ 江戸中期(年未詳) 二月二日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙/
田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/側用人発
給カ/046

0302-117-30 上杉鷹山宛 松平康福奉書(鮭甘子五桶・同背腸五桶献上への
礼)/一通(一紙)/ (明和六年カ) 二月九日/三九・五×五五・四/折紙 奉書
紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/04
6

0302-117-31 上杉鷹山宛 松平康福奉書(大納言徳川家基へ鮭甘子五桶・同
背腸五桶献上への礼)/一通(一紙)/ (明和六年カ) 二月九日/三九・五×五五・
四/折紙 奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:仕合候
恐々謹言/046

0302-117-32 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(鮭甘子五桶・同背腸五桶献上の受
理)/一通(一紙)/ 江戸中期(年未詳) 二月二日/三九・五×五五・三/折紙
奉書紙/田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/
側用人発給カ/046

0302-117-33 上杉鷹山宛 松平康福奉書(西丸移徙の見舞いの大納言徳川家
基への報告)/一通(一紙)/ (明和六年) 二月二三日/三九・五×五五・四/折紙
奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:言上候恐々謹言/
046

0302-117-34 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(参勤時期の問い合わせの受理)/
一通(一紙)/ 江戸中期(年未詳) 二月二三日/三九・五×五五・四/折紙 奉書紙
/板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/046

0302-117-35 上杉鷹山宛 松平武元他三名奉書(西丸修復手伝いのため参勤
の延長、再来年一月参府の通知)/一通(一紙)/ (明和六年) 二月二三日/三九・
五×五五・四/折紙 奉書紙/松平右近将監武元(花押) 他三名 ↓上杉弾正大弼殿/御
状令披見候:其趣候恐々謹言/046

0302-117-36 上杉鷹山宛 松平康福奉書(大納言徳川家基の西丸移徙の見舞
いの將軍家治への報告)/一通(一紙)/ (明和六年) 二月二三日/三九・五×五五・
三/折紙 奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:上聞候
恐々謹言/046

0302-117-137 上杉鷹山宛 松平康福奉書（大納言徳川家基へ歳暮の祝儀黄金一〇両献上の礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二七日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押） ↓上杉弾正大弼殿／為歳暮之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-117-138 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（大納言徳川家基の西丸移徙の見舞いの受理）／一通（一紙）／（明和六年）二月二八日／三九・五×五五・一／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給カ／046

0302-118 江戸幕府老中奉書集（0302-118-011-54の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三九・四×二七・八／素紙後補表紙／表紙表、同裏に「明和七」鉛筆書きあり／046

0302-118-011 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（年頭祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／（明和七年カ）一月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押） ↓上杉弾正大弼殿／為年頭之御祝儀：仕合候恐々謹言／「明和七年」の朱書貼紙あり／046

0302-118-02 包紙（將軍の東叡山見舞状に対する五月九日、五月二五日付の奉書二分）／一枚（一紙）／（明和七年五月カ）／三一・二×四〇・三／楮紙／046

0302-118-03 上杉鷹山宛 松平武元他三名奉書（年頭祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押） 他三名 ↓上杉弾正大弼殿／為年頭之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-118-04 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（年始儀礼終了への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月三日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-118-05 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（年始儀礼終了への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月三日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-118-06 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（年始儀礼終了への見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月八日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人

発給カ／046

0302-118-07 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（經節一箱献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二三日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-08 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（經節一箱献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二三日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-09 上杉鷹山宛 松平武元他三名奉書（御鷹の鶴の下賜を通知）／一通（一紙）／（明和七年カ）一月二七日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押） 他三名 ↓上杉弾正大弼殿／一筆令啓候公方：差越候恐々謹言／046

0302-118-10 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（御着一種献上の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二九日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給カ／046

0302-118-11 上杉鷹山宛 松平武元奉書（正月二四日の増上寺参詣への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月一日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-118-12 上杉鷹山宛 松平武元奉書（御鷹の鶴拝領の返礼干鯛一箱献上への礼）／一通（一紙）／（明和七年カ）二月一日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-13 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（御鷹の鶴拝領の返礼干鯛一箱献上への礼の報告）／一通（一紙）／（明和七年カ）二月一日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-118-14 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（正月二四日の増上寺参詣への見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月一日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押） ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給カ／046

0302-118-115 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(御鷹の鶴拝領の返礼干鯛一箱献上の受理)／一通(一紙)／(明和七年カ)二月一日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給カ／046

0302-118-116 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(將軍の東叡山至心院御靈屋参詣の見舞いの報告を通知)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)三月一日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-118-117 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(来年一月から本年一〇月への参府時期変更への謝意の受理)／一通(一紙)／(明和七年カ)三月一日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-118-118 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(来年一月から本年一〇月への参府時期変更への謝意の受理)／一通(一紙)／(明和七年カ)三月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-118-119 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(將軍の東叡山至心院御靈屋参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)三月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給カ／046

0302-118-120 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／(明和七年カ)三月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-121 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／(明和七年カ)三月二日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-122 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(鴨献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)三月二日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給カ／046

0302-118-123 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(四月五日大納言徳川家基の浅草初御成の見舞いの報告)／一通(一紙)／(明和七年)四月二日／三九・七・五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々

謹言／046

0302-118-124 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(大納言徳川家基へ端午の祝儀黄金一〇両献上の礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為端午の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-118-125 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(將軍の四月二〇日の東叡山参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月九日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-118-126 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(將軍の四月二〇日の東叡山参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月一日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-118-127 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(將軍の四月二九日の増上寺参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月九日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-118-128 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(將軍の五月八日の東叡山参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-118-129 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(將軍の四月二九日の増上寺参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二日／三九・六・五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-118-130 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(將軍の五月二七日の東叡山参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-118-131 上杉鷹山宛 松平武元奉書(將軍の六月一二日の増上寺参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)六月二日／三九・六・五五・四／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候

恐々謹言／046

0302-118-32 上杉鷹山宛 松平武元奉書(干鱈一箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)六月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-33 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(干鱈一箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)六月一日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-34 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(御肴一種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)六月一日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-118-35 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(六月二日の將軍の増上寺参詣への見舞状の受諾)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月二日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-118-36 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月七日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-37 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(上杉重定の参府の二〇ヶ月延期の許可)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月七日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-118-38 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月七日／三九・四・五五・三／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-39 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(將軍の六月二〇日の東叡山参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月七日／三九・四・五五・三／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-118-40 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(上杉重定の参府の二〇ヶ月延期申請の受理)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月九日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側

用人発給／046

0302-118-41 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(將軍の六月二〇日の東叡山参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-118-42 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(御肴兩種献上の受理)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-118-43 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(上杉重定の参府の二〇ヶ月延期許可へのお礼の了承)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月二日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-118-44 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(上杉重定の参府の二〇ヶ月延期許可へのお礼の了承)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月二日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-118-45 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(上杉重定の参府の二〇ヶ月延期許可へのお礼の了承)／一通(一紙)／(明和七年)閏六月二日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-118-46 上杉鷹山宛 松平康福奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(明和七年)七月二日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-47 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(明和七年)七月二日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-118-48 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(御肴一種献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)七月二日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-118-49 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(七月一九日半蔵門外での火事の見

舞いの報告)／一通(一紙)／(明和七年)八月六日／三九・六×五五・二／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-118-50 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(七月九日半蔵門外での火事の見舞いの報告)／一通(一紙)／(明和七年)八月六日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-118-51 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇兩献上に対する礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月七日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-118-52 上杉鷹山宛 松平武元他三名奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇兩献上に対する礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月七日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) 他三名 ↓上杉弾正大弼殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-118-53 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(大納言徳川家基の西丸移徙祝儀献上への礼)／一通(一紙)／(明和六年)一月二三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／今度 大納言様西：仕合候恐々謹言／046

0302-118-54 上杉鷹山宛 うら田他五名奉書(御鷹の鶴拜領の礼)／一通(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／三六・四×四九・五／折紙 奉書紙／うら田他五名 ↓上杉弾正大弼様御返事／御ふみ下され候：めてたくかしく老女発給／046

0302-119 江戸幕府老中奉書集(0302-119-01-51の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三九・三×二七・七／素紙後補表紙／表紙表・裏に「明和八」の鉛筆書きあり／046

0302-119-01 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(端午の祝儀黄金一〇兩献上に対する礼)／一通(一紙)／(明和八年カ)五月二日／三九・二×五五・〇／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為端午之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ、「明和八年」の朱筆貼紙あり／046

0302-119-02 包紙(明和八年「大納言様」への端午祝儀の包)／一枚(一紙)／(明和八年五月カ)／二九・八×三八・二／楮紙／046

0302-119-03 上杉鷹山宛 松平武元奉書(天皇即位の祝儀の献上に対する礼)／一通(一紙)／(明和八年)五月一日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／今度就 御即位：仕合候恐々謹言／046

0302-119-04 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(天皇即位の祝儀の献上に対する礼)／一通(一紙)／(明和八年)五月一日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／今度就 御即位：仕合候恐々謹言／046

0302-119-05 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(帰国の礼として使者・蠟燭二〇〇挺他の献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月一日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-06 上杉鷹山宛 松平武元奉書(四月晦日の將軍の増上寺参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月一日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-119-07 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(帰国に伴う樽肴献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月一日／三九・三×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-119-08 上杉鷹山宛 松平武元他二名奉書(帰国の礼として使者・蠟燭二〇〇挺他の献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月一日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) 他二名 ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-119-09 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(四月晦日の將軍の増上寺参詣の見舞いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月二日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-10 上杉鷹山宛 松平武元奉書(即位儀礼の遂行祝賀の使者派遣の報告)／一通(一紙)／(明和八年)五月二日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-119-11 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(即位儀礼の遂行祝賀の使者派遣の報告)／一通(一紙)／(明和八年)五月二日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-119-112 上杉鷹山宛 松平武元奉書（五月八日の將軍の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月二五日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／松平右近將監武元（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-119-113 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（即位儀礼の遂行祝賀の使者派遣および書面の受理）／一通（一紙）／（明和八年）五月二七日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-114 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（五月八日の將軍の東叡山参詣の見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月二七日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-115 上杉鷹山宛 松平康福奉書（田安徳川宗武死去に対する見舞いの報告）／一通（一紙）／（明和八年）六月一八日／三九・二×五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-119-116 上杉鷹山宛 松平康福奉書（土用につき鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼）／一通（一紙）／（明和八年カ）六月二一日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-119-117 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（田安徳川宗武死去に対する見舞いの受理）／一通（一紙）／（明和八年）六月二一日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-118 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（土用につき鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼）／一通（一紙）／（明和八年カ）六月二一日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-119-119 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（土用につき御肴兩種献上の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）六月二三日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-120 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（徳川吉宗二十一回忌法要と將軍の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／（明和八年）七月九日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-119-121 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（徳川吉宗二十一回忌法要と將軍の東叡山参詣の見舞いの受理）／一通（一紙）／（明和八年）七月一日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-122 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（徳川吉宗二十一回忌の香典献上の報告）／一通（一紙）／（明和八年）七月二〇日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／今度 有徳院様：言上候恐々謹言／046

0302-119-123 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（串鮑一箱献上に対する礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）七月二五日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-119-124 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（串鮑一箱献上に対する礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）七月二五日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言給／046

0302-119-125 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（御肴一種献上の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）七月二七日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-126 上杉鷹山宛 松平武元他三名奉書（八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇兩献上に対する礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）八月四日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近將監武元（花押）他三名↓上杉弾正大弼殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-119-127 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇兩献上に対する礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）八月四日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-119-128 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（徳川家治夫人死去の大納言への見舞いの報告）／一通（一紙）／（明和八年）九月六日／三九・三×五五・五／折紙 奉

書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-119-29 上杉鷹山宛 松平武元奉書（徳川家治夫人死去の大納言への見舞いの報告）／一通（一紙）／（明和八年）九月六日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-119-30 上杉鷹山宛 松平武元奉書（葛粉一箱献上の報告）／一通（一紙）／（明和八年カ）九月七日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉弾正大弼殿／葛粉一箱被献之：披露候恐々謹言／046

0302-119-31 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（葛粉一箱献上の報告の通知）／一通（一紙）／（明和八年カ）九月七日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／葛粉一箱被献之：披露候恐々謹言／046

0302-119-32 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（徳川家治夫人死去の大納言への見舞いの受理）／一通（一紙）／（明和八年）九月九日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-33 上杉鷹山宛 松平武元奉書（鴨二羽献上への礼）／一通（一紙）／（明和八年カ）九月二八日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-119-34 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（鴨献上の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-35 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（重陽の祝儀黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／（明和八年カ）一〇月五日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／為重陽之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-119-36 上杉鷹山宛 松平康福奉書（徳川家治夫人の中陰の法事への香典献上の報告）／一通（一紙）／（明和八年）一〇月二〇日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／今度 心観院様御：言上候恐々謹言／046

0302-119-37 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（梨子二箱献上の礼）／一通（一紙）

／（明和八年カ）一〇月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-119-38 上杉鷹山宛 松平康福奉書（梨子二箱献上の礼）／一通（一紙）／（明和八年カ）一〇月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-119-39 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（梨子献上の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一〇月三日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-40 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（将軍の一〇月一四日の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一一月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-119-41 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（将軍の一〇月一四日の増上寺参詣の見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一一月四日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-42 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（雁二羽献上の礼）／一通（一紙）／（明和八年カ）一一月八日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-119-43 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（雁二羽献上の礼）／一通（一紙）／（明和八年カ）一一月八日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-119-44 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（雁献上の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一一月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-119-45 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（参勤時期の照会の受理）／一通（一紙）／（明和八年カ）一一月二日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給、意次の在任・治広の在国より年代を比定／046

0302-119-46 上杉鷹山宛 松平武元他三名奉書（来年四月中の参勤命令）／一通（一紙）／（安永六年カ）一一月三日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／松

平右近將監武元(花押) 他三名↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:其趣候恐々謹言/046

0302-19-47 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(参勤時期の照会の受理)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 一月二七日/三九・三九五・五/折紙 奉書紙/阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/046

0302-19-48 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(鮭甘子五桶・同背腸五箱献上への礼)/一通(二紙)/江戸中期(年未詳) 一月一三日/三九・三九五・四/折紙 奉書紙/松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-19-49 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(鮭甘子五桶・同背腸五箱献上への礼)/一通(二紙)/江戸中期(年未詳) 一月二三日/三九・三九五・四/折紙 奉書紙/阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:仕合候恐々謹言/046

0302-19-50 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(御肴兩種献上の受理)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 一月二五日/三九・三九五・四/折紙 奉書紙/田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/側用人発給/046

0302-19-51 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(歳暮の祝儀黄金一〇両献上への礼)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 一月二七日/三九・四四五・三/折紙 奉書紙/阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿/為歳暮之御祝儀:仕合候恐々謹言/西丸老中発給カ/046

0302-20 江戸幕府老中奉書集(0302-20-01~24の表紙)/一冊/近代(年月日未詳)/三九・四二七・八/素紙後補表紙/表紙表裏に「明和九」の鉛筆書き/046

0302-20-01 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金黄金一〇両献上への礼)/一通(一紙)/明和九年カ) 一月一日/三九・四四五・四/折紙 奉書紙/阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿/為年頭の御祝儀:仕合候恐々謹言/「明和九年」の朱書貼紙あり/046

0302-20-02 上杉鷹山宛 松平武元他三名奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金黄金一〇両献上への礼)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 一月一日/三九・三九五・四/折紙 奉書紙/松平右近將監武元(花押) 他三名↓上杉弾正大弼殿/為年頭の御祝儀:仕合候恐々謹言/046

0302-20-03 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(年頭の儀礼遂行の見舞いの報告)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 一月一三日/三九・四四五・五/折紙 奉書紙/阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:言上候恐々謹言/046

0302-20-04 上杉鷹山宛 松平武元奉書(年頭の儀礼遂行の見舞いの報告)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 一月一三日/三九・四四五・五/折紙 奉書紙/松平右近將監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:上聞候恐々謹言/046

0302-20-05 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(年頭の儀礼遂行の見舞いの受理)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 一月一五日/三九・三九五・五/折紙 奉書紙/田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:承知候恐々謹言/側用人発給/046

0302-20-06 上杉鷹山宛 松平武元奉書(一月一〇日の將軍の東叡山参詣の見舞いの報告)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 一月二七日/三九・四四五・五/折紙 奉書紙/松平右近將監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:上聞候恐々謹言/046

0302-20-07 上杉鷹山宛 松平武元奉書(田沼意次の老中就任への祝いの報告)/一通(一紙)/安永元年) 二月一日/三九・四四五・五/折紙 奉書紙/松平右近將監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:上聞候恐々謹言/046

0302-20-08 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(田沼意次の老中就任への祝いの報告)/一通(一紙)/安永元年) 二月一日/三九・四四五・五/折紙 奉書紙/阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:言上候恐々謹言/046

0302-20-09 上杉鷹山宛 松平康福奉書(上杉重定の参府延期の許可)/一通(一紙)/安永元年カ) 二月六日/三九・四四五・五/折紙 奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:其趣候恐々謹言/046

0302-20-10 上杉鷹山宛 松平康福奉書(二月二四日の將軍の増上寺参詣の見舞いの報告)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 二月一日/三九・四四五・五/折紙 奉書紙/松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:上聞候恐々謹言/046

0302-20-11 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(二月二七日の御曲輪内火事の見舞いの報告)/一通(一紙)/江戸中期(年未詳) 二月一五日/三九・四四五・五/折紙 奉書紙/阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿/御状令披見候:言上候恐々謹言/046

0302-20-12 上杉鷹山宛 松平康福奉書（一月二七日の御曲輪内火事の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月一日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-20-13 上杉鷹山宛 松平康福奉書（上杉重定の参府延期の許可への礼状の受理）／一通（一紙）／（安永元年カ）二月二五日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：之事候恐々謹言／046

0302-20-14 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（上杉重定の参府延期の許可への礼状の受理）／一通（一紙）／（安永元年カ）二月二五日／三九・四×五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-20-15 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書（桜田邸類焼につき、参府を五月に延期）／一通（一紙）／（安永元年）三月六日／三九・四×五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）他四名↓上杉弾正大弼殿／今度就火事居屋敷：如此候恐々謹言／046

0302-20-16 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（二月二六日の將軍の東叡山参詣への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月一日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-20-17 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（二月二九日の御曲輪内類焼への見舞いの報告）／一通（一紙）／（安永元年）三月一五日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-20-18 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（二月二九日の御曲輪内類焼への見舞いの報告）／一通（一紙）／（安永元年）三月一五日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-20-19 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（鴨二羽献上の礼）／一通（一紙）／（安永元年カ）三月一六日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-20-20 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（鴨二羽献上の礼）／一通（一紙）

（安永元年カ）三月一六日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-20-21 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（江戸藩邸類焼に伴う「宿次奉書」拝領への謝意の報告）／一通（一紙）／（安永元年）三月二一日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-20-22 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（江戸藩邸類焼に伴う「宿次奉書」拝領への謝意の報告）／一通（一紙）／（安永元年）三月二一日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-20-23 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（江戸藩邸類焼に伴う参府の五月への延期への謝意の報告）／一通（一紙）／（安永元年）三月二二日／三九・四×五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-20-24 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（江戸藩邸類焼に伴う参府の五月への延期への謝意の報告）／一通（一紙）／（安永元年）三月二七日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-21 江戸幕府老中奉書集（0302-21-01、41の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三九・五×二七・八／素紙後補表紙／表紙表「安永二二三」、表紙裏「安永二、三、三」の鉛筆書きあり／046

0302-21-01 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（大納言徳川家基への端午の祝儀黄金一〇両献上に対する礼）／一通（一紙）／（安永二年カ）五月二日／三九・三×五五・二／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／為端午之御祝儀：仕合候恐々謹言／「安永二年」朱筆貼紙あり／046

0302-21-02 上杉鷹山宛 松平輝高他二名奉書（帰国の礼の使者派遣・蠟燭二〇〇挺・樽肴献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月一九日／三九・三×五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）他二名↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-21-03 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（五月八日の將軍の東叡山参詣の見舞いの報告の通知）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月二五日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上

候恐々謹言／046

0302-21-04 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(掃國の礼の使者派遣・蝋燭二〇〇挺・樽肴献上への礼)／一通(一紙)／(安永二年カ)五月一八日／三九・三・五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／「安永三年」の朱筆貼紙あり／046

0302-21-05 上杉鷹山宛 松平武元奉書(土用につき鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)六月一日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-06 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(土用につき鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼)／一通(一紙)／(安永二年カ)六月三日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-07 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(徳川家重十三回忌法要執行への見舞いの大納言(家基)への報告の通知)／一通(一紙)／(安永二年)六月二八日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-21-08 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(徳川家重十三回忌法要執行、六月二日の靈前参詣への見舞いの將軍への報告の通知)／一通(一紙)／(安永二年)六月二八日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-21-09 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(尾張徳川治休死去の見舞いの報告の通知)／一通(一紙)／(安永二年)七月三日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-21-10 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(徳川家重十三回忌法要の香典の増上寺奉納の報告の通知)／一通(一紙)／(安永二年)七月二日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／今度 停信院様十三：言上候恐々謹言／046

0302-21-11 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(安永二年カ)七月三日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-12 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(串鮑一箱献上に対する礼)／一通(一紙)／(安永二年カ)七月三日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-13 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上に対する礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月四日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-21-14 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上に対する礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)八月四日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) 他四名 ↓上杉弾正大弼殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-21-15 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(上杉重定の参府延期の許可への礼状の承諾)／一通(一紙)／(安永二年)九月六日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-21-16 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(重陽の祝儀黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)九月七日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為重陽之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-21-17 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(鴨二羽献上に対する礼)／一通(一紙)／(安永二年カ)九月五日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-18 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(鴨二羽献上に対する礼)／一通(一紙)／(安永二年カ)九月五日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-19 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(徳川家治夫人三回忌法要の香典の東叡山奉納の報告)／一通(一紙)／(安永二年)九月二〇日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／今度 心観院様三：言上候恐々謹言／046

0302-21-20 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(上杉重定の参府延期の許可の奉書発給への礼状の受理)／一通(一紙)／(安永二年)九月二五日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々

謹言／046

0302-21-21 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（上杉重定の参府延期の許可の奉書
発給への礼状の受理）／一通（一紙）／（安永二年）九月二五日／三九・五×五五・五
／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：之事候恐々
謹言／046

0302-21-22 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（黄鷹一居献上への礼）／一通（一
紙）／江戸中期（年未詳）一〇月一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右
京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-23 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（梨子二箱献上への礼）／一通（一紙）
／（安永二年カ）一〇月一日／三九・四×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允
（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-24 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（梨子二箱献上への礼）／一通（一紙）
／（安永二年カ）一〇月一日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝
高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-25 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（一〇月一四日の増上寺参詣の見舞
いの將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・五×五五・
五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞
候恐々謹言／046

0302-21-26 上杉鷹山宛 松平武元奉書（雁二羽献上への礼）／一通（一紙）
／（安永二年カ）一月二一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武
元（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-27 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（雁二羽献上への礼）／一通（一紙）
／（安永二年カ）一月二一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允
（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-28 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（参勤時期の照会の受理）／一通（一
紙）／江戸中期（年未詳）一月二五日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊
後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-21-29 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書（来年四月中の参勤命令）/
一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙/
松平右近将監武元（花押）他四名↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言/
046

0302-21-30 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（鮭甘子五桶・同背腸五箱献上への
礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月六日／三九・五×五五・五／折紙 奉
書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／0
46

0302-21-31 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（鮭甘子五桶・同背腸五箱献上への
礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月六日／三九・五×五五・五／折紙 奉
書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／0
46

0302-21-32 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（年頭の御祝儀太刀一腰・馬代黄金
一〇両献上への礼）／一通（一紙）／（安永三年カ）一月一日／三九・五×五五・五
／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／為年頭の御祝儀：仕合候
恐々謹言／046

0302-21-33 包紙（安永三年一月一日年頭祝儀の老中奉書の包）／一枚（一
紙）／（安永六年五月カ）／三一・〇×四〇・二／楮紙／046

0302-21-34 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書（年頭の御祝儀太刀一腰・馬
代黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・五
×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）他四名↓上杉弾正大弼殿／為年
頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-21-35 上杉鷹山宛 松平康福奉書（年始儀礼遂行の見舞状の報告）/
一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙/
松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-21-36 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（年始儀礼遂行の見舞状の報告）/
一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月二七日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙/
阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-21-37 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（鯉節一箱献上への礼）／一通（一
紙）／江戸中期（年未詳）一月二三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後
守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-38 上杉鷹山宛 松平康福奉書（鯉節一箱献上への礼）／一通（一
紙）／江戸中期（年未詳）一月二三日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／松平周防
守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-21-39 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(歳暮の祝儀黄金一〇両献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 一二月二七日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 為歳暮之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 西丸老中発給カ / 046

0302-21-40 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(一月二〇日の將軍の東叡山参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 二月九日 / 三九・五×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-21-41 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(一月二四日の將軍の増上寺参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 二月三日 / 三九・五×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-22 江戸幕府老中奉書集(0302-22-01~47の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 三九・五×二七・八 / 素紙後補表紙 / 表紙表に「安永四、五」、同裏に「安永四、五」の鉛筆書きあり / 046

0302-22-01 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(端午の祝儀黄金一〇両献上への礼) / 一通(一紙) / (安永四年カ) 五月二日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 為端午之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 「安永四年」の朱書き貼紙あり、西丸老中発給カ / 046

0302-22-02 上杉鷹山宛 松平武元奉書(四月二九日の將軍増上寺参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 五月一日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-22-03 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(帰国の礼の使者派遣・樽肴献上への礼) / 一通(一紙) / (安永四年カ) 五月二五日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 御事候恐々謹言 / 明和四、安永八年の帰国時期から年代を比定 / 046

0302-22-04 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書(帰国の礼の使者派遣・蠟燭二〇〇挺・樽肴献上への礼) / 一通(一紙) / (安永四年カ) 五月二五日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) 他四名 ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 御事候恐々謹言 / 明和四、安永八年の帰国時期から年代を比定 / 046

0302-22-05 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(六月一二日の將軍増上寺参詣の見

舞いの報告) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 七月一日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-22-06 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(土用につき鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼) / 一通(一紙) / (安永四年カ) 七月三日 / 三九・五×五五・六 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-22-07 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(土用につき鯖子三桶・同背腸二桶献上への礼) / 一通(一紙) / (安永四年カ) 七月三日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-22-08 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(徳川吉宗二十五回忌と將軍の六月二〇日の御靈屋参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永四年) 七月七日 / 三九・五×五五・六 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-22-09 上杉鷹山宛 松平康福奉書(徳川吉宗二十五回忌の香典の東叡山納入の報告) / 一通(一紙) / (安永四年) 七月二〇日 / 三九・五×五五・六 / 折紙 奉書紙 / 松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 今度 有徳院様二 : 言上候恐々謹言 / 046

0302-22-10 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(串鮑一箱献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 七月三日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-22-11 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(串鮑一箱献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 七月三日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-22-12 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇金一〇両献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 八月四日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) 他四名 ↓上杉弾正大弼殿 / 為八朔之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-22-13 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 八月四日 / 三九・五×五五・六 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 為八朔之御祝儀 : 仕合

候恐々謹言／046

0302-22-14 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(重陽の祝儀黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 九月七日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-22-15 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 九月二七日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-16 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 九月二七日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-17 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(初鶴一隻献上への礼)／一通(一紙)／(安永四年カ) 一〇月四日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-18 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(初鶴一隻献上への礼)／一通(一紙)／(安永四年カ) 一〇月四日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-19 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(梨子二箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 一〇月二九日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-20 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(梨子二箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 一〇月二九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-21 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(一〇月一四日の増上寺参詣の見舞いの將軍への報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 一〇月一日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-22-22 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(雁二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 一〇月一六日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-23 上杉鷹山宛 松平武元奉書(雁二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 一〇月一六日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-24 上杉鷹山宛 松平武元奉書(故田安德川宗武の娘種姫を將軍養女にするに当たつての見舞いの報告)／一通(一紙)／(安永四年) 一〇月一日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-22-25 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(故田安德川宗武の娘種姫を將軍養女にするに当たつての見舞いの報告)／一通(一紙)／(安永四年) 一〇月一日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-22-26 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(種姫の江戸城本丸入りの祝詞の報告)／一通(一紙)／(安永四年) 一〇月二日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-22-27 上杉鷹山宛 松平武元奉書(種姫の江戸城本丸入りの祝詞の報告)／一通(一紙)／(安永四年) 一〇月二日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-22-28 上杉鷹山宛 松平武元奉書(黄鷹一居献上への礼)／一通(一紙)／(安永四年) 一〇月二日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-29 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書(来年の参勤時期につき日光社後の五月と通知)／一通(一紙)／(安永四年) 一〇月二三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) 他四名 ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-22-30 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(参勤時期の照会の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 一〇月二五日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-22-31 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(寒中につき鮭甘子五桶・同背腸五箱献上への礼)／一通(一紙)／(安永四年カ) 一〇月二七日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-32 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(寒中につき鮭甘子五桶・同背腸五箱献上への礼)／一通(一紙)／(安永四年カ)二月二七日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-33 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(歳暮の祝儀黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／(安永四年)閏二月二七日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為歳暮之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-22-34 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／(安永五年カ)一月一日／三九・五・五五・七／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) 他四名 ↓上杉弾正大弼殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／「安永五年」の朱筆付箋あり／046

0302-22-35 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-22-36 上杉鷹山宛 松平康福奉書(年頭儀礼遂行の祝詞の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月三日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-22-37 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(年頭儀礼遂行の祝詞の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月三日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-22-38 上杉鷹山宛 松平康福奉書(鯉節一箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二三日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-39 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(鯉節一箱献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二三日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-40 上杉鷹山宛 松平康福奉書(一月一〇日の將軍東叡山参詣への見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月二七日／三九・四・五五・六／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々

謹言／046

0302-22-41 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書(御鷹の鶴送付の通知)／一通(一紙)／(安永五年)二月五日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／松平右近将監武元(花押) 他四名 ↓上杉弾正大弼殿／一筆令啓候公方：越之候恐々謹言／虫損あり／046

0302-22-42 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(御鷹の鶴拝領の礼の報告)／一通(一紙)／(安永五年)二月二日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-22-43 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(御鷹の鶴拝領の礼物干鯛一箱への礼)／一通(一紙)／(安永五年)二月二日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-44 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／(安永五年カ)三月三日／三九・五・五五・六／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-45 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／(安永五年カ)三月三日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-22-46 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(四月一三日の將軍の日光社参出発への祝詞の報告)／一通(一紙)／(安永五年)四月二三日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-22-47 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(四月一三日の將軍の日光社参出発への祝詞の報告)／一通(一紙)／(安永五年)四月二三日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-22-53 江戸幕府老中奉書集(0302-23-01-53の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三九・六・二七・八／素紙後補表紙／表紙表に「安永六―七」裏に「安永六、七」と鉛筆書き／046

0302-23-01 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(端午の祝儀黄金一〇両献上への礼)／一通(一紙)／(安永六年カ)五月二日／三九・六・五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為端午之御祝儀：仕合候恐々謹言／「安永六年」

の朱書き貼紙あり、西丸老中発給カ/046

0302-23-02 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(四月晦日の將軍の増上寺参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永六年カ) 五月一日/三九・六×五五・三 / 折紙奉書紙 / 田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-23-03 包紙(0302-23-02の包カ) / 一枚(一紙) / (安永六年五月カ) / 三〇・二×三八・六 / 楮紙 / 046

0302-23-04 上杉鷹山宛 水野忠友奉書(帰国の礼の受理) / 一通(一紙) / (安永六年) 五月三日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 水野出羽守忠友(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令拝見候 : 承知候恐々謹言 / 側用人発給 / 046

0302-23-05 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書(帰国の礼物蠟燭二〇〇挺・樽肴への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 五月二五日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) 他四名 ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 御事候恐々謹言 / 046

0302-23-06 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(帰国の礼物樽肴への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 五月二五日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 御事候恐々謹言 / 046

0302-23-07 上杉鷹山宛 松平武元奉書(土用の糰一箱・串海鼠一箱献上への礼) / 一通(一紙) / (安永六年) 六月二五日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-23-08 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(土用の糰一箱・串海鼠一箱献上への礼) / 一通(一紙) / (安永六年) 六月二五日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-23-09 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(徳川家重十七回忌、將軍および大納言増上寺参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永六年) 七月一日/三九・五×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 言上候恐々謹言 / 046

0302-23-10 上杉鷹山宛 松平武元奉書(徳川家重十七回忌、將軍および大納言増上寺参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永六年) 七月一日/三九・五×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候

：上聞候恐々謹言 / 046

0302-23-11 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(六月二〇日の將軍東叡山参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 七月七日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-23-12 上杉鷹山宛 松平武元奉書(徳川家重十七回忌法要の香典の増上寺奉納の報告) / 一通(一紙) / (安永六年) 七月二日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 今度 惇信院様十七 : 言上候恐々謹言 / 046

0302-23-13 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(串鮑一箱献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 七月三日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-23-14 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(串鮑一箱献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 七月三日/三九・七×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-23-15 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇金一〇両献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 八月四日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) 他四名 ↓上杉弾正大弼殿 / 為八朔之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-23-16 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上に対する礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 八月四日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 為八朔之御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-23-17 上杉鷹山宛 松平武元奉書(米沢新田藩主上杉勝承の駿河加番受命への礼の受理) / 一通(一紙) / (安永六年) 八月二日/三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 之事候恐々謹言 / 046

0302-23-18 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(米沢新田藩主上杉勝承の駿河加番受命への礼の受理) / 一通(一紙) / (安永六年) 八月二日/三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 承知候恐々謹言 / 046

- 0302-23-1-9 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(重陽の祝儀黄金一〇両献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 九月七日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 為重陽之御祝儀: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-0 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(徳川家治夫人七回忌、大納言の八月二一日東叡山参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永六年) 九月七日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-1 上杉鷹山宛 松平康福奉書(初鶴一隻献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 九月五日 / 三九・五×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-2 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(初鶴一隻献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 九月五日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-3 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(徳川家治夫人七回忌の香典の東叡山奉納の報告) / 一通(一紙) / (安永六年) 九月二〇日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 今度 心観院様七: 言上候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-4 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(鴨二羽献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 九月二一日 / 三九・五×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-5 上杉鷹山宛 松平武元奉書(鴨二羽献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 九月二一日 / 三九・五×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-6 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(梨子二箱献上への礼) / 一通(一紙) / (安永六年カ) 一〇月二五日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-7 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(梨子二箱献上への礼) / 一通(一紙) / (安永六年カ) 一〇月二五日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-8 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(雁二羽献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 十一月一六日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-2-9 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(雁二羽献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 十一月一六日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 仕合候恐々謹言 / 046
- 0302-23-3-0 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(十一月二日夜の江戸城内の火事見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永六年カ) 十一月一八日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 上聞候恐々謹言 / 046
- 0302-23-3-1 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(十一月二日夜の江戸城内の火事見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永六年カ) 十一月一八日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 言上候恐々謹言 / 046
- 0302-23-3-2 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(参勤時期の照会の受理) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 十一月二二日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 承知候恐々謹言 / 046
- 0302-23-3-3 上杉鷹山宛 松平武元他三名奉書(来年四月中の参勤命令) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 十一月二二日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) 他三名 ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 其趣候恐々謹言 / 046
- 0302-23-3-4 上杉鷹山宛 水野忠友奉書(参勤時期の照会の受理) / 一通(一紙) / (安永六年) 十一月二三日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 水野出羽守忠友(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 承知候恐々謹言 / 側用人発給、忠友の在任、家基の存生中から年代を比定 / 046
- 0302-23-3-5 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(歳暮の祝儀黄金一〇両献上への礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 十二月二七日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 為歳暮之御祝儀: 仕合候恐々謹言 / 西丸老中発給カ / 046
- 0302-23-3-6 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(二月一日夜の江戸城内の火事見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永六年) 二月二七日 / 三九・五×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候: 言上候恐々謹言 / 046

0302-23-37 上杉鷹山宛 松平武元奉書（二月一日夜の江戸城内の火車見舞いの報告）／一通（一紙）／（安永六年）二月二七日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-23-38 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（寒中につき鮭甘子五桶・同背腸五箱献上への礼）／一通（一紙）／（明和六年カ）二月一九日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-23-39 上杉鷹山宛 松平武元奉書（寒中につき鮭甘子五桶・同背腸五箱献上への礼）／一通（一紙）／（明和六年カ）二月一九日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-23-40 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／（安永七年カ）一月一日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-23-41 上杉鷹山宛 松平武元他四名奉書（年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／松平右近将監武元（花押）他四名↓上杉弾正大弼殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-23-42 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（年始儀礼遂行への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月三日／三九・六×五五・三／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-23-43 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（年始儀礼遂行への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月三日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-23-44 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（鯉節一箱献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二三日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-23-45 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（鯉節一箱献上への礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二三日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後

守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-23-46 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（一月一日の將軍の東叡山参詣への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二七日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-23-47 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（二月二〇日の大納言徳川家基の東叡山参詣への見舞いの報告）／一通（一紙）／（安永八年カ）二月六日／三九・六×五五・二／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-23-48 上杉鷹山宛 松平康福奉書（二月二四日の將軍の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）二月三日／三九・五×五五・二／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-23-49 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（二月二六日の將軍の東叡山参詣への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）三月三日／三九・六×五五・二／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-23-50 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（鴨二羽献上への礼）／一通（一紙）／（安永七年カ）三月二日／三九・五×五五・一／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-23-51 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（鴨二羽献上への礼）／一通（一紙）／（安永七年カ）三月二日／三九・五×五五・一／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-23-52 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（大納言徳川家基の前髪剃りの祝詞の報告）／一通（一紙）／（安永七年）四月二日／三九・五×五五・〇／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-23-53 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（大納言徳川家基の前髪剃りの祝詞の報告）／一通（一紙）／（安永七年）四月二日／三九・五×五五・〇／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-24 江戸幕府老中奉書集（0302-24-01、31の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三九・五×二七・七／素紙後補表紙／表紙表に「安永八一九」

裏に「安永八、ヶ九」と鉛筆書あり／046

0302-24-01 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（徳川家綱百回忌法要執行の見舞いの報告）／一通（一紙）／（安永八年）五月三日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／「安永八年」の朱筆付箋あり／046

0302-24-02 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（徳川家綱百回忌法要の香典を東叡山に奉納したことの報告）／一通（一紙）／（安永八年）六月八日／三九・五×五五・三／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／今度 殿有院様百：言上候恐々謹言／046

0302-24-03 上杉鷹山宛 水野忠友奉書（帰国の礼物蠟燭二〇〇挺・樽肴献上の受理）／一通（一紙）／（安永八年）六月一日／三九・六×五五・四／折紙 奉書紙／水野出羽守忠友（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-24-04 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（帰国の礼物蠟燭二〇〇挺・樽肴献上の受理）／一通（一紙）／（安永八年）六月三日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／阿部豊後守正允（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／正允の老中在任期間から年次比定／046

0302-24-05 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（土用につき鯖子三桶・同背腸二箱献上への礼）／一通（一紙）／（安永八年カ）六月一日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-24-06 上杉鷹山宛 松平康福他二名奉書（帰国の礼物蠟燭二〇〇挺・樽肴献上への礼）／一通（一紙）／（安永八年カ）六月一日／三九・六×五五・四／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）他二名↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：御事候恐々謹言／046

0302-24-07 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（六月二二日の將軍増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）六月二八日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-24-08 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（串鮑一箱献上に対する礼）／一通（一紙）／（安永八年カ）七月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-24-09 上杉鷹山宛 松平輝高他三名奉書（八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上に対する礼）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）八月四日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）他三名↓上杉弾正大弼殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-24-10 上杉鷹山宛 松平康福奉書（松平武元死去への見舞いの報告）／一通（一紙）／（安永八年）八月九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-24-11 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（初鶴一隻献上への礼）／一通（一紙）／（安永八年カ）九月六日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-24-12 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（鴨二羽献上への礼）／一通（一紙）／（安永八年カ）九月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-24-13 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書（梨子二箱献上への礼）／一通（一紙）／（安永八年カ）一月一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／板倉佐渡守勝清（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-24-14 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（黄鷹一居献上への礼）／一通（一紙）／（安永八年カ）一月三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-24-15 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（雁二羽献上への礼）／一通（一紙）／（安永八年カ）一月二三日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-24-16 上杉鷹山宛 水野忠友奉書（参勤時期の照会の受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二三日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／水野出羽守忠友（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-24-17 上杉鷹山宛 松平輝高他三名奉書（来年四月中の参勤命令）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月二三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）他三名↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302-24-18 上杉鷹山宛 阿部正允奉書（参勤時期の照会の受理）／一通（一紙）

紙) / (安永八年) 一月二五日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 承知候恐々謹言 / 正允の老中在任期間から年次比定 / 046

0302-24-119 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(日光山正遷宮の祝詞の報告) / 一通(一紙) / (安永八年) 一月二八日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-24-120 上杉鷹山宛 松平康福奉書(後花園院崩御に対する見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永八年) 二月三日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-24-121 上杉鷹山宛 松平康福奉書(寒中につき鮭甘子五桶・同背腸五箱献上への礼) / 一通(一紙) / (安永八年カ) 二月一日 / 三九・五×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-24-122 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(紅葉山御宮正遷宮の祝詞の報告) / 一通(一紙) / (安永九年) 一月六日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 「安永九年」の朱筆付箋あり / 046

0302-24-123 上杉鷹山宛 松平輝高他三名奉書(年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上の礼) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 一月一日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右京大夫輝高(花押) 他三名 ↓上杉弾正大弼殿 / 為年頭の御祝儀 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-24-124 包紙(0302-24-122の包紙) / 一枚(一紙) / (安永九年正月カ) / 三〇・三×三八・五 / 楮紙 / 046

0302-24-125 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(年始儀礼遂行への見舞いの報告の通知) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 一月五日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-24-126 上杉鷹山宛 松平輝高奉書(鯉節一箱献上への礼) / 一通(一紙) / (安永九年) 一月二三日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-24-127 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(一月二四日の將軍の増上寺参詣の

見舞いの報告を通知) / 一通(一紙) / (安永九年カ) 二月一六日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 勝清の在任期間より年次比定 / 046

0302-24-128 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(二月二六日の將軍の東叡山参詣の見舞いの報告の通知) / 一通(一紙) / (安永九年カ) 二月一八日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 勝清の在任期間より年次比定 / 046

0302-24-129 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(重定の参勤の二〇ヶ月延期の許可) / 一通(一紙) / (安永九年カ) 三月七日 / 三九・五×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 其趣候恐々謹言 / 046

0302-24-130 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(二月二六日の將軍の東叡山参詣への見舞いの報告の通知) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 三月一三日 / 三九・六×五五・五 / 折紙 奉書紙 / 田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-24-131 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(鴨二羽献上への礼) / 一通(一紙) / (安永九年カ) 三月二五日 / 三九・六×五五・四 / 折紙 奉書紙 / 田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 仕合候恐々謹言 / 046

0302-125 江戸幕府老中奉書集(0302-125-101、59の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 三九・五×二七・八 / 素紙後補表紙 / 表紙表「天明一―三」裏「天明一、二、三」の鉛筆書あり / 046

0302-125-101 上杉鷹山宛 田沼意次奉書(四月二九日の將軍増上寺参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / (天明元年カ) 五月一六日 / 三九・五×五五・一 / 折紙 奉書紙 / 田沼主殿頭意次(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 「天明元年」の朱筆付箋あり / 046

0302-125-102 上杉鷹山宛 水野忠友奉書(帰国の礼物蠟燭二〇〇挺・樽肴献上への礼) / 一通(一紙) / (天明元年) 五月一八日 / 三九・五×五五・一 / 折紙 奉書紙 / 水野出羽守忠友(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 承知候恐々謹言 / 側用人発給 / 046

0302-125-103 上杉鷹山宛 松平輝高他二名奉書(帰国の礼物蠟燭二〇〇挺・樽肴献上への礼) / 一通(一紙) / (天明元年) 五月一九日 / 三九・五×五五・三 / 折紙 奉書紙 / 松平右京大夫輝高(花押) 他二名 ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 御事候恐々謹言 / 輝高の在任期間より年次比定 / 046

0302-25-04 上杉鷹山宛 松平康福奉書（久世広明の西丸老中就任の祝詞の報告）／一通（一紙）／（天明元年）六月二日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-05 上杉鷹山宛 久世広明奉書（徳川家斉の世子就任・西丸入りの祝詞の報告）／一通（一紙）／（天明元年）六月七日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／久世大和守広明（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-25-06 包紙（0302-25-01の包紙）／一枚（一紙）／（天明元年五月カ）／三二・四・四一・七／楮紙／046

0302-25-07 上杉鷹山宛 松平康福奉書（徳川家斉の世子就任・西丸入りの祝詞の報告）／一通（一紙）／（天明元年）六月七日／三九・五・五五・二／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-08 上杉鷹山宛 久世広明奉書（徳川家斉の世子就任に伴う閏五月二二日の儀礼に対する祝詞の報告）／一通（一紙）／（天明元年）六月一日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／久世大和守広明（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-25-09 上杉鷹山宛 松平康福奉書（徳川家斉の世子就任に伴う閏五月二二日の儀礼に対する祝詞の報告）／一通（一紙）／（天明元年）六月一日／三九・五・五五・三／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-10 上杉鷹山宛 久世広明奉書（土用につき鯖子三桶・同背腸二箱献上への礼）／一通（一紙）／（天明元年）六月二三日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／久世大和守広明（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-25-11 上杉鷹山宛 松平康福奉書（土用につき鯖子三桶・同背腸二箱献上への礼）／一通（一紙）／（天明元年）六月二三日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-25-12 上杉鷹山宛 松平康福奉書（六月二二日の將軍の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）六月二八日／三九・五・五五・四／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々

謹言／046

0302-25-13 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（六月二〇日の將軍の東叡山参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）七月七日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-14 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（徳川家斉の出御に伴うお目見への祝詞の報告）／一通（一紙）／（天明元年）七月一日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-15 上杉鷹山宛 松平康福奉書（徳川家斉の出御に伴うお目見への祝詞の若君への報告）／一通（一紙）／（天明元年）七月一日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-25-16 上杉鷹山宛 松平輝高奉書（串鮑一箱献上に対する礼）／一通（一紙）／（天明元年）七月二日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-25-17 上杉鷹山宛 松平康福奉書（串鮑一箱献上に対する礼）／一通（一紙）／（天明元年）七月二日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-25-18 上杉鷹山宛 松平康福奉書（徳川家斉の世子就任の祝儀太刀・馬代献上への礼）／一通（一紙）／（天明元年）七月二三日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／今度 御養君被：仕合候恐々謹言／046

0302-25-19 上杉鷹山宛 松平康福奉書（徳川家斉への八朔祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上に対する礼）／一通（一紙）／（天明元年）八月四日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／為八朔之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-25-20 上杉鷹山宛 久世広明奉書（八朔祝儀黄金一〇両献上に対する礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）九月七日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／久世大和守広明（花押）↓上杉弾正大弼殿／為重陽之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302—25—1 上杉鷹山宛 松平康福奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)
 ／(天明元年)九月二日／三九・五・五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花
 押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302—25—2 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)
 ／(天明元年)九月二日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意(花
 押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302—25—3 上杉鷹山宛 松平康福奉書(鳥居忠意の西丸付老中、水野忠友
 の老中格就任の祝詞の報告)／一通(一紙)／(天明元年)一〇月四日／三九・四・五
 五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言
 上候恐々謹言／046

0302—25—4 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書(九月十九日の徳川家齊の浅草初御
 成の見舞いの報告)／一通(一紙)／(天明元年)一〇月四日／三九・四・五五・五
 五・五／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々
 謹言／西丸老中発給カ／046

0302—25—5 上杉鷹山宛 久世広明奉書(鳥居忠意の西丸付老中、水野忠友
 の老中格就任の祝詞の報告)／一通(一紙)／(天明元年)一〇月四日／三九・三・五
 五・四／折紙 奉書紙／久世大和守広明(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上
 聞候恐々謹言／046

0302—25—6 上杉鷹山宛 久世広明奉書(上杉重定の参勤の二〇ヶ月延期の
 許可)／一通(一紙)／(天明元年)一〇月七日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙
 ／久世大和守広明(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302—25—7 上杉鷹山宛 久世広明奉書(松平輝高死去への見舞いの報告)
 ／一通(一紙)／(天明元年)一〇月一〇日／三九・四・五五・四／折紙 奉書紙／久
 世大和守広明(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302—25—8 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書(梨子二箱献上への礼)／一通(一紙)
 ／(天明元年)一〇月一六日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意(花
 押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302—25—9 上杉鷹山宛 久世広明奉書(梨子二箱献上への礼)／一通(一紙)
 ／(天明元年)一〇月一六日／三九・三・五五・四／折紙 奉書紙／久世大和守広明(花
 押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302—25—30 上杉鷹山宛 久世広明奉書(黄鷹一居献上への礼)／一通(一

紙)／(天明元年)一〇月二五日／三九・三・五五・四／折紙 奉書紙／久世大和守広
 明(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302—25—31 上杉鷹山宛 久世広明奉書(一〇月一四日の將軍の増上寺参詣
 の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)一〇月一日／三九・三・五五・
 五／折紙 奉書紙／久世大和守広明(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候
 恐々謹言／046

0302—25—32 上杉鷹山宛 久世広明奉書(雁二羽献上への礼)／一通(一紙)
 ／(天明元年)一〇月一八日／三九・三・五五・五／折紙 奉書紙／久世大和守広明(花
 押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302—25—33 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書(雁二羽献上への礼)／一通(一紙)
 ／(天明元年)一〇月一八日／三九・三・五五・五／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意(花
 押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302—25—34 上杉鷹山宛 松平康福他二名奉書(四月中の参勤命令)／一通
 (一紙)／(天明元年)一〇月二五日／三九・三・五五・五／折紙 奉書紙／松平周防
 守康福(花押) 他二名 ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：其趣候恐々謹言／046

0302—25—35 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書(参勤時期の照会の受理)／一通(一
 紙)／(天明元年)一〇月二五日／三九・四・五五・五／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠
 意(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302—25—36 上杉鷹山宛 水野忠友奉書(参勤時期の照会の受理)／一通(一
 紙)／(天明元年)一〇月二五日／三九・三・五五・四／折紙 奉書紙／水野出羽守忠
 友(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302—25—37 上杉鷹山宛 松平康福奉書(寒中につき鮭甘子五桶・同背腸五
 箱献上への礼)／一通(一紙)／(天明元年)一〇月三日／三九・三・五五・五／折紙
 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／
 046

0302—25—38 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書(寒中につき鮭甘子五桶・同背腸五
 箱献上への礼)／一通(一紙)／(天明元年)一〇月三日／三九・三・五五・五／折紙
 奉書紙／鳥居丹波守忠意(花押) ↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／
 046

0302—25—39 上杉鷹山宛 松平康福奉書(徳川豊千代の家斉改名の祝詞の報
 告の通知)／一通(一紙)／(天明元年)一〇月二一日／三九・三・五五・四／折紙

奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-40 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書（徳川豊千代の家斉改名の祝詞の報告の通知）／一通（一紙）／（天明元年）一月二二日／三九・三×五五・四／折紙奉書紙／鳥居丹波守忠意（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-25-41 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書（歳暮の祝儀黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）一月二七日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意（花押）↓上杉弾正大弼殿／為歳暮之御祝儀：仕合候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-25-42 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書（年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）一月一日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意（花押）↓上杉弾正大弼殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-25-43 上杉鷹山宛 田沼意次・久世広明奉書（年頭の祝儀太刀一腰・馬代黄金一〇両献上への礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）一月一日／三九・三×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）・久世大和守広明（花押）↓上杉弾正大弼殿／為年頭の御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-25-44 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書（年始儀礼遂行への見舞いの報告の通知）／一通（一紙）／（天明二年）一月一日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-25-45 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（年始儀礼遂行への見舞いの報告の通知）／一通（一紙）／（天明二年）一月一日／三九・三×五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-46 上杉鷹山宛 田沼意次・久世広明奉書（御鷹の鶴拝領の通知）／一通（一紙）／（天明二年）一月二三日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）・久世大和守広明（花押）↓上杉弾正大弼殿／一筆令啓候 公方：越之候恐々謹言／046

0302-25-47 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（鯉節一箱献上への礼）／一通（一紙）／（天明二年）一月二五日／三九・二×五五・五／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-25-48 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書（鯉節一箱献上への礼）／一通（一紙）／（天明二年）一月二五日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-25-49 上杉鷹山宛 水野忠友奉書（預所の割り替への願いの了承に対する礼状の受理）／一通（一紙）／（天明二年）一月二六日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／水野出羽守忠友（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給／046

0302-25-50 上杉鷹山宛 田沼意次奉書（一月一〇日の將軍の東叡山参詣への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）一月二七日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／田沼主殿頭意次（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-51 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書（御鷹の鶴拝領の礼の報告の通知）／一通（一紙）／（天明二年）二月九日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-25-52 上杉鷹山宛 久世広明奉書（御鷹の鶴拝領の礼物干鯛一箱への礼）／一通（一紙）／（天明二年）二月九日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／久世大和守広明（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-25-53 上杉鷹山宛 久世広明奉書（一月二四日の將軍の増上寺参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）二月一日／三九・二×五五・四／折紙 奉書紙／久世大和守広明（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-54 上杉鷹山宛 久世広明奉書（種姫の縁組の祝詞の報告）／一通（一紙）／（天明二年）二月二五日／三九・二×五五・三／折紙 奉書紙／久世大和守広明（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-55 上杉鷹山宛 鳥居忠意奉書（種姫の縁組の祝詞の報告）／一通（一紙）／（天明二年）二月二五日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／鳥居丹波守忠意（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-25-56 上杉鷹山宛 松平康福他二名奉書（鷹山夫人幸姫死去に対するお悔み）／一通（一紙）／（天明二年）三月一日／三九・一×五五・二／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）他二名↓上杉弾正大弼殿／妻女死去之段：如此候恐々謹言／046

0302-25-57 上杉鷹山宛 松平康福奉書（鷹山夫人幸姫死去に対するお悔みに対する礼の報告）／一通（一紙）／（天明二年）四月二日／三九・一×五五・二／折紙 奉書紙／松平周防守康福（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-25-58 上杉鷹山宛 水野忠友奉書（帰国の礼蠟燭二〇〇挺・樽肴献上の受理）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）五月九日／三九・二×五五・二／折紙 奉書紙／水野出羽守忠友（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給カ、とすれば天明三年の可能性、「歴代年譜」天明三年五月一日条参照／046

0302-25-59 上杉鷹山宛 水野忠友奉書（参勤時期の照会の受理）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）十一月二日／三九・一×五五・一／折紙 奉書紙／水野出羽守忠友（花押）↓上杉弾正大弼殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／側用人発給カ、とすれば天明三年の可能性／046

0302-26 江戸幕府老中奉書集（0302-26-01-37の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三九・五×二七・九／素紙後補表紙／表紙表裏に「年未詳」の鉛筆書あり／046

0302-26-01 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（將軍の小菅村御成の見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）六月二日／三九・六×五五・四／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）／御状令披見候：言上候恐々謹言／「年代未詳」の朱書貼紙あり／046

0302-26-02 上杉吉憲宛 大久保忠増奉書（八月六日の浜御殿御成の見舞いの將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）八月九日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／大久保加賀守忠増（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-26-03 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（五月二十九日の山王社参詣の見舞いの將軍への報告）／一通（一紙）／（享保二年）六月二日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-26-04 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書（正月儀礼の遂行に対する祝意の將軍への報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）一月一日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-26-05 上杉吉憲宛 土屋政直奉書（帰国に伴う拝領物への礼と帰国後の使者派遣・贈答への謝意）／一通（一紙）／（宝永四年カ）六月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／土屋相模守政直（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承知候恐々謹言／046

0302-26-06 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（十一月五日江戸城近所の火災への見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）十一月八日／三九・五×五五・四／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-26-07 上杉吉憲宛 稻葉正通奉書（八重姫の疱瘡軽快への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）十一月二日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／稻葉丹後守正通（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-26-08 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書（八重姫の疱瘡軽快への見舞いの受理）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）十一月二日／三九・六×五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞（花押）・松平伊賀守忠榮（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-26-09 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書（八重姫の疱瘡軽快への見舞いの報告）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）十一月二日／三九・六×五五・四／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-26-10 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書（五月一日の將軍の隅田川辺での鷹狩の見舞いの報告）／一通（一紙）／（享保二年）五月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-26-11 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（大納言徳川家宣の二月二日東叡山御堂参詣の見舞いの報告）／一通（一紙）／（宝永四年）三月一日／三九・六×五五・六／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-26-12 上杉吉憲宛 井上正岑奉書（鴨五羽献上に対する將軍の謝意）／一通（一紙）／（宝永三年カ）九月一日／三九・六×五五・六／折紙 奉書紙／井上河内守正岑（花押）↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-26-113 上杉吉憲宛 稲葉正通奉書(將軍の東叡山参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月三日／三九・六×五五・六／折紙 奉書紙／稲葉丹後守正通(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-26-114 上杉吉憲宛 井上正岑他三名奉書(年頭祝儀の贈答太刀一腰・馬代黄金一〇両へ將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月一日／三九・六×五五・六／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) 他三名 ↓上杉民部大輔殿／為年頭之御祝儀：仕合候恐々謹言／046

0302-26-115 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書(鴨二羽献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)十一月三日／三九・七×五五・六／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-26-116 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(大納言徳川家宣の二月二七日東叡山御堂参詣の見舞いの報告)／一通(一紙)／(宝永四年)三月一〇日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-26-117 上杉吉憲宛 間部詮房奉書(鴨五羽献上に対する將軍の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)三月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-26-118 上杉吉憲宛 松平輝貞・松平忠榮奉書(肴献上の受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月九日／三九・五×五五・六／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝貞(花押)・松平伊賀守忠榮(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：其意候恐々謹言／側用人発給／046

0302-26-119 上杉吉憲宛 戸田忠真奉書(紅葉山御宮参詣への見舞いの報告)／一通(一紙)／(享保二年)五月二日／三九・六×五五・五／折紙 奉書紙／戸田山城守忠真(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：上聞候恐々謹言／046

0302-26-120 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(十一月五日江戸城近所の火災への見舞いの受理)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)十一月八日／三九・六×五五・六／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：言上候恐々謹言／046

0302-26-121 上杉吉憲宛 久世重之奉書(鴨五羽献上に対する將軍の謝意)／一通(一紙)／(享保三年カ)三月六日／三九・六×五五・六／折紙 奉書紙／久世

大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-26-122 上杉吉憲宛 小笠原長重・本多正永奉書(端午の祝儀献上の報告)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)五月三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／小笠原佐渡守長重(花押)・本多伯耆守正永(花押) ↓上杉民部大輔殿／為端午之御祝儀：披露候恐々謹言／西丸老中発給カ／046

0302-26-123 上杉吉憲宛 井上正岑奉書(寒中見舞いの鮭甘子五桶・同背腸五桶献上への謝意)／一通(一紙)／(正徳四年カ)二月九日／三九・六×五五・六／折紙 奉書紙／井上河内守正岑(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-26-124 上杉吉憲宛 久世重之奉書(朝鮮通信使饗応に対する見舞いの報告)／一通(一紙)／(享保四年)一〇月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-26-125 上杉吉憲宛 秋元喬朝奉書(十一月二日の本丸移徙の祝儀の將軍への報告)／一通(一紙)／(宝永六年)十一月九日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／秋元但馬守喬知(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：高聞候恐々謹言／046

0302-26-126 上杉吉憲宛 久世重之奉書(徳川家継一回忌の香典の増上寺への奉納の報告)／一通(一紙)／(享保二年)五月一日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／久世大和守重之(花押) ↓上杉民部大輔殿／今度 有章院様一回：言上候恐々謹言／046

0302-26-127 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(徳川家継の回復と六日の表への出御への祝儀の受理)／一通(一紙)／(正徳五年)九月二日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿／御状令披見候：承届候恐々謹言／側用人発給／046

0302-26-128 上杉重定宛 松平康福奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)三月三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平周防守康福(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-26-129 上杉重定宛 松平輝高奉書(鴨二羽献上への礼)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)三月三日／三九・五×五五・五／折紙 奉書紙／松平右京大夫輝高(花押) ↓上杉大炊頭殿／御状令披見候：仕合候恐々謹言／046

0302-26-30 上杉重定宛 井上利容奉書(二月二八日の江戸城内火災の見舞いの報告) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 三月一日 / 三九・五・五五・五 / 折紙 奉書紙 / 井上河内守利容(花押) ↓上杉大炊頭殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-26-31 上杉吉憲宛 間部詮房・本多忠良奉書(鴨献上の受理) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 九月一日 / 三九・五・五五・五 / 折紙 奉書紙 / 間部越前守詮房(花押)・本多中務大輔忠良(花押) ↓上杉民部大輔殿 / 御状令披見候 : 承知候恐々謹言 / 側用人発給 / 046

0302-26-32 上杉吉憲宛 小笠原長重奉書(四月二〇日の東叡山参詣の見舞いの報告) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 五月三日 / 三九・五・五五・五 / 折紙 奉書紙 / 小笠原佐渡守長重(花押) ↓上杉民部大輔殿 / 御状令披見候 : 言上候恐々謹言 / 046

0302-26-33 上杉重定宛 松平武元他四名奉書(江戸藩邸類焼につき將軍の見舞いを通達) / 一通(一紙) / (安永元年) 三月六日 / 三九・五・五五・五 / 折紙 奉書紙 / 松平右近将監武元(花押) 他四名 ↓上杉弾正大弼殿 / 今度就火事当地 : 如此候恐々謹言 / 046

0302-26-34 上杉鷹山宛 阿部正允奉書(徳川家治夫人の廟所火災の見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永元年) 三月六日 / 三九・五・五五・五 / 折紙 奉書紙 / 阿部豊後守正允(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 言上候恐々謹言 / 046

0302-26-35 上杉鷹山宛 板倉勝清奉書(徳川家治夫人の廟所火災の見舞いの報告) / 一通(一紙) / (安永元年) 三月六日 / 三九・五・五五・五 / 折紙 奉書紙 / 板倉佐渡守勝清(花押) ↓上杉弾正大弼殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0302-26-36 上杉鷹山宛 水野忠友奉書(大納言の西丸移徙の祝儀の報告) / 一通(一紙) / (寛政九年) 五月六日 / 三九・五・五五・四 / 折紙 奉書紙 / 水野出羽守忠友(花押) ↓上杉越前守殿 / 御状令披見候 : 言上候恐々謹言 / 見返しに異筆あり / 046

0302-26-37 上杉鷹山宛 太田資愛奉書(比叡山諸堂社修復につき治広の將軍への拝謁、下賜への謝意の報告) / 一通(一紙) / (寛政一年) 三月二八日 / 三九・五・五五・三 / 折紙 奉書紙 / 太田備中守資愛(花押) ↓上杉越前守殿 / 御状令披見候 : 上聞候恐々謹言 / 046

0311-01 上杉綱憲宛 板倉重矩奉書(初鶴頂戴の礼状) / 一通(一紙) / 江戸前期(年未詳) 九月一日 / 三五・四・四九・五 / 豎紙 楮紙 / 板倉内膳正重矩 ↓上杉喜平次殿 / 領内之初鶴進上之候 : 一段之御仕合候恐々謹言 / 0311-01-11 貼紙 / 047

0311-02 上杉綱憲宛 土屋数直奉書(鮭甘子献上披露の報告) / 一通(一紙) / 江戸前期(年未詳) 二月四日 / 三五・四・四九・五 / 豎紙 楮紙 / 土屋但馬守数直 ↓上杉喜平次殿 / 鮭甘子同脊腸進上之候 : 一段之御仕合候恐々謹言 / 0311-01-11 貼紙 / 047

0311-03 上杉綱憲宛 土屋数直奉書(鮑一折献上披露の報告) / 一通(一紙) / 江戸前期(年未詳) 八月二日 / 三五・五・四九・五 / 豎紙 楮紙 / 土屋但馬守数直 ↓上杉喜平次殿 / 鮑一折進上之候 : 一段之御仕合候恐々謹言 / 0311-01-11 貼紙 / 047

0311-04 上杉綱憲宛 稲葉正則奉書(御肴両種献上披露の報告) / 一通(一紙) / 江戸前期(年未詳) 六月二日 / 三五・五・四九・五 / 豎紙 楮紙 / 稲葉美濃守正則 ↓上杉喜平次殿 / 御肴両種進上之候 : 一段之御仕合候恐々謹言 / 0311-01-11 貼紙 / 047

0311-05 上杉綱憲宛 土屋数直奉書(鱒献上の報告) / 一通(一紙) / 江戸前期(年未詳) 一月五日 / 三五・四・四九・八 / 豎紙 楮紙 / 土屋但馬守数直 ↓上杉喜平次殿 / 領内之鱒進上之候 : 一段之御仕合候恐々謹言 / 0311-01-11 貼紙 / 047

0311-06 上杉綱憲宛 土屋数直奉書(御茶と鶴の献上披露の報告) / 一通(一紙) / 江戸前期(年未詳) 一月六日 / 三五・四・四九・六 / 豎紙 楮紙 / 土屋但馬守数直 ↓上杉喜平次殿 / 壺口切之御茶並鶴一進上之候 : 一段之御仕合候恐々謹言 / 0311-01-11 貼紙 / 047

0311-07 上杉綱憲宛 土屋数直奉書(松尾梨子献上披露の報告) / 一通(一紙) / 江戸前期(年未詳) 一月八日 / 三五・四・四九・五 / 豎紙 楮紙 / 土屋但馬守数直 ↓上杉喜平次殿 / 松尾梨子一箱進上之候 : 一段之御仕合候恐々謹言 / 0311-01-11 貼紙 / 047

0311-08 上杉綱憲宛 土屋数直奉書(鯛二献上披露の報告) / 一通(一紙) / 江戸前期(年未詳) 四月二日 / 三五・五・四九・六 / 豎紙 楮紙 / 土屋但馬守数直 ↓上杉喜平次殿 / 鯛二進上之候遂披露候 : 一段之御仕合候恐々謹言 / 0311-01-11 貼紙 / 047

0311-09 上杉綱憲宛 板倉重矩奉書(鹿毛馬献上披露の報告)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳)二月五日／三五・五×四九・五／豎紙 楮紙／板倉内膳正重矩↓上杉喜平次殿／鹿毛之御馬進上之候…一段之御仕合候恐々謹言／0311-0111貼紙／047

0311-10 上杉綱憲宛 千種有能奉書(從四位下侍從任官の御祝儀として白銀五枚の礼状)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳)二月二七日／三六・二×五三・七／折紙 楮紙／千種前中納言有能↓上杉弾正大弼殿／今度從四位下侍從之事…御使者江申入候恐々謹言／0311-0111貼紙／047

0311-11 上杉吉憲宛 本多忠英奉書(從四位下侍從任官の御祝儀として太刀の礼状)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一月四日／三五・七×五一・四／折紙 楮紙／本多筑後守忠英↓上杉民部大輔様御使答／一筆啓上仕候熊去旧臘…可申上如是御座候恐惶謹言／0311-0111貼紙／047

0319 上杉綱憲宛 稻葉美濃守他二名書状(御内書受取の日時等の案内)／一通(一紙)／江戸前期(年未詳)六月九日／二〇・四×二八・三／切紙 楮紙／稻葉美濃守正則他二名↓上杉弾正大弼殿／端午之御案内書可渡候…家事一人可被差越申候以上／林泉文庫／切断の跡あり前欠／047

0321 上杉重定宛 牧野貞通書状(侍從任官の文書が整ったので使者に渡す)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)二月二九日／三八・八×五三・二／折紙 楮紙／牧野備後守貞通(花押)↓上杉大炊頭様／貴礼致拜見候三御所様益…御使者江相渡候恐惶謹言／封紙あり、京都所司代発給／047

0825-11 上杉鷹山宛 土井利厚他四名書状写(病床の鷹山へ養生見舞)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)三月一八日／二四・五×三二・八／豎紙 楮紙／土井大炊頭利厚他四名↓上杉鷹山／其方病床の…恐々謹言／825-0111紙繕一括／123

0318 上杉斉憲宛 稻葉正巳奉書(国許到着御礼披露の報告)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)二月五日／二九・〇×五二・六／折紙 楮紙／稻葉兵部少輔正巳(花押)↓上杉弾正大弼様貴報／貴翰致拜見候公方様益…御紙面之趣承知仕候恐惶謹言／封紙あり、若年寄発給／047

上杉家—幕府—巡見使・国目付

0766-01 中條修理「目録」(諸国巡見記録及び町奉行・代官提出分の記録)／

一冊(四丁)／宝永七年五月一日／一六・〇×二二・七／横帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／中條修理／122

0766-02 「公方様就御代替諸国巡見被仰付御衆右之儀二付而諸事御務方之帳」(徳川家宣の代替りにつき巡見使派遣)／一冊(三四丁)／宝永七年四月／三三・〇×二二・七／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／122

0766-03 「御巡見衆御下付而役附帳」(巡見使下向につき諸事準備)／一冊(八七丁)／宝永七年四月／三二・七×二二・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／122

0766-04 「御巡見衆御用人江於江戸承合并御留守居仲間合之帳」(巡見使下向につき用人及び江戸留守居関連情報の留)／一冊(二九丁)／宝永七年四月／三三・〇×二二・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／122

0766-05 「御巡見衆御下付御取扱次第御用人中江申渡帳」(巡見使下向につき旅程等子細まとめ)／一冊(三二丁)／宝永七年四月／三一・五×二二・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／122

0766-06 「町奉行御使番御代官此面々江申渡覚書之留帳」(巡見使下向の対応につき町奉行・使番・代官が対応すべき事項)／一冊(二二丁)／宝永七年三月／三三・〇×二二・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／122

0766-07 「御用掛六人寄并諸役分同差図之留」(巡見使下向につき御用掛及び諸役人よりの伺やその返答・指図他)／一冊(三八丁)／宝永七年四月／三三・〇×二二・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／122

0766-08 「御巡見衆御取扱 御発駕以後之御用相斗品々附御料高島江井上金右衛門遣書状之案」(巡見使下向につき米沢領内において準備品や対応他の指示と関係者間の往復文書留)／一冊(三二丁)／宝永七年五月／三三・〇×二二・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／図書第三三三号／122

0766-09 「御巡見衆御取扱一巻言上之留」(宝永七年五月一日〜九日)／一冊(七五丁)／宝永七年五月／三二・七×二二・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付七四丁／122

0766-10 「就御巡見衆御下御家中江御触之留」(四月一日〜五月一日、組中や支配下等への伝達方法を含む)／一冊(二二丁)／宝永七年四月／三一・六×二二・四／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付二二丁／122

0766-111 「諸役方江追々申渡留帳」(判所役人、町奉行、代官所等、諸部署への伝達事項) / 一冊(五八丁) / 宝永七年四月 / 三二・六×二二・三 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 墨付五六丁 / 122

0766-112 「御巡見御用相勤者共江御褒美等被成下 御詞帳」 / 一冊(二四丁) / 宝永七年六月二七日 / 三二・五×二一・八 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 墨付一九丁 / 122

0766-113 「先年御巡見衆於町御宿御尋之御挨拶申上候品々此度吟味仕御挨拶可申上様書入之帳」(巡見使お尋ねにつき、延宝九年の事例を参考されたく) / 一冊(二三丁) / (宝永七年) / 二九・五×二〇・一 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 122

0766-114 「延宝九年以後付益出方分御挨拶可仕品々」 / 一冊(二二丁) / (宝永七年) / 三〇・五×二〇・六 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 122

0766-115 「大町御札場ヨリ諸所御境江道程并駄賃付一里杭改帳」 / 一冊(一〇丁) / (宝永七年) / 三〇・八×二〇・四 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 122

0766-116 「諸商売物書上之内引方帳」(木賃や米、野菜、魚類を含む食料品、生活物資の値段詳細) / 一冊(二六丁) / (宝永七年) / 三〇・一×二〇・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に「町奉行江」、貼紙には「御巡見御用相済候上追而役所江可被相返事」とあり / 122

0766-117 「御巡見衆浮物等御尋御答可仕分」(専売品や諸貢租、入役と出役等) / 一冊(二三丁) / (宝永七年) / 三〇・六×二〇・八 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 122

0766-118 「延宝九年以後付益出方分御挨拶可仕品々」(茶、いさば売金、穀屋油屋他の出役等の諸税金の概要) / 一冊(二二丁) / (宝永七年) / 三〇・九×二〇・五 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に付箋「御代官」とあり / 122

0766-119 「諸商買物書上之内引方帳」(食料品、生活物資の値段詳細、16とほぼ同内容) / 一冊(一五丁) / (宝永七年) / 三〇・〇×二〇・四 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に付箋「町奉行」とあり、0766-120、21とほぼ項目は同じだが値付けが一割前後高く一部後筆の書き込み・訂正あり / 122

0766-120 「諸商買物書上之内引方帳」(食料品、生活物資の値段詳細、16とほぼ同内容) / 一冊(一五丁) / (宝永七年) / 三〇・七×二〇・四 / 豎帳 紙縫綴冊子

装 共紙原表紙 楮紙 / 0766-121と筆跡は違うが項目・値段等内容は同じ / 122

0766-121 「諸商買物書上之内引方帳」(食料品、生活物資の値段詳細、16とほぼ同内容) / 一冊(一五丁) / (宝永七年) / 三〇・五×二〇・四 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0766-120と筆跡は違うが内容は同じ / 122

0766-122 「板谷綱木小国御道筋村々高付帳」 / 一冊(五丁) / (宝永七年) / 三一・〇×二〇・五 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 122

0766-123 「大町御札場ヨリ諸所御境江道程駄賃付一里杭改帳」 / 一冊(二〇丁) / (宝永七年) / 二九・八×二〇・四 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に付箋「御代官」とあり / 122

1676-01-01 米沢町奉行中宛 野口九郎太夫達書写(巡見使来訪のため、役付きの氏名を届け出る等準備につき) / 一通(三紙) / (天保九年)二月一六日 / 一六・七×七〇・五 / 切継紙 楮紙 / 松平肥後守内 野口九郎太夫 成(花押) ↓ 米沢町奉行 所中様 / 一筆致啓上候: 御座候恐惶謹言 / 1676-01-05紙縫一括、1676-01-01-02包紙一括 / 年次は高津隼人の町奉行在任時より推定 / 232

1676-01-02 野口九郎太夫宛 多村誠蔵・高津景林答書写(巡見使来訪のため、指示通りの準備につき) / 一通(四紙) / (天保九年)二月二三日 / 一五・二×八四・七 / 切継紙 楮紙 / 一内 多村誠蔵・高津隼人 ↓ 野口九郎太夫様 / 啓上候: 御座候恐惶謹言 / 1676-01-05紙縫一括、1676-01-01-02包紙一括 / 1676-01-01と組、貼継あり、下にある旧文書は読解不可、年次は高津の町奉行在任より推定 / 232

1676-02 巡見使対応答書案(会津殿へ滞在の屋敷他三三か条) / 一通(九紙) / 江戸後期(年未詳)二月二三日 / 一五・二×二八七・八 / 切継紙 楮紙 / 会津殿分箇条: 知悉重可申候 / 1676-01-05紙縫一括 / 本紙裏に墨書あり / 232

0442 「五拾六箇條 御尋之品々御答書」(藩の概要に関する問答集、公儀条目の伝達法、家中統制、領内の産物、人口、職人等) / 一冊(四九丁) / 享保一〇年九月 / 一五・一×三九・六 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 幕府国目付との問答と推定 / 054

0815 輔長筆「享保十年御答書」写(米沢藩の制度や家臣団・藩内の状況等五六箇条、原本は享保一〇年九月付) / 一冊(五七丁) / 安永二年一月 / 二三・〇×一五・三 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 / 紺地後補表紙 楮紙 / 吉江喜四郎輔長 / キ〇本 / 墨付五八丁、表紙貼紙「旧藩史料政事」一 写本、0442の写、0819と一連の

ものか／123

1878 岩瀬小右衛門「米沢御城下町数并間数屋鋪数書上申帳」(米沢城三の丸内外の町名及び屋敷数、広さにつき幕府使者へ報告)／一冊(一九丁)／享保一〇年七月七日／一四・九×三八・三／横帳 紙釘装 共紙原表紙 楮紙／岩瀬小右衛門／1878〜1879袋一括／235

1879 岩瀬小右衛門「米沢町方町数并間数屋鋪数書上申帳」(町人町及び寺社の広さ、軒数等につき幕府使者へ報告)／一冊(二三丁)／享保一〇年七月／一五・〇×三八・六／横帳 紙釘装 共紙原表紙 楮紙／岩瀬小右衛門／1878〜1879袋一括／235

1948 岩瀬小右衛門「御城絵図副目録御控」(米沢城本丸・二の丸・三の丸それぞれの櫓数・堀数・門数・建坪他)／一冊(二二丁)／享保一〇年八月一六日／一五・一×一九・二／横半帳 紙釘装 共紙原表紙 楮紙／岩瀬小右衛門／綴込み部分に岩瀬小右衛門の押印あり、表紙書付として「御上り御両所共二三通美濃紙ニシテ此帳面之寸法也」(御三階并其外御門等迄之)ノ長短ハ御絵図ニ相記申付而御帳ニハ相除候、表紙墨書「御目附 御用 四冊之内一」／236

1949 岩瀬小右衛門「御城絵図副目録御控」(絵圖書付につき幕府からの指示、一〇月に「追而御指図」として追記、享保一〇年五月二〇日から一〇月一七日まで)／一冊(二三丁)／享保一〇年九月二六日／一五・五×一九・六／横半帳 紙釘装 共紙原表紙 楮紙／岩瀬小右衛門／綴込み部分に岩瀬小右衛門の押印あり、表紙墨書「御目附御用 四冊之内二」、No.1877に關連絵図あり／236

0768 行列人数書(供奉の侍、公卿、殿上人等の人数と荷物員数、0768―101507の表紙に転用)／一通／江戸後期(年月日未詳)／三二・〇×三二・七／折紙 楮紙／供侍八人：箆長持三棹／0768―101507貼紙／表紙とした部分に「古証文」と概要目録を記載／123

0768―01 伊藤忠右衛門他四名起請文(目付下向につき勤め方等五か条)／一通(五紙)／享保一〇年四月一日／三〇・七×一三二・六／継紙 楮紙／伊藤忠右衛門□□(花押・血判)他四名／今度御目附様：仍起請文如件／0768―101507貼紙／端裏に「享保十年諸代官起請文」と後筆あり、柱題「敬白起請文之事」／123

0768―02 宇津江政富・黒井重之起請文(目付下向に伴う作事屋普請につき二か条)／一通(三紙)／享保一〇年四月一日／三〇・八×八〇・六／継紙 楮紙／黒井小源太重之(花押・血判)宇津江五左衛門政富(花押・血判)／今度御目附様：仍起請文如件／0768―101507貼紙／柱題「敬白起請文之事」、牛玉宝印の起請文一紙を貼紙／123

0768―03 角屋光量他一七名起請文(目付下向につき本手明九名、新し手明九名の勤め方他三か条)／一通(四紙)／享保一五年四月一五日／三〇・八×一一四・三／継紙 楮紙／本御手明角屋与惣右衛門光量(花押・血判)他一七名／御目附様御家鋪：仍起請文如件／0768―101507貼紙／柱題「敬白起請文之事」、牛玉宝印の起請文二紙を貼紙／123

0768―04 遠藤権兵衛・寺島貞長宛 山吉盛侍他六名皆済状(享保一十九年の茶役銭二六七貫余)／一通(二紙)／享保二〇年一月二八日／三二・三×七四・〇／継紙 楮紙／山吉新八(黒印)他六名↓寺島権内殿・遠藤権兵衛殿／享保十九年分茶：実正也仍如件／0768―101507貼紙／竹俣・清野の証判(黒印)あり／123

0768―05 遠藤権兵衛・寺島貞長宛 山吉盛侍他六名皆済状写(享保一十九年の鯨役銭二八七八貫余、原本は享保二〇年一月二八日付)／一通(二紙)／元文元年五月二五日／三二・〇×八一・五／継紙 楮紙／寺島権内(黒印)↓遠藤作兵衛殿／享保十九年分鯨：相渡申候以上／0768―101507貼紙／末尾に元文元年五月二五日に寺島権内が保管していたものを写し遠藤権兵衛に渡した旨の記載あり／123

0768―06 嶋屋作右衛門荷物請負証文(上方・江戸等への金銀荷物輸送を請負、損失あれば弁済す)／一通(一紙)／享保一〇年五月／三一・五×四七・四／堅紙 楮紙／江戸瀬戸物町嶋屋作右衛門(黒印)・福嶋中町出店(黒印)／一上方筋江戸其外：請負証文仍如件／0768―101507貼紙／柱題「請負申証文之事」／123

0768―07 醬油屋市左衛門宛 島屋作右衛門値段書(福島からの飛脚出立日と江戸・京都への賃料)／一通(二紙)／(享保一〇年)／一五・五×七三・五／切継紙 楮紙／ふくしま嶋屋作右衛門↓醬油屋市左衛門様／奥州福島并道中筋：御座候以上／端裏書「島屋作右衛門今飛脚定日駄賃付」／0768―101507貼紙／123

上杉家—幕府—贈答等

0089 上杉斎憲伺書(上杉斎憲從四位就任による將軍家へ御礼献上物につき)／一通(三紙)／文久四年五月一三日／一九・二×六九・七／切継紙 楮紙／上杉弾正少弼／文久三年十月中：被成下度奉存候以上／柱題「例書」／028

0260 「寛永二年ヨリ上使并御拝領物帳」(元和九年今寛文元年迄月之大小之帳)「三度御横目衆江戸并道中米沢御在留中御音信帳」(0260―101503の表紙)／一冊／江戸前期(年月日未詳)／二九・二×二〇・〇／堅帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／260―101503合綴／036

0260-01 「寛永二年ヨリ上使并御拝領物帳」(寛永二年、幕府・朝廷からの拝領物と派遣された上使の記録)／一冊(三四丁)／寛永二年七月二五日／二九・二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／260-01、03合綴／墨付三二丁／036

0260-02 「元和九年迄月之大小之帳」(元和九年、万治四年、月ごとの大小)／一冊(二二丁)／江戸前期(年月日未詳)／二九・二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／260-01、03合綴／036

0260-03 「三度御横目衆江戸井道中米沢御在留中御音信帳」(正保四年・慶安元年・承応二年派遣の幕府固目付に対する饗応記録)／一冊(五二丁)／江戸前期(年月日未詳)／二九・二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／裏打あり／260-01、03合綴／036

0284 「正徳元年七月十一日三之御丸堀堀浚御普請付而御並方間合手紙之留御絵図を以御窺被 仰付候御奉書之留右就御用江戸江往來状留并右御用方留」(正徳元年で普請伺を出した米沢城三の丸の堀浚普請に関する奉書、江戸留守居中との往復文書他)／一冊(九二丁)／江戸中期(年月日未詳)／三〇・六〇・二〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／図書第三九号／墨付八九丁、最も新しい文書は正徳五年九月／1774に関連絵図あり／043

0301 松平出羽守・上杉弾正大弼等留守居宛 大目付達書(牧野備前守より書付相違につき対応指示)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)四月一四日／一七・八〇・五三・五／切紙 楮紙／大目付↓松平出羽守殿・上杉弾正大弼殿右留守居／牧野備前守殿：可被申間候以上／045

0938 片山長左衛門答書(上杉憲房期の系譜の年記不審につき、記録方に確認の上で答書差上げ)／一卷(四紙)／江戸後期(年未詳)五月／一七・五〇・一七三・八／切紙 楮紙／上杉弾正大弼内片山長左衛門／先達而書上：奉頼存候以上／虫損、裏打あり／139

0996 安田官元進上目録(太刀一腰、馬一頭)／一通(一枚)／(享保七年)七月一日／三九・五〇・四六・五／折紙 楮紙／上杉喜平次家来 安田上総官元／折紙の下半分に当番内藤丹波守内松村勘右衛門の請取記載あり／160

上杉家—御手伝普請—享保期

0285 「慶長年中々寛永年中迄御城廻り御普請御手伝相勤候寛」写(米沢藩が関わった江戸城御手伝普請記録、原本は享保七年九月に上杉喜平次(宗憲)名で幕府へ提出)／一冊(八丁)／享保七年／一六・〇〇・四一・一／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0285と0286は同箱に保管、箱書きに享保七年九月に幕府からのお尋ねに対して中條周防が提出した書付の写とあり、箱書きに「二三 江戸城御普請御手伝記録 二冊二通」二四、信州河内嶋合戦図「二枚」の貼紙があるが後者は含まれず、表紙に朱字で「於江戸御差出之御帳面之写江戸今来ル」とあり／043

0286 「慶長年中々慶安三年迄江戸御城廻り并所々御普請御手伝相勤候寛」写(米沢藩が関わった江戸城御手伝普請の記録、享保七年九月に上杉宗憲の名で幕府へ提出)／一冊(一一丁)／享保七年／一五・三〇・四〇・七／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／表紙には朱字で「於米沢遂吟味書上之留」とあり／043

0287 中条清資他二名宛 千坂尚親・芋川正処書状(江戸から米沢へ、江戸城御手伝普請に関する幕府への関係書類提出につき)／一通(三紙)／(享保七年カ)九月晦日／一五・三〇・一六・三／切紙 楮紙／千坂兵部・芋川縫殿↓中条周防殿他二名／一筆令啓達候然者：御座候恐々謹言／043

0701 芹沢彦兵衛他四名宛 中條清資書状(慶長年間から寛永年間の御手伝普請の記録お尋ねにつき)／一通(四紙)／享保七年二月一三日／三一・二〇・一三一・五／切紙 楮紙／中條周防↓芹沢彦兵衛他四名／享保七年八月申：此度相渡候以上／「御書甘粕数右衛門殿・大岡筑後殿 登坂八兵衛」と書かれた封書あり、但し史料とは無関係／114

上杉家—御手伝普請—宝暦期

0288 「宝暦四戌年東叡山中堂并廻廓唐門水屋井戸屋形多宝塔宝蔵番神社政所其外共御修復御入用御勘定目録帳」／一冊(四五丁)／宝暦五年七月／三一・〇〇・二三・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／043

0289-01 「宝暦四戌年東叡山中堂并廻廓唐門水屋井戸屋形多宝塔宝蔵番神社政所其外共御修復御入用御勘定目録帳」／一冊(一五九丁)／宝暦五年七月／三一・〇〇・二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／289-01、03疊紙一括／表裏表紙二重／044

02891-02 「宝曆四戌年東叡山中堂并廻廊唐門水屋并戸屋形多宝塔宝藏番神社政所其外共御修復御入用御勘定目録帳」／一冊(一七九丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／28910114 疊紙一括／044

02891-03 「宝曆四戌年東叡山中堂并廻廊唐門水屋并戸屋形多宝塔宝藏番神社政所其外共御修復御入用御勘定目録帳」／一冊(一八四丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／28910114 疊紙一括／表裏表紙二重／044

0290 「宝曆四戌年東叡山中堂并廻廊唐門水屋并戸屋形多宝塔宝藏番神社政所其外共御修復御藏物遣払帳」／一冊(一六八丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／044

0291-01 「宝曆四戌年上野中堂廻廊唐門其外共御用御材木請取帳」(武州中津川山と上州山中領分)／一冊(二八丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／0291-1 括の疊紙墨書「宝曆四 戌年上野中堂并廻廊唐門其外御修復追願共御用 御材木請取帳」／044

0291-02 「宝曆四戌年上野中堂廻廊唐門其外共御用御材木請取帳」(甲州両畑山他分)／一冊(三三丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-03 「宝曆四戌年上野中堂廻廊唐門其外共御用御材木請取帳」(飛騨山分)／一冊(三二丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-04 「宝曆四戌年上野中堂廻廊唐門其外共御用御材木請取帳」(飛騨山と甲州両畑山分)／一冊(一八丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-05 「宝曆四戌年上野中堂廻廊唐門其外共御用御材木請取帳」(和州北山、武州大滝山、遠州門桁山分)／一冊(一五丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-06 「宝曆四戌年上野中堂御修復追願御用御材木請取帳」(和州北山、武州大滝山、上州山中領、信州村々分)／一冊(九丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-07 「宝曆四戌年上野中堂廻廊唐門其外共御用御材木請取帳」(鍵屋清五郎、市川屋藤兵衛、駿河屋新兵衛他納分)／一冊(一一丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-08 「宝曆四戌年上野中堂正遷座御用樅板請取帳」／一冊(七丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-09 「宝曆四戌年上野中堂廻廊唐門其外共御用御材木松板唐竹請取帳」(龜屋新八、尾張屋源八、山田屋源七他納分)／一冊(九丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-10 「宝曆四戌年上野中堂御修復追願御用唐竹請取帳」(山田屋清七他納分)／一冊(六丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-11 「宝曆四戌年上野中堂廻廊唐門其外共御用諸石請取帳」(中野弥平次納分)／一冊(八丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-12 「宝曆四戌年上野中堂御修復追願御用諸石請取帳」(青木平左衛門納分)／一冊(六丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-13 「宝曆四戌年上野中堂御修復追願御用諸石請取帳」(中野弥平次納分)／一冊(七丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0291-14 「宝曆四戌年上野中堂廻廊唐門其外共御用諸石請取帳」(青木平左衛門納分)／一冊(八丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉大炊頭内 惣奉行色部長門他二名／0291-0114 疊紙一括／044

0292-01 御作事方「宝曆四戌年東叡山中堂御修復工割帳」(屋根、破風、組物、出組、手間二六七一五人吟味一九三五〇人、修復仕様他)／一冊(九〇丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御作事方／0292-01-03 畳紙一括／表紙に「三冊之内 吉番」とあり、0292一括の畳紙墨書「宝曆四戌年 東叡山中堂并廻廊唐門水屋井戸屋形多宝塔宝蔵番神社政所其外共御修復工割帳 三冊」／044

0292-02 御作事方「宝曆四戌年東叡山廻廊唐門袖扉水屋井戸屋形多宝塔伽藍雪隠御修復工割帳」(東西回廊、手間一四四二〇人吟味一四六四人半、修復仕様他)／一冊(五七丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御作事方／0292-01-03 畳紙一括／表紙に「三冊之内 二番」とあり／044

0292-03 御作事方「宝曆四戌年東叡山宝蔵番神社政所三ヶ所御修復工割帳」(宝蔵屋根、破風、出組、手間九五三人半吟味七五三人半)／一冊(七七丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御作事方／0292-01-03 畳紙一括／表紙に「三冊之内 三番」とあり／044

0293 御作事方「宝曆四戌年東叡山中堂唐門水屋多宝塔番神社御修復彫物工割帳」(宮殿彫物詰 手間二八人、吟味一七人他)／一冊(三九丁)／宝曆五年七月／三二・〇×二三・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御作事方／一冊が畳紙「宝曆四戌年 東叡山 中堂唐門水屋多宝塔番神社 御修復彫物工割帳」に包まれており、表紙と同文言が記載／044

0294 「東叡山御普請被仰付候節御用金留」(宝曆三年二月から翌年にかけて御普請御手伝関係の触留)／一冊(二二丁)／宝曆三年二月／一七・〇×一三・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／畳紙墨書「宝曆四戌年 東叡山 中堂唐門水屋多宝塔番神社 御修復彫物工割帳」安田和泉宛年頭祝儀の書状の紙背を表紙に利用し、関連文書を綴じたり、挿み込む／045

0294-01 遠藤権兵衛願書(御用金負担増をご赦免下されたく)／一通(二二紙)／戌(宝曆四年)一月二五日／一五・八×六四・四／切継紙 楮紙／遠藤権兵衛／先達而御用金被 仰付候二付：御赦免被成下至度奉存候以上／0294-01-03 挟込一括／柱題「覚」／045

0294-02 金銭目録(金額三〇件と人名三五名)／一通(三紙)／江戸中期(年月日未詳)／一五・〇×九七・八／切継紙 楮紙／十両 甚右衛門：十両 いさは彦六十郎／0294-01-03 挟込一括／柱題「二月十四日二御広間へ」／045

0294-03 御々番所人名書上(森六郎左衛門他七名)／一通(一紙)／江戸中期

(年月日未詳)／一五・二×三九・二／切紙 楮紙／森六郎左衛門殿：鈴木与四郎殿／294-01-03 挟込一括／柱題「二月六日御々御番所へ」／045

上杉家—交際—他家より来状

0247 上杉弾正大弼宛 無量光院証覚書状(年賀の挨拶)／一通(一紙)／江戸中期(年月未詳)一月七日／三八・二×五一・〇／折紙 楮紙／無量光院証覚(花押)↓上杉弾正大弼様 御用人中／青陽之御慶不可有際限：如斯御座候恐惶謹言／見返し奥に題箋あり、墨書「一、一四六 無量光院々上杉弾正大弼一 青陽之御慶 一通」とあり／034

0248 登坂八兵衛宛 清浄心院宥永書状(上杉式部大輔に対する年賀挨拶の披露依頼)／一通(一紙)／江戸後期(年月未詳)一月一日／三九・四×五三・六／折紙 楮紙／清浄心院宥永(花押)↓登坂八兵衛様 御披露／鳳曆之御慶不可有尽期：宜御披露被下候恐惶謹言／見返し奥に題箋あり、墨書で「一、一四七 清浄心院宥永登坂八兵衛殿 鳳曆之御慶 一通」とあり／034

0309 前田綱紀書状(綱紀参議昇進の祝詞に対する返信)／一通(一紙)／(元禄七年)二月晦日／二一・二×四六・六／切紙 楮紙／松平加賀守綱紀(黒印)／貴札致拜見候：恐惶謹言／前後欠／047

0310 会津藩主書状写(主に街道や宿駅に関しその取扱いや各種課役等三四か条の問合せ)／一通(六紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×一六三・八／切継紙 楮紙／一 御城下御道筋：廷役高之事以上／端裏書「会津侯々来翰之写 御祐筆所控」／柱題「ケ条之覚」、端裏の「会津侯」は保科正之カ、幕府巡見使等への対応関連カ／047

0312 上杉斉憲宛 松浦脩書状(年始の祝詞)／一通(一紙)／江戸後期(年月未詳)一月五日／三九・二×五一・八／折紙 楮紙／松浦左近将監脩(花押)↓上杉弾正大弼様参人之御中／改年之御慶不可有尽期御座候：猶期永日之時候恐々謹言／封紙あり／047

0313 上杉斉憲宛 徳川慶勝書状(老中へのご機嫌伺いを喜ぶ旨の返信)／一通(一紙)／江戸後期(年月未詳)一月二五日／四四・五×五八・〇／折紙 楮紙／尾張前大納言慶勝(花押)↓上杉弾正大弼殿御館／御礼今被聞候雖寒気候：我等無実儀在之事候恐々謹言／封紙あり／047

0314 上杉茂憲宛 溝口直溥書状(年始の祝詞)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)一月五日／四〇・七×五六・三／折紙 楮紙／溝口主膳正直溥(花押) ↓上杉式部大輔様人々御中／改年之御慶不可有尽期候：為御祝詞如期御座候恐惶謹言／封紙に「上杉弾正大弼様 松平範次郎」とあり／047

0315 上杉齊憲宛 大炊御門師前書状(春を寿ぐ祝詞)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)三月五日／三六・二×四九・五／折紙 楮紙／師前 ↓上杉弾正大弼殿／青陽之賀祥不可有際限候：猶期永春之時候謹言／封紙あり／047

0316 上杉齊憲宛 難波宗弘書状(新年の祝詞)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)一月五日／三六・三×四九・八／折紙 楮紙／宗弘 ↓上杉弾正大弼殿／新春之嘉慶無量候：猶期永帰候恐々謹言／封紙あり／047

0317 上杉齊憲宛 鷹司輔熙書状(年頭の祝詞)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)一月二八日／三三・四×四五・二／折紙 楮紙／(花押) ↓上杉弾正大弼殿／為年頭之嘉儀芳翰：為□祠如斯候也／紙質楮紙の封紙あり／047

0320 上杉齊憲宛 四辻公績書状(年頭の祝詞)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)一月三日／三九・七×五一・八／折紙 楮紙／四辻前大納言公績 ↓上杉弾正大弼殿／青陽之嘉慶不可有尽期候：猶期永春之時候恐惶謹言／047

0322 上杉茂憲宛 飛鳥井雅典書状(越年の祝詞)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)一月三日／三六・三×四九・三／折紙 楮紙／飛鳥井中納言雅典 ↓米沢侍從殿／改歴之慶賀不可有際限候：猶期永帰之時候恐惶謹言／047

0323 上杉齊憲宛 飛鳥井雅典書状(越年の祝詞)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)一月三日／三六・四×四九・六／折紙 楮紙／飛鳥井中納言雅典 ↓米沢中将殿／改歴之慶賀不可有際限候：猶期永帰之時候恐惶謹言／封紙あり／047

上杉家—交際—使者饗応

0307-01 安部五助殿宛 斎藤五右衛門「尾州様飛脚御兩人御行戻御賄立並御入料錢書上申帳」(尾張藩の使者の五月二三日大沢宿泊時の夕食及び朝食の献立・経費)／一冊(九丁)／延享三年七月／一五・四×三九・四／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／大沢庄屋齋藤五右衛門(黒印) ↓安部五助殿／尾州様御飛脚：美正御座候仍如件／0307-01-04合綴／047

0307-02 板谷庄屋佐藤与一衛門書上(尾張藩の使者一名が帰路、板谷に立ち寄つ

た際の賄料)／一通(一紙)／(延享三年)寅七月／一五・二×二九・六／切紙 楮紙／板谷庄屋佐藤與一衛門(黒印) ↓安部五助殿／尾張様御飛脚：御座候以上／0307-01-04合綴／047

0307-03 安部五助殿宛 佐藤與一左衛門「尾張様御使御賄御入料書上帳」(尾張藩の使者が五月二三日大沢宿泊時の昼食の献立・経費)／一冊(八丁)／延享三年七月／一五・四×三九・四／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／板谷庄屋佐藤與一左衛門 ↓安部五助殿／尾張様御使御兩人：相違無御座候以上／0307-01-04合綴／047

0307-04 安部五助殿宛 斎藤五右衛門「尾張様御飛脚御歸之節為御馳走大沢板谷江被遣御役人旅籠御賄仕申処書上帳」(尾張藩の使者への応対に大沢板谷へ派遣された米沢藩役人の旅籠代)／一冊(三丁)／延享三年七月／一五・四×三九・四／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／大沢庄屋齋藤五右衛門(黒印) ↓安部五助殿／一四賄大沢板谷江：相違無御座候仍如件／0307-01-04合綴／047

0308 寺嶋吉郎左衛門「尾張宰相様御使者御宿被仰付候二付御逗留中御賄書上申帳」／一冊(一〇丁)／宝暦七年七月／一五・五×三九・六／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／寺嶋吉郎左衛門(黒印)／047

0566 留帳(御奉書到来につき使者饗応等対応策、小杉吉兵衛宛書状写他)／一冊(四丁)／江戸後期(年未詳)八月一日／二四・五×一六・九／縦帳 紙綴綴冊子装共紙原表紙 楮紙／紙綴に後補メモ「蠟燭注文ノ件(年代不明)」あり、綴直しの跡あり／085

上杉家—交際—御状留

0390 板倉周防守様他二名宛 上杉弾正大弼書状控(幕府老中からの呼出しに対し、田安仮御殿に出向くことを承知)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)五月一日／四二・一×五五・六／折紙 楮紙(奉書紙)／上杉弾正大弼 ↓板倉周防守様他二名／御奉書致拝見候：如斯御座候恐惶謹言／明日〇時と時刻を書き込む余白をあける／047

0391 上杉弾正大弼書状控(従四位上叙位の礼状)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳)五月一日／一九・〇×四〇・五／切継紙 楮紙／上杉弾正大弼／私儀今般従四位：右御礼申上度奉存候以上／047

0393-01 「御状之認」写(寛永八年一月～二月、主に諸大名宛の上杉定勝の公的な書状類の控)／一冊(九三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二〇・六×一五・〇

／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／ク〇本 林泉文庫／裏打あり
 /393-011-02は本来は一冊／左上に鉛筆による丁数あり、後補表紙外題「寛永
 八年御状認 全(その一)」/047

0393-002 「御状之認」写(寛永八年一月〜二月、主に諸大名宛の上杉定勝の
 公的な書状類の控)／一冊(九九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二〇・六×一五・〇
 /豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／裏打あり/393-011-02は本来は1
 冊／左上に鉛筆による丁数あり、後補表紙外題「寛永八年御状認(その二)」/047

0395-001 徳川茂徳宛 上杉斉憲書状写(當中での相談についても、もはや何の
 思し召しも効果なく、家臣の動揺も見えることから一日も早い周旋を依頼)／一通(五
 紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・五×一〇・三／切継紙 楮紙／然ハ過日於宮
 中：侍申候恐惶謹言／林泉文庫／書状に付け足した見返し表に「尾州玄洞(徳川茂徳)
 への御書」の墨書あり、後補筆、茂徳は尾張藩主/048

0395-002 上杉斉憲書状写(文久三年八月一八日の政変以来の混乱ながら將軍の
 再上洛にて皇国武威を示すことを回答)／一通(四紙)／江戸後期(年未詳) 三月/一
 四・二×一〇七・一／切継紙 楮紙／旧御目付：御座候恐惶謹言／折りたたんだ
 表に「長州江御直書御挨拶之写」、書状に付け足した見返し表に「長州公への御答書」
 の墨書あり、後補筆/048

0644-011-001 「御状留」(米沢藩主から幕府関係者、諸大名、藩重臣宛ての
 書状控、延宝六年一月〜五月)／一冊(一一〇丁)／延宝六年/二四・二×一六・二/
 豎帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／裏打あり／背表紙は後補、前半部分は列帖装を切り
 離し裏打している/107

0644-011-002 「御状之留」(米沢藩主から幕府関係者、諸大名宛ての書状控、
 延宝六年五月〜二月)／一冊(二五二丁)／延宝六年/二三・四×一六・八/豎帳
 列帖装 共紙原表紙 楮紙／裏打あり／墨付一三丁、背表紙は後補、列帖装を切り離
 し二月の後に五月二七〜六月二九日分があるが、料紙の違いから別の冊子だったもの
 を合綴したものカ/107

0644-002-001 「御状之留」(米沢藩主から幕府関係者、諸大名、藩重臣宛て
 の書状控、元禄一五年一月〜三月)／一冊(二五二丁)／元禄一五年/二〇・六×一六・
 〇/豎帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／裏打あり／背表紙は後補/107

0644-002-002 「御状之留」(米沢藩主から幕府関係者、諸大名宛ての書状控、
 元禄一五年三月〜二月)／一冊(二八八丁)／元禄一五年/二一・〇×一六・二/豎
 帳 列帖装 素紙後補表紙 楮紙／裏打あり／前欠、列帖装の切り離しあり、後補の背
 表紙に「元禄十五年御状之留」とあり/107

0644-003 「御状留」(米沢藩主から幕府関係者、諸大名、藩重臣宛ての書状控、
 正徳二年一月〜二月)／一冊(二四〇丁)／正徳二年/二〇・二×一四・六/豎帳 列
 帖装 素紙原表紙 楮紙／一部裏打あり／落丁挟込あり、挟み込み含む丁数を記載/1
 07

0644-004 「御状留」(米沢藩主から幕府関係者、諸大名、藩重臣宛ての書状控、
 文化一〇年一月一日〜二月)／一冊(二六六丁)／文化一〇年/一五・〇×二一・〇
 /横帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／一部裏打あり／貼り紙あり/107

0647 御右筆所「慶応二年正月七日ヨリ十一月廿日マテ 御状・御口演之留 御目
 録之留 触状之留」(0647-011-003の表紙)／一冊/慶応二年/一五・九×二四・
 五/横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／御右筆所/0647-011-003合綴/10
 8

0647-001 「御状・御口演之留」(慶応二年正月〜一月、米沢藩主上杉斉憲・
 茂憲宛書状及び両人の書状、口上書書留)／一冊(三九丁)／慶応二年/一六・〇×二
 四・五/横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙/0647-011-003合綴/108

0647-002 「御目録留」(慶応二年正月〜一月、米沢藩主上杉斉憲・茂憲が公家・
 諸大名他へ贈った品物目録)／一冊(二四丁)／慶応二年/一六・〇×二四・五/横半
 帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙/0647-011-003合綴/108

0647-003 「触状留」(慶応二年正月〜一月、米沢藩が発した触の書留)／一
 冊(二三丁)／慶応二年/一六・〇×二四・五/横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙/
 0647-011-003合綴/108

0650-001-001 「宝永三年 御状留」(宝永三年一月一日〜四月二二日、米沢
 藩主の書状控)／一冊(二四三丁)／宝永三年/二一・二×一五・七/豎帳 共紙原表
 紙・列帖装 素紙後補表紙 楮紙／一部裏打あり/0650-002と組で上巻、065
 0-001と002は本来一体だったものを後年に分割/109

0650-001-002 「宝永三年 御状留」(宝永三年四月二二日〜五月九日、米沢
 藩主の書状控)／一冊(二〇二丁)／宝永三年/二一・〇×一六・三/豎帳 列帖装
 素紙後補表紙 楮紙／一部裏打あり/0650-001と組で下巻、0650-001と0
 2は本来一体だったものを後年に分割/109

0650-002-001 「御状留 上」(年未詳一月二日〜五月一日、米沢藩主の
 書状控)／一冊(二五四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二〇・五×一六・五/豎帳
 列帖装 素紙後補表紙 楮紙／裏打あり／前欠、昭和四五年九月に裏打製本、表紙に「昭
 和四十五年九月裏打製本の為、厚みが増し上・中・下の分冊となる」との墨書あり/1

09

0650-02-02 「御状留 中」(年未詳五月一日〜七月二日、米沢藩主の書状控)／一冊(二三九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二〇・五×一六・五／豎帳
列帖装 素紙後補表紙 楮紙／裏打あり／109

0650-02-03 「御状留 下」(年未詳八月一日〜二月一日、米沢藩主の書状控)／一冊(一五八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二〇・五×一六・五／豎帳
列帖装 素紙後補表紙 楮紙／裏打あり／109

上杉家—交際—御使者勤

0088 「御官位御使者勤之覚書」(上杉吉憲の侍従任官につき、使者は長尾四郎右衛門)／一冊(二八丁)／元禄一六年／三一・〇×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／コ本・八〇 林泉文庫／表紙に「元禄拾六年癸未歲十二月廿九日分同拾七年甲申二月十九日迄留ル」とあり／028

0264 「御帰国御礼使者之日帳」(宝永四年二月晦日〜六月一日、上杉吉憲の帰国時の使者は長尾四郎右衛門)／一冊(七四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／コ〇本 林泉文庫／墨付七三丁、上杉重房に関する書付が混入／036

0265 「御帰国御礼使者就被仰付候日帳」(元文三年四月二六日〜五月一三日、帰国御礼の使者中条備前親資の日記)／一通(一六紙)／元文三年四月二六日／一四・八×四一七・三／切継紙 楮紙／一四時麻上下着用：一今日ハ何方ヘモ動ニ不出／墨付一三丁／036

0303 「八朔御使者之留」(米沢藩から幕府への文化六年八朔御礼に関する斎藤春信の記録)／一冊(七三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一六・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／ハ〇本 林泉文庫／「ハ〇本」ラベルの下に別のラベルあり／047

0306 □常「御使者附」(御三家、御縁家、御役人、御並家、諸大名、寺院等への使者口上)／一冊(七三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・二×二〇・三／横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／□常(花押)／墨付五〇丁、昌寿院などが文中に見え幕末期と推定／047

0306-01 土屋豊前守宛 口上書下書(御上洛中の留守勤めにつき取調書を提出

するようにとの申し達し)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・四×一五・二／切紙 楮紙↓土屋豊前守殿／此度 御上洛御留守：此段御使者申達候／0306-02-01〜02切継紙一通に記載／四八・四九丁目の間に挟込／047

0306-02 土屋豊前守宛 演説書(春中の御上洛中の留守勤めにつき)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・四×二二・五／切継紙 楮紙／春中之御上洛：御問合可被申候／0306-02-01〜02切継紙一通に記載／四八・四九丁目の間に挟込、柱題「演説」／047

0608 立岩則賀「上京日記」(寛政六年二月二六日〜四月一日、立岩は入内賀詞使者勤)／一冊(三九丁)／寛政六年二月二六日／一五・六×一・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶原表紙 楮紙／則賀／林泉文庫・風月場蔵書・□□□／094

1027 「御使者勤国名之者御書上・御普請二付御内嘆御物取調」写(享保四年、文政一〇年の將軍御目見の家臣名簿、御手伝普請回避のための幕府への歎願書類)／一冊(三五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・〇×一八・〇／横半帳 長帳綴 縹地後補表紙 楮紙／コ〇本 林泉文庫／墨付三三丁、表紙貼紙「旧藩史料政事 一 写本」／163

1593 文章「使介集」(寛文四年〜安永二年、江戸や他領への使者勤を年代順に記載)／一冊(九一丁)／安永二年／一〇・四×一九・六／横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／文章(花押)／裏打あり／墨付八四丁、補修あり／224

1594 中條豊前「使介集附録 全」(当初の成立は寛政一〇年、江戸や他領への使者勤を名目別に分類)／一冊(七〇丁)／(弘化三年)／二八・五×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／量 中條豊前／図書第一号／墨付五六丁、補修あり、冒頭に文政一〇年八月御記録所書付を貼付ける／224

上杉家—交際—贈答

0257 「元和九年 御入部御暇上使并御拝領物御会勤之御進物帳」／一冊／(寛文年間カ)／二八・三×二〇・六／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／裏打あり／0257-01〜04合綴／墨付一五八丁／035

0257-01 「御在京中并江戸米沢共二御能之帳」(元和九年から正保二年にかけての演能記録)／一冊(一五丁)／江戸前期(年月日未詳)／二八・五×二一・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／0257-01〜04合綴／035

0257-02 「御入部御暇上使并御拝領物御參勤之御進物帳」(元和九年から正保二年にかけての参勤交代と関連の贈答物記録) / 一冊(五六丁) / 江戸前期(年月日未詳) / 二八・五×二一・五 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 0257-01-04合綴 / 035

0257-03 「御祝儀之時御進物万日記」(上杉定勝と鍋島勝茂娘市姫の縁組に関する元和一〇年正月一八日から二月五日にかけての贈答記録) / 一冊(三七丁) / 江戸前期(年月日未詳) / 二八・五×二一・五 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 0257-01-04合綴 / 035

0257-04 「鍋島信濃殿丹後殿御国元江上下二御贖付御宮筒帳」(寛永二年〜寛文元年、鍋島家の参勤交代時に贈ったものの記録) / 一冊(五二丁) / 江戸前期(年月日未詳) / 二八・五×二一・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 0257-01-04合綴 / 035

0280 太刀馬目録(上杉吉憲から將軍徳川吉宗に献上) / 一通(二紙) / 江戸中期(年月日未詳) / 四四・五×六〇・五 / 折紙 檀紙 / 当松平伊豆守内 岩上九兵衛(黒印) / 進上 御太刀 一腰; 御馬 一匹 以上 / 折紙見返しに墨書「表書之通御納戸江相納申候以上 亥五月十五日 松平伊豆守内岩上九兵衛(黒印)」、松平伊豆守は松平信祝 / 042

0305 「諸家献上物帳」(諸大名の時献上の品目) / 一冊(二〇七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・八×二〇・四 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / □書第四六 / 墨付一〇六丁 / 047

0421-01 「御目錄留」(享保一二年二月〜宝暦九年一二月の米沢藩から領内の寺社の献上物および藩主や親族間における贈答記録) / 一冊(二九五丁) / 享保一二年二月 / 四一・七×一五・二 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 049

0421-02 「御目錄留」(宝暦一〇年正月〜明和三年四月の米沢藩から領内の寺社の献上物および藩主や親族間における贈答記録) / 一冊(二一三丁) / 宝暦一〇年正月 / 四〇・七×一五・六 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 049

0422 「御目錄留」(文政一〇年五月〜天保一〇年五月の米沢藩から領内の寺社の献上物および藩主や親族間における贈答記録) / 一冊(二五二丁) / 文政一〇年五月 / 三七・〇×一五・五 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 墨付一四九丁 / 050

0423 「御目錄留」(安政三年一月〜慶応二年五月の米沢藩から領内の寺社の献上物および藩主や親族間における贈答記録) / 一冊(二三〇丁) / 安政三年一月 / 三六・五×一五・二 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 虫損あり / 050

0727 「言上」(享保一五年一月一九日〜二月の江戸藩邸における幕府・大名家の交際記録等) / 一冊(二二七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二六・七×一八・六 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目原表紙 楮紙 / 「言上」は月ごとに、江戸から米沢の奉行らに宛てて、披露を願う旨の記載あり / 115

0728-01 「言上」(享保一八年正月〜四月四日の江戸藩邸における幕府・大名家の交際記録等) / 一冊(三四八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・六×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目原表紙 楮紙 / 115

0728-02 「言上」(明和七年正月〜二月一九日の江戸藩邸における幕府・大名家の交際記録等) / 一冊(一九四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・五×一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目原表紙 楮紙 / 115

上杉家—古文書集—御書集—為景

1067 「為景公御書」(長尾為景ら文書の写計七〇通) / 一冊(五七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一四・六×二〇・六 / 横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙 / (年未詳) 八月八日志駄山城入道宛長尾為景書状写他、為景のほか長尾能景五通、長尾房景一通あり / 166

上杉家—古文書集—御書集—謙信

1070 「謙信公御書」(直江実綱書状他、一七通) / 一冊(二二丁) / 元禄九年二月二五日 / 一五・〇×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 縹地原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 元禄九年二月二五日重テ出ル、(年未詳) 七月三日高梨某宛直江実綱書状写他 / 167

1072-01 「謙信公御書目録」(「謙信公御書」一〜六巻、「謙信公諸士来書」七〜一〇巻、「為景公御書」一一巻、「官庫」一〜四巻) / 一冊(七二丁) / 元禄四年カ / 一四・七×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付七〇丁、各所に付箋、貼紙あり、脱落したと思われる付箋等六枚あり、朱書による校訂あり / 167

1072-02 「謙信様御直書」(上杉謙信発給文書六〇通) / 一冊(七八丁) / 元禄四年カ / 一四・八×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / ケ〇本 林泉文庫 / 墨付六八丁、後補表紙の標題は「謙信公御書 一」、「天正二カ」と書かれた付箋あり、ただし元の位置は別のところカ / 167

1072-03 「謙信様御直書」(上杉謙信発給文書三九通) / 一冊(四七丁) / 元禄四年カ / 一四・七×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付四二丁、後補表紙の標題は「謙信公御書 二」、各所に付箋・貼紙・朱書による校訂あり / 167

1072-04 「謙信様御書写」(上杉謙信発給文書四七通) / 一冊(五五丁) / 元禄四年カ / 一五・七×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付四八丁、後補表紙の標題は「謙信公御書 三」、各所に付箋・貼紙・朱書による校訂あり / 167

1072-05 「謙信様御書写」(上杉謙信発給文書三四通) / 一冊(三九丁) / 元禄四年カ / 一四・八×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三七丁、後補表紙の標題は「謙信公御書 四」、各所に付箋・貼紙・朱書による校訂あり / 167

1072-06 「謙信公御書 五」(上杉謙信発給文書四通) / 一冊(一八丁) / 元禄四年カ / 一四・八×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三丁、各所に付箋・貼紙・朱書による校訂あり / 167

1072-07 「謙信様御代制札軍役帳写」(上杉謙信発給文書九通) / 一冊(四二丁) / 元禄四年カ / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付二八丁、後補表紙の標題は「謙信公御書 六」、各所に付箋・貼紙・朱書による校訂あり / 167

1072-08 「謙信様御代諸士来書」(上杉謙信及びその家臣宛の書状等三五通) / 一冊(六〇丁) / 元禄四年カ / 一四・九×二〇・九 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三八丁、後補表紙の標題は「謙信公諸士来書 七」、朱書による校訂あり / 167

1072-09 「謙信様御代諸士来書」(上杉謙信及びその家臣宛の書状等四七通) / 一冊(六九丁) / 元禄四年カ / 一四・八×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付六一丁、後補表紙の標題は「謙信公諸士来書 八」、各所に付箋・貼紙・朱書による校訂あり / 167

1072-10 「謙信様御代諸士来書」(上杉謙信及びその家臣宛の書状等三二通) / 一冊(三六丁) / 元禄四年カ / 一四・八×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三四丁、後補表紙の標題は「謙信公諸士来書 九」、各所に付箋・貼紙・朱書による校訂あり / 167

1072-11 「謙信様御代諸士来書□」(所蔵者毎に分類し書写した上杉謙信とそ

の家臣宛の書状等三八通) / 一冊(三八丁) / 元禄四年カ / 一四・八×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三七丁、後補表紙の標題は「謙信公諸士来書 十」、各所に付箋・貼紙・朱書による校訂あり / 167

上杉家—古文書集—御書集—景勝

0076-01 「目録 景勝公御書 同知行御書出并奉書 同禁制札軍役帳 同諸士来書」(上杉景勝文書を写した四種の文書集の内容目録) / 一冊(九九丁) / (元禄九年) / 一四・六×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 墨付九五丁、御年譜編纂のための資料 / 026

0076-02 「景勝公御書 全」(本庄越前守ら家中宛の文書三三通の写し) / 一冊(三〇丁) / (元禄九年) / 一四・九×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 紺地出繋ぎ地に牡丹唐草原表紙 楮紙 / 墨付二四丁、御年譜編纂のための資料 / 026

0076-03 「諸事御法度并知行書 全」(上杉家中に対して出した法度、知行関係文書三六通の写し) / 一冊(三三丁) / (元禄九年) / 一四・九×二〇・六 / 横半帳 長帳綴 紺地出繋ぎ地に牡丹唐草原表紙 楮紙 / 墨付三〇丁、御年譜編纂のための資料 / 026

0076-04 「諸士江御条目軍役書付 全」(軍役関係、禁制、法度等の文書三一通の写し) / 一冊(三五丁) / (元禄九年) / 一四・九×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 紺地出繋ぎ地に牡丹唐草原表紙 楮紙 / 墨付二九丁、御年譜編纂のための資料 / 026

0076-05 「諸士来状 全」(他の戦国大名、江戸幕府関係者、家中等の文書四〇通の写し) / 一冊(三九丁) / (元禄九年) / 一四・九×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 紺地出繋ぎ地に牡丹唐草原表紙 楮紙 / 御記録所 / 御年譜編纂のための資料 / 026

0077-01 「景勝公御書 一」(岩井備中守、色部修理大夫ら家中宛文書三八通の写し) / 一冊(三七丁) / (元禄九年) / 一四・六×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / カ〇本 林泉文庫 / 裏打あり / 目録(史料番号0076-01) 未記載書状四通あり、0077の作成者は御記録所カ、0077-01-16は後補表紙裏打紙に「景勝様御直書」とあり、これが原表紙カ / 026

0077-02 「景勝公御書 二」(安田治部少輔、本間左馬之助ら家中宛文書他四九通の写し) / 一冊(四五丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付四二丁、目録(史料番号0076-01) 未記載書状一通あり / 026

0077-03 「景勝公御書 三」(佐藤石見守、佐藤平左衛門ら家中宛や寺院宛の文書三九通の写し) / 一冊(四〇丁) / (元禄九年) / 一四・八×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三三丁 / 026

0077-04 「景勝公御書 四」(板谷修理亮、福王寺兵部少輔ら家中宛の文書三八通の写し) / 一冊(三八丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三三丁、目録(史料番号0076-01) 未記載書状二通あり / 026

0077-05 「景勝公御書 五」(宇野民部少輔、西方弥右衛門ら家中宛の文書他三九通の写し) / 一冊(四〇丁) / (元禄九年) / 一四・六×二〇・六 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三四丁、目録(史料番号0076-01) 未記載書状一通あり / 026

0077-06 「景勝公御書 六」(本庄越前守、北村盛右衛門ら家中宛の文書三六通の写し) / 一冊(四三丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・六 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三五丁、目録(史料番号0076-01) 未記載書状三通あり / 026

0077-07 「景勝公御書 七」(武田勝頼や家中宛の文書五七通の写し) / 一冊(四八丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三七丁、目録(史料番号0076-01) 未記載書状一通あり / 026

0077-08 「景勝公御書 八」(村田予十郎、市川甚五ら家中宛の文書六六通の写し) / 一冊(六四丁) / (元禄九年) / 一四・八×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付四九丁 / 026

0077-09 「景勝公御書 九」(広井出雲守、築地修理亮ら家中宛の文書四九通の写し) / 一冊(六一丁) / (元禄九年) / 一四・八×二〇・八 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付四六丁 / 026

0077-10 「景勝公御書 十」(豊野左近、安部式介ら家中宛の文書四八通の写し) / 一冊(五九丁) / (元禄九年) / 一四・八×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付五四丁 / 026

0077-11 「景勝公御書 十一」(章名盛氏、大崎義隆や家中宛の文書三六通の写し) / 一冊(四二丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三〇丁 / 026

0077-12 「景勝公御書 十二」(秋山伊賀守、大関常陸介ら家中宛文書三三通

の写し) / 一冊(四二丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三二丁 / 026

0077-13 「景勝公御書 十三」(真田昌幸、弥彦神社の神領及び家中宛文書四七通の写し) / 一冊(五三丁) / (元禄九年) / 一四・八×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付四九丁 / 026

0077-14 「景勝公御書 十四」(築地修理亮、小森沢鍋磨ら家中宛文書他六八通の写し) / 一冊(六〇丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付五四丁 / 026

0077-15 「景勝公御書 十五」(色部修理大夫、須貝伊賀守他家臣宛文書二九通の写、内三通は定勝文書の写し) / 一冊(三二丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・六 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付二五丁 / 026

0077-16 「景勝公御書 十六」(青海川図書助、清水三河守家中及び寺院宛文書四五通の写し) / 一冊(四六丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・六 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付三一丁 / 026

0077-17 「景勝公御書 十八」(家臣宛文書及び天正一四年の軍役帳、上洛日帳等三〇点の写) / 一冊(五五丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 裏打あり / 墨付四八丁、0077-17-20 後補裏表紙の裏打紙に「景勝様御代御制札御軍役帳写」とあり、これが原表紙カ / 026

0077-18 「景勝公御書 十七」(西條治部少輔他家中及び領内百姓宛文書他二四通の写、内一通は謙信文書の写し) / 一冊(三五丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 裏打あり / 墨付二四丁、後補裏表紙の裏打紙に「景勝様知行御書出并奉書」とあり、これが原表紙カ / 026

0077-19 「景勝公諸士来書 十九」(足利義昭や豊臣秀吉他の発給したもの等景勝時代の文書五二通の写し) / 一冊(五九丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 裏打あり / 墨付五七丁、目録未記載書状一〇通あり、後補表紙の裏打紙に「景勝様御代諸士来書」とあり、これが原表紙カ / 026

0077-20 「景勝公諸士来書 二十」(豊臣秀吉、武田勝頼他の発給したもの等景勝時代の文書他三九通の写し) / 一冊(七二丁) / (元禄九年) / 一四・七×二〇・七 / 横半帳 長帳綴 茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 裏打あり / 墨付七一丁、目録(史料番号0076-01) 未記載書状二通あり、目録末尾二件は本史料に未記載、後補表

紙の裏打紙に「景勝様御代諸士来書」とあり、これが原表紙カ／026

上杉家—古文書集—御書集—古案

1068-01 「古案 二」(里見義高他、戦国期の書状四〇通の写し)／一冊(四六丁)／元禄四年カ／一四・五×二〇・七／横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／(年未詳) 七月二三日里見義高書状他／166

1068-02 「古案 二」(上杉謙信他、戦国期の文書六〇通の写し)／一冊(五六丁)／元禄四年カ／一四・五×二〇・八／横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／(年未詳) 正月一〇日上杉謙信書状他／166

1068-03 「古案 三」(延暦寺庁務任昭奉書他、六六通の写し)／一冊(五五丁)／元禄四年カ／一四・五×二〇・八／横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／(年未詳) 七月二三日延暦寺任昭書状他／166

1068-04 「古案 四」(北条氏康・氏政連署条書他五七通の写し)／一冊(五二丁)／元禄四年カ／一四・五×二〇・九／横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／(永禄一三年) 七月二三日北条氏康・氏政連署条書他／166

上杉家—古文書集—御書集—官庫書

1080-01 「官庫書 一」(主に永禄と元和年間の上杉家関係の文書四九通の写し)／一冊(五四丁)／元禄四年カ／一四・八×二〇・八／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 斐紙／ク〇本／墨付四九丁、各所に下札あり、各所に朱書きで年代や注記あり、武田勝頼、豊臣秀吉、徳川秀忠、小山田信茂、伊達輝宗、増田長盛、徳川家光文書二、上杉謙信等の発給文書他／167

1080-02 「官庫書 二」(主に永禄と元和年間の上杉家関係の文書四二通の写し)／一冊(五三丁)／元禄四年カ／一四・八×二〇・七／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 斐紙／墨付四〇丁、各所に下札あり、各所に朱書きで年代や注記あり、豊臣秀吉、足利義輝、徳川家康、徳川秀忠、豊臣秀頼、武田勝頼、北条氏康等の発給文書他／167

1080-03 「官庫書 三」(主に永禄と元和年間の上杉家関係の文書三七通の写し)／一冊(五六丁)／元禄四年カ／一四・七×二〇・七／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 斐紙／墨付四〇丁、各所に下札あり、各所に朱書きで年代や注記あり、武田勝頼、豊臣

秀吉、徳川秀忠等の発給文書／167

1080-04 「官庫書 四」(主に永禄と元和年間の上杉家関係の文書三三通の写し)／一冊(三七丁)／江戸中期(年月日未詳)／一四・八×二〇・七／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 斐紙／林泉文庫／墨付三二丁、各所に下札あり、各所に朱書きで年代や注記あり、豊臣秀吉、徳川秀忠、豊臣秀頼等の発給文書／167

0394 「御書御感状之目録之認」(戦国大名、天下人、徳川将軍等からの書状、感状を有する上杉家中諸家の書上)／一冊(八四丁)／江戸前期(年未詳) 一〇月五日／一六・〇×四三・二／横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙／コ本 林泉文庫／素紙原表紙をボール紙に貼り込む／048

上杉家—古文書集—歴代古案

1069-01 「歴代古案 一」(延暦寺任昭書状他、戦国と江戸初頭の文書の写し二二五通)／一冊(一一八丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・八×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／レ本 興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／1068 「古案」の採録の三・四・一・二の順番・文書がほぼ共通、一丁目目に「二」の墨書、中間に白紙を一丁はさみ、以下巻二／166

1069-02 「歴代古案 二」(上杉謙信願文他、戦国と江戸初頭の文書の写し一五〇通)／一冊(九三丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・八×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／一丁目「三」の墨書、中間に白紙の一丁を挟み、以下巻四／166

1069-03 「歴代古案 三」(上杉謙信書状他、戦国期と江戸初頭の文書の写し一九四通)／一冊(一一〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・七×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／一丁目「古案五」の墨書、中間白紙八丁をはさみ、六三丁目冒頭に「六」の墨書／166

1069-04 「歴代古案 四」(足利義昭御内書他、南北朝期と江戸初頭の文書の写し一九二通)／一冊(九〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・七×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／四七丁目「八」と記載／166

1069-05 「歴代古案 五」(武田信玄朱印状他、戦国期と江戸初頭の文書の写し九五通)／一冊(五九丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・七×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／一丁目「九」、三

九丁目に「十」と記載、料紙厚手／166

1069-06 「歴代古案 六」(丈林齋宛某書状他、南北朝〜江戸初頭の文書の写し(二四九通)／一冊(一一三丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・七×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／表紙裏袋とじ破れて見返し遊びのごとし、一丁目に「十一」、五八丁目に「十二」／166

1069-07 「歴代古案 七」(上杉景勝書状他、戦国時代〜江戸初頭の書状の写し(二五〇通)／一冊(八七丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・七×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／表紙裏袋とじ破れて見返し遊びのごとし、一丁目に「十三」、五三丁目に「十四」／166

1069-08 「歴代古案 八」(小田氏治書状他、戦国時代〜江戸初頭の書状の写し(一一五通、末尾に先祖書)／一冊(七二丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・七×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／二丁目に「十五」、三三丁目に「古案十六」／166

1069-09 「歴代古案 九」(針生盛信書状他、戦国時代〜江戸初頭の書状の写し(一二通)／一冊(二〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・七×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／一丁目「古案十七」、五三丁目に「古案十八」／166

1069-10 「歴代古案 十」(針生盛信書状他、戦国時代〜江戸初頭の書状の写し(四五通)／一冊(七七丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・七×二三・二／横半帳 長帳綴 深緑地原表紙 楮紙／興讓館蔵書・柳塘蔵書・林泉文庫／表紙剥離部分に「十九」、一丁目「古案十九」、三二丁目に「古案二十」／166

上杉家—古文書集—秘庫存書

0743-01 「秘庫存書 一」(三好善太夫上言、竹俣当綱上言他四通)／一冊(四八丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／ヒ〇本 林泉文庫／主に上杉家の「秘庫」所蔵の鷹山関連文書を収録、0743は主に現在の上杉家文書赤筆寄坤保管文書を収録カ、外題と目次部分の筆跡などから伊佐早関連と推定、本文は巻により筆跡が異なる／117

0743-02 「秘庫存書 二」(上杉鷹山書状写等計二一通)／一冊(五六丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／竹俣久綱／林泉文庫／鷹山書状一八通、芳沢公御書一通、秋月老公御書一

通／117

0743-03 「秘庫存書 三」(細井平洲書状写等計一三通)／一冊(四七丁)／近代(年月日未詳)／二三・二×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／ヒ〇本／題箋(三)と中表紙(五)の巻数の表記にズレあり／117

0743-04 「秘庫存書 四」(上杉鷹山書状写と上杉顯孝書付写等計一九通)／一冊(四五丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／117

0743-05 「秘庫存書 五」(上杉齊定の「御孝行」、莅戸善政の賞与に関する「標賢論」等計二〇通)／一冊(六八丁)／近代(年月日未詳)／二三・〇×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／題箋(五)と中表紙(六)の巻数の表記にズレあり／117

0743-06 「秘庫存書 六」(「継嗣論」「博刑諮問」等計六点)／一冊(五五丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／題箋(六)と中表紙(三)の巻数の表記にズレあり／117

0743-07 「秘庫存書 七」(「空つもり」、大石綱豊日誌抄録等、計一三点)／一冊(七八丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／題箋の巻数(七)と中表紙(八)の巻数の表記にズレあり／117

0743-08 「秘庫存書 八」(「宗門人頭書」の写)／一冊(四五丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／題箋の巻数(八)と中表紙(七)の巻数の表記にズレあり／117

上杉家—歴代年譜—謙信

1045 「謙信公御年譜 一」(享祿三年正月〜永祿六年八月)／一冊(四五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・〇×一九・〇／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／任昭／ケ〇本 裏打あり／無

1046-01 御年譜 写 卷(享祿三年正月〜弘治三年一〇月)／一冊(五四丁)／江戸中期(年月日未詳)／一四・五×一八・八／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／表紙に「御年譜年号目録」として享祿三年から弘治三年までの年号を記し、「紙数□」とあり／無

- 1046-02 御年譜 写 式(永禄元年三月〜同四年二月) / 一册(五五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一四・五×一八・七 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に「紙数五拾五枚」「永禄元同二同三同四」とあり / 無
- 1046-03 御年譜 写 三(永禄五年正月〜同八年二月) / 一册(六〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一四・五×一九・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 黒金吉三 / 表紙に「紙数六拾三(カ)枚」「永禄五同六同七同八集」とあり / 無
- 1046-04 御年譜 写 四(永禄九年正月〜同十二年二月) / 一册(四六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一四・八×一八・八 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に「紙数四十八枚」「永禄九同十同十一御譜写」とあり / 無
- 1046-05 御年譜 写 五(永禄十二年正月〜二月) / 二册(五六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一四・五×一八・五 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 表紙欠か / 無
- 1046-06 御年譜 写 六(元亀元年正月〜同三年二月) / 一册(八五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一四・六×一九・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / コ本 / 表紙に「紙数八拾七枚」「元亀元三三年御譜」とあり、後欠か / 無
- 1046-07 御年譜 写 七(天正元年正月〜同六年二月) / 一册(八三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一五・五×一九・七 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に「紙数八拾式枚」「天正元三三四五六終」とあり 墨付八〇丁 / 無
- 1047-01 「謙信公御年譜 一」(享禄三年正月〜天文一七年八月) / 一册(二四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一九・八×二八・二 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙 / 墨付二二丁 / 164
- 1047-02 「謙信公御年譜 二」(天文一八年正月〜同二年二月) / 一册(三二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一九・六×二八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙 / 墨付三〇丁 / 164
- 1047-03 「謙信公御年譜 三」(弘治元年正月〜同三年二月) / 一册(二二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 一九・六×二八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地原表紙 楮紙 / 墨付一〇丁 / 164
- 1047-04 「謙信公御年譜 四」(永禄元年) / 一册(一八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・六 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付一六丁 / 164
- 1047-05 「謙信公御年譜 五」(永禄二年) / 一册(三〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・五 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付二八丁 / 164
- 1047-06 「謙信公御年譜 六」(永禄三年) / 一册(二四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・七 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付二二丁 / 164
- 1047-07 「謙信公御年譜 七」(永禄四年) / 一册(六九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・七 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付六七丁 / 164
- 1047-08 「謙信公御年譜 八」(永禄五年) / 一册(二三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・六 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付二一丁 / 164
- 1047-09 「謙信公御年譜 九」(永禄六年) / 一册(二二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付一九丁 / 164
- 1047-10 「謙信公御年譜 十」(永禄七年) / 一册(三三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・六 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付三一丁 / 164
- 1047-11 「謙信公御年譜 十一」(永禄八年〜同九年) / 一册(三六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・五 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付三四丁 / 164
- 1047-12 「謙信公御年譜 十二」(永禄一〇年〜同一年) / 一册(四五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・五 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付四三丁 / 164
- 1047-13 「謙信公御年譜 十三」(永禄一二年正月〜六月) / 一册(五六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・四 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付五四丁 / 164
- 1047-14 「謙信公御年譜 十四」(永禄一二年七月〜二月) / 一册(三〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・四 / 縦帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙 / 墨付二八丁 / 164

1047-115 「謙信公御年譜 十五」(元龜元年)／一冊(三三三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・三／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙／墨付三一丁／164

1047-116 「謙信公御年譜 十六」(元龜二年)／一冊(二七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・三×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙／墨付二五丁／164

1047-117 「謙信公御年譜 十七」(天正元年～同二年)／一冊(二九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・三×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙／墨付二七丁／164

1047-118 「謙信公御年譜 十八」(天正三年)／一冊(三二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・三×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙／墨付二九丁／164

1047-119 「謙信公御年譜 十九」(天正四年)／一冊(三三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・三×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙／墨付二〇丁／164

1047-120 「謙信公御年譜 二十 終」(天正五年～同六年三月)／一冊(三七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地後補表紙 楮紙／墨付三五丁／164

上杉家—歴代年譜—景勝—清書

0052-101 「景勝公御年譜 一一」(永祿二年五月一日～天正六年六月二九日)／一冊(三四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-102 「景勝公御年譜 一二」(天正六年七月五日～二月晦日)／一冊(五三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-103 「景勝公御年譜 一三」(天正七年正月六日～二月三日)／一冊(四三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-104 「景勝公御年譜 一四」(天正八年元旦～二月二九日)／一冊(四七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-105 「景勝公御年譜 一五」(天正九年元旦～二月二六日)／一冊(四二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-106 「景勝公御年譜 一六」(天正一〇年元旦～六月二九日)／一冊(五三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-107 「景勝公御年譜 一七」(天正一〇年七月三日～閏二月晦日)／一冊(五五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-108 「景勝公御年譜 一八」(天正一一年元旦～二月二八日)／一冊(四八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-109 「景勝公御年譜 一九」(天正一二年元旦～二月二〇日)／一冊(二九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-110 「景勝公御年譜 二〇」(天正一三年元旦～二月二三日)／一冊(三六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-111 「景勝公御年譜 二一」(天正一四年元旦～二月三日)／一冊(三二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-112 「景勝公御年譜 二二」(天正一五年元旦～二月一四日)／一冊(三五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

0052-113 「景勝公御年譜 二三」(天正一六年元旦～同十七年二月二日)／一冊(三三三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地卍繋ぎ原表紙 楮紙／010

- 0052-114 「景勝公御年譜 十四」(天正一八年元旦、一二月一八日) / 一冊(三五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-115 「景勝公御年譜 十五」(天正一九年元旦、一二月下旬) / 一冊(二七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-116 「景勝公御年譜 十六」(文祿元年元旦、文祿二年一月三日) / 一冊(二四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-117 「景勝公御年譜 十七」(文祿三年元旦、一二月) / 一冊(二五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-118 「景勝公御年譜 十八」(文祿四年元旦、慶長元年二月) / 一冊(三一丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-119 「景勝公御年譜 十九」(慶長二年正月、一二月二七日) / 一冊(一九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-120 「景勝公御年譜 廿」(慶長三年元旦、一二月二四日) / 一冊(二六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-121 「景勝公御年譜 廿一」(慶長四年正月、一二月) / 一冊(二二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-122 「景勝公御年譜 廿二」(慶長五年元旦、六月一六日) / 一冊(二五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-123 「景勝公御年譜 廿三」(慶長五年七月、一月中旬) / 一冊(三五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-124 「景勝公御年譜 廿四」(慶長六年元旦、同九年一月) / 一冊(二七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-125 「景勝公御年譜 廿五」(慶長一〇年元旦、一二月一七日) / 一冊(三一丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-126 「景勝公御年譜 廿六」(慶長一一年正月、同一六年一〇月六日) / 一冊(三一丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-127 「景勝公御年譜 廿七」(慶長一七年元旦、同一八年一月二九日) / 一冊(二六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-128 「景勝公御年譜 廿八」(慶長一九年元旦、一二月二八日) / 一冊(四七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-129 「景勝公御年譜 廿九」(元和元年正月、同五年二月一九日) / 一冊(二八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010
- 0052-130 「景勝公御年譜 三十」(元和六年正月、同九年三月二八日) / 一冊(二〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 灰地疋繋ぎ原表紙 楮紙 / 010

上杉家—歴代年譜—景勝—稿本

- 0053-01 「景勝公御年譜 一」稿本(弘治元年一月二七日、天正六年二月晦日) / 一冊(六八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・九×一九・六 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 無
- 0053-02 「景勝公御年譜 二」稿本(天正七年正月六日、同八年二月二九日) / 一冊(七八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・九×一九・六 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 無

0053-03 「景勝公御年譜 三」稿本(天正九年元旦、同一〇年六月二十九日)／一冊(七八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／無

0053-04 「景勝公御年譜 四」稿本(天正一〇年七月三日、同一一年一月二八日)／一冊(八五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／無

0053-05 「景勝公御年譜 五」稿本(天正一二年元旦、同一四年一月三日)／一冊(七四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／無

0053-06 「景勝公御年譜 六」稿本(天正一五年元旦、同一八年二月一八日)／一冊(七八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／無

0053-07 「景勝公御年譜 七」稿本(天正一九年元旦、文禄三年二月)／一冊(五八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／無

0053-08 「景勝公御年譜 八」稿本(文禄四年元旦、慶長三年二月二四日)／一冊(六一丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／無

0053-09 「景勝公御年譜 九」稿本(慶長四年正月、同五年二月)／一冊(六五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／無

0053-10 「景勝公御年譜 十」稿本(慶長六年元旦、同一六年一月六日)／一冊(八一丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／無

0053-11 「景勝公御年譜 十一」稿本(慶長一七年元旦、元和九年三月二八日)／一冊(八八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／無

上杉家—歴代年譜—定勝

0054-01 「定勝公御年譜 一」(慶長九年五月五日、元和九年二月晦日)／一冊(六〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付五八丁／〇一

0054-02 「定勝公御年譜 二」(元和一〇年元旦、寛永元年一月二十九日)／一冊(三〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付二八丁／〇一

0054-03 「定勝公御年譜 三」(寛永二年元旦、二月二十九日)／一冊(三二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付二〇丁／〇一

0054-04 「定勝公御年譜 四」(寛永三年元旦、七月二十九日)／一冊(五一丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付四八丁／〇一

0054-05 「定勝公御年譜 五」(寛永三年八月一日、二月二十九日)／一冊(四五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付四三丁／〇一

0054-06 「定勝公御年譜 六」(寛永四年元旦、同五年二月晦日)／一冊(六三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付四九丁／〇一

0054-07 「定勝公御年譜 七」(寛永六年元旦、二月二十九日)／一冊(三八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付二六丁／〇一

0054-08 「定勝公御年譜 八」(寛永七年元旦、同八年二月二十九日)／一冊(五〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付四八丁／〇一

0054-09 「定勝公御年譜 九」(寛永九年元旦、同一〇年六月二八日)／一冊(三八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／墨付三六丁／〇一

0054-110 「定勝公御年譜 十」(寛永一〇年七月一日、同一一年四月四日) / 一冊(三八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三六丁 / 〇11

0054-111 「定勝公御年譜 十二」(寛永一一年四月四日、八月二八日) / 一冊(四三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四一丁 / 〇11

0054-112 「定勝公御年譜 十二」(寛永一二年九月一日、同一二年二月晦日) / 一冊(四二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四〇丁 / 〇11

0054-113 「定勝公御年譜 十三」(寛永一三年元旦、二月二九日) / 一冊(三一丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付二九丁 / 〇11

0054-114 「定勝公御年譜 十四」(寛永一四年元旦、二月晦日) / 一冊(三七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三五丁 / 〇11

0054-115 「定勝公御年譜 十五」(寛永一五年元旦、同一六年二月晦日) / 一冊(四九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四七丁 / 〇11

0054-116 「定勝公御年譜 十六」(寛永一七年元旦、二月二九日) / 一冊(二九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付二七丁 / 〇11

0054-117 「定勝公御年譜 十七」(寛永一八年元旦、同一九年六月晦日) / 一冊(五五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付五三丁 / 〇11

0054-118 「定勝公御年譜 十八」(寛永一十九年七月二日、二月二九日) / 一冊(三六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三四丁 / 〇11

0054-119 「定勝公御年譜 十九」(寛永二〇年五月三日、七月二日) / 一冊(四一丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三九丁 / 〇11

0054-120 「定勝公御年譜 二十 大尾」(正保元年元旦、同一二年一〇月三日) / 一冊(四三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四〇丁 / 〇11

上杉家—歴代年譜—綱勝

0055-01 「綱勝公御年譜 一」(寛永一五年二月二日、正保三年二月二九日) / 一冊(三八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×二〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 七、八欠本、墨付三六丁 / 〇12

0055-02 「綱勝公御年譜 二」(正保三年三月四日、二月晦日) / 一冊(四〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×二〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三八丁 / 〇12

0055-03 「綱勝公御年譜 三」(正保四年元旦、二月晦日) / 一冊(六三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×二〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付六一丁 / 〇12

0055-04 「綱勝公御年譜 四」(慶安二年元旦、二月二九日) / 一冊(三六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×二〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三四丁 / 〇12

0055-05 「綱勝公御年譜 五」(慶安四年元旦、二月二九日) / 一冊(五七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×二〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付五五丁 / 〇12

0055-06 「綱勝公御年譜 六」(承応二年元旦、同四年二月二九日) / 一冊(五八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×二〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付五六丁 / 〇12

0055-07 「綱勝公御年譜 七」(承応三年元旦、二月二八日) / 一冊(三八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×二〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三六丁 / 〇12

0055-08 「綱勝公御年譜 八」(明暦元年元旦、四月二九日) / 一冊(三〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付二九丁 / 〇12

0055-09 「綱勝公御年譜 九」(明暦元年五月一日、二月晦日) / 一冊(三八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三七丁 / 012

0055-10 「綱勝公御年譜 十」(明暦二年元旦、二月二九日) / 一冊(二九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付二七丁 / 012

0055-11 「綱勝公御年譜 十一」(明暦三年元旦、二月二九日) / 一冊(五六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付五四丁 / 012

0055-12 「綱勝公御年譜 十二」(万治元年元旦、六月二八日) / 一冊(四四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四二丁 / 012

0055-13 「綱勝公御年譜 十三」(万治二年七月三日、同三年三月二八日) / 一冊(四五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四〇丁 / 012

0055-14 「綱勝公御年譜 十四」(万治三年四月二日、二月晦日) / 一冊(三五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三三丁 / 012

0055-15 「綱勝公御年譜 十五」(寛文元年元旦、三月二八日) / 一冊(三五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三三丁 / 012

0055-16 「綱勝公御年譜 十六」(寛文元年四月一日、同四年二月晦日) / 一冊(四五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四三丁 / 012

0055-17 「綱勝公御年譜 十七」(寛文二年元旦、二月二九日) / 一冊(四九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付四七丁 / 012

0055-18 「綱勝公御年譜 十八」(寛文三年元旦、八月二七日) / 一冊(三五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三三丁 / 012

0055-19 「綱勝公御年譜 十九」(寛文三年九月四日、二月晦日) / 一冊(三四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付三二丁 / 012

0055-20 「綱勝公御年譜 二十大尾」(寛文四年元旦、六月二日) / 一冊(七一丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三〇・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 墨付六九丁 / 012

上杉家—歴代年譜—綱憲

0056-01 「綱憲公御年譜 一」(寛文三年一〇月二八日、同五年七月二九日) / 一冊(四二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四〇・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 外題一部欠 / 013

0056-02 「綱憲公御年譜 二」(寛文六年元旦、同八年二月二九日) / 一冊(三六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四〇・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-03 「綱憲公御年譜 三」(寛文九年元旦、同十二年二月一八日) / 一冊(三六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四〇・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 外題欠 / 013

0056-04 「綱憲公御年譜 四」(延宝元年元旦、同三年二月二五日) / 一冊(六〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四〇・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-05 「綱憲公御年譜 五」(延宝四年元旦、同五年二月二九日) / 一冊(五二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四〇・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-06 「綱憲公御年譜 六」(延宝六年元旦、二月二九日) / 一冊(四二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四〇・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-07 「綱憲公御年譜 七」(延宝七年元旦、八月二七日) / 一冊(五三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四〇・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-08 「綱憲公御年譜 八」(延宝七年九月三日、二月晦日) / 一冊(二六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-09 「綱憲公御年譜 九」(延宝八年元旦、七月二八日) / 一冊(四八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-10 「綱憲公御年譜 十」(延宝八年八月朔日、同九年二月晦日) / 一冊(四三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-11 「綱憲公御年譜 十二」(天和元年三月朔日、同二年七月二六日) / 一冊(六三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-12 「綱憲公御年譜 十二」(天和二年八月朔日、同三年二月晦日) / 一冊(四二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-13 「綱憲公御年譜 十三」(貞享元年元旦、二月晦日) / 一冊(四三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-14 「綱憲公御年譜 十四」(貞享二年元旦、同三年六月二七日) / 一冊(五八丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-15 「綱憲公御年譜 十五」(貞享三年七月六日、元禄元年四月一五日) / 一冊(四〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-16 「綱憲公御年譜 十六」(元禄元年五月朔日、同二年二月二九日) / 一冊(四九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-17 「綱憲公御年譜 十七」(元禄三年元旦、同四年二月晦日) / 一冊(三三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-18 「綱憲公御年譜 十八」(元禄五年元旦、同七年二月二九日) / 一冊(三七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-19 「綱憲公御年譜 十九」(元禄八年元旦、同九年二月二九日) / 一冊(五〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-20 「綱憲公御年譜 二十一」(元禄一〇年元旦、二月晦日) / 一冊(四〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・六 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-21 「綱憲公御年譜 二十一」(元禄一一年元旦、同二年二月晦日) / 一冊(四五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-22 「綱憲公御年譜 二十二」(元禄一三年元旦、同四年二月晦日) / 一冊(三二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・六 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

0056-23 「綱憲公御年譜 二十三 大尾」(元禄一五年元旦、宝永元年九月一七日) / 一冊(四六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・三×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 013

上杉家—歴代年譜—吉憲

0057-01 「吉憲公御年譜 一」(貞享元年一月八日、元禄一〇年二月晦日) / 一冊(二五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・〇×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 014

0057-02 「吉憲公御年譜 二」(元禄一一年元旦、同二年二月晦日) / 一冊(三三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・四×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 014

0057-03 「吉憲公御年譜 三」(元禄一三年元旦、同七年二月二九日) / 一冊(四三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二八・二×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 014

0057-04 「吉憲公御年譜 四」(宝永元年元旦、一二月二九日)／一冊(三八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-05 「吉憲公御年譜 五」(宝永二年元旦、閏四月二九日)／一冊(三四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-06 「吉憲公御年譜 六」(宝永二年五月二日、一二月二九日)／一冊(三二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-07 「吉憲公御年譜 七」(宝永三年元旦、一二月晦日)／一冊(三二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-08 「吉憲公御年譜 八」(宝永四年元旦、同五年一二月晦日)／一冊(四一丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-09 「吉憲公御年譜 九」(宝永六年元旦、同七年一二月二九日)／一冊(四一丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-10 「吉憲公御年譜 十」(宝永七年元旦、一二月二九日)／一冊(二八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-11 「吉憲公御年譜 十二」(正徳元年元旦、同二年一二月二九日)／一冊(四〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-12 「吉憲公御年譜 十二」(正徳三年元旦、一二月二九日)／一冊(二二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-13 「吉憲公御年譜 十三」(正徳四年元旦、同五年一二月晦日)／一冊(三〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-14 「吉憲公御年譜 十四」(享保元年元旦、同二年一二月二九日)／一冊(四一丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-15 「吉憲公御年譜 十五」(享保三年元旦、同四年一二月二九日)／一冊(三四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

0057-16 「吉憲公御年譜 十六」(享保五年元旦、同七年八月七日)／一冊(四四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／014

上杉家—歴代年譜—宗憲

0058-01 「宗憲公御年譜 一」(正徳四年正月二日、享保七年一二月二九日)／一冊(三七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0058-02 「宗憲公御年譜 二」(享保八年元旦、同九年一二月晦日)／一冊(四六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0058-03 「宗憲公御年譜 三」(享保一〇年元旦、同一年三月二八日)／一冊(二九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0058-04 「宗憲公御年譜 四」(享保一一年四月三日、一二月晦日)／一冊(二五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0058-05 「宗憲公御年譜 五」(享保一二年元旦、一二月晦日)／一冊(三三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0058-06 「宗憲公御年譜 六」(享保一三年元旦、同一年二月二九日)／一冊(二四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0058-07 「宗憲公御年譜 七」(享保一四年三月五日、同一五年二月晦日)／一冊(二四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0058-08 「宗憲公御年譜 八」(享保一六年元旦、二月二九日)／一冊(二六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0058-09 「宗憲公御年譜 九」(享保一七年元旦、同一八年二月一八日)／一冊(二七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0058-10 「宗憲公御年譜 十 大尾」(享保一八年三月朔日、同一九年八月六日)／一冊(三〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

上杉家—歴代年譜—宗房

0059-01 「宗房公御年譜 一」(享保三年六月一七日、同一〇年正月晦日)／一冊(四五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0059-02 「宗房公御年譜 二」(享保二〇年元旦、二月晦日)／一冊(二五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0059-03 「宗房公御年譜 三」(元文元年元旦、二月晦日)／一冊(三四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0059-04 「宗房公御年譜 四」(元文二年元旦、二月晦日)／一冊(二七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0059-05 「宗房公御年譜 五」(元文三年元旦、同四年二月晦日)／一冊(三八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0059-06 「宗房公御年譜 六」(元文五年元旦、寛保元年二月二四日)／一冊(二七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0059-07 「宗房公御年譜 七」(寛保元年三月三日、同一二年二月晦日)／一冊(三〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0059-08 「宗房公御年譜 八」(寛保三年元旦、延享一年二月二九日)／一冊(三一丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・四×一九・九／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0059-09 「宗房公御年譜 九」(延享二年元旦、二月二九日)／一冊(三二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・四×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

0059-10 「宗房公御年譜 十大尾」(延享三年元旦、一月一四日)／一冊(三四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・四×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／014

上杉家—歴代年譜—重定

0060-01 「重定公御年譜 一」(享保五年七月六日、延享三年二月晦日)／一冊(五四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・六×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-02 「重定公御年譜 二」(延享四年元旦、八月二八日)／一冊(六二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・四×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-03 「重定公御年譜 三」(延享四年七月二日、二月二九日)／一冊(四〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・四×二〇・一／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-04 「重定公御年譜 四」(寛延元年元旦、二月二九日)／一冊(四四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・四×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-05 「重定公御年譜 五」(寛延二年元旦、同三年二月二十九日)／一冊(四六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・四×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-06 「重定公御年譜 六」(宝暦元年元旦、二月晦日)／一冊(三五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-07 「重定公御年譜 七」(宝暦二年元旦、同三年二月二十九日)／一冊(四七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・四×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-08 「重定公御年譜 八」(宝暦四年元旦、二月晦日)／一冊(四四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-09 「重定公御年譜 九 十」(宝暦五年元旦、同六年二月二十九日)／一冊(五〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-10 「重定公御年譜 十一」(宝暦七年元旦、二月二十九日)／一冊(四八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-11 「重定公御年譜 十二」(宝暦八年元旦、同九年二月晦日)／一冊(四一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-12 「重定公御年譜 十三」(宝暦一〇年元旦、二月晦日)／一冊(五〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-13 「重定公御年譜 十四 十五」(宝暦一一年元旦、明和元年二月二二日)／一冊(七八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-14 「重定公御年譜 十六 十七」(明和二年元旦、同四年二月二一日)／一冊(六六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0060-15 「重定公御年譜 十八 大尾」(明和五年正月二日、寛政一〇年八月一〇日)／一冊(五〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

上杉—歴代年譜—鷹山

0061 「鷹山公御年譜 上下」(宝暦一〇年、文政五年の死去までの略年譜)／一冊(四五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・二×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／015

0062-01 「治憲公御年譜附録 一」写(上杉鷹山の教訓書「伝国詞」他二編)／一冊(八〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・二×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／八本 林泉文庫／015

0062-02 「治憲公御年譜附録 二」写(上杉鷹山の教訓書「老がころ」他五編)／一冊(七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・三×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／林泉文庫／墨付六九丁／015

0062-03 「治憲公御年譜附録 三」写(上杉鷹山の教訓書「輔儲訓」他六編)／一冊(六一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・二×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／林泉文庫／墨付六〇丁／015

0062-04 「治憲公御年譜附録 四」写(上杉鷹山の教訓書「拝満説」他二編)／一冊(四五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・二×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／林泉文庫／015

0062-05 「治憲公御年譜附録 五」写(上杉鷹山の教訓書「明和御教諭」他一五編)／一冊(四八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・二×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／林泉文庫／墨付四六丁／015

上杉家—歴代年譜—顕孝

0063-01 「顕孝公御年譜 一」(安永五年七月、天明五年二月晦日)／一冊(四六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地布目原表紙 楮紙／015

0063-02 「顕孝公御年譜 二」(天明六年元旦、寛政元年二月二八日) / 一冊(三八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地布目原表紙 楮紙 / 015

0063-03 「顕孝公御年譜 三」(寛政二年元旦、同四年二月二八日) / 一冊(三六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地布目原表紙 楮紙 / 015

0063-04 「顕孝公御年譜 四」(寛政五年元旦、同六年四月二五日) / 一冊(六四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地布目原表紙 楮紙 / 015

0064 「世子顕孝公御年譜銘目」(卷一、卷四、安永五年七月二日、寛政五年四月二五日) / 一冊(三八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一一・二×二三・七 / 横半帳 長帳綴 茶地横刷毛目原表紙 楮紙 / 015

上杉家—歴代年譜—治広

0065-01 「治広公御年譜 一」(明和元年七月一日、天明元年二月二九日) / 一冊(四九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-02 「治広公御年譜 二」(天明二年元旦、二月晦日) / 一冊(六〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-03 「治広公御年譜 三」(天明三年元旦、同四年二月二九日) / 一冊(三一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-04 「治広公御年譜 四」(天明五年元旦、二月二九日) / 一冊(五四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-05 「治広公御年譜 五」(天明六年元旦、二月二九日) / 一冊(六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-06 「治広公御年譜 六」(天明七年元旦、二月晦日) / 一冊(八一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-07 「治広公御年譜 七」(天明八年元旦、二月晦日) / 一冊(一〇三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-08 「治広公御年譜 八」(寛政元年元旦、二月晦日) / 一冊(四八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-09 「治広公御年譜 九」(寛政二年元旦、二月二九日) / 一冊(四八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-10 「治広公御年譜 十」(寛政三年元旦、二月晦日) / 一冊(五九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・二×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-11 「治広公御年譜 十一」(寛政四年元旦、二月晦日) / 一冊(四八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-12 「治広公御年譜 十二」(寛政五年元旦、二月二九日) / 一冊(四三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-13 「治広公御年譜 十三」(寛政六年元旦、二月二九日) / 一冊(六七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-14 「治広公御年譜 十四」(寛政七年元旦、二月晦日) / 一冊(四二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-15 「治広公御年譜 十五」(寛政八年元旦、二月晦日) / 一冊(四二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-116 「治広公御年譜 十六」(寛政九年元旦、二月晦日) / 一冊(四六丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙
 楮紙 / 016-017

0065-117 「治広公御年譜十七」(寛政一〇年元旦、二月晦日) / 一冊(五七丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙
 楮紙 / 016-017

0065-118 「治広公御年譜十八」(寛政一一年元旦、二月晦日) / 一冊(四四丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙
 楮紙 / 016-017

0065-119 「治広公御年譜十九」(寛政二二年元旦、二月二九日) / 一冊(四二丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-120 「治広公御年譜二十」(享和元年元旦、二月晦日) / 一冊(四八丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・二×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙
 楮紙 / 016-017

0065-121 「治広公御年譜二十一」(享和二年元旦、二月二九日) / 一冊(三〇丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-122 「治広公御年譜二十二」(享和三年元旦、二月二九日) / 一冊(三八丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-123 「治広公御年譜二十三」(文化元年元旦、二月晦日) / 一冊(三三丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-124 「治広公御年譜二十四」(文化二年元旦、二月二九日) / 一冊(三五丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-125 「治広公御年譜二十五」(文化三年元旦、二月二九日) / 一冊(四〇丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-126 「治広公御年譜 二十六」(文化四年元旦、二月晦日) / 一冊(四二丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-127 「治広公御年譜 二十七」(文化五年元旦、二月二九日) / 一冊(四四丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-128 「治広公御年譜 二十八」(文化六年元旦、二月二九日) / 一冊(四〇丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-129 「治広公御年譜 二十九」(文化七年元旦、二月晦日) / 一冊(三五丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-130 「治広公御年譜 三十」(文化八年元旦、二月晦日) / 一冊(四二丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙
 楮紙 / 016-017

0065-131 「治広公御年譜 三十一」(文化九年元旦、二月二九日) / 一冊(三六丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目
 原表紙 楮紙 / 016-017

0065-132 「治広公御年譜 三十二」(文化一〇年元旦、同一年二月晦日) / 一冊(四二丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装
 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-133 「治広公御年譜 三十三」(文化一二年元旦、同一年二月二九日) / 一冊(六七丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装
 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-134 「治広公御年譜 三十四」(文政元年元旦、同一年二月二九日) / 一冊(四二丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装
 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-135 「治広公御年譜 三十五」(文政三年元旦、同一年二月晦日) / 一冊(四五丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装
 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

0065-36 「治広公御年譜 三十六」(文政五年元旦、同六年正月一〇日) / 一冊(七三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地布目原表紙 楮紙 / 016-017

上杉家—歴代年譜—齊定—清書

0066-01 「齊定公御年譜 一」(天明八年九月四日、寛政八年二月晦日) / 一冊(五九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-02 「齊定公御年譜 二」(寛政九年元旦、享和二年二月晦日) / 一冊(七四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-03 「齊定公御年譜 三」(享和三年元旦、文化二年二月二九日) / 一冊(五六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・一×一八・一 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-04 「齊定公御年譜 四」(文化三年元旦、同五年二月二九日) / 一冊(七〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-05 「齊定公御年譜 五」(文化六年元旦、同八年二月晦日) / 一冊(五四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-06 「齊定公御年譜 六」(文化九年元旦、二月二九日) / 一冊(六〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・二×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-07 「齊定公御年譜 七」(文化一〇年元旦、二月晦日) / 一冊(一三七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-08 「齊定公御年譜 八」(文化一一年元旦、二月二八日) / 一冊(五九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・一×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-09 「齊定公御年譜 九」(文化一二年元旦、二月晦日) / 一冊(六〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-10 「齊定公御年譜 十」(文化一三年元旦、二月晦日) / 一冊(五四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・一×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-11 「齊定公御年譜 十一」(文化一四年元旦、二月二九日) / 一冊(四七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-12 「齊定公御年譜 十二」(文政元年元旦、二月晦日) / 一冊(四八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・一×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-13 「齊定公御年譜 十三」(文政二年元旦、二月二九日) / 一冊(七八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・一×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-14 「齊定公御年譜 十四」(文政三年元旦、二月晦日) / 一冊(五八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-15 「齊定公御年譜 十五」(文政四年元旦、二月晦日) / 一冊(四八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・二×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-16 「齊定公御年譜 十六」(文政五年元旦、二月晦日) / 一冊(六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-17 「齊定公御年譜 十七」(文政六年元旦、二月晦日) / 一冊(四三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・九×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-18 「齊定公御年譜 十八」(文政七年元旦、二月晦日) / 一冊(七〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・九×一八・一 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 018-019

0066-119 「齊定公御年譜 十九」(文政八年元旦、二月晦日) / 一冊(五二丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-120 「齊定公御年譜 廿」(文政九年元旦、二月二九日) / 一冊(四四丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・九×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-121 「齊定公御年譜 廿一」(文政一〇年元旦、二月二九日) / 一冊(四八丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-122 「齊定公御年譜 廿二」(文政一一年元旦、二月二九日) / 一冊(三七丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・九×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-123 「齊定公御年譜 廿三」(文政一二年元旦、二月晦日) / 一冊(五五丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・九×一八・一 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-124 「齊定公御年譜 廿四」(天保元年元旦、二月晦日) / 一冊(三五丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・九×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-125 「齊定公御年譜 廿五」(天保二年元旦、二月晦日) / 一冊(三八丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-126 「齊定公御年譜 廿六」(天保三年元旦、二月晦日) / 一冊(四六丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-127 「齊定公御年譜 廿七」(天保四年元旦、二月晦日) / 一冊(八二丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-128 「齊定公御年譜 廿八」(天保五年元旦、二月晦日) / 一冊(五一丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-129 「齊定公御年譜 廿九」(天保六年元旦、二月晦日) / 一冊(四九丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・一×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-130 「齊定公御年譜 卅」(天保七年元旦、二月二九日) / 一冊(七二丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・一×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-131 「齊定公御年譜 卅一」(天保八年元旦、二月晦日) / 一冊(六五丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-132 「齊定公御年譜 卅二」(天保九年元旦、二月晦日) / 一冊(一三一丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

0066-133 「齊定公御年譜 卅三止」(天保一〇年元旦、六月二六日) / 一冊(一三四丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙
 楮紙 / 018-019

上杉家—歴代年譜—齊定—稿本

0067-101 「齊定公御年譜草稿 二」(寛政九年元旦、享和二年二月晦日) / 一冊(六六丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・〇×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装
 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 一、八、一九、二二欠本 / 020-021

0067-102 「齊定公御年譜草稿 三」(享和三年元旦、文化二年二月二九日) / 一冊(五七丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・八×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装
 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021

0067-103 「齊定公御年譜草稿 四」(文化三年元旦、同五年二月二九日) / 一冊(七四丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装
 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 020-021

0067-104 「齊定公御年譜草稿 五」(文化六年元旦、同八年二月晦日) / 一冊(五八丁)
 / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・一×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装
 紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 泉崎 / 020-021

- 0067-05 「斉定公御年譜草稿 六」(文化九年元旦、二月二九日) / 一冊(八六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 挟込文書あり / 020-021
- 0067-06 「斉定公御年譜草稿 七」(文化一〇年元旦、二月晦日) / 一冊(一六二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・三×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 佐藤・片桐 / 020-021
- 0067-07 「斉定公御年譜草稿 九」(文化一二年元旦、二月晦日) / 一冊(六五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・二×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021
- 0067-08 「斉定公御年譜草稿 十」(文化一三年元旦、二月晦日) / 一冊(五五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021
- 0067-09 「斉定公御年譜草稿 十一」(文化一四年元旦、二月二九日) / 一冊(五〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021
- 0067-10 「斉定公御年譜草稿 十二」(文政元年元旦、二月晦日) / 一冊(四八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021
- 0067-11 「斉定公御年譜草稿 十三」(文政二年元旦、二月二九日) / 一冊(七九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 挟込文書あり / 020-021
- 0067-12 「斉定公御年譜草稿 十四」(文政三年元旦、二月晦日) / 一冊(六〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 020-021
- 0067-13 「斉定公御年譜草稿 十五」(文政四年正月、二月二五日) / 一冊(四八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 020-021
- 0067-14 「斉定公御年譜草稿 十六」(文政五年元旦、二月晦日) / 一冊(六〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・七×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 020-021
- 0067-15 「斉定公御年譜草稿 十七」(文政六年元旦、二月晦日) / 一冊(四四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 泉崎 / 020-021
- 0067-16 「斉定公御年譜草稿 十八」(文政七年元旦、二月晦日) / 一冊(五三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 泉崎 / 挟込文書あり / 020-021
- 0067-17 「斉定公御年譜草稿 二十」(文政九年元旦、二月二九日) / 一冊(四二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・九×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021
- 0067-18 「斉定公御年譜草稿 二十一」(文政一〇年元旦、二月二九日) / 一冊(四九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021
- 0067-19 「斉定公御年譜草稿 二十三」(文政一二年元旦、二月晦日) / 一冊(五五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021
- 0067-20 「斉定公御年譜草稿 二十四」(天保元年元旦、二月晦日) / 一冊(四二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 佐藤 / 020-021
- 0067-21 「斉定公御年譜草稿 二十五」(天保二年元旦、二月晦日) / 一冊(三八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・六 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021
- 0067-22 「斉定公御年譜草稿 二十六」(天保三年元旦、二月晦日) / 一冊(四五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・七×一八・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 020-021
- 0067-23 「斉定公御年譜草稿 二十七」(天保四年元旦、二月晦日) / 一冊(七三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・八×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 挟込文書あり / 020-021
- 0067-24 「斉定公御年譜草稿 二十八」(天保五年元旦、二月晦日) / 一冊(四三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・一×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 挟込文書あり / 020-021

0067-25 「齊定公御年譜草稿 二十九」(天保六年元旦、二月晦日) / 一冊(四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・八×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 020-1021

0067-26 「齊定公御年譜草稿 三十」(天保七年元旦、二月二九日) / 一冊(五九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・四×一八・七 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 山吉 / 挟込文書あり / 020-1021

0067-27 「齊定公御年譜草稿 三十二」(天保八年元旦、二月晦日) / 一冊(六〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・六 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 020-1021

0067-28 「齊定公御年譜草稿 三十二」(天保九年元旦、二月晦日) / 一冊(二六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 020-1021

0067-29 「齊定公御年譜草稿 三十三」(天保一〇年元旦、五月二六日) / 一冊(一一七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・五×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 片桐 / 挟込文書あり / 020-1021

上杉家—歴代年譜—齊憲

0068-01 「齊憲公御年譜草稿 卷之二」(文政三年五月一〇日、天保四年一二月二八日) / 一冊(六三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙袋綴の中に原稿用紙差込あり、反故紙を裏表紙に使用、挟込文書あり / 022-1024

0068-02 「齊憲公御年譜草稿 卷之二」(天保五年元旦、同九年九月二八日) / 一冊(五九丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

0068-03 「齊憲公御年譜草稿 卷之三」(天保一〇年元旦、四月二九日) / 一冊(七四丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

0068-04 「齊憲公御年譜草稿 卷之四」(天保一〇年五月朔日、八月二九日) / 一冊(七七丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

0068-05 「齊憲公御年譜草稿 卷之五」(天保一〇年九月四日、同一一年二月晦日) / 一冊(八五丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・二 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を表紙に使用 / 022-1024

0068-06 「齊憲公御年譜草稿 卷之六」(天保一二年元旦、同一四年二月二九日) / 一冊(七四丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・二×二〇・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

0068-07 「齊憲公御年譜草稿 卷之七」(弘化元年元旦、同二年二月二九日) / 一冊(八〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・二×一九・七 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

0068-08 「齊憲公御年譜草稿 卷之八」(弘化三年元旦、二月二九日) / 一冊(四五丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・二 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

0068-09 「齊憲公御年譜草稿 卷之九」(弘化四年元旦、二月晦日) / 一冊(五一丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・四×二〇・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

0068-10 「齊憲公御年譜草稿 卷之十」(嘉永元年元旦、五月二九日) / 一冊(六一丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・四×二〇・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

0068-11 「齊憲公御年譜草稿 卷之十一」(嘉永元年六月朔日、二月二九日) / 一冊(三五丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・四×二〇・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を表・裏表紙に使用 / 022-1024

0068-12 「齊憲公御年譜草稿 卷之十二」(嘉永二年元旦、二月二九日) / 一冊(八二丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

0068-13 「齊憲公御年譜草稿 卷之十三」(嘉永三年元旦、七月二九日) / 一冊(五七丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を表・裏表紙に使用 / 022-1024

0068-14 「齊憲公御年譜草稿 卷之十四」(嘉永三年八月朔日、二月晦日) / 一冊(六八丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・二 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 反故紙を裏表紙に使用 / 022-1024

- 0068-115 「齊憲公御年譜草稿 卷之十五」(嘉永四年元旦〜二月二九日) / 一冊(五八丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を表・裏表紙に使用 / 022-1024
- 0068-116 「齊憲公御年譜草稿 卷之十六」(嘉永五年元旦〜二月二九日) / 一冊(六一丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・四×一九・八 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を表紙に使用 / 022-1024
- 0068-117 「齊憲公御年譜草稿 卷之十七」(嘉永六年元旦〜六月二九日) / 一冊(九二丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 六〇丁目付箋剥れあり / 022-1024
- 0068-118 「齊憲公御年譜草稿 卷之十八」(嘉永六年七月朔日〜二月晦日) / 一冊(七七丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・〇×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を裏表紙に使用 / 022-1024
- 0068-119 「齊憲公御年譜草稿 卷之十九」(安政元年元旦〜二月二九日) / 一冊(六七丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・二×一九・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-120 「齊憲公御年譜草稿 卷之二十」(安政元年三月朔日〜二月晦日) / 一冊(六三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・二×一九・六 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-121 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿一」(安政二年元旦〜二月二九日) / 一冊(八四丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・二×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を裏表紙に使用 / 022-1024
- 0068-122 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿二」(安政三年元旦〜二月晦日) / 一冊(七六丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・二×一九・八 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-123 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿三」(安政四年元旦〜二月晦日) / 一冊(八〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-124 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿四」(安政五年元旦〜二月晦日) / 一冊(八二丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×一九・七 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 白紙二枚を表紙に使用 / 022-1024
- 0068-125 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿五」(安政六年元旦〜二月晦日) / 一冊(九九丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・二×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を表・裏表紙に使用 / 022-1024
- 0068-126 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿六」(万延元年元旦〜二月晦日) / 一冊(七五丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×一九・八 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-127 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿七」(文久元年元旦〜五月晦日) / 一冊(六七丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を表・裏表紙に使用 / 022-1024
- 0068-128 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿八」(文久元年六月朔日〜二月晦日) / 一冊(四八丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・三 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-129 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿九」(文久二年元旦〜六月晦日) / 一冊(五三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-130 「齊憲公御年譜草稿 卷之三十」(文久二年七月朔日〜九月晦日) / 一冊(六三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-131 「齊憲公御年譜草稿 卷之三十一」(文久二年一〇月朔日〜二月二九日) / 一冊(四九丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・五 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-132 「齊憲公御年譜草稿 卷之卅二」(文久三年元旦〜二月一六日) / 一冊(七六丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・二 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-133 「齊憲公御年譜草稿 卷之卅三」(文久三年二月一七日〜三月七日) / 一冊(八二丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・二 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 反故紙を表紙に使用 / 022-1024
- 0068-134 「齊憲公御年譜草稿 卷之卅四」(文久三年三月八日〜二月晦日) / 一冊(八〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・五×二〇・二 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / ナ〇本 / 022-1024

- 0068-35 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿五」(文久三年四月朔日、五月晦日) / 一冊(五四丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三〇・二〇 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-36 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿六上」(文久三年六月朔日、七月晦日) / 一冊(五六丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・〇〇・二〇・〇 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-37 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿六中」(文久三年八月朔日、九月二日) / 一冊(六〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・〇〇・二〇・〇 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 〇22-1024
- 0068-38 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿六下」(文久三年九月二三日、十二月晦日) / 一冊(四八丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・五〇・一九・七 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 赤ラベル表記無 / 022-1024
- 0068-39 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿七」(元治元年元旦、六月二九日) / 一冊(六七丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・三〇・一九・五 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-40 「齊憲公御年譜草稿 卷之廿八」(元治元年七月朔日、七月晦日) / 一冊(六五丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・〇〇・一九・五 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 墨付六四丁 / 022-1024
- 0068-41 「齊憲公御年譜草稿 卷之三十九」(元治元年八月朔日、十二月二九日) / 一冊(五二丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・二〇・一九・五 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 三二丁目付箋剥れあり、裏表紙に反故紙使用 / 022-1024
- 0068-42 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十」(慶応元年元旦、五月三〇日) / 一冊(六二丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・二〇・一九・三 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 五五丁目付箋剥れあり、反故紙を表紙に使用 / 022-1024
- 0068-43 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十一」(慶応元年六月朔日、十二月二九日) / 一冊(六一丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・四〇・一九・五 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 二〇・三四丁目付箋剥れあり / 022-1024
- 0068-44 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十二」(慶応二年元旦、六月二九日) / 一冊(六八丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・一〇・一九・五 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-45 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十三」(慶応二年七月朔日、十二月晦日) / 一冊(五三丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・〇〇・一九・五 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-46 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十四」(慶応三年元旦、十二月三〇日) / 一冊(七七丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・〇〇・一九・七 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-47 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十五」(明治元年元旦、三月晦日) / 一冊(七〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・八〇・一九・八 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-48 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十六」(明治元年四月朔日、閏四月二九日) / 一冊(六七丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・〇〇・一九・五 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-48-01 伊佐早謙宛 桜井美成書簡(伯爵上杉憲章に依頼の揮毫につき撰文を示して頂きたく) / 一通(二紙) / (昭和二年)七月五日 / 一八・〇〇・六九・〇 / 〇 / 切紙 機械漉紙 / 櫻井美成、伊佐早先生、御侍史、謹啓過日向暑之砌、折返し御句御筆され度候敬具 / 0068-48に挟込 / 封筒あり、昭和二年は封筒の日付印から / 022-1024
- 0068-49 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十七」(明治元年五月朔日、九月二九日) / 一冊(八七丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・一〇・一九・五 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-50 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十八」(明治元年一〇月朔日、十二月二九日) / 一冊(五五丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・二〇・一九・三 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-51 「齊憲公御年譜草稿 卷之四十九」(明治二年元旦、同二年二月三一日) / 一冊(五三丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・八〇・一九・七 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024
- 0068-52 「齊憲公御年譜草稿 卷之五十」(明治一三年元旦、同二年九月二五日) / 一冊(五四丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・〇〇・二〇・〇 / 〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 022-1024

上杉家—編纂物—家譜—三公外史

- 00500101 「三公外史 謙公 一」(上杉謙信の伝記、享祿三年正月二日〜弘治二年八月一七日) / 一冊(四三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 全一〇巻の包紙あり / 009
- 00500102 「三公外史 謙公 二」(上杉謙信の伝記、弘治三年正月二〇日〜永祿六年八月二七日) / 一冊(四四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 009
- 00500103 「三公外史 謙公 三」(上杉謙信の伝記、永祿七年正月〜同一二年二月) / 一冊(四六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 009
- 00500104 「三公外史 謙公 四」(上杉謙信の伝記、元龜元年正月〜天正六年三月一五日) / 一冊(四三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 009
- 00500105 「三公外史 景公 一 五」(上杉景勝の伝記、弘治元年一〇月二七日〜天正一一年一二月一八日) / 一冊(五四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 009
- 00500106 「三公外史 景公 二 六」(上杉景勝の伝記、天正一二年四月〜文祿四年一二月) / 一冊(五二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 009
- 00500107 「三公外史 景公 三 七」(上杉景勝の伝記、文祿五年二月五日〜慶長六年一〇月二八日) / 一冊(五二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 009
- 00500108 「三公外史 景公 四 八」(上杉景勝の伝記、慶長七年元旦〜元和九年三月二〇日) / 一冊(五四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 最後の文として八月に御靈屋建立の記述あり / 009
- 00500109 「三公外史 定公上 九」(上杉定勝の伝記、慶長九年五月五日〜寛永九年一二月二七日) / 一冊(三六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 009

00500110 「三公外史 定公下 十」(上杉定勝の伝記、寛永一〇年正月元日〜正保二年九月晦日) / 一冊(三六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地雲文原表紙 楮紙 / 009

上杉家—編纂物—家譜—大政録

- 16611001 「大政録」(上杉謙信年譜、享祿三年〜天正六年) / 一冊(三五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一五・一 / 縦帳 袋綴冊子装 黒地原表紙 楮紙 / 夕本 林泉文庫 / 表紙裏張紙「謙信公 享祿三年今天正六年迄」 / 無
- 16611002 「大政録」(上杉景勝年譜、弘治元年〜元和九年) / 一冊(八一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・九×一五・一 / 縦帳 袋綴冊子装 黒地原表紙 楮紙 / 二一ノ2 林泉文庫 / 表紙裏張紙「中納言景勝公 天正六年今元和九年迄」 / 無
- 16611003 「大政録」(上杉定勝年譜、慶長九年〜正保二年) / 一冊(四九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一五・一 / 縦帳 袋綴冊子装 黒地原表紙 楮紙 / 二一ノ3 林泉文庫 / 表紙裏貼紙「少将定勝公 元和九年今正保二年迄」 / 無
- 16611004 「大政録」(上杉綱憲年譜、寛永一五年〜寛文四年) / 一冊(四四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・九×一五・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 黒地原表紙 楮紙 / 二一ノ4 林泉文庫 / 表紙裏貼紙「播磨守綱勝公 正保二年今寛文四年迄」 / 無
- 16611005 「大政録」(上杉綱憲年譜、寛文三年〜元禄一六年) / 一冊(九二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一四・九 / 縦帳 袋綴冊子装 黒地原表紙 楮紙 / 二一ノ5 林泉文庫 虫損多 / 表紙裏貼紙「弾正大弼綱憲公 寛文四年今元禄十六年迄」 / 無
- 16601001 国分威胤「大政録 六」(上杉吉憲年譜、元禄一六年〜享保七年) / 一冊(三八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一五・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙 / 国分威胤(朱印) □□書(朱印) / 「存十一冊」の貼紙あり、巻末に国分□□朱印あり / 230
- 16601002 国分威胤「大政録 七」(上杉宗憲年譜、享保七年〜同一七年) / 一冊(二八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一五・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙 / 国分威胤(朱印) □□書(朱印) / 巻末に「羽陽米府大理事 国分左兵衛 平□胤」朱印あり / 230
- 16601003 国分威胤「大政録 八」(上杉宗房年譜、享保一十九年〜延享三年) /

一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・一／豎帳 袋綴冊子装
 縹地後補表紙 楮紙／国分威胤(朱印) □□書(朱印)／巻末に「国分□□」朱印断簡
 あり／230

1660-04 国分威胤「大政録 九」(上杉重定年譜、延享三年、明和四年)／一
 冊(六八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 共
 紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／国分威胤(朱印) □□書(朱印)／巻末に「国分□□」
 朱印あり／230

1660-05 国分威胤「大政録 十二」(上杉鷹山年譜、明和四年、安永九年)／
 一冊(九〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・一／豎帳 袋綴冊子装
 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／国分威胤(朱印) □□書(朱印)／230

1660-06 国分鯤胤「大政録 十二」(上杉鷹山年譜、天明元年、同五年)／一
 冊(三〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 共
 紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／国分鯤胤／230

1660-07 国分鯤胤「大政録 十三」(上杉治広年譜、天明五年、寛政五年)／
 一冊(四〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・九×一五・一／豎帳 袋綴冊子装
 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／国分鯤胤／230

1660-08 国分鯤胤「大政録 十四」(上杉治広年譜、寛政六年、同一二年)／
 一冊(三七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・二／豎帳 袋綴冊子装
 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／国分鯤胤／230

1660-09 国分鯤胤・国分翁胤「大政録 十五」(上杉齊定年譜、天明八年、天
 保一〇年)／一冊(三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・一／豎帳
 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／国分鯤胤編集 同翁胤清書／230

1660-10 国分威胤「大政録 追加」(上杉重定年譜の宝曆七年、明和二年及び
 上杉鷹山年譜の明和五年の補足)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・
 七×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／国分威胤(朱印)
 □□書(朱印)／題箋に「此一冊八十冊目ニシテ追加ナリ」とあり／230

1660-11 国分翁胤「大政録追加並ニ不審 全」(上杉治広年譜等への追記、景
 勝年譜の不審点の指摘)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・二×一五・
 二／豎帳 袋綴冊子装 縹地後補表紙 楮紙／国分五郎字翁胤編集／230

1662 国分翁胤「大政録追加」(上杉謙信から上杉綱憲まで)／一冊(五三丁)／
 江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙

／国分翁胤編集／タ〇本 林泉文庫／表紙に貼紙「明治廿九年九月買入 史料伝記部
 全一」／無

1073-01 国分左兵衛「御書 一 謙信公天文ヨリ永祿マテ」(天文一三年、天
 正五年、上杉謙信の受発給文書の写し)／一冊(一一九丁)／江戸後期(年月日未詳)
 ／二三・三×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装 縹地後補表紙 楮紙／国分左兵衛／コ〇本
 林泉文庫・□・□・□／補修あり、「国印甲 明治卅四年九月買入 史料門 文書部
 共二」の墨書と朱書の貼紙あり、元は三冊を合綴、元の二冊目末尾に朱印あり、「コ〇本」
 ラベルの下に別のラベルあり／167

1073-02 国分左兵衛「御書 二」(天正前期の直江兼統の受発給文書と、越後
 国守護上杉家・守護代長尾家関連文書の写し)／一冊(五九丁)／寛政七年七月二〇日
 ／二三・一×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地後補表紙 楮紙／国分左兵衛／二五ノ
 2 林泉文庫・□・□／「国印甲 明治卅四年九月買入 史料門 文書部 共二」の墨
 書と朱書きの貼紙あり、約1cm四方の朱印(印文不明二つあり)／167

上杉家—編纂物—家譜—大政秘鑑

1659-01 「大政秘鑑 一」(上杉憲実から上杉景勝までの年譜、元和九年まで)
 ／一冊(六五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一六・七／豎帳 袋綴冊子装
 素紙原表紙 楮紙／タ〇本 林泉文庫／「タ〇本」ラベルの下に別ラベルあり／230

1659-02 「大政秘鑑 二」(上杉定勝と綱勝の年譜、慶長九年、寛文四年)／
 一冊(四〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一六・七／豎帳 袋綴冊子装
 素紙原表紙 楮紙／タ〇本 林泉文庫／230

1659-03 「大政秘鑑 三」(上杉綱憲から上杉吉憲までの年譜、寛文三年、享
 保七年)／一冊(六七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・八×一六・七／豎帳 袋
 綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／林泉文庫／230

1659-04 「大政秘鑑 四」(上杉宗憲から上杉鷹山までの年譜、正徳四年、天
 明五年)／一冊(五六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・九×一六・八／豎帳 袋
 綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／林泉文庫／230

1659-05 「大政秘鑑 五終」(上杉治広と上杉齊定の年譜、明和元年から天保
 八年)／一冊(六〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一六・八／豎帳 袋綴
 冊子装 素紙原表紙 楮紙／林泉文庫／230

上杉家—編纂物—家譜—米沢外史

- 0048-001 「米沢外史」(上杉重房から憲基までの略伝)／一冊(四九丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／0048は多くが反古紙を内表紙と裏表紙見返しに貼付、内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用、『上杉家御年譜』明治二六年五月四日条に関連記載あり／008
- 0048-002 「米沢外史」(上杉憲実の略伝)／一冊(四七丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0048-003 「米沢外史」(本庄繁長庄内討伐の説、新発田落城の説、太田資政伝)／一冊(七五丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／反古紙を裏表紙見返しに貼付、内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0048-004 「米沢外史」(太田持資、加地春綱他九名の略伝)／一冊(五三丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0048-005 「米沢外史」(上杉憲将、上杉憲榮他一七名の略伝)／一冊(八四丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／「上杉氏」の野紙利用／008
- 0048-006 「米沢外史」(府中長尾氏、上田長尾氏他三氏の略伝)／一冊(六八丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／反古紙を内表紙とに貼付、内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0048-007 「米沢外史」(上杉謙信に関する「太宗本記」、天正二二年から同一七年頃まで)／一冊(六三丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0048-008 「米沢外史」(長尾本記、大龍寺本記、山本寺勝蔵伝、華岳院本記)／一冊(五二丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／反古紙を裏表紙見返しに貼付、内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0048-009 「米沢外史」(上杉憲忠から憲政までの略伝、安芸藩士天津氏系図)／一冊(四七丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0048-010 「米沢外史」(後北条氏の略伝)／一冊(四八丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0048-011 「米沢外史」(謙信に関する「太宗本記第五」の引用、天正一一年頃まで)／一冊(五四丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0049-001 「米沢外史」(本記第一 不識院)とあり、上杉謙信の伝記、弘治三年まで)／一冊(五四丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008
- 0049-002 「米沢外史」(上杉謙信の伝記、永祿元年、同七年)／一冊(七一丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／伯爵上杉家／内表紙に「石丸献本」の墨書あり、「上杉氏」の野紙利用／008

上杉家—編纂物—家譜—その他

- 0046 「上杉記」(上杉憲実以降の年譜、享祿四年九月、享保一六年正月)／一冊(五〇丁)／近代(年月日未詳)／二三・三×一四・六／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／008
- 0047-001 上杉家譜 一(米沢藩上杉氏の家譜、藤原鎌足から上杉顕定まで)／一冊(三五丁)／近代(年月日未詳)／二三・四×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 紫地七宝繋ぎ後補表紙 楮紙／ウ〇本・上杉家歴史／「ウ〇本」ラベルの下に別のラベルあり／008
- 0047-002 上杉家譜 二(米沢藩上杉氏の家譜、上杉憲房から茂憲まで)／一冊(四九丁)／近代(年月日未詳)／二三・四×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 紫地七宝繋ぎ後補表紙 楮紙／土田泰 撰(朱印)／四七ノ2・上杉家歴史／008

0526 「致知囊」(上杉家歴代当主の経歴、家中の役職他の便覧)／一冊(一九六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一二・四×一九・八／横半帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／チ〇本 林泉文庫／078

0526-01 諸組頭宛 触書(早魃のため、味噌を除く豆腐、菓子類他の大豆製品の生産停止)／一通(二紙)／(嘉永六年)七月／一五・〇×四〇・五／切継紙 楮紙
 ↓諸組頭々／今年非常之早魃二附：被 仰出候事／端裏書「嘉永六年非常之早魃豆製之物御停止 小倉代」／0526-01に挟込「上杉家御年譜」嘉永六年七月九日条に關連記事あり／078

上杉家—編纂物—伝記—謙信

0051 「謙信公景勝公斉憲公御伝」(享禄三年正月二日、明治四年八月一日)／一冊(五五丁)／近代(年月日未詳)／二七・一×一九・四／竖帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／009

1044 片桐成「益言篇」(上杉謙信の伝記と「良将達徳抄」の抄出)／一冊(二二丁)／天保五年八月／二七・五×一八・五／竖帳 袋綴冊子装 縹地菊龍模様原表紙 楮紙
 ↓片桐成／題箋墨書「益言篇 全」／164

1053 「謙景両将記 全」(上杉謙信と景勝の軍功大略、長尾氏略系図、謙信詩歌)／一冊(六三丁)／近代(年月日未詳)／二八・四×一九・六／竖帳 袋綴冊子装 焦茶地原表紙 楮紙／ケ本／裏表紙表側に「時天保四癸巳年 米沢大町上通 大和屋店」とあり、ラベルに鉛筆書きで691と書込みあり／165

1100 「河中嶋合戦弁論」写(紀州藩の軍学者宇佐美定祐による「甲陽軍艦」の川中嶋合戦の記述の検討)／一冊(二九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・六×二〇・三／竖帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地散らし模様後補表紙 楮紙／カ本 林泉文庫／後補表紙の資料名は「河中嶋合戦弁論 全」、原表紙に「国史 雑史一 写本」の貼紙あり／169

1663 耕雲暢月筆「代眠録」写(上杉謙信、景勝、村山真時他家臣の逸話集)／一冊(一〇三丁)／安政乙卯(安政二年)／二三・三×一五・七／竖帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目後補表紙 楮紙／耕運暢月主人／タ〇本／231

1055-01 片桐成「朝陽私史 卷之一」(公室世譜 謙信公上之上)、享禄三年(天文二三年)／一冊(五六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・七×一八・二／竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／片桐成／テ〇本／1055は三友堂蔵版印

あり／165

1055-02 片桐成「朝陽私史 卷之二」(公室世譜 謙信公上之下)、弘治元年(永禄四年)／一冊(七七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・八×一八・一／竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／片桐成／165

1055-03 片桐成「朝陽私史 卷之三」(公室世譜 謙信公中之上)、永禄五年(同八年)／一冊(六二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・八×一八・二／竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／片桐成／卷一、二、四、五、七、八とは筆跡が異なる、後の写しか／165

1055-04 片桐成「朝陽私史 卷之四」(公室世譜 謙信公中之中)、永禄九年(同十一年)／一冊(四七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・七×一八・二／竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／片桐成／165

1055-05 片桐成「朝陽私史 卷之五」(公室世譜 謙信公中之下)、永禄十二年(六六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・八×一八・一／竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／片桐成／165

1055-06 片桐成「朝陽私史 卷之六」(公室世譜 謙信公中之下)、元亀元年(同三年)／一冊(六七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・七×一八・三／竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／片桐成／卷一、二、四、五、七、八とは筆跡が異なる、後の写しか／165

1055-07 片桐成「朝陽私史 卷之七」(公室世譜 謙信公下之中)、天正元年(同三年)／一冊(四八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・七×一八・二／竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／片桐成／165

1055-08 片桐成「朝陽私史 卷之八」(公室世譜 謙信公下之下)、天正四年(同六年)／一冊(四四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・七×一八・三／竖帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／片桐成／165

上杉家—編纂物—伝記—景勝

0070 「景勝公一代略記」(御館の乱から死去に至るまでの事跡)／一冊(二八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二七・二×二〇・〇／竖帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／カ〇本 伊佐早兼古書之宝・林泉文庫／嘉永二年の目録(1457-116)に記載あり／025

1699 「南都献灯濫觴書」写（奈良春日神社への石灯籠献納のこと、江戸時代初期等における上杉家の灯籠献納の経緯他）／一冊（二五丁）／安政二年八月／二三・三×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙カ 楮紙／図書第八号 御記録所／下小口に「春日献灯書」の墨書あり、原本の成立は文化一〇年以降／無

上杉家—編纂物—伝記—鷹山

0072 「餐霞館遺事後録 求民篇」写（上杉鷹山の言行録、原本の作者は服部豊山、天保二年の作）／一冊（一九丁）／天保一〇年九月／二八・八×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黒地原表紙 楮紙／サ〇本 羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／同じ蔵書印二カ所あり、「サ〇本」の下に別のラベルあり／025

0404 「花すり衣」(鷹山が家族等に与えた教訓書、「老の心」「桃の若葉」他六種)／一冊(九六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 黄緑地枝立橋文原表紙 楮紙／銀杏の葉三枚挟込／048

0405 日尾邦子筆「鷹山君女訓八種 完」写(鷹山が一族の子女に与えた女訓八種)／一冊(六一丁)／安政二年／二七・〇×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／日尾のくに子書／和歌一首挟込、庄内の板垣貞保らが天保九年に米沢で書写し、さらに日尾が筆写したものの048

1665 平範明筆「米沢街評記 全」写(七家騒動と竹俣当綱隠居の詳細、鷹山の名君録)／一冊(七五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・三×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／ヨ〇本 林泉文庫／巻頭・巻末に歌あり、平範明写しとの記載、表紙に貼紙「在旧藩史料 政事 一 写本」、墨書「夏井蔵書」あり／231

1694 盛孝筆「燕翼篇」写(馬場頼綱の退隠後による、上杉鷹山の改革における産業振興策の沿革の逸話他)／一冊(四四丁)／享和二年孟冬／二三・五×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／盛孝／乙第一一六号古文書図書経巻佛像佛燕翼篇一冊倉庫階下善箱番号欄 御記録所・伯爵上杉家／原表紙に「同校忠敏 盛孝」の墨書あり／無

1696 「越楚後編」(上杉鷹山の言行録)／一冊(三九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・五×一六・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／□三／背の部分を表紙と同じ紙でくるむ、作成年代は文化八年以降、作者は深沢昌郷と推定／無

1718 「三思齋叢書 燕翼篇」(燕翼篇の抄録、上杉鷹山の逸話と、藩内産物振興策の沿革他)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳

袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目に茶格子刷毛目原表紙 楮紙／サ〇本／享和二年孟冬の服部正相の序あり、「サ〇本」ラベルの下にもう一枚別のラベルあり／無

上杉家—編纂物—系図

0029 「上杉家御系図 全」(天御中主尊から関東管領上杉憲政の子憲藤まで)／一冊(二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／ウ〇本 石坂蔵書／補修あり、表紙に墨書「十六」等あり、裏表紙に墨書「西村久印」とあり／003

0030 「上杉御系図」(大織冠鎌足から八代藩主上杉重定まで)／一冊(八〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二四・二×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／一丁目に墨書「羽州米沢 蘆川蔵書」とあり／003

0031 「上杉系図」(大織冠鎌足から上杉姓を名乗った重房の子頼重まで)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三七・一×五三・八／豎紙 楮紙／上杉系図末孫略之：女子号西御方／ウ〇本／朱書きの合点あり／003

0032 「上杉重房以来同定勝以前系譜書上」写(上杉弾正大弼作成、原本は文化八年閏二月付)／一冊(二八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・六×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／表紙に貼紙「国史系譜 一 写本」あり、「ウ〇本」の下に別のラベルあり、上杉弾正大弼は治広／003

0033 「上杉家系図」(大織冠鎌足から三代藩主上杉綱勝まで)／一帖(二五紙)／江戸中期(年月日未詳)／三四・五×二二・五／折本 折本 紺地原表紙 楮紙／ウ〇本・二五／ヘラ跡あり／003

0034 「上杉家系譜」(上杉輝虎から十代藩主上杉治広までの一代毎の親族書上)／一通(九紙)／江戸後期(年月日未詳)／八九・〇×一一・七／継紙 楮紙／裏打あり／ヘラ跡あり／003

0037 「藤原氏系図 上杉家」(天御中主尊から六代藩主上杉宗憲まで)／一冊(四〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二四・三×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 焦茶地原表紙 楮紙／フ〇本 林泉文庫／表紙に「徳間」の墨書、題箋の残欠あり／003

0038 「上杉系図 付長尾系図」(上杉家は国常立尊から上杉謙信まで、長尾家は桓武天皇から謙信を経て治広まで)／一卷(一三紙)／江戸中期(年月日未詳)／二七・

五×四六六・七／継紙 楮紙／後補の紙を貼り付けて表紙としている／003

0039 「長尾氏系図」(「長尾正統之系図」桓武天皇から長尾景光までの嫡流家、及び足利・越後・総社長尾系図)／一冊(三九丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／林泉文庫／003

0040-01 「御継図集」(上杉家系図からの抜書、上杉謙信から綱憲まで)／一冊(一一丁)／江戸前期(年月日未詳)／二三・二×一六・二／縦帳 紙釘装冊子装 共紙原表紙 楮紙／コ〇本／0040-01-02合綴／コ〇本ラベルの下に別のラベルあり、江戸後期または近代の後筆あり／003

0040-02 「大神姓尻高家系」(米沢藩士馬廻組尻高氏の系図、姥嶽大明神から光興まで)／一冊(二五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一五・〇／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0040-01-02合綴／墨付一八丁／003

1057 「御当方御継図」(越後守護上杉氏、上条上杉氏、越後長尾氏の系図)／一冊(一二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一五・六／縦帳 袋綴冊子装 紺地に扇織後補表紙 楮紙／貴テ〇本／後補表紙「天文上杉長尾系図」、後補裏表紙の内側に弘化四年に(寺島)貞経が記した識語の貼紙あり／166

1060 「長尾上杉系図」(上杉重房から綱憲、上田長尾氏の政景・景勝、綱憲に至る長尾氏他の系図、関東管領の子細)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一七・一×八・四／縦帳 折本 縹地原表紙 楮紙／ナ〇本／表紙に「国史 系譜 一 写本」の貼紙あり／166

1599 外姻譜略(上杉氏と縁組の一族徳川家、畠山家他三〇家)／一冊(八四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・五×一七・九／横半帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／225

上杉家—先例集—定例明鑑

0538-01 「定例明鑑 一」(序、諸起源、上杉家代々判鑑、輝虎公軍列配置)／一冊(七二丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／編集総監森利真他三名／079-080

0538-02 「定例明鑑 二」(分家、親類、一族、隠居家督相続格式)／一冊(六五丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮

紙／079-080

0538-03 「定例明鑑 三」(上杉家歴代叙任、幕府献上物、上使取扱他)／一冊(五五丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／079-080

0538-04 「定例明鑑 四」(諸役人次第勤方、家中祝儀献上、祝儀代上納)／一冊(六六丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／079-080

0538-05 「定例明鑑 五」(御堂年中行事、御参詣の寺社仏閣と寺社領、二之丸寺院事跡)／一冊(六四丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／079-080

0538-06 「定例明鑑 六」(米府年中行事 卷一 元旦)／一冊(二四丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／天保九年一〇月、この一冊は散逸したので宝暦一〇年の日帳から補った旨の朱筆書込みあり／079-080

0538-07 「定例明鑑 七」(米府年中行事 卷二 正月二日〜五日)／一冊(四二丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／079-080

0538-08 「定例明鑑 八」(米府年中行事 卷三 正月六日〜十五日)／一冊(五七丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／079-080

0538-09 「定例明鑑 九」(米府年中行事 卷四 正月〜二月)／一冊(六〇丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／079-080

0538-10 「定例明鑑 十」(上杉綱憲入部、御境上覧、上覧鉄砲、赤湯御入湯他行列、御本陣備の図、綱勝の北条郷狩野一件)／一冊(六五丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／079-080

0538-11 「定例明鑑 十一」(鉄砲起本、鉄砲流儀の由来、稽古定、追廻馬場鉄砲上覧の始他)／一冊(六七丁)／宝暦一〇年三月／二二・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／079-080

0538-112 「定例明鑑 十二」(追廻馬場普請始事附御殿守馬場守之事、馬場之図、馬上覽之一巻、弓上覽之一巻、鷹上覽之事他) / 一冊(三二丁) / 宝曆一〇年三月 / 二〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 裏打あり / 079-1080

0538-113 「定例明鑑 十三」(綱木境、小国境、柗窪境他諸境上覽、巡見行列の次第) / 一冊(六一丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-114 「定例明鑑 十四」(御鷹の鶴拜領、鶴御啓、御祝御囃子番組他) / 一冊(四二丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-115 「定例明鑑 十五」(米沢御内入以来掟書略目録 上 慶長八年一〇月 / 享保五年四月) / 一冊(六九丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-116 「定例明鑑 十六」(御条書目録 下 享保二年八月 / 宝曆八年三月) / 一冊(四七丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-117 「定例明鑑 十七」(諸番所勤方、火事場勤方他) / 一冊(六一丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-118 「定例明鑑 十八」(御入部御規式 卷上 御暇から御帰国御礼使者勤方) / 一冊(六八丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-119 「定例明鑑 十九」(御入部御規式 卷下 御家中諸御礼、御能、御上下の格式) / 一冊(七〇丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-120 「定例明鑑 二十」(尾張家使者到着取扱、二之丸役寺御掟他) / 一冊(三七丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-121 「定例明鑑 廿一」(御忌日精進日、上杉謙信百五十年法要の式他) / 一冊(七二丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-122 「定例明鑑 廿二」(江戸年中行事略目録) / 一冊(四八丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-123 「定例明鑑 廿三」(將軍宣下並御家督の節老中招請の次第) / 一冊(六二丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-124 「定例明鑑 廿四」(火の御役略記) / 一冊(三二丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

0538-125 「定例明鑑 廿五大尾」(御代々御手伝普請の部略記) / 一冊(三四丁) / 宝曆一〇年三月 / 二二・八×一五・二 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 079-1080

上杉家—先例集—定例龜鑑

0539-101 「定例龜鑑 目録」(各巻の記載内容) / 一冊(二四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・五×一五・四 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 無

0539-102 「定例龜鑑 一」(上杉景勝以来鶴御拝領のこと) / 一冊(五九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一四・八 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 無

0539-103 「定例龜鑑 二」(宿次を以て御鷹の鶴拜領のこと) / 一冊(五七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・八×一四・八 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 無

0539-104 「定例龜鑑 三」(宿次の鶴御拝領について米沢手配より御啓までの次第) / 一冊(三九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・八×一四・八 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 無

0539-105 「定例龜鑑 四」(定勝、綱勝御代御使者) / 一冊(二六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一四・七 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 無

0539-106 「定例龜鑑 五」(柳營使、延宝七年六月 / 安永二年) / 一冊(五四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一四・七 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙 / 無

楮紙／無

0539-107 「定例龜鑑 六」(禁裏使、御即位、貞享四年～宝曆三年)／一冊(六九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・八×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／裏表紙は縹色／無

0539-108 「定例龜鑑 七」(禁裏使、御入内使、寛文九年～文政八年)／一冊(三〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／裏表紙は縹色／無

0539-109 「定例龜鑑 八」(禁裏使、内裏災上、移徒、疵瘡、崩御)／一冊(三二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・八×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-110 「定例龜鑑 九」(帰国御礼使者の事他)／一冊(三二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-111 「定例龜鑑 十」(他邦不時使、寛文四年～明和九年)／一冊(五一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-112 「定例龜鑑 十一」(上杉綱憲、吉憲、宗房の綱木、小国御境上覧の事)／一冊(五四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・六×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-113 「定例龜鑑 十二」(上杉綱憲、吉憲、宗憲、宗房の御国境上覧の事)／一冊(五八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・六×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-114 「定例龜鑑 十三」(上使を以て拝領物仰せ付らること他、各種拝領)／一冊(六一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-115 「定例龜鑑 十四」(赤湯御入湯、御野合、御鷹野、高湯小野川見物)／一冊(七六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・六／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-116 「定例龜鑑 十五」(鉄砲矢数ならび町場のこと他鉄砲関連)／一冊(八四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-117 「定例龜鑑 十六」(遠町上覧、鉄砲流儀由来他鉄砲関係)／一冊(七三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・五×一五・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-118 「定例龜鑑 十七」(上覧鉄砲役所取量方)／一冊(四六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・五×一四・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-119 「定例龜鑑 十八」(弓上覧のこと)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-120 「定例龜鑑 十九」(御留守年登城の例)／一冊(四六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・八×一四・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-121 「定例龜鑑 廿」(六十番御褒美、御加増他)／一冊(二九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-122 「定例龜鑑 二十一」(上杉謙信法養の次第)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-123 「定例龜鑑 二十二」(上杉景勝法養の式他)／一冊(六六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-124 「定例龜鑑 二十三」(御忌日御精進日、江戸浅草宝蔵院位牌寺の由緒)／一冊(三〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-125 「定例龜鑑 二十四」(奉行、江戸家老、侍頭他の隠居願書例他)／一冊(五三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-126 「定例龜鑑 二十五」(高家衆、侍頭隠居家督の例他)／一冊(三二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・六×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／無

0539-127 「定例龜鑑 二十六」(奉行隠居家督在国の例、奉行隠居願申立て他)／一冊(七二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・七×一四・七／豎帳 袋綴冊子装

白茶地原表紙 楮紙/無

0539-28 「定例龜鑑 二十七」(変格、將軍家薨につき初回一式の部、徳川家康以来忌日) / 一冊(一〇九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二二・六×一四・八 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙/無

0539-29 「定例龜鑑 二十八」(御尋事、御吟味事、町奉行所詮議他) / 一冊(五七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二二・六×一四・八 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙/無

0539-30 「定例龜鑑 二十九」(切腹、改易、閉門、遠慮、慎他) / 一冊(六三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二二・七×一四・八 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙/無

0539-31 「定例龜鑑 三十 大尾」(一類白分遠慮御定) / 一冊(三九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二二・七×一四・七 / 豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙/無

0540-01 「定例龜鑑 一 二」(上杉定勝以来宿次、鶴拝領の部) / 一冊(八五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・九×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/圖書第四七号 / 虫損多く裏打あり / 〇81

0540-02 「定例龜鑑 三 四 五」(鶴拝領につき米沢手配並び御啓までの次第、定勝・綱勝御代御使者、柳宮使) / 一冊(九五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・一 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-03 「定例龜鑑 六 七」(貞享四年、宝暦一三年の禁裏使御即位、寛文九年、安永元年の禁裏使御入内) / 一冊(七二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-04 「定例龜鑑 八 九」(内裏炎上、移徙、疱瘡、崩御による禁裏使、帰国御礼他の各使者勤) / 一冊(六四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-05 「定例龜鑑 十 十一」(他国不時使、綱憲入部欽使者到着他、各種使者) / 一冊(五四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-06 「定例龜鑑 十二 十三 同下」(上使拝領成下さる例、年中精勤の面々に褒美他、上杉綱憲から宗房まで御境上覽) / 一冊(一四五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

〇81 / 二八・八×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-07 「定例龜鑑 十四」(赤湯御入湯、野合、鷹野の事、高湯小野川御見物のこと) / 一冊(七二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-08 「定例龜鑑 十五」(鉄砲矢数並町場、侍組鉄砲筒数、鉄砲山場所他) / 一冊(一九九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・九×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-09 「定例龜鑑 十六 十七」(上覽鉄砲役所量の次第、弓上覽) / 一冊(五六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-10 「定例龜鑑 十八 十九」(御留守年登城の例、六十番御褒美下さる例他) / 一冊(六九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-11 「定例龜鑑 二十 二十一」(上杉謙信法要の次第、景勝以来法要) / 一冊(九二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・九×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-12 「定例龜鑑 二十二 二十三」(忌日精進日、浅草宝蔵院御牌寺の由緒、奉行等諸組隠居願書の例他) / 一冊(六五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・〇×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-13 「定例龜鑑 二十四 二十五」(高家衆隠居家督、侍頭隠居家督、同死跡相続の例、奉行隠居家督在国の例他) / 一冊(一〇三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-14 「定例龜鑑 二十六 二十七」(変格、將軍家薨去につき動向一式、御尋事、御吟味) / 一冊(二三三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0540-15 「定例龜鑑 二十八 二十九 終」(切腹、改易、閉門、遠慮、付火等に慎みの例他、一類自分遠慮) / 一冊(八八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・八×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/〇81

0541 「御在府年於御国奉行江戸家老被 仰付先例書拔并定例龜鑑書拔□□に」(御在府年国元にて奉行・江戸家老任命の先例書拔、定例龜鑑書拔) / 一冊(五三丁) / 江

戸後期(年月日未詳)／一四・四×一八・〇／横半帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙
 /ウ〇本 林泉文庫／表紙に後年の墨書「上杉藩先例龜鑑」／082

上杉家—儀礼・儀式—年中行事

0253 「年始御規式」(元禄二二年正月一五日まで、江戸での年始の準備や作法、献上品)／一冊(三八丁)／(元禄二二年一月)／二〇・五×一〇・〇／縦帳 折本 共紙原表紙 楮紙／ネ〇本 伊佐早兼古書之宝・林泉文庫／表紙込八八折、裏に四か所墨書あり／035

0254-01 「御留守居「年始御規式帳」」(寛政七年正月一五日まで、江戸での年始の準備や作法、献上品)／一冊(七九丁)／(寛政七年一月)／二四・四×一六・六／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御留守居／墨付七八丁、表紙に御留守居の貼紙あり、背を別紙で包む／035

0254-02 「御留守居「年始御規式帳」」(享和三年正月一五日まで、江戸での年始の準備や作法、献上品)／一冊(七五丁)／(享和三年一月)／二三・六×一六・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御留守居／墨付七四丁、表紙に御留守居の貼紙あり、内貼紙有、背を別紙で包む／035

0255 「奥御取次「年始御略式之行事」」(慶応三年正月一五日まで、米沢での年始の準備や作法、献上品)／一冊(五四丁)／(慶応三年一月)／二三・四×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／奥御取次／ネ〇本 林泉文庫／墨付五三丁、一部加筆を目的とした貼紙あり／035

0256 「上杉家行事日記」(正月一五日まで、米沢での年始の準備や作法、献上品)／一冊(一四〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・七×二〇・六／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／綴じ紐は藁紐に交換されている／035

0563 「年中行事」(歳暮等の祝儀、米沢城・江戸屋敷の規模、米沢藩領の関所・札立場他)／一冊(一九丁)／江戸後期(年月日未詳)／七・五×一七・三／横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／毛利蔵書・伯爵上杉家／085

1114-04 「名前書」(正月の太刀献上を行う者、高家衆以下侍組計七九名)／一通(八紙)／江戸中期(年未詳) 一二月九日／一六・一×三一〇・五／切継紙 楮紙／安田若狭／一御太刀一腰：相渡申候／柱題「正月元日侍組御礼之次第」、色部又四郎と松木内匠部分に当時御使者勤留守とあり、幼少につき出仕しない者の中に広居兵八郎とあり、享保一九年家督の広居忠往カ／170

上杉家—儀礼・儀式—隠居・家督

0079-01 「御隠居御家督別帳 上巻」(上杉鷹山から治広への家督継承、天明四年一〇月三日～五年二月一五日)／一冊(二七三丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・八×二〇・三／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／027

0079-02 「御隠居御家督別帳 下巻」(天明五年二月一六日～六月二五日)／一冊(一五二丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・〇×二〇・三／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／027

0080-01 「御隠居御家督別帳 上巻」(上杉治広から斉定への家督継承、文化九年二月一四日～九月八日)／一冊(二二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・四×二〇・九／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／027

0080-02 「御隠居御家督別帳 中巻」(上杉治広から斉定への家督継承、文化九年九月九日～十一月一〇日)／一冊(一〇五丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・一×二一・〇／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／027

0080-03 「御隠居御家督別帳 下巻」(上杉治広から斉定への家督継承、文化九年九月)／一冊(七〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・一×二一・三／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／027

上杉家—儀礼・儀式—婚礼

0091 「從松平薩摩守様御結納来留」(上杉綱憲養女鶴姫が薩摩藩島津綱貴へ嫁入りにつき)／一冊(四七丁)／延宝二年六月四日／二三・八×一五・九／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／墨付四三丁／028

0092 「紀伊中納言様江御結納御進物之牒」(上杉綱憲と紀州藩徳川光貞娘栄姫の結納につき)／一冊(六八丁)／延宝二年七月二六日／二三・八×一五・四／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／028

0093 「紀伊中納言様江御結納御進物之帳」(上杉綱憲と紀州藩徳川光貞娘栄姫の結納につき)／一冊(五〇丁)／延宝二年七月二六日／三一・〇×二一・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／イ〇本・八七 林泉文庫／後補外題「延宝二伊紀家江結入進物帳完」、原表紙は二重、墨付四五丁／029

0094 「綱憲公御祝言之日今御三目迄御規式」(綱紀婚礼後の儀式)／一冊(一〇三丁)／延宝六年／二九・七×二〇・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／ツ〇本 林泉文庫／後補外題「綱憲公御祝言全」／029

0095 「御初老御祝行事」(江戸桜田屋敷で行われた上杉重定四〇歳祝い)／一冊(二八丁)／宝暦九年一月二八日／一四・九×二二・二／横半帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／コ〇本／末尾に「森平右衛門利直納置之」とあり／029

0096 役所「八月廿三日御吉辰二付御婚礼御用諸事量帳」(上杉鷹山と幸姫の婚礼準備)／一冊(六二丁)／明和六年七月／二四・九×一五・六／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／役所／029

0097-01 「御婚姻被為濟候段申来候節之行事」(上杉茂憲婚礼後の行事)／一冊(二九丁)／嘉永元年六月／二四・五×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0097-01-09紐・袋一括／「嘉永元年六月 御前様御婚礼一式 毛利」と書かれた袋に一括／029

0097-02 「御結納相済候段申来候節之行事」(上杉茂憲結納後の儀礼につき)／一冊(一〇丁)／嘉永元年六月／二四・四×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0097-01-09紐・袋一括／029

0097-03 「御前様御入興二付御方々様江御土産物被進随而夫々御目録等成下候段申来候二付而之行事」(上杉茂憲へ松平頼胤の妹郁の入興につき)／一冊(五丁)／嘉永元年六月／二四・四×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0097-01-09紐・袋一括／029

0097-04 「今般御婚姻被為濟候御祝儀献上之面々江御祝被成下差紙并達書面々案」(上杉茂憲へ松平頼胤の妹郁の入興につき)／一冊(二四丁)／嘉永元年六月／二四・四×一六・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0097-01-09紐・袋一括／029

0097-05 「御婚姻被為濟候付祝儀献上之列江被成下候行事」(上杉茂憲の婚礼後の祝儀献上、家臣への御礼につき)／一冊(一五丁)／嘉永元年六月／二四・五×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0097-01-09紐・袋一括／029

0097-06 「御三ツ目御祝随而御智入御前様御里披被為濟候段申来候節之行事」(上杉茂憲婚礼三ツ目祝い)／一冊(一〇丁)／嘉永元年六月／二四・五×一六・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0097-01-09紐・袋一括／029

0097-07 「御三ツ目御祝随而屋形様御智入御前様御里啓被為濟候段申来候付為御知等之案」(上杉茂憲婚礼三ツ目祝い)／一冊(一七丁)／嘉永元年七月／二四・六×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0097-01-09紐・袋一括／029

0097-08 「御舅入被為濟候段申来候節之行事」(上杉茂憲婚礼関係)／一冊(五丁)／嘉永元年一〇月／二四・四×一六・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0097-01-09紐・袋一括／029

0097-09 「御舅入被為濟候段申来候節之行事」(上杉茂憲婚礼関係)／一冊(五丁)／嘉永元年一〇月／二四・四×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0097-01-09紐・袋一括／029

上杉家—儀礼・儀式—初入部

0081-01 御蔵方「御道中御供廻御借将衣速御窺帳」(上杉鷹山初入部時の供廻衣装の種類・数量につき)／一冊(一三丁)／明和五年九月一〇日／二四・五×一六・九／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御蔵方／027

0081-02 嶋・馬場「御入部二付御道具御仕立御入料留帳」(上杉鷹山初入部時に新調した物品の経費内訳)／一冊(三七丁)／(明和六年カ)／二四・八×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／嶋・馬場／0081-02-01-05紙縫綴冊子に結付／付箋等の付属資料多数、表紙に「明和五年一月」の墨書があり留帳が書き始められた時期か／027

0081-02-01 御台所覚書(御膳用の食材の配分につき)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳)一〇月／一五・三×二二・八／切紙 楮紙／御台所／一 吉石三斗五升 小国：御膳料定漬□□御座候以上／0081-02-01-05紙縫綴冊子に結付、02-01-03巻込一括／柱題「覚」、年代は明和六年頃カ／027

0081-02-01-02 御台所覚書(御膳用に用いる鮎につき)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)一〇月／一四・七×三八・六／切紙 楮紙／御台所／一 式拾白こ之鮎：右之通御膳料二御被下／0081-02-01-05紙縫綴冊子に結付、02-01-03巻込一括／柱題「覚」、年代は明和六年頃カ／027

0081-02-01-03 御台所覚書(御膳用の大根漬、奈良漬、紫蘇漬、漬梅等の数量)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)一〇月／一四・九×三五・九／切紙 楮紙／御台所／一 五拾本 大根漬：御膳料御漬入御座候以上／0081-02-01

〇〇五紙縫で冊子に結付、〇二—〇一—〇三巻込一括／柱題「覚」、年代は明和六年頃カ
／〇二七

〇〇八1—02—02 御台所伺書（御膳用独活、蕨、竹の子漬け入りにつき）／一通（三紙）／（明和六年）四月／一五・二×二一・一／切継紙 楮紙／御台所／一 五拾把 独活：御伺申上候以上／端裏書「明和六年四月五日申渡ス独活蕨竹ノ子御漬入ノ事」／〇〇八1—02—01—〇五紙縫で冊子に結付／柱題「覚」、伺いの通りの旨の役所元メ所の数量訂正の下げ札あり／〇二七

〇〇八1—02—03 御台所伺書（御膳用くき菜漬け入りにつき）／一通（三紙）／江戸中期（年未詳）一〇月／一五・四×二二・八／切継紙 楮紙／御台所／一 三×くき菜：両様御伺申上候以上／〇〇八1—02—01—〇五紙縫で冊子に結付／柱題「覚」、伺いの通りの旨の役所元メ所の下げ札、役所の裏書あり／〇二七

〇〇八1—02—04 御台所伺書（御膳用青梅漬け入りにつき）／一通（三紙）／江戸中期（年未詳）五月／一五・五×二一・五／切継紙 楮紙／御台所／一 二升 青梅：御伺申上候以上／端裏書「五月十五日申渡ス」／〇〇八1—02—01—〇五紙縫で冊子に結付／柱題「覚」、伺いの通りの旨の役所元メ所の下げ札／〇二七

〇〇八1—02—05 覚書（御入り部御膳用の漬物の漬け込み量）／一通（一紙）／（明和四年）九月三日／一四・六×二五・二／切紙 楮紙／一 三拾本 粕漬：相量候以上／〇〇八1—02—01—〇五紙縫で冊子に結付／柱題「覚」、作成者は御台所カ／〇二七

〇〇八1—03 御細工所「諸御塗物御入料積申上候帳」（上杉鷹山入部に伴う塗物の仕様と見積）／一冊（六七丁）／明和五年一月／二四・八×一五・八／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御細工所／付箋の貼付け多数あり／〇二七

〇〇八1—03—01 御細工所伺書（漆浅布の類請取り申さずとも間に合いにつき）／一通（一紙）／（明和五年）二月二四日／一五・〇×三五・七／切紙 楮紙／御細工所／一 七膳：奉存候已上／〇〇八1—03—01—〇四紙縫で冊子に結付／柱題「覚」、表書の通り計らうべき旨の役所裏書あり／〇二七

〇〇八1—03—02 御細工所見積書（うどん箱類御入料）／一通（一紙）／（明和五年）二月一〇日／一四・二×三六・四／切紙 楮紙／御細工所／一 六枚：積りを以申上候以上／〇〇八1—03—01—〇四紙縫で冊子に結付／柱題「覚」、表書の通り計らうべき旨の役所裏書あり／〇二七

〇〇八1—03—03 覚書（煙草盆他数量）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／一四・五×三四・一／切紙 楮紙／御細工所／一 四通：すぞきニシテ／端裏書「御

細工所」／〇〇八1—03—01—〇四紙縫で冊子に結付／柱題「覚」／〇二七

〇〇八1—03—04 御細工所見積書（提子他三品の仕様詳細と代金）／一通（三紙）／（明和五年）三月一六日／一五・二×八七・五／切継紙 楮紙／御細工所／一 式ツ：積りを以申上候以上／〇〇八1—03—01—〇四紙縫で冊子に結付／見積の通り計らうべき旨の役所奥書あり、柱題「諸品御塗物御入料積り」／〇二七

〇〇八1—04 御細工所「御入り部御用御塗物目録」（上杉鷹山初入りにつき部署別道具類と御入料不足勘定）／一冊（二二丁）／明和六年五月／二四・八×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御細工所／〇二七

〇〇八1—05 佐藤鴨左衛門「御入り部二付諸御用人馬差引書上目録」（上杉鷹山初入りにつき）／一冊（二三丁）／明和六年一〇月／二四・〇×一七・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／佐藤鴨左衛門／役所の下げ札と山崎十次郎の奥書あり／〇二七

〇〇八1—06 御日小屋宛 御台所「御家督之御祝御家中江被成下候付御台所惣御入料書上」（食材代金お渡し下さるべく）／一冊（六丁）／明和六年二月二八日／二四・七×一五・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御台所／御日小屋／〇二七

〇〇八1—07 「御寝間御湯殿御道具御用意帳」（上杉鷹山初入りの際の寝室や風呂の道具の図面帳）／一冊（一〇丁）／（明和六年）／二三・七×一六・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／付箋貼付あり／〇二七

〇〇八1—07—01 佐藤左七何書（上杉鷹山入部後、重定と勝熙が御入りの際平常の御道具使用の可否）／一通（二紙）／（明和五年カ）三月一日／一五・一×五三・八／切継紙 楮紙／佐藤左七／右御道具に付：申上候以上／継目剥離／〇〇八1—07—01—〇二は紙縫で冊子に結付／〇二七

〇〇八1—07—02 佐藤左七何書（来々御入り部の品々の内御訛え分は江戸表にて蓼沼平太へ相談につき）／一通（二紙）／（明和五年カ）三月一日／一六・二×五一・八／切継紙 楮紙／佐藤左七／来々御入り部：御伺申上候以上／〇〇八1—07—01—〇二は紙縫で冊子に結付／〇二七

〇〇八1—08 「御道具帳」（上杉鷹山初入り部後の御殿で用いる道具類）／一冊（六丁）／（明和六年）／二五・四×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／〇二七

〇〇八1—09 「御道具帳」（心付きの御手回り品内々申し上ぐ）／一冊（三丁）／（明和六年）／二五・二×一五・八／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／付箋貼付あり

り／027

0081110 「御家督之御祝被成下帳」(上杉鷹山入部時の家臣団への酒肴下賜)／一冊(三二丁)／明和七年／二四・八×一五・二／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／朱筆、貼紙の訂正多数／027

0081111 役所「来年御入部付而御用御道具蓼沼平太指下候御品々留帳」／一冊(五丁)／明和五年二月／三八・〇×一五・〇／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／役所／027

0081112 役所「伝馬帳」(家臣別の伝馬、歩行夫人数)／一冊(五丁)／明和六年一〇月／三九・〇×一四・四／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／役所／027

0081113 役所「御下向ニ付而御借人馬書立帳」(御借人を含む家臣別の供廻構成)／一冊(九丁)／明和六年一〇月／三八・〇×一四・五／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／役所／027

0081114 原田源兵衛「御入部ニ付為御祝儀罷越申候福嶋先奉大川原幾右衛門甚野五右衛門両人江御賄被成下十一月十三日晚今同十六日朝迄献立并御入料書上帳」／一冊(七丁)／明和六年一月／三七・五×一四・八／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／原田源兵衛／027

0081114-01 原田源兵衛覚書(素泊まり分一二貫二九六文を計上)／一通(一紙)／(明和六年)一二月／三七・五×一四・八／切紙 楮紙／原田源兵衛／吾人言泊り分：御座候以上／0081114に紙縫綴／柱題「覚」、申出の通り取り計らうべき旨の役所・元々書の付札あり／027

0081115 原田源兵衛「御入部ニ付為御祝儀罷越候福嶋御殺宿金沢弥五兵衛上下式人寅二月五日晚今同月十四日朝迄御賄被成下候献立并御入料書上帳」／一冊(一九丁)／明和七年二月／三七・八×一五・二／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／原田源兵衛(黒印)／027

0082101 「斉憲公御初入り部別冊 五冊之内二」(御用掛任命、申渡書、御知らせ、書状、触書他五ヶ条)／一冊(二八三丁)／天保一〇年五月／二六・八×一八・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／図書第八四号／028

0082102 「斉憲公御初入り部別冊 五冊之内二」(御入部御規式、御触、達書他三ヶ条)／一冊(二八三丁)／天保一〇年五月／二七・〇×一八・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／途中から綴じ紐破損／028

0082103 「斉憲公御初入り部別冊 五冊之内三」(御条目御渡しにつき書面、同行事城内巡覧他八ヶ条)／一冊(二五九丁)／天保一〇年五月／二七・〇×一八・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／028

0082104 「斉憲公御初入り部別冊 五冊之内四」(御家督御祝につき人頭書上、同触書他一〇ヶ条)／一冊(二二二丁)／天保一〇年五月／二七・〇×一八・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／028

0082105 「斉憲公御初入り部別冊 五冊之内五」(祝儀のため来訪した他国者対応の記録)／一冊(九五丁)／天保一〇年五月／二七・〇×一八・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／表紙に「他邦者被召出」とあり／028

0083 「斉憲公為御看病御出府別冊」(上杉斉定の看病のため、御達書、道中心得、行事、行列)／一冊(六九丁)／天保一〇年二月／二六・八×一八・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／図書第八五号／028

0084 「斉憲公御遺領御相続別冊」／一冊(二二二丁)／天保一〇年三月／二七・一×一八・八／縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／図書第八六号／028

0085 役人衆宛 長尾久右衛門願書(上杉斉憲初入り部につきお目見え執り成し願)／一通(三紙)／天保一〇年七月／二九・五×六〇・四／継紙 楮紙／信夫郡山田村先輩長尾久右衛門(黒印)↓御役人衆中／以書付奉御届候：以上／028

0086101 御記録所「就御初入り部御呵者御免伺帳」(上杉斉憲初入り部に伴う恩赦につき)／一冊(七丁)／天保一〇年五月／二四・三×一六・五／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0086101、02紐一括／紙縫に「195012」とあり／028

0086102 御記録所「役所取調之写」(御呵者の取調内容につき)／一冊(六丁)／天保一〇年五月／二四・二×一六・五／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／0086101、02紐一括／一丁目に綴じ込み文書三通、内一通外れ、朱筆書込み多数／028

0166 川上源右衛門「御泊御道具書上申帳」(新規御仕立、江戸にて仕立下し分)／一冊(五丁)／明和五年六月／一四・五×三七・七／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／川上源右衛門／裏打あり／031

0167 「来年御入部前御用意物江戸江被仰遣候処江戸分付札ニシテ被仰遣候留帳」(規式用の膳枕数量と模様、板谷、着城御祝分他)／一冊(八丁)／明和五年一月／一五・二×四〇・二／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／表紙に下札あり／031

0168 御代官所宛 齊藤五右衛門「御入部被遊候付御用人馬御入方明和二年中 御下向被遊候節之積ヲ以書上申帳」(上杉鷹山初入部のため見積) / 一冊(八丁) / 明和六年一〇月二三日 / 一四・五×三七・七 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 齊藤五右衛門(印) ↓御代官所 / 031

0169 原田源兵衛「御入部二付為御祝儀当月三日夕罷越候信夫郡二罷在候先放捨人并供老人御賄并御入料同六日朝迄相量申二付書上帳」(二月三日夕六日の献立、食材等代金勘定) / 一冊(一〇丁) / 明和六年二月 / 一五・〇×三八・〇 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 原田源兵衛 / 二月九日付の役所・元メ所の付箋あり / 031

0170 物品目録(煙草盆、柄杓、膳碗) / 一冊(三丁) / (明和六年) / 一五・三×三七・五 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 冒頭右端に「御台所」とあり / 031

0171 「此分一式調帳之覚」(衣桁、畳、水風呂、膳碗、机、箆筒他の目録) / 一冊(八丁) / (明和六年) / 一五・〇×三八・五 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 墨付4丁 / 031

0172 調度品目録(衣桁、畳、桶、机、箆筒他) / 一冊(五丁) / (明和六年) / 一五・三×三八・五 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 031

0173 棚橋文太郎・関口仲蔵「来年 御入部之節為御持之御道具之内米沢分爲御登之品取調書上申帳」(武具用の絹桐油、雨皮、革覆他) / 一冊(五丁) / 明和五年一〇月 / 二四・〇×一七・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 棚橋文太郎・関口仲蔵 / 031

0174 御細工所御入部御用御刺立物之内出来申分目録(刀掛、衣桁他の調度品) / 一冊(二丁) / (明和六年) / 一四・五×三四・七 / 横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 御細工所 / 031

0175 役所「屋形様御入部始而御廟御參詣付量帳」(作事屋頭、御廟守等への達書、御借人、警護他) / 一冊(二四丁) / 明和六年一月 / 二四・五×一七・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 役所 / 綴込文書一通あり / 031

0177 「於御国元御不断御膳御道具御膳部量帳」(江戸より持参と米沢御用意分、一部はイロハで分類) / 一冊(九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二三・七×一六・七 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 031

0177-01 蓼沼平太覚書(御膳台一通は米沢にて用意し有り合わせがしかるべく) / 一通(二紙) / 江戸中期(年未詳) 四月 / 一五・二×一六・〇 / 切継紙 楮紙 / 蓼沼平太 / 一御膳台 式通: 申上候以上 / 端裏書「蓼沼平太」 / 柱題「覚」、下札あり /

031

0179 米沢役所「来年 御入部之節為御持之御道具并御供御借装束為御登之儀先達而從江戸被仰遣候付段々御取調之帳」 / 一冊(二丁) / 明和五年二月 / 二四・〇×一五・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 米沢役所 / 末尾にこの方へ有無を報告すべき旨の元メ所の書込あり、表紙に「御舟印」の品三筆の書付を貼付、0179 0180入りの袋墨書「二月廿五日御日小屋便ニ為御登 御入部二付御道具為御登之品々取調書面入」、袋に朱筆の書込あり / 031

0180-01 御宝物蔵武具目録(二挺立弓、刀筒他の御登せ品と雨覆の拵方) / 一通(三紙) / 江戸中期(年未詳) 二月 / 一五・五×七六・〇 / 切継紙 楮紙 / 御宝物蔵 / 一式挺立御弓: 拵方右同断 メ / 端裏書「二月二十一日 角ノ御蔵分此通明細入日記ニシテ:」 / 180-01-10 紙縫一括 / 柱題「為御登之御品々書上之覚」 / 031

0180-02 御宝物蔵武具目録(二挺立弓、刀筒他の御登せ品と雨覆の員数) / 一通(二紙) / 江戸中期(年未詳) 二月 / 一五・五×六八・〇 / 切継紙 楮紙 / 御宝物蔵 / 一式挺立御弓: 雨皮雨覆共ニ / 端裏書「角ノ御蔵」 / 0180-01-10 紙縫一括 / 柱題「為御登之御品々書上」 / 031

0180-03 御宝物蔵覚書(二挺立弓は宮舎人方へ申し弓衆御蔵へ罷り出てこの度も拵えさす) / 一通(二紙) / 江戸中期(年未詳) 二月 / 一五・四×二四・五 / 切継紙 楮紙 / 御宝物蔵 / 一式挺立御弓為御登: 御座候事 / 0180-01-10 紙縫一括 / 柱題「覚」 / 031

0180-04 黒崎清内・高野三右衛門届書(江戸御登せの持筒青貝筒入鉄砲二挺、胴乱二つ箱入りにして御日小屋へ相渡す) / 一通(二紙) / 江戸中期(年未詳) 二月一六日 / 一四・七×三〇・三 / 切継紙 楮紙 / 黒崎清内・高野三右衛門 / 此度江戸御為登御持筒: 御届申上候以上 / 端裏書「此通り角ノ御蔵書立ニ書入ニ相出ル 黒崎清内高野三右衛門」 / 継目剥離 / 0180-01-10 紙縫一括 / 柱題「此度江戸為御登御持筒諸品之覚」 / 031

0180-05 御台所上書(原三左衛門の錫工面見積もりにより、地宝錫御渡し下されたく) / 一通(二紙) / 江戸中期(年未詳) 二月二日 / 一四・九×七二・七 / 切継紙 楮紙 / 御台所 / 一八つ 錫体組: 御渡被成下候以上 / 端裏書「二月廿五日便ニ江戸役所へ為差登候事」 / 0180-01-10 紙縫一括 / 柱題「覚」 / 031

0180-06 西沢喜兵衛・山下新蔵上書(鼠尾鞍覆一つ御日小屋へ差し越す、損じぬよう仰せ渡し下されたく) / 一通(二紙) / 江戸中期(年未詳) 二月二日 / 一五・〇×二五・〇 / 切継紙 楮紙 / 西沢喜兵衛・山下新蔵 / 一鼠尾: 渡被下度奉存候已上 /

0180010紙縫一括／封紙墨書「寛 西沢喜兵衛 山下新蔵」、柱題「寛」
図書館所蔵時点の史料番号は三と記載／031

0180007 桜井宗三上書（御道中の真鍮鎗、馬提灯御登せのため御日小屋へ渡し
たく）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）二月二日／一五・三×二七・三／切継紙
楮紙／桜井宗三／一老挺 御道中分：奉存候已上／0180010紙縫一括／柱
題「寛」、江戸役所より連絡はないが御登せが然るべき旨の書付一点を挟込／031

0180008 上御膳部覚書（若荷箱四個は役場にあり）／一通（二紙）／（明和六
年カ）丑二月二日／一五・二×一三・七／小切紙 楮紙／上御膳部／一四個：役場二
御座候以上／0180010紙縫一括／柱題「寛」／031

0180009 上御膳部上書（江戸下りの鍋一つ破損につきこの分追ってお渡し下さ
れたく）／一通（二紙）／（明和六年カ）丑二月二日／一五・〇×一九・五／切継紙
楮紙／上御膳部／一式つ 御鍋：被成下度存候以上／端裏書「二月廿二日出ル 上御膳
部細田彦左衛門」／0180010紙縫一括／柱題「寛」／031

0180010 上御膳部上書（お渡しの椀、湯桶等破損につき拵えお渡し下されたく）
／一通（二紙）／（明和六年カ）丑二月二日／一五・一×一八・〇／切紙 楮紙／上
御膳部／今度江戸カ：被成下度存候以上／0180010紙縫一括／柱題「寛」
／031

0181001 御宝物蔵見積書（幔五張仕立入料につき木綿、紺染代他）／一通（二
紙）／（明和五年）子九月二日／一四・八×五四・一／切継紙 楮紙／御宝物蔵蔵
御幔五張御仕立：罷出可申候已上／端裏書「子九月廿一日角ノ御蔵御幔中勘代付秋山出
ス」／018100108袋一括／袋裏書「明和五年九月 御入部前諸御道具御仕立
可相成分諸役場々代付中勘書送入 嶋 馬場、袋裏面にも墨書あり」／031

0181002 松田源次兵衛覚書（享保一二年御入部以来の玉庭足輕の番小屋懸けと
勤方先例）／一通（二紙）／（明和五年カ）十一月一日／一五・四×五二・四／切継
紙 楮紙／松田源次兵衛／享保十一年五月：罷出申迄二御座候以上／継目剥離／018
100108袋一括／柱題「寛」／031

0181003 本給方書上（御廟参詣警固の場所と人名）／一通（二紙）／（明和五
年カ）十一月二日／一五・三×五八・四／切継紙 楮紙／本給方／北御門 一老人：
右之通二御座候以上／018100108袋一括／031

0181004 御廟所略図（御霊屋、拝殿、長床、敷出、雪廊下まで）／一鋪（二紙）
／（明和五年カ）／三〇・四×三七・〇／豎紙 楮紙／018100108袋一括
／雪棚拵などに関する朱筆書込あり／031

0181005 御宝物蔵武具目録（刀筒、弓、鉄砲等御日小屋へ渡す）／一通（二紙）
／（明和五年カ）二月二三日／一五・五×二九・一／切紙 楮紙／御宝物蔵蔵／一御刀
筒：御日小屋へ相渡申候以上／018100108袋一括／柱題「寛」、日付は二五
日を二三日に訂正／031

0181006 御役所宛 香坂帯刀書状（来る二日御廟所参詣のため御借人は面々
宅へ詰めるようお申し付け下されたく）／一通（三紙）／（明和五年カ）十一月一日
／一四・八×九〇・〇／切継紙 楮紙／香坂帯刀御役所／来ル十二日：可被下候以上
／端裏書「御小生頭御近習中御借人申立書替ニシテ御作事屋へ相渡外裏書」／0181
00108袋一括／031

0181007 書付（御銚子方五合入り御通り錫 二枚）とのみ記載）／一通（二紙）
／（明和五年カ）／一五・三×七・八／小切紙 楮紙／御銚子方：御通り錫／0181
00108袋一括／031

0181008 役所伺書（角の御蔵にて見積の幔五張仕立入料江戸へ知らせ御下知下
されたく）／一通（三紙）／（明和五年）子二月／一四・八×六〇・〇／切継紙 楮
紙／役所／御幔五張御仕立：被成下度奉存候以上／018100108袋一括／仕立
が丈夫なので米沢で仕立てるべき旨の江戸の役所、元々所の下札あり／031

0182001 役所宛 鈴木新兵衛姓名書上（給仕役を務める本手明組の姓名と割当
時間を通達）／一通（二紙）／（明和五年カ）二月一日／一五・〇×七三・〇／切
継紙 楮紙／鈴木新兵衛御□□ 御役所／明時 鈴木平四郎：右之通御座候以上／0
182001011紐一括／柱題「本手明組十一日御給仕面付書上」／031

0182002 穂保専右衛門宛 役所書状（二日諸寺院へ御祝の献立差し上げ、二
種の並は小皿を除き然るべく）／一通（二紙）／（明和五年カ）二月九日／一五・〇
×三八・九／切継紙 楮紙／役所／穂保専右衛門殿／来ル十二日諸寺院：可被御申上候
以上／0182001011紐一括／書面の通り達するよう書込あり／031

0182003 右筆所宛 役所伺書（御泊組の御祝頂戴の刻限につき）／一通（二紙）
／（明和五年カ）二月二日／一四・七×四九・九／切継紙 楮紙／役所／御右筆所
／御泊組廿一日八時：御尋申候以上／0182001011紐一括／八時が然るべき旨
の書込あり／031

0182004 献立書（一種分から三種分まで）／一通（二紙）／（明和五年カ）
／一五・九×一一・二／小切紙 楮紙／三種之分：こんにやく とふふ／0182001
011紐一括／031

0182005 町奉行所覚書（延享五年町方子供給仕人の日別人数と御賄の先例）／

一通(二紙)／(明和六年) 丑二月八日／一五・六×三五・二／切紙 楮紙／町奉行所／一拾八人 二月十六日：被成下申候以上／018210111紐一括／031

0182106 穂保専右衛門宛 役所書状(御入部御礼時の唐破風、御台所口他警固人数評判し申し上げる)／一通(三紙)／(明和六年カ) 二月六日／一四・二×五七・二／切紙 楮紙／役所↓穂保専右衛門殿／警固之儀猶：可被御申上候以上／端裏書「十二月六日御北へ八日之警固御伺」／一部継目剥離／018210111紐一括／031

0182107 役所宛 金子度助書状(明日の座刻一通請取)／一通(二紙)／(明和六年カ) 二月一八日／一五・〇×二七・一／切紙 楮紙／金子度助↓御役所／明日之座刻：受取置被申候以上／018210111紐一括／031

0182108 役所宛 千坂書状(明日の座刻一通請取)／一通(二紙)／(明和六年カ) 二月二〇日／一五・〇×三一・三／切紙 楮紙／千坂↓役所／明廿一日之座刻：受取置被申候以上／018210111紐一括／031

0182109 人数書上(二月一九日の刻限別、本手明組、御堂俗番他)／一通(二紙)／(明和六年カ) 二月二〇日／一五・一×五二・八／切紙 楮紙／十二月十九日：長沼利右衛門／018210111紐一括／031

0182110 役所宛 千坂書状(明日召出の時刻早々差し出さるべく)／一通(二紙)／(明和六年カ) 二月二〇日／一五・四×二九・六／切紙 楮紙／千坂↓役所／明日被 召出：可被差出候以上／018210111紐一括／031

0182111 本給方書上(二月三日、八日の御入部御礼時の警固場所と人数)／一通(六紙)／(明和六年カ) 二月五日／一四・八×九六・七／切紙 楮紙／本給方／十一月三日：御座候以上／一部継目剥離／018210111紐一括／柱題「御入部御礼之節警固置所之覚」／031

0183101 馬場次郎兵衛宛 佐藤久蔵書状(御上下御迎動は松原、御見送りは福田はずれにつき)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 二月二七日／一五・三×四三・三／切紙 楮紙／佐藤久蔵↓馬場次郎兵衛様／拜見致候：如此御座候以上／018310111紐一括／031

0183102 馬場次郎兵衛宛 渡部儀右衛門書状(御迎と御見送り場所先例申し上げる)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 二月二六日／一五・七×五〇・〇／切紙 楮紙／渡部儀右衛門↓馬場次郎兵衛様／前御役御鷹匠：如此御座候／一部継目剥離／018310111紐一括／031

0183103 御宝物蔵宛 瀬尾次右衛門・林甚兵衛書状(剛師と鞘師、金具師他の御迎、御見送り場所と服装先例)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 二月二七日／一五・三×四一・〇／切紙 楮紙／瀬尾次右衛門・林甚兵衛↓御宝物蔵／一 御砥：罷在申候以上／一部継目剥離／018310111紐一括／柱題「覚」／031

0183104 先例書上(延享四年四月初入部時の侍組以下各組、役職別の伺候場所)／一通(四紙)／江戸中期(年月日未詳) 二月二七日／一五・八×二二五・七／切紙 楮紙／一侍組一組：前二建置也 又／018310111紐一括／柱題「延享四年四月 御入部之節之書拔」／031

0183105 職名書上(大手小門、大御門之間詰の中間年寄以下御右筆まで)／一通(三紙)／江戸中期(年月日未詳) 二月二七日／一五・〇×九七・三／切紙 楮紙／御入部 共同様：御右筆／018310111紐一括／墨付は一紙目のみ／031

0183106 役所書状(延享四年初入部以降新設された役名毎の御迎え場所案)／一通(六紙)／(明和六年) 二月一五・〇×一七三・五／切紙 楮紙／役所／延享四年：相尋可申上候以上／端裏朱書「二月廿九日 御北御手元へ差上ル」／018310111紐一括／朱筆の追記あり／031

0183107 御役所宛 御右筆所書状(延享四年の例と照合し当御入部御迎え場所を帳面に記したく)／一通(二紙)／(明和六年) 二月六日／一五・四×五六・二／切紙 楮紙／御右筆所↓御役所／延享四年御初入部：可被申候以上／一部継目剥離／018310111紐一括／031

0183108 内藤嘉七覚書(御螺吹の平常御上下と初入部時の御見送り御迎え勤め場所につき)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 二月一五・一×二二・六／切紙 楮紙／内藤嘉七↓御螺吹：罷出申候／018310111紐一括／封紙墨書「内藤嘉七」、柱題「覚」／031

0183109 書上(長井藤十郎と荻戸九郎兵衛以下、代官副役までの詰場所)／一通(三紙)／江戸中期(年月日未詳) 二月一四・七×四二・〇／切紙 楮紙／御初入部 共二：同様之場所／18310111紐一括／031

0183110 町奉行所答書(支配下町人の御迎え場所は初入部も平常と同様)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 二月二七日／一五・七×一九・五／切紙 楮紙／町奉行所／御初入部之節：同様二御座候以上／018310111紐一括／封紙墨書「町奉行所」、柱題「覚」／031

0184101 大平八左衛門・河田九郎右衛門上書(土器、柄杓他三品を御入部までにお渡し下されたく)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 四月二一日／一四・五×三

一・四/切継紙 楮紙/大平八左衛門・河田九郎左衛門/御上□共二：奉存候以上/端裏書「御小納戸」/一部継目剥離/0184-0110紐一括/柱題「覚」、端裏に「御小納戸」と墨書のある付箋あり/031

0184-002 作事屋宛 上下頭理右衛門書状(只今まで勤め副えの者召し連れ御引き方勤めたく)/一通(二紙)/ (明和六年) 四月/一六・一×六〇・〇/切継紙 楮紙/御上下頭理右衛門(黒印)/先達而御引方：可被下置候以上/0184-0110紐一括/柱題「覚」、封紙ウワ書「覚書 上下頭 理右衛門」/031

0184-003 西沢喜兵衛・山下新蔵書状(江戸御厩御用便次第差し登らせたき口取繩等書上)/一通(二紙)/江戸中期(年未詳) 四月/一五・六×四一・九/切継紙 楮紙/西沢喜兵衛・山下新蔵/一式拾間：御届申上候以上/一部継目剥離/0184-0110紐一括/柱題「覚」、端裏に「御厩頭山下氏へ」と墨書のある付箋あり/031

0184-004 穂保保専右衛門宛 役所書状(山下新蔵より別紙の通りお届けにつき申し上ぐ)/一通(二紙)/江戸中期(年未詳) 四月二日/一五・三×二五・六/切継紙 楮紙/役所↓穂保専右衛門殿/山下新蔵：可被御申上候以上/0184-0110紐一括/宛所の下に御入部道中御用馬道具に関する指示の後筆あり/031

0184-005 御細工所完成品目録(御入部御用に刺立の桶、菓子箱他二三品)/一通(三紙)/ (明和六年) 四月/一五・二×五〇・四/切継紙 楮紙/御細工所/御入部御用：御座候以上/継目剥離/0184-0110紐一括/031

0184-006 古木方見積書(御湯殿場呉座の部材数量と費用)/一通(二紙)/ (明和六年) 丑四月二日/三〇・五×三七・七/折紙 楮紙/古木方/御湯殿場呉座：入料二御座候以上/0184-0110紐一括/031

0184-007 作事屋宛 御泊書状(御泊御用につき呉座、畳お渡し下されたく)/一通(二紙)/ (明和六年) 四月/一四・七×一六・二/切紙 楮紙/御泊↓御作事屋/一式枚：御渡可被下候以上/0184-0110紐一括/柱題「御泊御用二付而請取申事」/031

0184-008 御泊上書(桶等必要の品書き上げお仕立て下されたく)/一通(二紙)/ (明和六年) 四月/一五・六×二八・三/切紙 楮紙/御泊/一書つ：可被下置候/0184-0110紐一括/柱題「覚」/031

0184-009-01 作事屋宛 上御膳部書状(桶類四品拵えお渡し下されたく)/一通(二紙)/ (明和六年) 五月/一五・二×二八・五/切継紙 楮紙/上御膳部↓御作事屋/一書つ：可被下候以上/継目剥離/0184-0110紐一括、09-01

1-02一綴/柱題「覚」/031

0184-009-02 作事屋宛 上御膳部書状(杓子の柄他五品拵えお渡し下されたく)/一通(二紙)/ (明和六年) 五月/一五・三×三二・四/切継紙 楮紙/上御膳部↓御作事屋/一書つ：可被下候以上/0184-0110紐一括、09-01/02一綴/柱題「覚」/031

0184-110 作事屋宛 古木方・鉄方見積書(御小納戸御用の行灯敷の部材数量と費用)/一通(三紙)/ (明和六年) 丑丁四月/一五・二×七五・〇/切紙 楮紙/古木方・鉄方↓御作事屋/御小納戸：如此御座候以上/一部継目剥離/0184-0110紐一括/031

0185-001 覚書(御台所の大津軽紙枚数と赤飯数量)/一通(二紙)/ (明和六年) 一二月一四日/一四・五×二一・四/切継紙 楮紙/御台所へ：八日の□渡り/端裏書「十二月十四日留物」/一部継目剥離/0185-0110封紙・紐一括/031

0185-002 町奉行所宛 原田源兵衛願書(庭坂本陣阿部源左衛門、李平御穀宿阿部津右衛門、御入部御祝儀のため着、献上物につき)/一通(二紙)/ (明和六年) 一二月一五日/一六・〇×三三・八/切紙 楮紙/原田源兵衛(黒印) ↓御町奉行所/庭坂御本陣：御届申上候以上/0185-0110封紙・紐一括/柱題「覚」/031

0185-003 町奉行所宛 原田源兵衛願書(庭坂阿部源左衛門、李平阿部津右衛門逗留中の御賄と伝馬、坊士遣わされたく)/一通(二紙)/ (明和六年) 一二月一五日/一六・二×三九・五/切継紙 楮紙/原田源兵衛(印) ↓町奉行所/庭坂阿部源右衛門：可被下置候以上/継目剥離/0185-0110封紙・紐一括/柱題「覚」/031

0185-004 原田源兵衛先例書(享保々延享期における庭坂、李平阿部家の献上と御賄、伝馬他)/一通(二紙)/ (明和六年) 一二月/一六・一×六九・九/切継紙 楮紙/原田源兵衛/享保十一年五月：同断二御座候以上/継目剥離/0185-0110封紙・紐一括/柱題「覚」/031

0185-005 町奉行所達書断簡(「町奉行所今左之通」のみ、0185-005-01-003の表紙に転用)/一通/江戸中期(年月日未詳)/一五・〇×八・〇/切紙 楮紙/町奉行所今：左之通/0185-0110封紙・紐一括/裏面に「明和六年十二月 庭坂飛脚安齊清右衛門 御入部之為御歎罷越候間差越紙面」/031

0185-005-01 山内左衛門宛 鈴木庄右衛門届書(御入部御悦に参上の庭坂

飛脚宿安齊清右衛門への対応) / 一通(二紙) / (明和六年) 二月五日 / 一四・八
×四〇・五 / 切継紙 楮紙 / 柳宿鈴木庄右衛門(黒印) ↓ 山内左衛門殿 / 庭坂御飛
脚宿 : 御届ケ申上候以上 / 0185-0110封紙・紐一括 / 031

0185-05-02 山内左衛門宛 鈴木庄右衛門答書 (安齊清右衛門献上先例お
尋ねにつき) / 一通(三紙) / (明和六年カ) 二月七日 / 一五・三×四〇・八 / 切
継紙 楮紙 / 鈴木庄右衛門 ↓ 山内左衛門殿 / 庭坂御飛脚宿 : 御尋ニ付申上候以上 / 継
目剥離 / 0185-0110封紙・紐一括、0185-05-0110封紙・紐一括 / 柱題
「覚」、前に先帳に見えないので左の通り尋ねた旨の書付を貼り継ぐ / 031

0185-05-03 金子茂介他二名宛 御北御量役所伺書 (延享四年御入部御悦に
初めて参上の者先例に基づく対応案) / 一通(三紙) / (明和六年カ) 二月七日 /
一五・二×二三七・一 / 切継紙 楮紙 / 御北御量 役所 ↓ 金子茂介殿他二名 / 右二付而
: 宜被御申上候以上 / 0185-0110封紙・紐一括、0185-05-0110
3 貼継 / 宛所の下に各自から聞き取った意向を書き入れ / 031

0185-06 先例書上 (延享四年諸所殺宿による御初入部献上、伝馬利用につき)
/ 一通(四紙) / (明和六年) 二月 / 一四・七×一三一・五 / 切継紙 楮紙 / 延享四
年中 : 相量申候以上 / 端裏書「先格書拔」 / 0185-0110封紙・紐一括 / 03
1

0185-07 日帳所宛 役所書状 (御上下の節、庭坂飛脚宿安齊清右衛門献上先例
を早々詮議下された) / 一通(二紙) / (明和六年カ) 二月八日 / 一五・二×七
五・一 / 切継紙 楮紙 / 役所 ↓ 御日帳所 / 庭坂御飛脚宿 : 御座候以上 / 端裏書「御日帳
所へ之尋書面」 / 継目剥離 / 0185-0110封紙・紐一括 / 後筆で御日帳所から
役所への返答を記載 / 031

0185-08 綿貫忠右衛門宛 役所書状 (庭坂飛脚宿安齊清右衛門献上物請取、金
二〇〇疋成し下さるよう取量の事) / 一通(二紙) / (明和六年) 二月九日 / 一五・
二×七・一〇 / 切継紙 楮紙 / 役所 ↓ 綿貫忠右衛門殿 / 庭坂御飛脚宿 : 御取量可申候以
上 / 一部継目剥離 / 0185-0110封紙・紐一括 / 宛所の下に対応を書き入れ /
031

0185-09 石丸奥次他四名宛 役所伺書 (庭坂李平御殺宿兩人献上二件につき献
上物、賄等対応案) / 一通(五紙) / (明和六年カ) 二月十五日 / 一四・六×一二七・
六 / 切継紙 楮紙 / 役所 ↓ 石丸奥次殿他四名 / 庭坂李平御殺宿 : 可被御申上候以上 / 端
裏書「明和六年十二月十五日 庭坂李平御殺宿罷越候ニ付御相談紙面」 / 0185-0
110封紙・紐一括 / 宛所の下に各自から聞き取った意向を書き入れ / 031

0185-10 先例書上 (延享五年七月最上宮宿鈴木与市郎御初入部献上につき町奉

行所対応) / 一通(五紙) / (明和六年カ) / 一四・五×一四一・〇 / 切継紙 楮紙 /
延享五年七月 : 申渡候事也 / 端裏書「先格書拔」 / 一部継目剥離 / 0185-01
10封紙・紐一括 / 031

0186-01 役所宛 色部書状 (京都屋敷詰合の者へ赤飯成し下さるよう書き立て
にして江戸役所へ申し遣わすこと) / 一通(二紙) / (明和六年カ) 二月一日 / 一
五・六×四一・三 / 切継紙 楮紙 / 色部 ↓ 役所 / 京都御屋敷詰合 : 可申遣候以上 / 端裏
書「十二月十一日御先立宮崎為次罷登候御便二江戸へ遣ス」 / 0186-0110封紙・紐
一括 / 031

0186-02 役所宛 色部書状 (中西喜惣次は組外御扶持方入りにつき一七日四つ
時に御祝頂戴の事申し遣わすこと) / 一通(二紙) / (明和六年カ) 二月一日 / 一
五・六×二四・六 / 切継紙 楮紙 / 色部 ↓ 役所 / 中西喜惣次 : 可申遣候以上 / 0186
-0110封紙・紐一括 / 031

0186-03 御台所伺書 (一四日分の奈良漬不足のため買い入れた) / 一通(一
紙) / (明和六年カ) 二月二日 / 一四・九×二五・一 / 切紙 楮紙 / 御台所 / 先達
而御伺 : 御伺申上候以上 / 端裏書「十二月十三日竹部へ申渡 御祝ニ付なら漬御買入之
申立」 / 0186-0110封紙・紐一括 / 役所と元締所からの指示の下札あり / 031

0186-04 御台所覚書 (去年御祝の節は塩引頭水頭とも次御膳部取量、御台所方
へ成し下さる分は水頭脛に用いる) / 一通(一紙) / (明和六年カ) 二月一日 / 一
五・二×二八・七 / 切紙 楮紙 / 御台所 / 先年御祝之節 : 罷成り申候 / 0186-01
10封紙・紐一括 / 柱題「覚」 / 031

0186-05 役所宛 色部書状 (別紙の通り相達すべし) / 一通(二紙) / (明和
六年カ) 二月二日 / 一五・四×二三・八 / 切継紙 楮紙 / 色部 ↓ 役所 / 別紙之通可
被 : 相達候以上 / 0186-0110封紙・紐一括 / 031

0186-06-01 右筆所宛 馬場次郎右衛門・嶋寛右衛門書状 (御祝日延の事別
紙書抜分は直触でよいか念のため問合せ) / 一通(三紙) / (明和六年カ) 二月二〇
日 / 一四・三×四八・六 / 切継紙 楮紙 / 馬場次郎右衛門・嶋寛右衛門 / 御祝日延 :
可被下候以上 / 0186-0110封紙・紐一括、0186-06-0110封紙・紐一括 /
031

0186-06-02 組名書上 (錠之口版から足軽十八組、年寄御用聞まで) / 一通
(二紙) / (明和六年カ) 二月 / 一四・二×三一・九 / 切紙 楮紙 / 三手籠之答 : 次
郎右衛門共 / 0186-0110封紙・紐一括、0186-06-0110封紙・紐一括 / 柱
題「覚」、直触の有無に関する下札二枚あり / 031

0186-07 穂保専右衛門宛 役所書状(寺社奉行御伺書に蔵田一志太夫手代とあるが差し出してよいか)／一通(二紙)／(明和六年カ)二月二日／一五・二×五〇・一／切継紙 楮紙／役所↓穂保専右衛門殿／寺社奉行御覧：可被御申上候以上／端裏書「寺社奉行御伺書二通御北へ差上ル」／0186-01-10紙一括／宛所の下に追って指示する旨の書き入れあり／031

0186-08-01 役所宛 色部書状(別紙の通り申し渡すべし)／一通(二紙)／(明和六年カ)二月五日／一五・五×二八・一／切継紙 楮紙／色部↓役所／別紙之通被仰出：可被御申上候以上／継目剥離／0186-01-10紙一括、0186-08-01-02巻込一括／031

0186-08-02 達書(猪苗代と組外の五十人頭、再吟方は願の通り本丸にて御家督御祝成し下さる)／一通(二紙)／(明和六年カ)二月／一四・五×四八・七／切継紙 楮紙／猪苗代五十人頭：御祝被成下候事／0186-01-10紙一括、0186-08-01-01-02巻込一括／柱題「覚」／031

0186-09 役所宛 色部書状(田村長栄には御家督御祝を茶所にて宮森祐益上座にて成し下さる段申し渡さるべく)／一通(二紙)／(明和六年カ)二月／一五・六×三六・二／切継紙 楮紙／色部↓役所／田村長栄：可申渡候以上／0186-01-10紙一括／柱題「覚」／031

0186-10 御右筆所宛 役所書状(御仲ケ間小姓一四人は一六日朝差出の由承知、席は西鳥羽角にてよいか問合せ)／一通(二紙)／(明和六年カ)二月一日／一五・一×四五・四／切継紙 楮紙／役所↓御右筆所／御仲ケ間小姓：御問合候以上／0186-01-10紙一括／宛所の下に御祝は先に達しの通りとする旨の書き入れあり／031

0187-01 中條清資入日記(周防量御貯金勘定頭印判帳、目録他三点)／一通(二紙)／享保一年三月三日／一五・二×五七・二／切継紙 楮紙／中條周防／一巻冊周防：口上之覚書 メ／0187-01-10紙一括／柱題「入日記」包紙ウワ書入日記、本史料は初入口と無関係、藩政一勘定方と関連／031

0187-02 代官所宛 大塚村組頭吉兵衛・肝煎平四郎申出書(御上御用もろめ豊莫産、幅四尺には織り立てならず、三尺五寸にして来年正月下旬まで急度差し上ぐ)／一通(二紙)／明和五年一月／三〇・五×三六・九／豎紙 楮紙／大塚村 組頭吉兵衛(黒印)・肝煎 平四郎(黒印)↓御代官所／先達而御 上：以書付申上候以上／端裏書「御用御書表申出 大塚村」／0187-01-10紙一括／柱題「以書付申上候事」／031

0187-03-01 御日小屋宛 御台所請求書(御下り御用の草履、下駄緒等用意

のため代金お渡し下されたく)／一通(一紙)／(明和六年)一〇月八日／一四・五×四〇・五／切紙 漉返紙／御台所↓御日小屋／一尺拾足 御草履：可被成候以上／端裏書「明和六年十月十日竹部へ申渡御そふり等申立」／前半は破損大／0187-01-10紙一括、0187-03-01-02は一綴／柱題「覚」、役所・元メ所の一〇月九日付下札あり、剥離したと思しき付箋「内五足御坪口渡：」一点あり／031

0187-03-02 御作事屋宛 御台所請求書(下駄一〇足、草履寸法を指定し控えお渡し下されたく)／一通(一紙)／(明和六年)一〇月八日／一四・五×二六・七／切紙 漉返紙／御台所↓御作事屋／一拾足 御下駄：可被成候以上／端書「山吉孝太郎(黒印) 長井茂左衛門(黒印)」／0187-01-10紙一括、0187-03-01-02は一綴／柱題「覚」／031

0187-04 嶋善五左衛門・馬場頼綱宛 保坂久之丞請取書(硯箱一つ鍵とも)／一通(二紙)／(明和六年カ)四月四日／一四・八×三二・九／切継紙 楮紙／保坂久之丞↓嶋善五右衛門様・馬場次郎兵衛様／一硯箱 壺つ：請取置申候以上／0187-01-10紙一括／柱題「覚」／031

0187-05 覚書(猪苗代五十人頭以下、浜役人まで御家督御祝は一六日ではなく二四日に前々の通り頂戴のこと)／一通(四紙)／(明和六年カ)二月／一五・八×一三二・四／切継紙 楮紙／猪苗代五十人頭：前々之通二／継目全て剥離／0187-01-10紙一括／柱題「覚」、後欠、継目剥離し本来とは異なる順序で巻かれた状態／031

0187-06 江戸役所宛 米沢役所書状(御遺骸御供のため登らせの足輕御借物等は葬送御用に用いるため差し下す)／一通(二紙)／(寛政六年)正月一九日／一四・六×四四・六／切継紙 楮紙／米沢 御役所↓江戸 御役所／以別紙申達候：如此御座候以上／0187-01-10紙一括／正月二四日付の返信の付箋あり、経緯を詳述した封紙入り、封紙は原善左衛門・山家儀八郎宛で、鈴木東蔵と山崎源兵衛が連署、本史料は初入口ではなく葬儀関係／031

0187-07 戸塚武左衛門・御小細工所申出書(御入部御用の関札二〇枚分入料)／一通(二紙)／(明和六年)丑二月／一四・七×四九・六／切継紙 漉返紙／戸塚武左衛門(黒印)・御小細工所／御入部御用：如此御座候以上／端裏書「明和六年三月二日為御登 御席札入料」／0187-01-10紙一括／三月四日付の役所・元メ所連署の意見書一点、寸法に関する付箋一点を貼付／031

0187-08 御道具目録(御武具用の絹桐油、兩具、幕、衣類等行列用の道具類数を銘々役人へ伝達)／一通(四紙)／江戸中期(年未詳)二月一日／一五・一×一七・〇／切継紙 楮紙／一式つ 絹桐油：御申聞候以上／端裏書「角ノ御蔵」／貼紙剥離多数／0187-01-10紙一括／柱題、指示の補足等の貼紙多数、「覚」

／031

0187-09 役所・元締所意見書(上御膳部申し立ての通り八枚お渡ししが然るべく)／一通(一紙)／(明和六年)一〇月九日／一三・八×一四・八／切紙 楮紙／役所・元締所／上御膳部：成間敷奉存候以上／端裏書「明和六年十月十日武藤へ渡」／0187-0110紙繕一括／031

0187-110 旅作事御道具目録(御泊道具、御昼休道具類の員数と容器)／一通(四紙)／(明和六年カ)／一四・八×九六・五／切紙 楮紙／旅作事／一壹晝：一同二シテ壹人持／0187-0111紙繕一括／柱題「覚」／031

0188-01 城代役所宛 鈴木新兵衛面附書(一四日の本御手明組給仕者一五名)／一通(二紙)／(明和六年カ)一二月三日／一四・七×四二・二／切紙 楮紙／鈴木新兵衛↓御城代 御役所／楨七兵衛：右之通ニ御座候以上／0188-0111紙繕一括／柱題「明十四日本御手明御給仕面附」、封紙あり／032

0188-02 坂口□助願書(硯箱一つお渡し下されたく)／一通(一紙)／(明和六年カ)丑二月／一四・七×二四・七／切紙 楮紙／坂口□助／一壹つ 硯箱：被下置度奉存候以上／0188-0111紙繕一括／柱題「覚」／032

0188-03 御役所宛 坂口頭助・綿貫忠右衛門願書(拙者共に御付物書を命じられ、御役場焼炭増渡し下されたく)／一通(二紙)／丑(明和六年)一二月二七日／一五・七×三二・四／切紙 楮紙／坂口頭助・綿貫忠左衛門↓御役所／今度拙者共：被下置度奉存候以上／0188-0111紙繕一括／032

0188-04 役所宛 吉田五郎右衛門・長三郎左衛門願書(今度御家中へ御祝下さるため出精の台所役等へ御褒の取り成し下されたく)／一通(三紙)／(明和六年)一二月／一四・九×六八・〇／切紙 楮紙／吉田五郎右衛門・長三郎左衛門↓御役所／一七人 御台所役：御取成奉頼存候以上／188-0111紙繕一括／柱題「覚」、封紙あり／032

0188-05-01 馬場頼綱宛 嶋覚右衛門書状(今朝の詰人罷り出ず、湯上による人数書上を別紙と差替え下されたく)／一通(三紙)／(明和六年)一二月五日／一四・七×七六・四／切紙 楮紙／嶋覚右衛門↓馬場次郎兵衛様／拜見今朝ニ：別紙先差廻申候以上／端裏書「馬場次郎兵衛様 嶋覚右衛門」／継目剥離／0188-0111紙繕一括、0188-05-0111紙繕一括／032

0188-05-02 湯上平次右衛門組人数書上(御家督御祝成し下さるべき者は五十人頭湯上他三〇名、江戸在番等対象外は八名)／一通(三紙)／(明和六年)一二月／一四・八×六〇・四／切紙 楮紙／湯上平次右衛門／一五拾人頭：右之通御座候以

上／継目剥離／0188-0111紙繕一括、0188-05-0111紙繕一括／032 柱題「今度 御家督之御祝被成下ニ付武頭書上申覚」、封紙あり／032

0188-06 今井平内・浜崎午助願書(拙者共番頭中の願書、年始御規式に参加したき旨分らざること承知、最早日が無く然るべく取り成し下されたく)／一通(二紙)／(明和六年)一二月一〇日／一四・七×六〇・〇／切紙 楮紙／今井平内・浜崎午助／拙者共御番頭中：御執成奉頼存候以上／0188-0111紙繕一括／柱題「覚」、封紙あり／032

0188-07 福島多仲宛 中西四郎左衛門・秋山嘉右衛門伺書(御入部前後精勤の番頭藤崎宗七に御褒下さるよう御取成下されたく)／一通(六紙)／(明和六年)一二月二日／一四・九×一七〇・三／切紙 楮紙／中西四郎左衛門・秋山嘉右衛門↓福島多仲殿／拙者共平々面々迄：御取成可被成下候以上／継目剥離／0188-0111紙繕一括／柱題「御伺申上候事」、封紙墨書「御伺書」／032

0188-08 中沢寛馬宛 金子茂助用状(真鴨八七羽の代金前々の如く御量下されたく)／一通(一紙)／(明和五年)一〇月一六日／一四・四×二三・四／切紙 楮紙／金子茂助印↓中沢寛馬殿／一八拾七羽：被成下候様ニ申上候以上／0188-0111紙繕一括／柱題「覚」、表書の通り取り計らうにとの役所裏書あり／032

0188-09 御役所宛 梅沢惣助用状(法音寺他への上使本間蔵右衛門へ御借人渡されたく)／一通(二紙)／(明和六年)一二月三日／一五・三×二九・五／切紙 楮紙／同役梅沢惣助↓御役所／一同心者人：御申渡可被下候以上／継目剥離／0188-0111紙繕一括／柱題「明廿四日法音寺林泉寺法泉寺江本間蔵右衛門上使御勤二付御借人之覚」／032

0188-10-01 坂口代助宛 馬場頼綱書状(御長机寸法は大河原覚書の通り、用途につき益田の返書を添付)／一通(二紙)／(明和六年カ)一二月二日／一四・四×五九・〇／切紙 楮紙／馬場次郎兵衛↓坂口代助殿／御長机之寸法：宜被御申上候以上／0188-0111紙繕一括、0188-10-0111紙繕一括／032

0188-10-02 大河原善右衛門覚書(御長机寸法、筆返付き、足の拵えは簡略で然るべく)／一通(一紙)／(明和六年カ)一二月二日／一五・三×三七・七／切紙 楮紙／大河原善右衛門／一幅一尺式寸三分：可然奉存候以上／0188-0111紙繕一括、0188-10-0111紙繕一括／柱題「長机寸法」、封紙ウハ書「大河原善右衛門」／032

0188-10-03 馬場頼綱宛 益田十左衛門答書(御長机の上には三方ばかり載せ、御長柄、御提は別々机載せ)／一通(二紙)／(明和六年カ)一二月二日／一五・

一×三〇・七／切紙 楮紙／益田十左衛門↓馬場次郎兵衛様／御問合之趣：御報如此御座候以上／端裏書「馬場次郎兵衛様 益田十左衛門」／01888-101、10紐一括、01888-101、03巻込一括／032

0189-01 役所宛 色部申付書（御家督御祝成し下さる席につき別紙二通の願は御帳メの上は叶わぬ旨を達すべし）／一通（二紙）／（明和六年）二月／一五・五×五〇・五／切紙 楮紙／色部↓役所／此度御家督之：可相達候事／端裏書「十二月十四日 御留添」／0189-01、10紐一括／032

0189-02 御作事屋用状（鉄鍵、鉄火箆の中勘を差し越すこと）／一通（二紙）／（明和六年カ）一月／一五・四×三四・四／切紙 楮紙／御作事屋／一五（虫損）：可被差越候事／端裏書「御鍛冶屋（虫損） 御作事屋」／虫損大／0189-01、10紐一括／虫損で判読困難だが御鍛冶屋宛カ、柱題「覚」、大平八左衛門、河田九郎左衛門連署の封紙入り、封紙に外御掃坊主と御代官云々の両通は未提出の旨の貼紙あり、別史料の封紙カ／032

0189-03 書状（上杉御作事□一件納方につき相談）／一通（三紙）／（明和六年カ）／一五・〇×四五・八／切紙 楮紙／上杉御作事□一件：御沙汰可被下候火中火中／0189-01、10紐一括／内容的には初入部との関係未詳／032

0189-04 調度品目録（手水盥、桶、煙草盆、一部は新拵立）／一通（二紙）／（明和六年カ）／一五・〇×三四・五／切紙 楮紙／有物之由 一式つ：十のふ／端裏書「御掃除坊主」／破損大／0189-01、10紐一括／柱題「覚」、後欠、下札二か所あり、原善左衛門・山家儀八郎宛 鈴木東蔵・山崎源左衛門の封紙入り、御迎登大乘寺云々の書込みがあり、別史料の封紙カ／032

0189-05 御役所宛 御右筆所用状（昨日お渡ししの触書につき詰の間に差図、大町医師並の者は召出さず他二条）／一通（四紙）／（明和六年カ）二月一日／一五・五×一〇三・〇／切紙 楮紙／御右筆所↓御役所／昨日次郎兵衛殿へ：可被御申遣候以上／端裏書「十二月十四日申渡 田村長栄 中内栄二 宮森祐益」／0189-01、10紐一括／032

0189-06 嶋覚右衛門・馬場頼綱宛 真坂久八・色川弥市書状（昨日御渡ししの帳面に心付を記し返却）／一通（二紙）／（明和六年カ）二月一日／一六・〇×五五・二／切紙 楮紙／真坂久八・色川弥市↓嶋覚右衛門様・馬場二郎（ママ）兵衛様／昨日次郎兵衛殿へ：御取量可被成与存候以上／0189-01、10紐一括／032

0189-07 北沢五郎兵衛宛 馬場頼綱・駿東常助書状（御代官足輕加人願につき再度存寄お聞かせ下されたく）／一通（二紙）／（明和六年カ）二月一日／一四・四×三七・三／切紙 楮紙／馬場次郎兵衛・駿東常助↓北沢五郎兵衛様／昨日

被申通候：御申聞被成候様被申候以上／継目剥離／0189-01、10紐一括、0189-07-01、02巻込一括／紙背に詳細に返答を記載、代官に再度尋ねるべきかの金子茂助宛 役所伺書を貼紙、北沢五郎兵衛宛 駿藤常助・馬場次郎左衛門書状の末尾断簡一点付属／032

0189-07-02 代官所宛 十人頭青木□右衛門他七名答書（仲間勤方御尋につき詳細九箇条）／一通（六紙）／丑（明和六年）九月／一四・八×一八三・〇／切紙 楮紙／十人頭青木□右衛門（黒印）他七名↓御代官所／拙者共仲間勤方：右御尋二付申上候以上／継目剥離／0189-01、10紐一括、0189-07-01、02巻込一括／継目に押印あり／032

0189-08 御五人宛 達書（法音寺他二寺へ綿成し下さるため二日まで用意のこと）／一通（二紙）／（明和六年カ）二月／一五・五×三五・八／切紙 楮紙↓御蔵五人江／一綿二杷：可被相量候以上／0189-01、10紐一括／柱題「覚」／032

0189-09 山本孝太郎・山本次郎左衛門届書（御家督御祝御用の塩引と錫の屑は御払がしかるべく）／一通（二紙）／（明和六年）丑二月八日／一四・八×三六・〇／切紙 楮紙／山本孝太郎・山本次郎左衛門／此度御家督御祝：一通御届申上候以上／継目剥離／0189-01、10紐一括／奥に御払ではなく御台所頭計らいにして懸の面々へ配当が適当とする元締所宛 役所書状と、石丸奥次宛 役所書状を貼紙／032

0189-10 日別人數書（八日から二三日まで、大小姓から町人まで身分階層別、冒頭に「加用」とあり）／一通（四紙）／（明和六年カ）二月／一五・〇×一五〇・五／切紙 楮紙／加用 八日：二拾人 同 メ／端裏書「十二月廿二日之分加用大原半之丞へ十三日申渡ス」／0189-01、10紐一括／032

0190-01 穂保仙右衛門宛 役所伺書（今日当番六ヶ寺の他、加用として大小姓二人、中之間より一人で然るべきや）／一通（二紙）／（明和六年）二月一日／一五・〇×五三・三／切紙 楮紙／役所↓穂保仙右衛門殿／今日当番六ヶ寺：可被申上候以上／0190-01、10紐一括／宛先の下に指示を詳細に記載／032

0190-02 御台所献立書（御祝の赤飯他、酒肴は上中下三種）／一通（二紙）／（明和六年）二月六日／一五・一×四六・八／切紙 楮紙／御台所／御祝被成下：からざけ メ／端裏書「十二月六日御北へ上中ノ分御伺之通相濟候二付吉田へ申渡ス」／0190-01、10紐一括／032

0190-03 穂保専右衛門宛 役所伺書（八日分御献立の上中下差別につき）／一通（三紙）／（明和六年）二月六日／一四・三×一〇一・〇／切紙 楮紙／役所↓

穂保専右衛門殿／八日之分御献立：取量可申候以上／端裏書「十二月六日御北へ八日分御献立伺」／0190-01-10 紐一括／宛先の下に別意なし、尚質素に取り計らうようにとの指示を記載／032

0190-04 穂保専右衛門宛 役所伺書（御祝八日分加用の大小姓から御台所方への達方につき）／一通（六紙）／（明和六年）二月六日／一四・〇×一六一・〇／切継紙 楮紙／役所↓穂保専右衛門殿／八日ニ御祝：可被申上候以上／端裏書「十二月六日八日之分加用之御伺」／0190-01-10 紐一括／宛先の下に別意なき旨を記載／032

0190-05 穂保専右衛門宛 役所伺書（御家督御祝下賜につき八日から二三日まで警護の場所と人数）／一通（四紙）／（明和六年）二月八日／一五・〇×一三六・〇／切継紙 楮紙／役所↓穂保専右衛門殿／御家督之御祝：可被申上候以上／端裏書「明和六年十二月八日夕警固置所御伺紙面」／0190-01-10 紐一括／宛先の下に別意なき旨を記載／032

0190-06 穂保専右衛門宛 役所伺書（二の丸御殿にて御祝下賜の取量二名人選につき）／一通（二紙）／（明和六年）二月一〇日／一四・九×四六・一／切継紙 楮紙／役所↓穂保仙右衛門殿／二之御丸於 御殿：右御伺申上候以上／端裏書「十二月十一日 石栗彦左衛門 惣墨藤右衛門 右ハ：」／0190-01-10 紐一括／宛先の下に朱点で人選したので申し渡すよう記載／032

0190-07 穂保専右衛門宛 次郎左衛門・覚右衛門伺書（御徒目付六人にも明日御賄成し下さるや）／一通（三紙）／（明和六年）二月七日／一五・〇×八八・二／切継紙 楮紙／次郎左衛門・覚右衛門↓専右衛門殿／今昼於御詰之間：可被申上候以上／0190-01-10 紐一括／宛先の下と紙背に指示を詳細に記載／032

0190-08 覚書（御詞成し下されざる面々、時打坊主から指物師まで職名等書上）／一通（三紙）／（明和六年カ）一五・〇×六七・二／切継紙 楮紙／時打坊主：相除申候以上／0190-01-10 紐一括／柱題「御詞不被成下面々」／032

0190-09 役名書（御城代役人、麻布御右筆役人、寺社奉行、町奉行他）／一通（二紙）／（明和六年カ）一五・〇×三三・四／切継紙 楮紙／御廟番 御本丸：町奉行／端裏書「十二月十二日」／0190-01-10 紐一括／032

0190-10 人数書（御西同心から青芋下役まで、下級藩士と足軽、職人）／一通（四紙）／（明和六年カ）一四・五×一〇五・五／切継紙 楮紙／一九十式人：ノ百拾老人／0190-01-10 紐一括／032

0191-01 買物代金勘定書控（江戸にて購入の高燭、火のし、太刀等、内訳は「三

わ渡」、「備後表」）／一通（四紙）／（明和六年カ）一五・〇×一五〇・三／切継紙 楮紙／一六挺 鉄高燭：銀三匁九分／端裏書「三月廿二日御便ニ申遣ス 江戸銅物代取調 控」／全体的に継目剥離／0191-01-10 封紙一括／柱題「江戸御買物代」包紙墨書「明和六ノ三月廿二日御便ニ申遣ス 江戸御買下御道具注文」／032

0191-02 御宝物蔵届書（御取上物として台火鉢、屏押が御蔵にあり）／一通（一紙）／（明和六年カ）九月二九日／一五・六×二一・六／切継紙 楮紙／御宝物御蔵／三通 台火鉢：相納り居申候以上／端裏書「九月廿四日小黒様カ」／0191-01-10 封紙一括／柱題「御取上ケ物之覚」／032

0191-03 堀口源右衛門・中村茂右衛門勘定書（御小姓頭への御借駕籠の仕様と代金詳細）／一通（四紙）／（明和六年カ）正月／一五・〇×一一五・八／切継紙 楮紙／堀口源右衛門・中村茂右衛門／御小姓頭へ御借：右之通御座候以上／端裏書「御小姓頭へ御借駕籠之事」／0191-01-10 封紙一括／032

0191-04 大原主馬覚書（御供登のためお渡しの幕、武具櫃等準備につき）／一通（三紙）／（明和三年二月）一五・七×五八・五／切継紙 楮紙／大原主馬／一幕二張：頼入存候以上／一部継目剥離／0191-01-10 封紙一括／柱題「覚」、下札で役所、元締所の意見を記載、封紙に本紙を綴込、封紙墨書「覚書 大原主馬 二月廿四日演説」／032

0191-05 御作事屋杉方覚書（大平主馬他三名に駕籠御借渡につき）／一通（二紙）／（明和六年カ）一月四日／一四・五×二五・三／切継紙 楮紙／杉方／甘粕牧右衛門殿：被遊申方ニ奉存候以上／端裏書「御作事屋」／0191-01-10 封紙一括／柱題「覚」／032

0191-06 御細工所願書（御入部御用の塗物仕上につき昼御賄米御借越につき）／一通（二紙）／（明和六年）四月二日／一五・三×二六・八／切継紙 楮紙／御細工所／御細工組御入部御用：御小印替ニ可仕候以上／端裏書「明和六年四月三日 元メ所評判之趣共ニ」／0191-01-10 封紙一括／032

0191-07 角御蔵覚書（御貸武具櫃は主馬殿分の他は無し、挟箱は二つあり他）／一通（一紙）／（明和六年カ）一月／一五・六×三〇・〇／切紙 楮紙／角ノ御蔵／御借武具櫃之儀：罷出不申候／0191-01-10 封紙一括／032

0191-08 御宝物蔵道具目録（御褥、屏風押、大火鉢他調度品、新御殿へ差出分を含む）／一通（二紙）／江戸中期（明和六年カ）月日未詳／一五・〇×四六・〇／切継紙 楮紙／御宝物御蔵／三通 御褥：右之通ニ御座候以上／端裏書「角ノ御蔵分 九月廿四日小黒様カ」／0191-01-10 封紙一括／柱題「覚」／032

0191109 役所宛 御宝物蔵用状(御小姓頭への御貸武具先例報知)／一通(一紙)／(明和六年カ)正月二日／一五・二×三八・五／切紙 楮紙／御宝物御蔵↓御役所／御小姓頭江：申方と存候以上／019110110封紙一括／柱題「覚」／032

0191110 御細工所伺書(御当用務分の石高は別口に下されるや)／一通(一紙)／(明和六年カ)四月二日／一五・二×一六・五／切紙 楮紙／御細工所／御当用二付而：御伺申上候以上／019110110封紙一括／032

0192101 御作事屋杉方届出書(御入部御用の桶類出来につき)／一通(二紙)／(明和六年カ)三月九日／一五・〇×二九・五／切紙 楮紙／杉方／御水風呂：御届申上候以上／端裏書「出来候分 御作事屋杉方」／019210110紐一括／柱題「御入部御用桶類出来仕候分書上之覚」／032

0192102 御台所道具目録(普段御用の有物を書き上げ、新規お渡し分は別紙の通り)／一通(五紙)／(明和六年カ)二月／一五・〇×一二・三・二／切紙 楮紙／御台所／一拾五双 大小：申上候通二御座候以上／端裏書「御台所有物」／一部虫損／019210110紐一括／柱題「覚」／032

0192103 道具目録(硯水入、葉缶他四品)／一通(二紙)／(明和六年カ)三月九日／一五・二×三七・〇／切紙 楮紙／一壹宛 硯水入：右之通積可被下由申候以上／一部継目剥離／019210110紐一括／柱題「覚」／032

0192104 御作事屋宛 靈仙寺申立書(御厨子、香炉他御道具受取につき)／一通(二紙)／(明和六年カ)二月二日／一四・八×五三・〇／切紙 楮紙／靈仙寺↓御作事屋／今日中ニ被仰渡：御道具受取申事／端裏書「御用意申達」／019210110紐一括／柱題「覚」、役早速用意するべき旨の二七日付の役所、会談所の下札あり／032

0192105 御道具目録(御台所分、御泊分、御小納戸分の弁当他の日用品)／一通(二紙)／(明和六年カ)／一五・三×五一・七／切紙 楮紙／御台所分：一五つ 木行灯／019210110紐一括／032

0192106 御台所覚書(本文は「二式つ 大小風呂敷釘メ御紋付 メ」)／一通(一紙)／(明和六年カ)一月／一四・八×二二・五／切紙 楮紙／一式つ 大小風呂敷：御紋付 メ／端裏書「御台所」／019210110紐一括／柱題「覚」／032

0192107101 松村甚兵衛見積書(御湯桶御傘物銀メッキ直し代は二六〇文)／一通(二紙)／(明和五年)一月二五日／一五・五×二二・七／切紙 楮紙／松村甚兵衛(黒印)／一式百六拾文：右之通二御座候以上／019210110紐一括、

07101102一綴／柱題「覚」、この積方通りが然るべき旨の役所、元締所の下札あり／032

0192107102 御台所伺書(松村の別紙通り江戸下の割蓋湯桶塗メッキ直したく)／一通(二紙)／(明和五年)一月／一五・五×二四・五／切紙 楮紙／御台所／江戸分御下シ：御伺申上候以上／端裏書「明和五年十一月二十八日申渡 割蓋湯桶金物めつき直し伺」／019210110紐一括、07101102一綴／柱題「覚」／032

0192108 御役所宛 桜井喜悦・楷林休弥届書(本文は「メ九行 右之通二御座候、以上」のみ)／一通(二紙)／(明和六年カ)三月／一五・〇×二一・四／切紙 楮紙／桜井喜悦・楷林休弥↓御役所／メ九行：右之通二御座候以上／一部破損／019210110紐一括／端の下部に朱筆「有：持之事」あり／032

0192109 御道具目録(嗽盥、茶碗他七品、寸法とも)／一通(一紙)／(明和六年カ)／一五・三×三八・五／切紙 楮紙／一壹つ 皆地黒塗：小巻尺三寸／019210110紐一括／032

0192110 江戸役所宛 米沢役所書状(今度御尊骸御迎登のうち大乘寺は直に白銀屋敷へ参着のため手配を願う)／一通(三紙)／(寛政六年)正月一日／一四・五×七九・五／切紙 楮紙／米沢御役所↓江戸 御役所／一筆令啓達候：可被成候恐々謹言／019210110紐一括／明小屋が無いため上屋敷へ手配する旨の返答下札あり、本史料は初入口ではなく葬儀関係／032

0193101 御台所伺書(御祝の赤飯は前々の通り上ノ並は三合、二の丸下の分は三合五夕ずつでよいか)／一通(三紙)／(明和六年)二月一日／一四・四×六二・五／切紙 楮紙／御台所／此度御祝二付：御伺申上候以上／019310110紐一括／柱題「覚」、前々よりの定法であれば伺の通りとするようにとの御頭横目の指示を貼り継ぐ／032

0193102 役所達書(日延となった御祝日並を支配下へ申渡すこと)／一通(二紙)／(明和六年)二月二〇日／一五・四×二八・五／切紙 楮紙／役所／御祝被成下候日並：可被渡由被申候以上／019310110紐一括／末尾に「田村長兵衛始ニ五家：」の書付一点添付／032

0193103 穂保専右衛門宛 役所書状(高家衆侍頭中一座になり献上取立取量、鮑を蛤に変更他)／一通(三紙)／(明和六年二月)七日／一五・一×六八・八／切紙 楮紙／役所↓穂保専右衛門殿／高家衆御侍頭：可被御申上候以上／019310110紐一括／小皿付とするか否かに関する役所の伺書下札あり／032

0193-04 御賄人数書(奉行から警護足軽まで役職別八日分御賄人数)／一通(四紙)／(明和六年)／一四・五×五八・五／切継紙 楮紙／香の物 平とふふ…御賄申渡候事／端裏書「十二月八日御賄」／0193-01-10紐一括／032

0193-05 御城代役所宛 鈴木新兵衛申出書(二六日本手明御給仕面付二〇名)／一通(二紙)／(明和六年) 二月一日／一四・七×五六・八／切継紙 楮紙／鈴木新兵衛御城代 役所所小山次助池内九右衛門…右之通御座候以上／0193-01-10紐一括／柱題「明十六日本御手明御給仕面付」、御帳メにつき叶わない旨の二月一三日付の役所宛色部達書一通附属／032

0193-06 役所先例答書(延享五年御家督祝頂戴の席につき麻布屋敷御台所頭から御城代役人分まで答書)／一通(二紙)／(明和六年) 二月三日／一五・〇×一〇五・四／切継紙 楮紙／役所／延享五年御家督之御祝：取揃差上候以上／継目剥離／0193-01-10紐一括／訂正箇所が多く下書の可能性あり／032

0193-07 穂保専右衛門宛 役所書状(赤飯見積もりの減方につき)／一通(三紙)／(明和六年) 二月六日／一四・〇×五九・四／切継紙 楮紙／役所↓穂保専右衛門殿御赤飯之積：可被御申上候以上／0193-01-10紐一括／宛先の下に、あまり減らしてはならず相応にするようにとの指示の書込みあり／032

0193-08 仙右衛門宛 次郎兵衛・覚右衛門伺書(御家督御祝御行事帳に赤飯御酒肴加用の記追記したく)／一通(四紙)／(明和六年) 二月六日／一四・二×二二・一／切継紙 楮紙／次郎兵衛・覚右衛門↓仙右衛門様御家督之御祝被成下候：宜被御申上度存候以上／0193-01-10紐一括／宛先の下に、皆別意無いので右筆所に急ぎ達するようにとの書込みあり／032

0193-09 役所覚書(二四日石坂次左衛門組以下の人数、当番人名、町方役人・諸職人まで刻限と人数)／一通(九紙)／(明和六年) 二月三日／一四・七×三二〇・六／切継紙 楮紙／役所／廿四日 石坂次左衛門組…右之通御座候以上／0193-01-10紐一括／032

0193-10 役所宛 色部達書(御家督祝頂戴の席承知、番控分は留帳のまま差出のこと他)／一通(三紙)／(明和六年) 二月三日／一四・八×六九・八／切継紙 楮紙／色部↓役所御家督御祝頂戴…可被相達候以上／継目剥離／0193-01-10紐一括／032

0194-01 役所宛 御右筆申上書(御入部御規式御用掛の折紙筆墨請取たく)／一通(一紙)／(明和七年カ) 正月九日／一五・七×四七・二／切紙 楮紙／掛り御右筆中↓御役所一五帖 並中折…何分宜奉頼候以上／0194-01-10紐一括／柱題「御入部御用掛付而御折紙并筆墨受取申事」申上立の通すに〇日付の役所、

元メ所の下札あり／032

0194-02 役所宛 御記録所申上書(定法渡の筆墨請取たく)／一通(二紙)／(明和七年カ) 正月二日／一四・六×四六・九／切継紙 楮紙／御記録所↓御役所一拾五対 耆対物筆…宜ク取量可被下候以上／0194-01-10紐一括／柱題「覚」、申立の通りとする旨の二日付の役所、元メ所の下札あり／032

0194-03 御掃除品目録(刀掛、屏風押さえ、煙管等調度、用具、食器類)／一通(四紙)／(明和七年カ) 一四・四×八八・四／切継紙 楮紙／御作事屋二通：御番所 燼見分／0194-01-10紐一括／柱題「御掃除申立之分」、後欠／032

0194-04 役所宛 旅作事伺書(御入部関係の調度類のうち損傷品につき)／一通(一紙)／(明和五年九月二九日)／一五・六×三六・一／切紙 楮紙／旅御作事↓御役所一御道中屏風…右之通御窺申候以上／一部継目剥離／0194-01-10紐一括／柱題「覚」、別紙見積もりの通りお渡しくださいました旨の一〇日八日付の役所、元メ所の添付文書あり／032

0194-05 石塚与左衛門願書(御舟印代金申し請けたく)／一通(二紙)／(明和六年) 正月二日／一五・二×四〇・六／切紙 楮紙／石塚与左衛門一正文 絹御舟印…申請度奉存候以上／端裏書「明和六年正月廿二日秋山へ申渡又御舟印積り儀」／0194-01-10紐一括／柱題「覚」、正月三日付の御宝物蔵宛宛桐町吉左衛門請求書を貼り継ぐ、この見積もりの通りお渡しされた旨の正月二五日付の役所、元メ所の下札あり／032

0194-06 御宝物蔵覚書(武器箱、挟箱等大平主馬へ貸出)／一通(二紙)／(明和六年カ) 一〇月／一四・六×二七・八／切継紙 楮紙／御宝物蔵一武器箱…御借渡二罷成申候／端裏書「角ノ御蔵」／0194-01-10紐一括／柱題「覚」／032

0194-07 御台所覚書(手燭は赤湯入湯、御巡見宿等に用い、煙草盆は御掃除所へお渡し)／一通(三紙)／(明和六年) 正月二日／一四・四×五三・三／切継紙 楮紙／御台所一拾式挺 手燭…右之通御座候以上／0194-01-10紐一括／柱題「覚」／032

0194-08 御台所覚書(有物八挺、役場普段物二挺の寸法と内訳)／一通(二紙)／(明和六年) 正月八日／一四・九×四七・四／切継紙 楮紙／御台所一壹挺 一尺八寸五分…右之通御座候以上／0194-01-10紐一括／柱題「覚」、挺で数えるものだが品物は未詳／032

0194-09 御宝物蔵届書(先達て仰せ付けの御道具、雨覆等は来月一六日まで出来る由)一通(一紙)／(明和六年)正月二九日／一五・四×一八・七／切紙 楮紙／御宝物蔵／先達而被仰付：御届申上候以上／0194-01-10紐一括／柱題「覚」／032

0194-10 宮崎伊兵衛・草刈卯平宛 中西四郎左衛門伺書(御入部御用塗物多く困窮につき御賄米御拝借のため取り成し下された)一通(二紙)／(明和六年)正月二九日／一五・〇×五一・一／切紙 楮紙／御番頭 中西四郎左衛門↓宮崎伊兵衛殿・草刈卯平殿／旧冬分御入部御用：奉頼存候以上／端裏書「明和六年正月廿九日 正米受取申度由元メ所へ：」／0194-01-10紐一括／柱題「御伺申上候事」／032

0195-01 品名目録(箱提灯、御盆他、食器の品数、一部は塗方)一通(三紙)／江戸中期(年月日未詳)／一五・七×七六・七／切紙 楮紙／御台所 一本本：一五拾膳 地足／0195-01-10紐一括／柱題「覚」、端裏に貼紙「諸役場分根元書出取上之上平田殿付札物一式」あり／032

0195-02 嶋善五左衛門・馬場次郎兵衛宛 保坂久之丞書状(御小姓頭硯箱手入のため遣いの者にお渡し下された)一通(二紙)／江戸中期(年月未詳)四月四日／一四・八×三六・四／切紙 楮紙／保坂久之丞↓嶋善五左衛門様・馬場次郎兵衛様／以別紙得御意候：御渡被遣可被下候以上／端裏書「四月四日 御中間小姓受取」／0195-01-10紐一括／032

0195-03 金子茂助宛 役所用状(来年御入部御供の面々へ御酒下賜評判物一通差し上げ、延享四年御祝書上は近日中他)一通(二紙)／(明和五年)二月一三日／一四・七×三六・〇／切紙 楮紙／役所↓金子茂助殿／来年御入部御供之：差上可申候以上／0195-01-10紐一括／宛先の下に別意無き旨の書込みあり／032

0195-04 御台所覚書(地紙弁当と飯代は計七貫文)一通(三紙)／(明和五年)二月一五・八×四〇・〇／切紙 楮紙／御台所／一式拾人前：右之俣二御座候以上／端裏書「明和五年十二月十四日長へ申渡ス 地紙弁当食躰御買上」／0195-01-10紐一括／柱題「覚」、上工代金勘定に関する二月一二日付の役所、元メ所の書付を貼り継ぐ／032

0195-05 上御膳部御道具目録(御揃御道具の食器、調度品等)一通(三紙)／(明和五年)二月一五・〇×一〇九・三／切紙 楮紙／上御膳部／一匙具鍋御腕：右之通二御座候以上／端裏書「上御膳部 御揃御道具御重等さけ重」／貼紙剥離多数／0195-01-10紐一括／柱題「御揃御道具之覚」、質問を記した貼紙あり／032

0195-06 役所・元締所用状(来年御入部着城の節御酒下賜のため一〇俵増造入がしかるべきと評議す)一通(二紙)／(明和五年)二月一三日／一四・八×四七・五／切紙 楮紙／役所 元メ所／来年御入部 御着城：被仰渡可然奉存候以上／端裏書「明和五年十二月十四日長へ申渡ス 御着 城之内御祝造入評判書」／0195-01-10紐一括／032

0195-07 上御膳部御道具目録(御着城時入用の鍋、薬缶、食器等)一通(四紙)／(明和五年)子五月／一五・〇×九八・〇／切紙 楮紙／上御膳部／一七通割子：右之通二御座候以上／端裏書「御膳部」／0195-01-10紐一括／柱題「御着城分御入用御道具」、補足記載の付札多数／032

0195-08 御宝物蔵御道具目録(御登せお渡し申し立ての武具用の油紙、筵、蓑等)一通(三紙)／(明和五年)二月／一五・五×八五・五／切紙 楮紙／御宝物蔵／御弓 一式枚：一添竹 メ／端裏書「明和六年二月十二日秋山へ申渡ス：」／0195-01-10紐一括／柱題「覚」、申立の通り渡して然るべきとの二月一三日付の役所、元メ所の下札あり／032

0195-09 御道具目録(御膳部、御台所、御泊分の柳桶、御膳台、鍋敷等)一通(三紙)／(明和五年)二月／一五・三×一七・〇／切紙 楮紙／御膳部分 一式：新規御拵黒ぬりニシテ／0195-01-10紐一括／柱題「覚」／032

0195-10 金銭勘定書(御掃除所竹代他、御細工所、作事屋等の諸品代)一通(二紙)／(明和五年)二月／一四・六×三六・〇／切紙 楮紙／一式百八拾文：割子七つ組出来／0195-01-10紐一括／032

0196-01 千坂高敦他二名宛 市川豊後願書(初入り部御礼使者勤のため拝借金三〇両)一通(二紙)／(明和六年)正月二五日／三一・八×四〇・〇／切紙 楮紙／市川豊後(黒印)↓千坂対馬殿他二名／今度 御初入り部：偏頼入存候以上／0196-01-12紐一括／柱題「以書付申上候事」、二五日付の役所、元メ所の下札、二九日付の關係役人での評議を記した付札あり／032

0196-02 御道具目録(御日小屋分、硯箱、ざる、摺鉢等)一通(四紙)／(明和六年)二月／一五・〇×一三三・〇／切紙 楮紙／御日小屋分：ぬりたはこ盆小道具共二／0196-01-12紐一括／柱題「覚」、一部に「除」とあり／032

0196-03 御道具目録(すりこ木、風呂敷、菓子箱等)一通(四紙)／(明和六年)二月／一五・五×一六・五／切紙 楮紙／一本 大小すりこ木：三尺之御麻畳／0196-01-12紐一括／032

0196-04 竹俣当綱宛 主馬書状(御本城にて拙者使用の硯箱三箱の行方お知らせ)

せ)／一通(三紙)／(明和六年カ)八月十九日／一四・八×六八・五／切継紙 楮紙
 主馬↓美作殿／御本城二而拙者：為貴報如斯御座候以上／0196-01-12紐一
 括／032

0196-005 木村丈七宛 半左衛門書状(鳴物停止のうえは延期やむなく、小嶋殿
 の儀は延期が然るべく他につき返信)／一通(三紙)／(明和六年カ)二月二十八日／一
 五・二×六二・七／切継紙 楮紙／半左衛門↓丈七様／御懇書拝見：先ッ御報早々申上
 候以上／0196-01-12紐一括／032

0196-006 平太宛 隼人書状(御座の間御平常差上分と御規式分の手燭他、必要
 ならば積書差し下されたく)／一通(二紙)／(明和六年カ)九月二日／一四・八×
 七四・二／切継紙 楮紙／隼人↓平太様／御座の間御平常：追々得御意候以上／下札一
 点剥離／0196-01-12紐一括／一部は米沢にて平常使用するので用意に及ばな
 い旨の下札あり／032

0196-007 岩井五郎右衛門覚書(勘定頭へ申渡の書付と同請書を本日箱入れす)
 一通(一紙)／享保一年五月七日／一五・五×二五・〇／切紙 楮紙／岩井五郎
 右衛門／五月十七日：今日御箱入／0196-01-12紐一括／032

0196-008 達書(御家督御祝加用勤のため一月晦日に掃除坊主、足輕、町人に
 御政事所に詰めるよう申し達すべく)／一通(一紙)／(明和六年)一月／一五・三
 ×四二・〇／切紙 楮紙／十一月晦日四時：可申達候事／0196-01-12紐一括
 柱題「覚」／032

0196-009 大平八左衛門・河田九郎左衛門宛 竹俣右内書状(御把針御用のため
 裁物板、定規等お渡し下されたく)／一通(二紙)／丑(明和六年)二月／一四・七×
 五七・五／切継紙 楮紙／竹俣右内(黒印)↓大平八左衛門殿・河田九郎左衛門殿／一
 裁物板：被仰立可被下候以上／端裏書「御把針所申立分」、異筆端裏書「三月廿五日夫々
 申渡入」／0196-01-12紐一括／柱題「覚」、下部に三月二四日付の元締所宛
 役所意見書を貼付／032

0196-010 御台所宛 ず屋九左衛門品代覚(錫徳利等の品代と手間代)／一通
 (二紙)／(明和六年カ)九月一八日／二四・五×四八・〇／切継紙 楮紙／ず屋九
 左衛門↓御台所様／一三拾壹匁 錫御徳利：右之通二御座候以上／0196-01-1
 2紐一括／柱題「覚」／032

0196-011 達書(上御膳部の鉄かき他代金を中勘にして差し出さるべく)／一通
 (二紙)／(明和六年カ)一月／一四・九×二七・二／切継紙 楮紙／一五つ 上御
 膳部：可被差出候事／端裏書「御作事所」／0196-01-12紐一括／柱題「覚」
 032

0196-012 品数覚(御寝間床と御手水所に各一疊、茶碗洗一つ)／一通(一紙)
 (明和六年カ)／一四・八×一四・九／切紙 楮紙／一壹疊 御床疊：三尺之御床疊
 0196-01-12紐一括／朱筆書込みあり／032

0197-001 品数覚(鉄行灯一〇、地紙弁当五通)／一通(二紙)／(明和六年カ)
 一五・七×二三・〇／切継紙 楮紙／一十鉄行灯：御女中御かし物／0197-01
 10紐一括／柱題「覚」、冒頭に「御台所二承可申答」とあり／032

0197-002 御銚子方申立書(銚子、盆、箱等ご用意下されたく)／一通(三紙)
 (明和五年カ)二月／一五・〇×八八・〇／切継紙 楮紙／御銚子方△イ 一壹つ
 御不断御銚子：被仰付被下度存候以上／端裏書「申立之品々江戸御持せにて御間合之分
 も有之：」／下札剥離多数／0197-01-10紐一括／柱題「覚」、御懸けを布か
 緞子にするか、その調達に関する意見書一通添付／032

0197-003 大平八左衛門・河田九郎左衛門覚書(御堂召料入り長持他御入部御用
 に必要の御呉服、御道具類と、御小納戸にある道具類の目録)／一通(五紙)／(明和
 五年)子二月二九日／一五・五×一〇四・七／切継紙 楮紙／大平八左衛門・河田九郎
 左衛門／御堂御召料入 一御長持：右之通御座候以上／端裏書「御小納戸頭」／019
 7-01-10紐一括／柱題「覚」、下札多数／032

0197-004 御泊番覚書(五升桶二つ、車桶二種の寸法)／一通(一紙)／(明和
 六年カ)一〇月／一五・〇×三七・〇／切紙 楮紙／御泊／一貳つ 五升桶：松木ニシ
 テ白木ゆい／0197-01-10紐一括／前欠か／032

0197-005 御台所申立書(食器、道具類のうち新御殿お渡しと残数、新規お渡し
 を願う分の詳細内訳)／一通(七紙)／(明和五年カ)二月／一五・一×二〇二・〇／
 切継紙 楮紙／御台所／一塗物■取合：御渡可被成候以上／端裏書「御台所申立之
 品々」／下札剥離、折れ多数、下部破損／0197-01-10紐一括／柱題「覚」、
 下札多数／032

0197-006 黒崎清内・高野三右衛門覚書(江戸御上下の節御持たせの青貝柄入鉄
 砲は去春大殿様御下りの節受取御蔵に入置く)／一通(一紙)／(明和五年カ)一二月
 二五日／一六・七×二四・七／切紙 楮紙／黒崎清内、高野三右衛門／江戸御上下之節
 ：御蔵入二仕指置申候以上／0197-01-10紐一括／柱題「覚」／032

0197-007 上御膳部申立書(江戸表にて鉄気煮出し差し下されたき鉄鍋類の目録)
 一通(五紙)／(明和五年カ)二月／一五・五×一一三・五／切継紙 楮紙／上御膳
 部／一壹つ 御食鍋：差下候様二被仰付可被下候／端裏書「上御膳部江戸御持二而御
 間合分引合」／0197-01-10紐一括／柱題「覚」、下札あり／032

0197-08 いづみ屋武兵衛品代書上(大極上物の鎌、鉄鍋、大わさびおろし他金物類)ノ一通(三紙)ノ(明和五年カ)一〇月ノ一五・〇×五八・〇ノ切継紙 渡返紙ノ大門通小伝馬町いづみ屋武兵衛(黒印)ノ一彦本 鎌極上:差上可申候已上ノ0197-01ノ紐一括ノ柱題「覚」ノ032

0197-09 上御膳部覚書(薄盤は式部様方に間合のところ三汁九菜の料理には間に合う、三献の亀の甲は大殿と屋形様のみ)ノ一通(一紙)ノ(明和五年カ)十一月二八日ノ一四・七×二八・〇ノ切紙 楮紙ノ上御膳部ノ先日御尋之:御外様ハ無御座候以上ノ0197-01ノ紐一括ノ柱題「覚」、封紙ウワ書「十一月廿九日平田氏々受取ル 覚 御膳部」ノ032

0197-10 御役所宛 桜井喜悦・櫻村久弥書状(新御殿へ御遣わしの道具七品の目録)ノ一通(二紙)ノ(明和五年)子三月ノ一五・一×四六・〇ノ切継紙 楮紙ノ桜井喜悦・櫻村久弥ノ御役所ノ新御殿江遣置候御道具:御問合申候以上ノ0197-01ノ紐一括ノ032

0198-01 御細工所見積書(御手洗御湯桶に桐の紋付けのため金箔枚数)ノ一通(二紙)ノ(明和五年カ)二月二八日ノ一五・三×五八・五ノ切継紙 楮紙ノ御細工所ノ一式拾四枚:中勘ニシテ如斯御座候以上ノ端裏書「三月六日申渡ス」ノ0198-01ノ紐一括ノ柱題「御手洗御湯桶江金箔ニ而金箔御紋付金箔積り」、末尾に三月一日付の御細工所追伸を貼り継ぐ、この通りにすべき旨の三月四日付の役所、元締所の下札ありノ032

0198-02 御台所覚書(割子七つ組の代金と作料)ノ一通(二紙)ノ(明和五年カ)二月ノ一四・八×四一・五ノ切継紙 楮紙ノ御台所ノ御買物ヲ:右之通ニ御座候以上ノ端裏書「三月二日申渡ス」ノ0198-01ノ紐一括ノ柱題「覚」、二月二六日付の御台所覚書一通を貼り継ぐ、二月二七日付の役所、元締所の下札あり、端裏に貼紙「二月廿七日御詰之間御三所様御覽相済候事 三通」ノ032

0198-03 旅作事伺書(二臺台御長持のため桐油、莫塵等荷造入用の品を御登せになるや)ノ一通(二紙)ノ(明和五年カ)三月二七日ノ一五・七×四八・〇ノ切継紙 楮紙ノ旅御作事ノ一二臺台御長持:御伺申上候以上ノ0198-01ノ紐一括ノ柱題「覚」ノ032

0198-04 板方「御用意物出来分書上之覚」(風呂、桶、盥等)ノ一冊(二丁)ノ(明和五年カ)三月ノ一五・〇×三七・〇ノ横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙ノ板方ノ0198-01ノ紐一括ノ032

0198-05 松村仁兵衛品代勘定書(文台、火鉢等の金具類)ノ一通(三紙)ノ(明和五年カ)正月ノ一四・八×八二・七ノ切継紙 楮紙ノ松村仁兵衛ノ一彦通 御文台座

くわん:右之通ニ御座候以上ノ端裏朱書「御見台ノ鉄 御たばこ盆之御下物色上ケ:松村仁兵衛」ノ継目一か所剥離ノ0198-01ノ紐一括ノ柱題「覚」、見積の通りが然るべき旨の三月二六日付の役所、元締所の下札ありノ032

0198-06 江戸役所宛 米沢役所書状(当年御入部に御持たせの道具のうち米沢にて仕立の幕と蠟虎鞍覆、房河渡しの船印等早々御登せ下されたく)ノ一通(四紙)ノ(明和六年)正月二七日ノ一五・七×一三・五ノ切継紙 楮紙ノ江戸 役所ノ米沢御役所ノ一筆令啓達候:為其如此御座候恐々謹言ノ0198-01ノ紐一括ノ戸屋伊左衛門殿、馬場次郎兵衛殿宛 関口仲蔵封紙入り、封紙裏書「明和六年二月六日二達 御入部二付品々為御登物之儀:」ノ032

0198-07 大平八左衛門・河田九郎左衛門伺書(江戸より古鉄行灯四つ達せざれば用立たず、降旗左司馬よりも繕差し置くよう申し遣わす)ノ一通(二紙)ノ(明和六年)二月ノ一五・五×二二・八ノ切継紙 楮紙ノ大平八左衛門・河田九郎左衛門ノ江戸表古鉄行灯:御伺申上候以上ノ端裏書「鉄行灯四つ繕 藤田伊兵衛」ノ継目剥離ノ0198-01ノ紐一括ノ柱題「覚」、末尾に三月四日付の藤田伊兵衛見積書を巻き込む、見積通りとすべき旨の三月二四日付の役所、元締所の下札ありノ032

0198-08 役所宛 御宝物蔵申立書(御徒分の絹単羽織五着代金)ノ一通(二紙)ノ(明和六年)一〇月一〇日ノ一五・〇×三三・〇ノ切継紙 楮紙ノ御宝物御蔵ノ御役所ノ一五つ 針貫御紋付ニシテ:追而可申上候已上ノ端裏書「明和六年十月十一日 御徒へ御絹羽織申立評判物」ノ0198-01ノ紐一括ノ柱題「覚」、山上へお迎えの御徒五人は必要なので申立て通りとすべき旨の一〇月一〇日付の役所、元締所の下札ありノ032

0198-09 役所・元締所意見書(江戸より御下し分の賄入料はこの書面の通り渡してしかるべく)ノ一通(一紙)ノ(明和六年)二月ノ一四・九×一・五ノ切継紙 楮紙ノ役所、元締所ノ此度江戸ノ御下し分:被仰渡可然存候以上ノ端裏書「御前分三月六日申渡ス」ノ0198-01ノ紐一括ノ元は下札が剥離したものかノ032

0198-10 穂保専右衛門宛 馬場頼綱・嶋覚右衛門書状下書(御入部御登せの品二五日頃御差し立ての伺、旅御作事量分は後にし、まず江戸にてお手入分ばかり登らせ然るべく)ノ一通(三紙)ノ(明和六年)二月二〇日ノ一五・二×八〇・七ノ切継紙 楮紙ノ馬場次郎兵衛・嶋覚右衛門ノ穂保専右衛門様ノ御入部二付而為御登之品:彼是宜にて申上候以上ノ端裏書「二月廿五日御日小屋荷物便之事」ノ0198-01ノ紐一括ノ宛先の下に穂保の意見を書き込み、二月二〇日付の金子茂助・石丸奥次宛役所書状、二月二二日付の穂保宛 役所書状を貼り継ぐノ032

0199-01 御台所申立書(米沢御台所にある明荷箱を御登せ下されたく)ノ一通(二紙)ノ(明和五年)子二月ノ一四・二×二九・五ノ切紙 楮紙ノ御台所ノ一御道

中金銀役：仕度奉存候以上／端裏書「明荷箱為御登之儀申立 御台所」／0199-01-11紐一括、0199-01-03封紙一括／江戸藩邸の御台所、柱題「覚」、封紙ウワ書「戸屋伊左衛門殿 馬場次郎兵衛殿 関口仲蔵」、同裏書「明和六年二月六日二達 御関札江戸：」／032

0199-02 米沢役所宛 江戸役所書状（御関札御登せ滞りなく取量願う、御台所より旧臘中に申出の別紙の通り明荷箱差し下す他二条）／一通（四紙）／（明和六年）正月二七日／一五・四×一六三・〇／切継紙 楮紙／江戸 役所↓米沢 御役所／以別紙得啓達候：宜様御取量可被成候恐々謹言／端裏書「米沢」／0199-01-11紐一括、0199-01-03封紙一括／文中の別紙は同封の文書が該当／032

0199-03 割方人数書（当四月御下向御供足輕の内訳詳細）／一通（二紙）／（明和六年）正月／一四・四×七三・四／切継紙 楮紙／割方／一百拾八人：相及申間敷奉存候以上／0199-01-11紐一括、0199-01-03封紙一括／封紙ウワ書「割方」、柱題「当四月御下向御供御足輕夫頭差向覚」／032

0199-04 酒井□□書状（今度御即位につき、太刀、馬代他につき、先年女帝様即位の時分差上げの通りなされるべく）／一通（一紙）／（明和六年）九月八日／一七・五×四一・三／切紙 楮紙／酒井□□／今度就 御即位：其節可被成候以上／0199-01-11紐一括／柱題「覚」、本史料は他の近辺の資料と大きく性格が異なる内容／032

0199-05 御台所定法覚書（神酒は月々三度他、御先代様、大殿様とも差し上げ他）／一通（二紙）／（明和六年カ）六月三日／一五・五×三二・三／切継紙 楮紙／御台所／一月々三度之式：八幡之時計ニ御座候以上／端裏書「御「破損」分」／一部破損／0199-01-11紐一括／柱題「神酒差上申定法之覚」／032

0199-06 役所・元締所意見書綴（上御膳部御湯殿桶、見積の通りがしかるべく他）／一綴（五紙）／（明和六年カ）三月二四日／一五・四×二〇・八／切継紙 楮紙／役所・元々所／0199-01-11紐一括／元は下札か、五点一綴／032

0199-07 御細工所覚書綴（剥立の御関札枚数と寸法）／一綴（三紙）／（明和六年）二月七日／一四・七×二三・二／切継紙 楮紙／御細工所／0199-01-11紐一括／三通一綴／032

0199-08 嶋覚右衛門・馬場頼綱宛 小田嶋庄右衛門書状（唐紙差し上ぐ）／一通（一紙）／（明和六年カ）四月一日／一四・六×一八・〇／切紙 楮紙／小田嶋庄右衛門↓嶋覚右衛門様・馬場次郎兵衛様／唐紙差上申候：宜敷様御頼申上候以上／端裏書「嶋覚右衛門様 馬場次郎兵衛様 小田嶋庄右衛門」／0199-01-11紐一括／032

0199-09 馬場頼綱宛 小田嶋庄右衛門書状（先達てお渡ししの紙三一八枚、唐紙二九〇枚になる不足三〇枚だが四〇枚下されたく）／一通（一紙）／（明和六年カ）三月二二日／一四・五×一六・六／切紙 楮紙／小田嶋庄右衛門↓馬場次郎兵衛様／先達御渡之紙：御渡シ可被下候以上／0199-01-11紐一括／032

0199-10 藤田伊兵衛見積書（高燭九挺代三貫五五〇文）／一通（三紙）／（明和六年）丑ノ二月三日／一四・五×七六・〇／切継紙 楮紙／藤田伊兵衛／一式挺式尺九寸御有物：御入料中勘を以申上候以上／端裏書「明和六年十月十三日申渡 高燭仕次之事」／0199-01-11紐一括／柱題「覚」、役所、元締所の意見を記した下札二点あり、端裏に下札あり／032

0199-11 達書（御帳にも右の通り記し置き、御式台の間にて頂戴のこと仰せ出さる）／一通（二紙）／明和六年二月二四日／一五・八×三五・八／切紙 楮紙／申渡候自今御帳：可有頂戴旨被 仰出候事／0199-01-11紐一括／前欠／032

0304 「明暦元年七月廿二日御見舞帳」（上杉綱勝初入部祝、七月二日、一二月二九日）／一冊（二三丁）／明暦元年／一七・二×四四・三／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／裏打あり／047

上杉家—儀礼・儀式—葬儀

0098 「映心様御逝去一卷御葬礼等之帳」（上杉宗憲の葬礼の日記、六月五日〜七月六日）／一冊（二二丁）／宝永元年／三二・七×二四・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付一〇九丁／029

0099 「泰心公御逝去一卷之帳」（上杉吉憲の葬礼の日記、五月一日〜六月七日）／一冊（二七〇丁）／享保七年／三〇・五×二〇・六／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付一五九丁／029

0100 「岳心様御逝去一卷之帳」（上杉宗憲の葬礼の日記、五月一日〜六月八日）／一冊（二六七丁）／享保九年／三〇・二×二〇・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／乙第五三号／墨付一六二丁／029

0101 「岳心様御祭式ニ付諸触之留」（上杉宗憲の葬礼）／一冊（一一五丁）／享保九年／二三・五×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／御用懸朝岡清七郎他四名／029

0102 「雄心公御逝去一巻之帳」(上杉宗房の葬礼の日記、八月二日〜九月一六日) / 一冊(一七四丁) / 延享三年八月 / 三〇・八×二〇・八 / 豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 墨付一七〇丁 / 029

0103 「清寿院様御葬式御法事迄之覚」(葬儀の次第、経費、葬列の様子他) / 一冊(七丁) / 享保五年 / 一六・四×四七・一 / 横帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 表紙スレで表題の判読困難のため、付箋の表記を史料名に採用 / 029

0104-01 円光院様御石塔場絵図(上杉綱憲の正室円光院を祀る石塔周辺) / 一鋪(六紙) / 享保一二年閏正月一七日 / 五九・八×七七・〇 / 継紙 楮紙 / 0104-01-03 紙袋入 / 旧箱に保管、蓋墨書「享保十二年丁未閏正月十七日(近代貼紙あり判読できず) 中條周防」、蓋貼紙墨書「喪祭 第一号 明治廿三年改」他、蓋側面に貼紙墨書「四六三 圓光印御葬儀書類 一箱」他 / 029

0104-02 円光院様御法塔絵図(上杉綱憲の正室円光院を祀る墓の図) / 一鋪(九紙) / 享保一二年閏正月一七日 / 九六・二×九八・四 / 継紙 楮紙 / 0104-01-03 紙袋入 / 旧箱に保管 / 029

0104-03 池上本門寺寺中絵図(上杉綱憲の正室円光院を祀る池上本門寺の絵図) / 一鋪(九紙) / 享保一二年閏正月一七日 / 一一〇・三×八九・一 / 継紙 楮紙 / 0104-01-03 紙袋入 / 旧箱に保管 / 029

0104-04 覚書(上杉綱憲の正室円光院の桐ヶ谷入棺御供他) / 一通(二紙) / 享保一二年閏正月一七日 / 一六・七×九三・五 / 切継紙 楮紙 / 一桐ヶ谷へ御：二御座候迄 / 旧箱に保管 / 029

0104-05 円光院葬儀行列書(円光院は上杉綱憲の正室) / 一通(二三紙) / 享保一二年閏正月一七日 / 一八・一×六一・二 / 切継紙 楮紙 / 押之者高提灯：乗物戸田金左衛門 / 旧箱に保管 / 029

0104-06 覚書(上杉綱憲の正室円光院葬儀の人員配置) / 一通(六紙) / 享保一二年閏正月一七日 / 一六・四×二三・五・六 / 切継紙 楮紙 / 右八御出棺之節：平土服沙麻上下以上 / 旧箱に保管 / 029

0105-01 「寛之助様御早世御葬式迄之帳」(安永八年一〇月二七日〜二月一日、上杉寛之助葬送の次第、行列等) / 一冊(三九丁) / 安永八年一〇月 / 三二・七×二一・七 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 乙第五四号 / 029

0105-02 覚書(円光院の遺骸が御葬地の池上本門寺へ送られる道筋につき) / 一通(二紙) / 江戸中期(年月日未詳) / 一六・五×八三・八 / 切継紙 楮紙 / 一円光

院様御尊骸：本坊へ被為候 / 0105-01の16丁目の袋綴に挟込 / 付札あり / 029

0106-01 御役所宛 靈山寺「瓊林院様御位牌 御堂江被為入候二付当時御入用之道具申立候帳」(上杉顕孝の位牌の御堂入りにつき) / 一冊(一〇丁) / 寛政六年正月 / 二四・七×一五・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 靈山寺 ↓ 御役所 / 0106-01-03 合綴 / 付箋多数、旧箱に保管、旧箱墨書蓋「寛政六年正月 瓊林院様御葬送一件書物 御南御量御役所」、箱側面「十一番」「寛政六年」「瓊林院様御位牌一件□□」貼札「喪祭 第拾一号 明治廿三年改」「三七一 瓊林院様(顕孝公) 御葬儀一件一三三三三」乙第五〇号 古文書圖書籍経巻仏像仏器 瓊林院様御葬送一件諸書物 寛永(ママ) 六年正月 北倉庫階下 第北棚段第上欄 / 029

0106-02 覚書(上杉宗房葬儀時の諸道具類準備につき) / 一通(二紙) / 江戸中期(年月日未詳) / 二四・六×一三・七 / 豎紙 楮紙 / 英徳院様被為：可被下候以上 / 0106-01-03 合綴 / 0106-01の二丁目に挟込、旧箱に保管 / 029

0106-03 御役所覚書(上杉顕孝葬儀に係る道具の略式用意) / 一通(二紙) / (寛政六年) 二月二日 / 一四・五×三五・〇 / 切紙 楮紙 / 御役所 / 右之通御道具：御内談候以上 / 0106-01-03 合綴 / 0106-01の八丁目に貼付、旧箱に保管 / 029

0107 原・石栗「瓊林院様御葬礼量帳」(上杉顕孝葬儀時の役割分担) / 一冊(七丁) / 寛政六年正月 / 二五・〇×一七・三 / 豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 御役所 原・石栗 / 表紙に虫損あり / 旧箱に保管 / 029

0108 諸品書立(上杉顕孝葬儀の物品数、金子書留め、正月二日〜二月九日) / 一冊(二五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二四・九×一五・五 / 豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 旧箱に保管 / 030

0109 「英徳院様笹野村大檀江御葬式目録写」(上杉宗房葬儀時の御普請方による笹野村大壇設営見積) / 一冊(八丁) / 寛政六年正月 / 二三・六×一五・五 / 豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 町田八之丞他三名 / 旧箱に保管 / 030

0110 御作事屋宛 白井平左衛門・小森清次「瓊林院様御尊骸御下り二付大沢分板谷迄御道御普請入料目録」 / 一冊(七丁) / 寛政六年二月三日 / 二四・九×一五・四 / 豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 白井平左衛門(黒印)・小森清次(黒印) ↓ 御作事屋 / 旧箱に保管 / 030

0111 御作事屋宛 高橋三郎兵衛・中嶋彦兵衛「瓊林院様御尊骸御下り二付山上大橋ヨリ大沢入口迄御道御普請目録」 / 一冊(七丁) / 寛政六年二月三日 / 二四・五×

一五・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／高橋三郎兵衛(黒印)・中嶋彦兵衛(黒印) ↓御作事屋／旧箱に保管／030

0112 御作事屋宛 庄田彦六・上村源五郎「瓊林院様御尊骸西光寺御止棺ニ付御入科目録」／一冊(一〇丁)／寛政六年二月／二四・六×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／庄田彦六(黒印)・上村源五郎(黒印) ↓御作事屋／旧箱に保管／030

0113 御作事屋宛 佐藤盛助・樋口源太「若殿様御尊骸御下リニ付板谷ヨリ産ケ沢マデ御道御普請目録」／一冊(八丁)／寛政六年二月一日／二五・二×一五・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／佐藤盛助(黒印)、樋口源太(黒印) ↓御作事屋／旧箱に保管／030

0114 御作事屋宛 佐藤嘉右衛門「若殿様御尊骸御下棺ニ付産ケ沢ヨリ李平駅迄雪踏橋々御普請御入料御算用帳」／一冊(六丁)／寛政六年二月三日／二四・五×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／佐藤嘉右衛門(黒印) ↓御作事屋／旧箱に保管／030

0115 中之間年寄・寺社奉行「瓊林院様御四拾九日御法事於法音寺御修行之行事」(二月二日〜三日)／一冊(一〇丁)／寛政六年二月三日／二四・七×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 斐紙／六人年寄・寺社奉行／全体に虫損、裏打あり／旧箱に保管／030

0116 御役所「瓊林院様御六七七日ニ付於法音寺大殿様ヨリ御附御茶湯御執行被進候行事」／一冊(五丁)／寛政六年二月六日／二五・〇×一五・七／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御役所／旧箱に保管／030

0117 御作事屋合御役場「瓊林院様御葬送ニ付諸所御用意目録帳」／一冊(五丁)／寛政六年三月／二四・八×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御作事屋合御役場／旧箱に保管／030

0118 「瓊林院様御位牌御堂江被為入候付御道具申立帳」／一冊(九丁)／寛政六年二月／二四・九×一七・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／旧箱に保管／030

0119 御作事屋宛町田八之丞他三名「瓊林院様御廟江御葬式ニ付□□御墓所御補理御普請御入料目録」／一冊(二六丁)／寛政六年二月／二四・六×一五・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／町田八之丞他三名 ↓御作事屋／表紙に虫損あり／旧箱に保管／030

0120 御作事屋宛長尾弥平衛他五名「瓊林院様御葬式御入料目録」(道路および法音寺内の整備他)／一冊(六丁)／寛政六年二月／二四・八×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／長尾弥平衛他五名 ↓御作事屋／旧箱に保管／030

0121 木村茂助宛 斎藤五右衛門「瓊林院様御尊骸御下向ニ付而御荷物翌日送込合御雇夫代書上目録帳」／一冊(六丁)／寛政六年二月／二四・六×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／斎藤五右衛門(黒印) ↓木村茂助殿／旧箱に保管／030

0122 役所「瓊林院様御遺体板谷江御着棺ヨリ法音寺江被為入候行事」(米沢着棺から焼香までの日程)／一冊(六一丁)／(寛政六年二月)／二四・八×一五・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／役所／裏打あり／旧箱に保管／030

0123 御日小屋「瓊林院様御葬式御用意物書上帳」(錢九四貫七四三文)／一冊(一四丁)／寛政六年三月／二四・七×一五・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御日小屋／裏打あり／旧箱に保管／030

0124 御日小屋金銀方「若殿様御逝去ニ付御入料帳」(正月一三日〜二月二六日、金一六九兩二分と錢一二〇貫八九五文)／一冊(二二丁)／寛政六年三月／二四・五×一五・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御日小屋金銀方／旧箱に保管／030

0125 御作事屋宛桜加右衛門他三名「瓊林院様法音寺御補理ニ付而御入料目録」(錢一六貫四八八文、六四八文不足)／一冊(一〇丁)／寛政六年三月／二四・九×一五・六／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／桜加右衛門他三名 ↓御作事屋／旧箱に保管／030

0126 御台所「瓊林院様御葬送御用之諸品御賄被成下御入料共ニ書上帳」(錢三〇貫四〇一文)／一冊(一六丁)／寛政六年三月／二四・八×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御台所／旧箱に保管／030

0127 中条「瓊林院様御位牌御堂江御移之行事」(位牌移動に伴う行列と行程)／一冊(七丁)／寛政六年三月五日／二四・八×一五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／中条／旧箱に保管／030

0128 御作事屋宛長尾弥平衛他九名「瓊林院様御葬式ニ付御刺立物御入料目録」(錢五七貫一八八文、四貫一八五文不足)／一冊(一七丁)／寛政六年三月／二四・五×一五・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／長尾弥平衛他九名 ↓御作事屋／裏打あり／旧箱に保管／030

- 0129 御作事屋宛堀江甚五左衛門他四名「瓊林院様御靈屋新建御普請御入料目録」(錢一七五貫四三文、五貫五二〇文不足)／一冊(一四丁)／寛政六年四月／二五・〇×一七・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／堀江甚五左衛門(黒印) 他四名
↓御作事屋／旧箱に保管／030
- 0130 上村源五郎・南雲伊惣「瓊林院様御尊骸御下二付板谷人馬割目録」(入料一
二五貫六八文)／一冊(二二丁)／寛政六年／二四・四×一六・六／豎帳 紙縫綴冊子
装 共紙原表紙 楮紙／上村源五郎(黒印)・南雲伊惣(黒印)／旧箱に保管／030
- 0131 御役所「御葬式御当日行事」／一冊(二八丁)／寛政六年／二四・五×一五・
三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／役所／旧箱に保管、墨付三〇丁／030
- 0132 「御葬式二付御借人留帳」(上杉勝定、法音寺等借立六一人)／一冊(五丁)
／寛政六年正月／一四・八×三八・三／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／旧箱に保管
／030
- 0133 本給方「瓊林院様御葬式二付御足輕役割書上」(瀧水師長持、長持等計一四
五人)／一冊(四丁)／寛政六年三月／一五・四×三九・七／横帳 長帳綴 共紙原表
紙 楮紙／本給方／旧箱に保管／030
- 0134 御役所宛 角之御蔵「御不幸二付而取量書上帳」(上杉顕孝遺骸下向に伴う
御借衣類、御借物他)／一冊(五丁)／寛政六年三月七日／一五・六×三八・八／横帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／角之御蔵↓御役所／旧箱に保管／030
- 0135 「米沢江御発棺二付近附帳」(上杉顕孝葬送行列に関する家臣ごとの編成)
／一冊(五丁)／寛政六年正月／一三・八×四一・五／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮
紙／旧箱に保管／030
- 0136 郡割所「瓊林院様御尊骸江戸分御下り分御葬送迄御入料書上帳」(錢一四五
貫二二八文)／一冊(四丁)／寛政六年四月／一五・〇×三八・九／横帳 長帳綴 共
紙原表紙 楮紙／郡割所／旧箱に保管／030
- 0137 御作事屋瓊林院様御葬式御刺立物御用意書上帳(御花籠、御合籠等諸品の員
数と寸法)／一冊(四丁)／寛政六年七月／一四・八×三七・五／横帳 長帳綴 共紙
原表紙 楮紙／御作事屋／旧箱に保管、柱題「瓊林院様御葬式御刺立物御用意」／03
0
- 0138 「御葬式御行列」／一冊(二〇丁)／寛政六年／一六・一×四一・一／横帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／旧箱に保管／030
- 0139 「米沢江御発棺二付伝馬并賃馬取調帳」(登坂辰蔵、板屋藤九郎他二六人の
夫役割当)／一冊(五丁)／寛政六年／一四・〇×四〇・七／横帳 長帳綴 共紙原表
紙 楮紙／旧箱に保管、墨付三丁／030
- 0140 「御発棺二付軒附帳」(遺骸供廻りの宿割付)／一冊(五丁)／寛政六年／
一三・八×四一・四／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／旧箱に保管／030
- 0141 「米沢江御発棺御行列」／一冊(八丁)／寛政六年／一三・八×四〇・四／
横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／旧箱に保管／030
- 0142 行列書／一冊(五丁)／寛政六年／一四・八×三七・八／横帳 長帳綴 共
紙原表紙 楮紙／旧箱に保管、複数の行列書断簡を紙縫で一括／030
- 0143-01 御役所宛 中條清資達書(上杉顕孝葬儀のため火の用心申付)／一通
(三紙)／寛政六年二月一月／一五・九×七四・四／切継紙 楮紙／中条↓役所／来ル
七日：可相達候事／0143-01-08紙縫一括／旧箱に保管／030
- 0143-02 覚書(法音寺執行の法事につき香典用意)／一通(二紙)／(寛政六
年)二月六日／一五・八×五〇・七／切継紙 楮紙／来ル九日：可相達候事／0143
-01-08紙縫一括／旧箱に保管／030
- 0143-03-01 御役所宛 中條清資達書(月代剃停止、鳴物停止他、上杉顕孝
逝去服喪につき四ヶ条)／一通(六紙)／(寛政六年)正月一〇日／一五・七×一三二・
六／切継紙 楮紙／中条↓役所／若殿様御抱瘡：可相達候事／0143-01-08紙
縫一括、0143-03-01、02巻込一括／旧箱に保管／030
- 0143-03-02 香坂弥一兵衛宛 山家義八郎・石栗彦右衛門同書(上杉顕孝逝
去弔問につき直触は登城、それ以下は奉行宅にてよいか御下知されたく)／一通(二
紙)／(寛政六年)正月一日／一四・八×三〇・一／切継紙 楮紙／山家義八郎・石
栗彦右衛門↓香坂弥一兵衛様／若殿様被遊御逝去：奉願候以上／0143-01-08
紙縫一括、0143-03-01、02巻込一括／旧箱に保管、伺いの通りの旨の奥書
あり／030
- 0143-04 御役所宛 靈仙寺同書(御堂内に上杉顕孝位牌安置し諸道具及び供物
準備につき)／一通(五紙)／(寛政六年)二月一六日／一五・〇×一六三・五／切継
紙 楮紙／靈仙寺↓御役所／此度瓊林院様：奉存候以上／0143-01-08紙縫一
括／旧箱に保管、柱題「覚」、付札一枚あり／030
- 0143-05 寺社奉行宛 法音寺納所同書(米沢着棺から葬儀まで勤仕の御堂衆、
御膳衆他五人へ御賄下賜につき)／一通(三紙)／(寛政六年)正月／一五・三×八九・

八/切継紙 楮紙/法音寺納所↓寺社御奉行所/瓊林院様御着楮:奉頼存候以上/0143-01-08紙縫一括/旧箱に保管、柱題「覚」、付札三枚あり/030

0143-06-01 蔵王堂書状(御廟所地祭執行につき諸品請取、一九品目書上) /一通(三紙) / (寛政六年正月) / 一四・六×七七・三/切継紙 楮紙/蔵王堂/瓊林院様御葬送:可被下候以上/付札あり/0143-01-08紙縫一括、0143-06-01、02貼継/旧箱に保管/030

0143-06-02 蔵王堂伺書(御廟所地祭執行につき僧侶一人召し連れたく) /一通(二紙) / (寛政六年) 正月二日 / 一四・七×三七・八/切継紙 楮紙/蔵王堂/瓊林院様御葬送:奉伺候以上/0143-01-08紙縫一括、0143-06-01、02貼継/旧箱に保管/030

0143-07-01 上杉頭孝葬送諸品目録(上杉頭孝葬送に伴う御用意品目) /一通(六紙) / (寛政六年) 二月三日 / 一五・〇×二七・四/切継紙 楮紙/瓊林院様御葬送:法音寺渡了/0143-01-08紙縫一括/旧箱に保管/030

0143-07-02 御台所覚書(法音寺に渡る諸品書上) /一通(二紙) / (寛政六年) 二月三日 / 一五・五×五四・九/切継紙 楮紙/御台所/一三ツ:右之通御座候以上/0143-01-08紙縫一括/旧箱に保管、柱題「覚」0143-07-01に紙縫綴/030

0143-08 役所宛 中條清資達書(役附の面々の法音寺詰番、葬礼時の列乱れの取締他、顕孝葬送の諸規定三七ヶ条) /一通(一六紙) / 寛政六年二月 / 一五・六×四九・〇・七/切継紙 楮紙/中条↓役所/一二月七日辰之上刻:可相達候之事/0143-01-08紙縫一括/旧箱に保管、柱題「覚」/030

0144-01 御役所宛 法音寺納所書状(塩野村延徳寺、成嶋村龍宝寺、小松村大光院に対して顕孝葬儀の執行僧呼掛け) /一通(一紙) / (寛政六年) 正月 / 一五・四×四四・五/切継紙 楮紙/法音寺納所↓御役所/瓊林院様御葬送:御差付可被下候以上/0144-01-07紐一括/旧箱に保管、柱題「覚」/030

0144-02 御役所宛 矢尾板忠右衛門伺書(上杉頭孝葬儀時の焼香人数少なきにつき相応の借入渡したく) /一通(二紙) / (寛政六年) 二月三日 / 一五・六×五七・七/切継紙 楮紙/矢尾板忠右衛門↓御役所/瓊林院様御葬送:御伺申上候以上/端裏書「御作事屋へ郡割所江之差付二月四日二当人江相渡候」/0144-01-07紐一括/旧箱に保管/030

0144-03-01 小川弥左衛門願書(上杉頭孝の棺舁四人分の借物下し渡されたく) /一通(二紙) / 寛政六年二月一日 / 一四・四×六八・四/切継紙 楮紙/小

川弥左衛門/別紙之通上下頭:御伺申上候以上/端裏書「寛政六年二月若殿様御尊骸御下候二付」/0144-01-07紐一括、0144-03-01-04貼継/旧箱に保管、柱題「覚」/030

0144-03-02 小川弥左衛門宛 今庄助書状(上杉頭孝の棺舁四人分の経費及び借物の手配許可へのお礼) /一通(一紙) / 寛政六年二月 / 三二・一×四〇・五/切継紙 楮紙/今庄助(黒印) ↓小川弥左衛門/若殿様御遺誠:可被下置候以上/0144-01-07紐一括、0144-03-01-04貼継/旧箱に保管、柱題「以書付奉願候事」/030

0144-03-03 小川弥左衛門覚書(上杉頭孝棺舁御借物) /一通(二紙) / (寛政六年) 二月一日 / 一四・四×三〇・五/切継紙 楮紙/小川弥左衛門/御棺舁御借物:奉越候以上/0144-01-07紐一括、0144-03-01-04貼継/旧箱に保管/030

0144-03-04 御所宛 御役所書状(上杉頭孝遺骸の回送において旅上下の者の借物は勘定せず成し下すよう内談) /一通(一紙) / (寛政六年) 二月一日 / 一四・四×二三・三/切継紙 楮紙/御役所↓御所/右ハ無余義:致御内談候以上/0144-01-07紐一括、0144-03-01-04貼継/旧箱に保管/030

0144-04 米沢御飛脚衆宛 鈴木八郎右衛門書状(房川渡往来船場の天候改善につき渡航伝達) /一通(二紙) / (寛政六年) 正月七日 / 二四・〇×二六・六/切継紙 楮紙/房川渡御飛脚者鈴木八郎右衛門↓米沢御飛脚衆御当人様/一御杯箱御持参:一札差上申候以上/0144-01-07紐一括/旧箱に保管、柱題「差上申一札之事」/030

0144-05 山家刀助宛 白川宿□□平助証文(御病氣につき拙宅にて休養逗留に相違なし) /一通(二紙) / (寛政六年) 正月八日 / 二七・五×三三・〇/切継紙 楮紙/白川宿□□平助(黒印) ↓米沢様山家刀助様/一米沢様:一札差上申候以上/0144-01-07紐一括/旧箱に保管、柱題「差上ケ申上候一札之事」/030

0144-06 役所宛 中條清資達書(上杉頭孝法要執行の僧侶へ一汁青菜の御賄支給御用意) /一通(二紙) / (寛政六年) 三月二日 / 一五・六×五三・五/切継紙 楮紙/中条↓役所/来ル五日:可相達候事/0144-01-07紐一括/旧箱に保管、柱題「覚」/030

0144-07 □□宛 覚書(上杉頭孝逝去のお悔みとしてお菓子三箱を献上) /一通(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・七×二八・九/切継紙 楮紙/↓□□右衛門様・□□太郎様/此度の御悔:御取計可成候/0144-01-07紐一括/旧箱に保管/030

0145-01 極楽寺宛 西光寺願書（上杉顕孝遺骸御止宿につき敷渡しの御置二五畳下されたく）／一通（二紙）／寛政六年二月一日／三二・〇×四七・九／豎紙 楮紙／板谷西光寺（黒印）↓極楽寺／此度瓊林院様：奉願存候以上／端裏書「西光寺願二月三日本社寺行申御普請方取も相達候」／0145-01-05紙縫一括／旧箱に保管、柱題「以書付奉願候事」、付札一枚あり／030

0145-02 御台所願書（上杉顕孝着棺の日より七日間町夫三五人法音寺に相詰められたく）／一通（二紙）／寛政六年正月／一四・九×六七・八／切継紙 楮紙／御台所／右者瓊林院様：被成下度存候以上／端裏書「済御書ニメ正月廿六日相渡ス」／0145-01-05紙縫一括／旧箱に保管、柱題「覚」、付札一枚あり／030

0145-03 御役所宛 法音寺納所書状（御廟へ四十九日の七本仏納置につき持手上下着二人渡すべし）／一通（一紙）／寛政六年二月二日／一五・〇×三七・九／切紙 楮紙／法音寺納所↓御役所／瓊林院様御四十九日：可被成候以上／0145-01-05紙縫一括／旧箱に保管、柱題「覚」／030

0145-04 寺社奉行宛 法音寺納所書状（上杉顕孝の四十九日に渡されたき諸品）／一通（三紙）／寛政六年正月一八日／一五・〇×八九・二／切継紙 楮紙／法音寺納所↓寺社奉行／瓊林院様御四十九日：御渡可被下候以上／端裏書「済御書ニメ申達ス」／0145-01-05紙縫一括／旧箱に保管、柱題「覚」、付札二枚あり／030

0145-05 役所宛 中條清資達書（上杉顕孝葬送行列に畠山下総守の代りとして矢尾板石右衛門出立）／一通（二紙）／寛政六年二月一日／一五・七×四四・九／切継紙 楮紙／中条↓役所／右者来ル七日：可相達候事／端裏書「二月二日当人江御達留共二済」／0145-01-05紙縫一括／旧箱に保管、柱題「覚」／030

0146-01 寺社奉行所宛 法音寺納所書状（上杉顕孝の法要に使用する法品六種）／一通（三紙）／寛政六年正月二日／一五・一×七六・六／切継紙 楮紙／法音寺納所↓寺社奉行所／瓊林院様御着棺：御渡可被下置候以上／0146-01-05紙縫一括／旧箱に保管、柱題「覚」、付札一枚あり／030

0146-02 長尾景純宛 色部又四郎書状（上杉顕孝葬送に伴う焼香動のため香木献上）／一通（一紙）／寛政六年二月六日／一五・八×三四・七／切紙 楮紙／色部又四郎↓長尾権四郎／右者明七日瓊林院様：御渡可申候已上／0146-01-05紙縫一括／旧箱に保管、柱題「覚」／030

0146-03 登坂利兵衛他二名書状（上杉顕孝葬送に伴う張蕃所設置および幕張の鐘五人出仕）／一通（二紙）／寛政六年正月／一五・六×三七・四／切継紙 楮紙／登坂利兵衛他二名／来月七日瓊林院様：可被申渡事／0146-01-05紙縫一括

／旧箱に保管／030

0146-04 御役所宛 法音寺納所書状（上杉顕孝沐浴につき孫吳座他四品渡したく）／一通（二紙）／寛政六年正月二九日／一四・九×四五・三／切継紙 楮紙／法音寺納所↓御役所／瓊林院様御沐浴：可被御渡候以上／端裏書「申立之通御渡之筈相渡付而：法音寺納所」／裏打あり／0146-01-05紙縫一括／旧箱に保管、付札一枚あり／030

0146-05-01 御城代役所宛 佐藤孫兵衛他二名伺書（上杉顕孝の御霊屋建立までの埋葬場の番と御霊屋番を昼夜一人ずつ勤められたく）／一通（二紙）／寛政六年二月八日／一五・五×四七・九／切継紙 楮紙／御守御番頭佐藤孫兵衛他二名↓御城代御役所／瓊林院様御尊骸：右御窺申上候以上／0146-05-01-02貼継／旧箱に保管、柱題「御窺申上候事」、付札一枚あり／030

0146-05-02 御城代役所宛 鈴木作右衛門伺書（上杉顕孝の埋葬場所および御霊屋の番につき何方の下知に従うべきか）／一通（二紙）／寛政六年二月八日／一四・八×四三・一／切継紙 楮紙／鈴木作右衛門↓御城代御役所／此度瓊林院様御尊骸：御下知被成下度奉伺候以上／0146-05-01-02貼継／旧箱に保管、柱題「御窺申上候事」／030

0147-01 平田隼人・静田与左衛門伺書（御祈禱勤仕につき林泉寺・至珠寺等へ金一〇〇正すつ宛行）／一通（一紙）／寛政六年正月一日／一五・四×二九・一／切紙 楮紙／平田隼人、静田与左衛門／右之通去ル九日：被成下度存候已上／端裏書「寛政六年正月若殿様御抱瘡御大切之処申来：」／0147-01-05紙縫一括／旧箱に保管、柱題「覚」、付札二枚あり／030

0147-02-01 寺社奉行宛 法音寺納所書状（上杉顕孝葬送行列の僧二〇人へ渡す諸品）／一通（三紙）／寛政六年正月一日／一四・七×八九・八／切継紙 楮紙／法音寺納所↓寺社奉行所／一御權台：御渡可被下置候以上／0147-01-05紙縫一括、0147-02-01-02貼継／旧箱に保管、柱題「覚」／030

0147-02-02 平田隼人宛 法音寺書状（法音寺へ納める仏像に関する指示）／一通（二紙）／寛政六年正月一日／三八・五×一四・九／切継紙 楮紙／法音寺↓平田隼人様／一七本仏：御渡可被下置候以上／0147-01-05紙縫一括、0147-02-01-02貼継／旧箱に保管、柱題「覚」／030

0147-03-01 有壁柏庵伺書（上杉顕孝逝去につき有壁柏庵の案内下向に付添人指し登らせたく）／一通（一紙）／寛政六年正月一日／二六・五×一五・〇／切紙 楮紙／有壁柏庵／此度若殿様御不幸：御同申上候以上／0147-01-05紙縫一括、0147-03-01-02貼継／旧箱に保管、柱題「御窺之覚」／030

0147-03-02 茂作宛 御役所書状(有壁柏庵の案内下向につき御小姓頭取次を差出)一通(二紙)／(寛政六年)正月五日／一四・七×二五・八／切継紙 楮紙／御役所↓茂作殿へ／右之通御小姓頭：御申上候以上／0147-01-05紙繕一括、0147-03-01-02貼継／旧箱に保管／030

0147-04 御台所・御日小屋宛 御役所達書(御膳御三方、御腕他二六種の諸品御用意すべく)一通(二紙)／(寛政六年)正月三日／一五・五×六七・六／切継紙 楮紙／御役所↓御台所・御日小屋様／一御膳御三方：可被相量候以上／0147-01-05紙繕一括／旧箱に保管、柱題「寛」／030

0147-05 御役所宛 伊那部権左衛門・佐藤利兵衛届書(江戸着登の左手明組四名が手元切につき申し渡し)一通(一紙)／(寛政六年)正月／一四・九×三七・七／切継紙 楮紙／伊那部権左衛門・佐藤利兵衛↓御役所／右之通此度：仕候様被申候以上／0147-01-05紙繕一括／旧箱に保管、柱題「寛」／030

0148-01-01 御金蔵伺書(上杉頭孝葬礼につき例年二月九日の金銭引合せを二月九日に延引したく)一通(二紙)／(寛政六年)正月五日／一五・五×五五・五／切継紙 楮紙／御金蔵／例年二月九日御引合：承知仕度奉候已上／端裏書「伺之通相済候趣正月二十六日御御定頭西方利兵衛申上達」／0148-01-01-05紙繕一括、0148-01-01-02貼継／旧箱に保管、柱題「御伺之寛」／030

0148-01-02 茂作他二名宛 御役所達書(御金蔵伺いの通り取り計らうべし)一通(一紙)／(寛政六年)正月五日／一四・六×二六・五／切継紙 楮紙／御役所↓茂作殿へ他二名／右御金蔵伺之趣：宜被御申上候以上／0148-01-01-05紙繕一括、0148-01-01-02貼継／旧箱に保管／030

0148-02 御役所宛 法音寺納所書状(中花立、大花立台等諸品を上杉頭孝遺骸到着時に法音寺へ渡すべき)一通(二紙)／(寛政六年)正月五日／一四・九×四九・八／切継紙 楮紙／法音寺納所↓御役所／一中花立：可被下置候以上／0148-01-01-05紙繕一括／旧箱に保管、柱題「寛」／030

0148-03 鉄孫左衛門伺書(上杉頭孝葬送時、上杉勝庸の名代として鉄孫左衛門より香木をお渡ししたく)一通(二紙)／(寛政六年)二月五日／一四・九×三二・七／切継紙 楮紙／鉄孫左衛門／来ル七日御葬送：此段申出候以上／端裏書「香木申立鉄孫左衛門」／0148-01-01-05紙繕一括／旧箱に保管、柱題「寛」／030

0148-04 関口弥三郎・福王寺郡左衛門宛 御役所達書(上杉頭孝葬送後、御飛脚北手元に詰めるべく申渡し)一通(二紙)／(寛政六年)二月五日／一四・六×三〇・七／切継紙 楮紙／御役所↓関口弥三郎様・福王寺郡左衛門様／明後七日御葬送：御申渡可被成候已上／0148-01-01-05紙繕一括／旧箱に保管／030

0148-05 法音寺・蔵王堂納所伺書(上杉頭孝葬儀の御払代は先例に任せて渡されたく)一通(二紙)／(寛政六年)二月三日／一五・一×四七・七／切継紙 楮紙／法音寺・蔵王堂納所／此度御葬場：此段得御意候以上／端裏書「吉井祐左衛門様 法音寺納所蔵王堂納所」／0148-01-01-05紙繕一括／旧箱に保管／030

0149-01 御作事屋御用懸届書(上杉頭孝の葬儀に使う刺立物六一行用途)一通(七紙)／(寛政六年)二月／一四・七×二三〇・一／切継紙 楮紙／御作事屋御用懸／御葬式御用二付而：右之通御座候以上／0149-01-05紙繕一括／旧箱に保管／030

0149-02 御役所宛 宮嶋甚五右衛門他三名伺書(上杉頭孝葬送の道固めにつき小者夫借り渡し下されたく)一通(二紙)／(寛政六年)二月五日／一五・三×三三・七／切継紙 楮紙／宮嶋甚五右衛門他三名↓御役所／此度御葬送二付：此段御伺申上候以上／端裏書「御役人申立相達ス」／0149-01-05紙繕一括／旧箱に保管／030

0149-03 武藤七右衛門伺書(板谷出役につき供立召し連れたく)一通(二紙)／(寛政六年)正月二七日／一五・五×四七・七／切継紙 楮紙／武藤七右衛門／此度板谷江出役：御伺申上候以上／端裏書「御問件」／0149-01-05紙繕一括／旧箱に保管、柱題「御伺之寛」／030

0149-04 寛書(上杉頭孝霊前、鷹山、重定、治広への朱蠟燭・砂糖献上)一通(二紙)／(寛政六年)二月／一六・五×九七・四／切継紙 斐紙／朱蠟燭百挺：高橋嘉左衛門様／0149-01-05紙繕一括／旧箱に保管、柱題「寛」／030

0149-05 関口五左衛門伺書(門番勤仕につき借夫四人借り渡し下されたく)一通(一紙)／(寛政六年)二月四日／一五・二×二二・〇／切継紙 楮紙／関口五左衛門／来ル七日瓊林院様：御伺申上候以上／0149-01-05紙繕一括／旧箱に保管／030

0150-01 靈仙寺納所覚書(上杉頭孝の遺骸の御堂入りに伴う御膳料差上げ)一通(二紙)／(寛政六年)二月／一四・五×三〇・五／切継紙 楮紙／靈仙寺納所／此度瓊林院様：取量候様相渡候事／0150-01-05紙繕一括／旧箱に保管、柱題「寛」／030

0150-02 龍口庄蔵・加藤桑右衛門書状(上杉頭孝葬儀時の蠟燭灯役全八名)一通(一紙)／(寛政六年)正月／一四・八×三六・六／切継紙 楮紙／龍口庄蔵・加藤桑右衛門／瓊林院様御葬式：書上申候以上／0150-01-05紙繕一括／旧箱に保管、封紙「加藤桑右衛門、龍口庄蔵」あり／030

01501003 御役所宛 村越周助他二名書状(上杉頭孝葬儀時の御守組詰人全一八名)ノ一通(三紙)ノ(寛政六年)正月九日ノ一五・四×五八・七ノ切継紙 楮紙ノ村越周助他二名ノ御城代御役所ノ若殿様御葬式ノ書上仕申候已上ノ01501001ノ05紐一括ノ旧箱に保管、封紙「御守面附書上、村越周助、青木新左衛門、佐藤孫兵衛」ありノ030

01501004 御城代役所宛 鈴木滝右衛門届書(御合籠方、御行列揃御小鍵等上杉頭孝葬式時の御供書上)ノ一通(六紙)ノ(寛政六年)正月九日ノ一五・二×一九〇・八ノ切継紙 楮紙ノ鈴木滝右衛門ノ御城代御役所ノ若殿様御葬式ノ無御座候以上ノ01501001ノ05紐一括ノ旧箱に保管、封紙「書上 鈴木滝右衛門」ありノ030

01501005 豊野半右衛門他三名伺書(御具屋場所の当番として昼夜二人ずつ勤めさせたく)ノ一通(二紙)ノ(寛政六年)二月ノ一五・一×四三・三ノ切継紙 楮紙ノ豊野半右衛門他三名ノ瓊林院様御尊骸ノ奉伺候以上ノ01501001ノ05紐一括ノ旧箱に保管、柱題「御伺申上候事」、封紙「御伺書 青木盛右衛門、横沢遠右衛門、高橋茂左衛門、豊野半右衛門」ありノ030

01511001 宿割覚書(越谷から米沢まで)ノ一通(三紙)ノ(寛政六年)ノ一五・三×六三・五ノ切継紙 楮紙ノ正月廿五日曉ノ米沢メノ01511001ノ05紙縫一括ノ旧箱に保管、柱題「御宿割之覚」ノ030

01511002 001 覚書(紺単物、黒単打掛他六品の数量)ノ一通(二紙)ノ(寛政六年)ノ一四・七×一八・九ノ切紙 楮紙ノ一四拾五紺単物ノ一四拾五足ノ01511001ノ05紙縫一括、01511002ノ01ノ06紙縫綴ノ旧箱に保管ノ030

01511002 002 山崎弥兵衛受領書(白丁包三〇挺、上中折三帖)ノ一通(二紙)ノ(寛政六年)正月三日ノ一四・七×二〇・八ノ切紙 楮紙ノ山崎弥兵衛ノ一三十挺ノ実正也仍如件ノ01511001ノ05紙縫一括、01511002ノ01ノ06紙縫綴ノ旧箱に保管、柱題「覚」ノ030

01511002 003 宿割覚書(江戸から板谷まで)ノ一通(二紙)ノ(寛政六年)ノ一五・〇×四六・九ノ切継紙 楮紙ノ芳賀ノ板谷メノ01511001ノ05紙縫一括、01511002ノ01ノ06紙縫綴ノ旧箱に保管、柱題「十日御道中御宿割」ノ030

01511002 004 江戸宛 米沢達書(仮蓑箱を用意できないため上杉頭孝所有の蓑箱を代用)ノ一通(一紙)ノ(寛政六年)正月一日ノ一四・七×二一・一ノ切紙 楮紙ノ米沢ノ江戸ノ前紙を以申入候ノ可有之候ノ01511001ノ05紙縫一括、01511002ノ01ノ06紙縫綴ノ旧箱に保管ノ030

01511002 005 御金蔵・御役所書状(遠近国への御用合力については評判の上

で決定)ノ一通(二紙)ノ(寛政六年)正月三日ノ一五・三×四九・一ノ切継紙 楮紙ノ御金蔵、役所ノ御勘定頭役所ノ可差出候事ノ01511001ノ05紙縫一括、01511002ノ01ノ06紙縫綴ノ旧箱に保管ノ030

01511002 006 御役所宛 山崎弥兵衛伺書(上杉頭孝遺骸を迎合する面々に計金二〇両お渡し下されたく)ノ一通(三紙)ノ(寛政六年)正月三日ノ一五・三×四九・三ノ切継紙 楮紙ノ山崎弥兵衛ノ御役所ノ今般御尊骸ノ奉存候以上ノ01511001ノ05紙縫一括、01511002ノ01ノ06紙縫綴ノ旧箱に保管、柱題「覚」ノ030

01511003 紫屋又三郎伺書(上杉頭孝葬儀に用いる籠、鍬、山刀等諸品下し置かれたく)ノ一通(三紙)ノ(寛政六年)正月二七日ノ一五・〇×八一・四ノ切継紙 楮紙ノ紫屋又三郎(印)ノ組頭共ノ御葬式場御籠ノ度奉伺候以上ノ01511001ノ05紙縫一括ノ旧箱に保管、柱題「覚」、封紙「上 河原之検断組殿」ノ030

01511004 紫屋又三郎他組頭六名伺書(上杉頭孝葬儀に伴う御電塗役を仰せ付けられ先年通り務めたく)ノ一通(一紙)ノ(寛政六年)正月二七日ノ三〇・〇×三八・四ノ切継紙 楮紙ノ紫屋又三郎(黒印) 他組頭六名ノ一若殿様御逝去ノ可奉存候以上ノ01511001ノ05紙縫一括ノ旧箱に保管、柱題「乍恐以書付奉願上候事」、封紙「上 此分ハ入用無之候 河原之検断組殿」ノ030

01511005 青木成四右衛門他三名書状(上杉頭孝葬儀行列の内家老付き人全一八人)ノ一通(六紙)ノ(寛政六年)正月ノ一六・〇×九二・五ノ切継紙 楮紙ノ青木成四右衛門他三名ノ御尊骸御下りノ計書上申候ノ01511001ノ05紙縫一括ノ旧箱に保管、封紙「仮人書上 青木成四右衛門、横沢遠右衛門、高橋茂左衛門、豊野半右衛門」ノ030

01521001 御役所宛 夏井文弥他五名伺書(上杉頭孝葬送の道固動めにつき小者夫お借渡したく)ノ一通(二紙)ノ(寛政六年)二月ノ一四・七×三五・五ノ切継紙 楮紙ノ夏井文弥他五名ノ御役所ノ此度御葬送二付ノ御伺仕候以上ノ01521001ノ05紐一括ノ旧箱に保管、封紙「浅羽六右衛門、夏井文諸」ノ030

01521002 001 夜更蔵主伺書(江戸急登の使者に任命につき残金一六兩一分余上納されたく)ノ一通(四紙)ノ(寛政六年)正月三日ノ一五・五×一〇七・〇ノ切継紙 楮紙ノ夜更蔵主ノ拙者儀今般ノ相頼申存候以上ノ端裏書「夜更蔵主殿」ノ01521001ノ05紐一括、01521002ノ01ノ04貼綴ノ旧箱に保管、柱題「覚」ノ030

01521002 002 浅間登理届書(江戸急登の使者、李平にて引き返しにつき使用分の二両返納報告)ノ一通(三紙)ノ(寛政六年)正月九日ノ一五・五×七四・〇ノ

切継紙 楮紙／浅間登理／拙者儀先達而：御届仕候以上／0152-01-05紐一括、0152-02-01-04貼継／旧箱に保管、柱題「覚」／030

0152-02-03 矢尾板栄雪届書（江戸急登の入料及び駕籠人足、六貫二八〇人）／一通（三紙）／（寛政六年）正月一日／一五・五×九八・三／切継紙 楮紙／矢尾板栄雪／江戸急登二付：相納申候以上／0152-01-05紐一括、0152-02-01-04貼継／旧箱に保管／030

0152-02-04 会談所宛 御役所書状（追つて願書を差し出すべく御内談致す）／一通（二紙）／（寛政六年）正月二日／一四・七×二三・〇／切継紙 楮紙／御役所↓会談所／右之通二御座候：致御内談候已上／0152-01-05紐一括、0152-02-01-04貼継／旧箱に保管／030

0152-03 北御役所宛 佐藤与一左衛門書状（尾張徳川家使者は五月二六日宿泊翌日出立）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月二七日／一五・五×四二・七／切紙 楮紙／佐藤与一左衛門↓北御役所／一筆啓上仰候：御座候恐惶謹言／0152-01-05紐一括／旧箱に保管、封紙「北御役所 佐藤与市左衛門」／030

0152-04 青木盛右衛門他三名書状（新御手明組の青場仮付および蠟燭灯、計一六名）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月／一六・〇×五八・二／切継紙 楮紙／青木盛右衛門他三名／新御手明御青場仮付：右之通書上申候／0152-01-05紐一括／旧箱に保管、封紙「書上 青木盛右衛門、横沢遠右衛門、高橋茂左衛門、豊野半右衛門」／030

0152-05-01 御役所宛 法音寺納所書状（薪木、薪炭等四品お渡し）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月二七日／一五・二×五一・〇／切継紙 楮紙／法音寺納所↓御役所／先達而中勘を以：御渡可被下候以上／端裏書「正月廿八日御台所江之差付ニシテ法音寺役僧二相渡ス 法音寺納所」／0152-01-05紐一括、0152-05-01-03貼継／旧箱に保管、柱題「覚」、付札一枚あり／030

0152-05-02 法音寺伺書（手灯蠟燭、油の受取をそれぞれ一〇括、五〇〇目に増量下された）／一通（三紙）／江戸中期（年未詳）正月二七日／一五・一×三〇・〇／切継紙 楮紙／一手灯蠟燭之儀者：御取成奉願候以上／0152-01-05紐一括、0152-05-01-03貼継／旧箱に保管、柱題「法音寺使僧答」／030

0152-05-03 会談所宛 役所書状（申立ての通り蠟燭・油の受取増量を許可）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）正月二七日／一五・三×一九・七／切紙 楮紙／御役所↓会談所／右者先達而御渡高：致御内談候已上／0152-01-05紐一括、0152-05-01-03貼継／旧箱に保管／030

0153-01 御城代役所宛 鈴木滝右衛門書状（上杉頼孝御霊屋建立まで埋葬場一番所にて昼夜二人ずつ勤仕）／一通（二紙）／（寛政六年）正月／一五・五×二三・五／切継紙 楮紙／御城代御役所↓鈴木滝右衛門／御埋葬場一番所：無滞為相勤可申候以上／0153-01-05紙継一括／旧箱に保管、封紙「新御手明肝煎鈴木滝右衛門」／030

0153-02 御葬場御普請方宛 御役所達書（上杉頼孝の葬場につき三扶持方家臣の普請場所割振り）／一通（二紙）／（寛政六年）二月六日／一五・四×三五・四／切継紙 楮紙／御役所↓御葬場御普請方／三御扶持方諸場所：可被相量候以上／料紙中央に切込あり／0153-01-05紙継一括／旧箱に保管、封紙「御葬場御普請方 役所」／030

0153-03 北御役所宛 佐藤与一左衛門書状（尾張様使者、日暮のため大沢宿泊つき板谷より案内人・伝馬指出し）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）五月二三日／一五・〇×六六・三／切継紙 楮紙／佐藤与市左衛門↓北御役所／一筆啓上仕候：無御座候恐惶謹言／0153-01-05紙継一括／旧箱に保管、封紙「尾張様御使御用 北御役所 板谷庄屋佐藤与一左衛門」／030

0153-04 北御役所宛 斎藤五右衛門書状（尾張様使者、大沢宿から大町寺嶋吉郎左衛門の所へ出立）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）五月二四日／一六・〇×五一・〇／切継紙 楮紙／斎藤五右衛門↓北御役所／御飛札啓上仕候：如此御座候恐惶謹言／0153-01-05紙継一括／旧箱に保管、封紙「五月廿四日大沢出立之注進 北御役所 大沢庄屋斎藤五右衛門」／030

0153-05 北御役所宛 小杉吉兵衛書状（尾張様使者、小杉吉兵衛のもとへ参着）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）五月二三日／一五・二×二九・〇／切紙 楮紙／小杉吉兵衛↓北御役所／一筆致啓上候：如此御座候以上／0153-01-05紙継一括／旧箱に保管、封紙「北御役所 午ノ上刻 小杉吉兵衛」／030

0154-01 北御役所宛 斎藤五右衛門書状（尾張様使者の米沢：大沢宿出立報告）／一通（二紙）／江戸後期（年未詳）五月二七日／一四・九×三七・四／切継紙 楮紙／斎藤五右衛門↓北御役所／一筆啓上仕候：如斯御座候恐惶謹言／0154-01-05紐一括／旧箱に保管、封紙「北御役所 大沢庄屋斎藤五右衛門」／030

0154-02 米沢御役所宛 江戸御役所伺書（上杉頼孝の遺骸、雪風山中通交につき李平大沢間の道造なし下された）／一通（二紙）／（寛政六年）正月二六日／一三・七×三九・九／切継紙 楮紙／江戸御役所↓米沢御役所／以別紙申入候：御取量可被成候以上／0154-01-05紐一括／旧箱に保管、封紙「原善左衛門殿、山家儀八郎殿鈴木東蔵、山崎源左衛門」／030

0154-03 江戸御役所宛 米沢御役所達書(上杉頭孝遺骸お迎えの藩士由永武右衛門他一〇名及び大乗寺白金参着につき居小屋手配のこと)／一通(二紙)／(寛政六年)正月四日／一四・九×六七・八／切継紙 楮紙／米沢御役所↓江戸御役所／以別紙申入候：如是御ざ候以上／0154-01-05紙一括／旧箱に保管、封紙「原善左衛門殿、山家儀八郎殿鈴木木蔵、山崎源左衛門」、付札一枚あり／030

0154-04 御城代役所宛 村越周助書状(上杉頭孝埋葬につき二〇日分の仮番所勤仕の藩士四〇名)／一通(三紙)／(寛政六年)正月二十九日／一五・三×八二・五／切継紙 楮紙／村越周助↓御城代御役所／一日二人宛：右之通御座候以上／0154-01-05紙一括／旧箱に保管、柱題「御埋葬場仮番所勤御守日数廿日分書上申事」、封紙「御守面附書上 村越周助」／030

0154-05 御役所宛 小川伴蔵届書(上杉頭孝葬送の御供病気や忌中につき参仕せず)／一通(一紙)／(寛政六年)二月五日／一四・八×三七・五／切紙 楮紙／小川伴蔵↓御役所／明六日於法音寺：右御届申上候以上／0154-01-05紙一括／旧箱に保管、柱題「覚」、封紙「御届書 小川伴蔵」／030

0155-01 葬儀用品目録(蓮台木や敷菰等穢多に成し下す葬儀用品一〇項目)／一通(二紙)／(寛政六年)一四・二×三二・三／切継紙 楮紙／一 御禪之綱蓮台木：右之通被成下候事／0155-01-05紙一括／旧箱に保管、柱題「穢多江被成下分」／030

0155-02 御城代役所宛 鈴木滝右衛門書状(福嶋源右衛門、鈴木四十郎の御使任命を伝達)／一通(二紙)／(寛政六年)正月／一五・五×二四・七／切継紙 楮紙／鈴木滝右衛門↓御城代御役所／注進御使書上候事：書上被申候以上／0155-01-05紙一括／旧箱に保管、柱題「注進御使書上候事」／030

0155-03-01 御役所宛 香坂右仲同書(蓼沼官四郎への伝達を遅滞なく伝達された)／一通(二紙)／(寛政六年)二月二日／一四・六×二二・七／切継紙 楮紙／香坂右仲↓御役所／当正月蓼沼官四郎へ：被相達度存候以上／0155-01-05紙一括、0155-03-01-02紙一括／旧箱に保管／030

0155-03-02 御役所宛 香坂右仲申渡書(蓼沼官四郎宅へ羽黒堂の使者勤めを伝達)／一通(二紙)／(寛政六年)正月二日／一四・八×二八・七／切継紙 楮紙／香坂右仲↓御役所／明後四日羽黒堂江：被申渡候以上／0155-01-05紙一括、0155-03-01-02紙一括／旧箱に保管／030

0155-04 寺社奉行所宛 法音寺納所書状(有合不足につき詰番衆へ茶碗を渡された)／一通(二紙)／(寛政六年)二月二日／一四・六×二三・四／切継紙 楮紙／法音寺納所↓寺社御奉行所／一 御棺 茶碗：御渡被下度存候已上／端裏書「二月三

日御用意御日小屋江御達ス添」／0155-01-05紙一括／旧箱に保管、柱題「覚」／030

0155-05 葬送分担目録(葬送における人数・分担につき)／一通(二紙)／(寛政六年)一五・四×二六・〇／切継紙 楮紙／□□之持高野代：御徒二人／本紙中央部虫損／0155-01-05紙一括／旧箱に保管／030

0156-01 神居吉左衛門・橋本与左衛門宛 御役所書状(御用につき一人御出あるべし)／一通(一紙)／(寛政六年)二月五日／一四・五×一三・四／切紙 楮紙／御役所↓神居吉左衛門・橋本与左衛門／御用之段：可有之候以上／0156-01-05紙一括／旧箱に保管／030

0156-02 覚書(上杉頭孝の葬送儀礼の行程及び用意すべき諸品につき)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・二×三六・七／切継紙 楮紙／原善左衛門殿、大原彦右衛門殿：引続キ相過ぎ事／0156-01-05紙一括／旧箱に保管、柱題「御行事之外御用意」／030

0156-03 今井源蔵・山口孫蔵宛 御普請方願書(頭孝の葬場作事につき葬場分を柚張へ渡しした)／一通(二紙)／(寛政六年)正月二五日／一四・四×四〇・九／切継紙 楮紙／御普請方↓源蔵様、孫蔵様／今日者：此段奉願候以上／端裏書「今井源蔵様・山口孫蔵様 葬場御普請懸り」／0156-01-05紙一括／旧箱に保管／030

0156-04 御葬場御用懸同書(小屋作事につき法音寺負担分五間は借物ではないため伺いた)／一通(二紙)／(寛政六年)二月／一四・五×三八・九／切継紙 楮紙／御葬場御用懸／別紙之通申出二付：御窺申上候以上／0156-01-05紙一括／旧箱に保管／030

0156-05-01 御役所書状(敷駕着城の供廻のうち齋持二人・鑓持一人お借りした)／一通(一紙)／(寛政六年)一三・六×一三・八／切紙 楮紙／御役所／当御敷駕御着城：御借被下度由申出候／0156-01-05紙一括、0156-05-01-02紙一括／旧箱に保管／030

0156-05-02 会談所宛 御役所書状(申立ての通り鑓持一人・齋持二人借り渡し了承)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳)正月二三日／一四・八×一五・二／切紙 楮紙／御役所↓会談所／右之通申立候間：御内談候以上／端裏書「物頭五人供立之同」／0156-01-05紙一括、0156-05-01-02紙一括／旧箱に保管／030

0157-01 会談書宛 御役所・御金蔵書状(御尊骨高野上りにつき御合力に係る

賄い取量うべし)／一通(五紙)／(寛政六年)正月二日／一五・二×一五二・五／切継紙 楮紙／御役所・御金蔵↓会談書／此度江戸立帰候：御内談候以上／0157-0158紙綴一括／旧箱に保管、付札二枚／030

0157-021-01 原吉左衛門・石栗彦右衛門宛 平田単人書状(大乘寺の江戸登りにつき大乘寺へ副状を渡すべく伝達)／一通(一紙)／(寛政六年)正月三日／一五・八×二六・一／切紙 楮紙／平田単人↓原吉左衛門様・石栗彦右衛門様／大乘寺江戸登二付：相渡可申候以上／0157-0158紙綴一括、0157-021-01、03紙綴綴／旧箱に保管／030

0157-022-02 御役所宛 長弥一兵衛書状(江戸登りに係る副状請取の報告)／一通(一紙)／(寛政六年)正月三日／一五・七×二一・二／切紙 楮紙／長弥一兵衛↓御役所／明日登二付而：請取置申候以上／0157-0158紙綴一括、0157-022-01、03紙綴綴／旧箱に保管／030

0157-023-03 御役所宛 山崎弥兵衛請取状(江戸登りで必要な諸品目の受取報告)／一通(二紙)／(寛政六年)正月三日／一四・五×二五・〇／切継紙 楮紙／山崎弥兵衛↓御役所／一三拾挺：受取申候已上／0157-0158紙綴一括、0157-023-01、03紙綴綴／旧箱に保管、柱題「覚」／030

0157-031-01 足軽人数目録(顕孝葬儀に供奉)／一通(二紙)／(寛政六年)正月二日／一四・六×四五・一／切継紙 楮紙／一三人 御城内：丸田屋 四ツ下兩人／0157-0158紙綴一括、0157-031-01、02巻込一括／旧箱に保管、柱題「御葬式之日御足軽」／030

0157-032-02 諸品目録(長持や鍵等行列のうち足軽が持ち運んだ諸品全一二種)／一通(一紙)／(寛政六年)／一四・五×二二・一／切紙 楮紙／一壹ツ 僧中長納持：メ五拾三／0157-0158紙綴一括、0157-032-01、02巻込一括／旧箱に保管、柱題「御行列分御足軽へ御かし羽織」／030

0157-04 原吉左衛門宛 下條牧太願書(同役願書を家来より差し出す旨の書面を取量いされた)／一通(二紙)／(寛政六年)正月二日／一四・七×四五・六／切継紙 楮紙／下條牧太↓原吉左衛門様／同役願書家来を以：御取量頼入申候以上／0157-0158紙綴一括／旧箱に保管／030

0157-05 社奉行所宛 法音寺納所何書(お持ちの分の幕三間は玄関へ打ち出してもらいたく)／一通(二紙)／(寛政六年)二月二日／一五・三×四一・六／切継紙 楮紙／法音寺納所↓社奉行所／先達而御几帳檀：被下置度奉存候以上／0157-0158紙綴一括／旧箱に保管、柱題「覚」、付札一枚／030

0158-01 御日小屋宛 靈仙寺申立書(顕孝廟出来次第、御用意された諸品品達)／一通(一紙)／(寛政六年)二月二日／一五・〇×三一・六／折紙 楮紙／靈仙寺↓御日小屋／二本 木樽台：御渡可被下置候／端裏書「御用意之達」／0158-01、05紙綴一括／旧箱に保管、柱題「御廟御用御分」、付札一枚／030

0158-02 御役所宛 夜更蔵主申立書(榎田楠五郎、棚橋内記は他所勤めにつき各人宅へ借人を詰めるべき旨取量らわれた)／一通(二紙)／(寛政六年)正月晦日／一五・八×五一・一／切継紙 楮紙／夜更蔵主↓御役所／同心一人 一物持一人：頼入申候以上／0158-01、05紙綴一括／旧箱に保管、柱題「御借人申立之覚」／030

0158-03 御役所宛 鈴木滝右衛門届書(昼夜別の法音寺仮番所勤め五組内訳)／一通(二紙)／(寛政六年)正月三日／一五・五×四四・六／切継紙 楮紙／鈴木滝右衛門↓御城代御役所／一 昼 矢嶋常蔵：相違無御座候以上／0158-01、05紙綴一括／旧箱に保管、柱題「法音寺仮御番所勤書上申事」／030

0158-04-01 黒井忠寄・登坂作左衛門何書(新御手明四名立帰江江戸登りにつき預所より金子拝借した)／一通(一紙)／(寛政六年)正月三日／一四・八×三〇・三／切紙 楮紙／黒井半四郎・登坂作左衛門／拙者共支配進御手明：被下度奉存候以上／0158-01、05紙綴一括、0158-04-01、05紙綴綴／旧箱に保管、付札一枚／030

0158-04-02 徳永武右衛門何書(かねて困窮につき御用登りの金子一両二分拝借した)／一通(二紙)／(寛政六年)正月三日／一五・一×三三・八／切継紙 楮紙／徳永武右衛門／此度御用登被仰付：右御同申上候以上／0158-01、05紙綴一括、0158-04-01、05紙綴綴、04-02、03貼継／旧箱に保管、柱題「以覚書御同申上候事」／030

0158-04-03 御役所：会談所書状(徳永武右衛門へ金子一両借渡)／一通(一紙)／(寛政六年)正月三日／一四・四×九・七／切紙 楮紙／御役所、会談所／右者壹両式歩ト：可然存候已上／0158-01、05紙綴一括、0158-04-01、05紙綴綴、04-02、03貼継／旧箱に保管／030

0158-04-04 丸山善左衛門何書(かねて困窮につき御用登りの金子一両二分拝借した)／一通(二紙)／(寛政六年)正月三日／一五・六×二一・四／切紙 楮紙／丸山善左衛門／此度江戸御用登り：右御同申上候以上／0158-01、05紙綴一括、0158-04-01、05紙綴綴／旧箱に保管、柱題「以覚書御同申上候事」／030

0158-04-05 会談所宛 御役所書状(徳永武右衛門へ金子一兩借渡を内談す) / 一通(二紙) / (寛政六年) 正月一三日 / 一四・五・一七・〇 / 切紙 楮紙 / 御役所
↓会談所 / 右者徳永武右衛門江 : 致御内談候以上 / 0158-01-05 紐一括、0158-04-01-05 紙縫綴 / 旧箱に保管 / 030

0158-05 御役所宛 下條牧太申立書(榎田楠五郎、棚橋内記二名他所の勤めにつき各人宅へ借人を取量らわれたく) / 一通(三紙) / (寛政六年) 正月二九日 / 一五・五・五一・四 / 切紙 楮紙 / 下條牧太 ↓ 御役所 / 同心一人 一物持一人 : 可被申上候以上 / 0158-01-05 紐一括 / 旧箱に保管、柱題「御借人申立之覚」 / 030

0159-01 本給方届書(上杉顯孝棺到着時、道中警固の人員配置) / 一通(二紙) / (寛政六年) 二月三日 / 一四・五・四五・五 / 切紙 楮紙 / 本給方 / 明四日御着箱之節 : 此段御届申上候以上 / 0159-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管 / 030

0159-02 御役所宛 横川右門・古藤清右衛門書状(御道具納めにつき角ノ御蔵へ二人詰めるべき旨仰せ渡さる) / 一通(一紙) / (寛政六年) 二月四日 / 一四・八・三二・七 / 切紙 楮紙 / 横川右門・古藤清右衛門 ↓ 御役所 / 右之通御道具納方 : 可被下候以上 / 0159-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管、柱題「覚」 / 030

0159-03 御役所宛 松木将監書状(有江政右衛門御供につき同人宅へ同心詰めること) / 一通(二紙) / (寛政六年) 二月六日 / 一五・二・三〇・六 / 切紙 楮紙 / 松木将監 ↓ 御役所 / 同心彦人 : 可被申達候以上 / 0159-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管、柱題「御借人申立之覚」 / 030

0159-04 法音寺伴僧二〇人同書(法音寺伴僧に傘二〇本渡し置かれたく) / 一通(二紙) / (寛政六年) 二月六日 / 一五・一・三五・五 / 切紙 楮紙 / 法音寺伴僧廿人 / 右之通先達而 : 奉願存候以上 / 0159-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管、柱題「覚」、付札一枚 / 030

0159-05 顕孝葬儀行列道具目録(御杖、御木覆他六種類の行列道具の色・数量) / 一通(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・八・二五・五 / 切紙 楮紙 / 一巻ツ 御杖之色 : メ御作事屋廻し / 0159-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管、柱題「覚」 / 030

0160-01 御役所宛 大乘寺伺書(駕籠一挺借用の旨、御作事屋へ取次下されたく) / 一通(二紙) / (寛政六年) 正月一三日 / 一四・八・二三・七 / 切紙 楮紙 / 大乘寺 ↓ 御役所 / 右之通御借被成 : 可被申候以上 / 0160-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管、柱題「覚」 / 030

0160-02 御役所宛 原善左衛門書状(荷迎の足輕を遣わす旨を本日中に達すべ

きか心元なきため取計いなされたく) / 一通(二紙) / (寛政六年) 二月五日 / 一四・六・三一・六 / 切紙 楮紙 / 原善左衛門 ↓ 御役所 / 早脚之荷物 : 可被成候以上 / 0160-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管 / 030

0160-03 御留番宛 本給方書願書(相模様・近江様の跡押は袴着にして差し出すべきか御沙汰下されたく) / 一通(一紙) / (寛政六年) 二月五日 / 一四・五・二三・二 / 切紙 楮紙 / 本給方 ↓ 御留番様 / 乍略義申上候ハ : 奉願申候以上 / 0160-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管 / 030

0160-04 豊前宛 下條牧太申立書(上杉顯孝遺骸着棺の旨、二ノ丸御殿に報告したく取次を依頼) / 一通(二紙) / (寛政六年) 二月二日 / 一四・四・三九・一 / 切紙 楮紙 / 牧太 ↓ 豊前様 / 来ル四日御着箱 : 御座候以上 / 0160-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管 / 030

0160-05 上村条左衛門宛 原吉左衛門・大木書状(上杉顯孝遺骸の下向に伴う御馬の取扱いにつき源吉の申出通り御預りのこと) / 一通(二紙) / (寛政六年) 二月九日 / 一四・六・五六・〇 / 切紙 楮紙 / 原・大木 ↓ 上村条左衛門殿 / 今月五日之 : 申入候以上 / 0160-01-05 紙縫綴一括 / 旧箱に保管 / 030

0161-01 米沢御役所宛 江戸御役所書状(上杉顯孝遺骸の発棺時にかかる馬の荷数は一〇駄余と見積り) / 一通(二紙) / (寛政六年) 正月二日 / 一三・四・五〇・七 / 切紙 楮紙 / 江戸御役所 ↓ 米沢御役所 / 以別紙令啓達候 : 御取計可有之候以上 / 0161-01-03 紐一括 / 旧箱に保管 / 030

0161-02 役所宛 中条至資達書(上杉顯孝四十九日法要につき治広他より香典頂戴、法音寺僧四五人へ御賄として成下す) / 一通(二紙) / (寛政六年) 二月九日 / 一五・七・七五・〇 / 切紙 楮紙 / 中条 ↓ 役所 / 右者来ル廿三日 : 可相達候事 / 0161-01-03 紐一括 / 旧箱に保管、柱題「覚」、封紙「役所 中条」 / 030

0161-03 会談所宛 御役所書状(神保容助・落合利右衛門へ木綿三反ずつ、高玉村小太郎へ末子五歳まで一人扶持を成下す) / 一通(一紙) / (寛政五年) 二月 / 一四・七・二二・二 / 切紙 楮紙 / 御役所 ↓ 会談所 / 別紙之通御座候 : 及御内談候以上 / 0161-01-03 紐一括、03-01-06 紙縫綴 / 旧箱に保管 / 030

0161-03 貞蔵他二名宛 御役所書状(神保容助、落合利右衛門、高玉村小太郎への物資付与につき内談) / 一通(一紙) / (寛政五年) 二月二日 / 一四・八・一七・二 / 切紙 楮紙 / 御役所 ↓ 貞蔵殿他二名 / 右内談之趣 : 御申上候以上 / 0161-01-03 紐一括、03-01-06 紙縫綴 / 旧箱に保管 / 030

0161-03 五十嵐孫左衛門届書(神保容助の一五歳以下の子ども六名書出

／一通(一紙)／(寛政五年)二月一日／一四・八×三六・四／切紙 楮紙／五十嵐孫左衛門／十五以下子共：御座候以上／0161101103紐一括、03101106紙縫綴／旧箱に保管、柱題「十五以下子共六人持候者書上」／0300

0161103104 佐藤久右衛門宛 落合利右衛門届書(佐藤利右衛門の一五歳以下の子ども五名書出)／一通(一紙)／寛政五年二月／一四・八×三六・八／切紙 楮紙／落合利右衛門(黒印) ↓佐藤久右衛門殿／右之通十五歳：無御座候以上／0161101103紐一括、03101106紙縫綴／旧箱に保管、柱題「寛」／0300

0161103105 地下口武助届書(地下口武助の一五歳以下の子ども五名書出)／一通(一紙)／寛政五年二月／一五・二×二八・八／切紙 楮紙／武助／拾五以下之子：奉伺候以上／0161101103紐一括、03101106紙縫綴／旧箱に保管、柱題「拾五以下之子五人持候者書上」／0300

0161103106 山吉新八届書(山吉新八の一五歳以下の子ども六名書出)／一通(一紙)／(寛政五年)二月二日／一四・三×三六・〇／継紙 楮紙／山吉新八／右之者拾五以下子共：此段御伺申上候以上／端裏書「拾五以下子小人養育之者、山吉新八」／0161101103紐一括、03101106紙縫綴／旧箱に保管、柱題「寛」／0300

0163101 今成・鈴木「東岳院様御葬送二付御借人帳」／一冊(九丁)／寛政一〇年三月／一四・九×三八・一／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／御役所今成・鈴木／旧箱に保管／031

0163102 役所「御葬式御行列 元」(上杉重定葬儀)／一冊(二七丁)／寛政一〇年四月／一五・八×三八・九／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／役所／旧箱に保管／031

0163103 上杉重定葬送行列書／一通(六八紙)／(寛政一〇年三月)／一四・七×二四九三・四／切継紙 楮紙／御先立長上下：同津田仁左衛門メ／旧箱に保管／031

0162 中条至資「東岳院様御逝去一件別帳」(「御香典触」や「初御七日御法事」等重定葬礼関連文書の控)／一冊(五一八丁)／寛政一〇年三月二六日／二七・七×一九・〇／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／中条豊前／旧箱に保管／030

0164 「元徳院様御逝去一件別帳 全」(三月二日の上杉鷹山死去から四月三日法要まで)／一冊(五八四丁)／文政五年／二七・五×一八・三／縦帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目原表紙 楮紙／付箋多数／031

0165 「元徳院様初御七日迄御法事一式之別帳」(三月八日〜六月四日、上杉鷹山法事につき、末尾に石灯笼、提灯献上の達書案)／一冊(一一三丁)／文政五年／二八・二×一八・五／縦帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目原表紙 楮紙／031

0176 中之間年寄・寺社奉行「瓊林院様御六七日二付於法音寺 中殿様分御附御法事被進候行事」(二月二六日の上杉頭孝法事関係)／一冊(一一丁)／(寛政六年)／二五・〇×一七・〇／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御中之間年寄・寺社奉行／表紙に文書一点括付／031

0176101 役所宛 達書(上杉頭孝法事執行のため御行事帳御渡し前々の通り心得の事他)／一通(三紙)／(寛政六年)／一六・〇×六二・〇／切継紙 楮紙／↓役所江／来ル十六日：可相達候事／端裏書「役所江」／柱題「寛」／031

0200 「元徳院様初御七日之行事」(上杉鷹山の法要関係)／一冊(二七丁)／文政五年三月八日／二四・四×一六・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／墨付一四丁／032

0201 「御朦中御尋之奉書御到来之行事」(上杉鷹山死去につき幕府より弔辞拝受及び返礼伝達)／一冊(一〇丁)／文政五年三月／二四・二×一六・六／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／墨付八丁／032

0202 「御不幸二付越後渡部三左工門同儀右工門罷越候行事」(上杉鷹山仏前に香奠・焼香につき米沢に来訪)／一冊(五丁)／文政五年三月／二四・四×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／墨付三丁、付箋貼付にて追記あり／032

0203 「御香奠御拝領摺紙斗相達候節之行事」(上杉鷹山死去に伴い拝領した香奠の取扱い)／一冊(九丁)／文政五年三月／二四・〇×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／裏打あり／墨付七丁、表紙に付箋貼付「御朦中御尋隨而御香典御拝領摺紙斗之促来候付而之行事」／032

0204 御右筆所「御葬式前日今御埋葬迄之行事」(鷹山の葬儀前日・当日における家臣の役回り)／一冊(三七丁)／文政五年三月／二三・八×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御右筆所／墨付三五丁、表紙に付箋貼付「天保十」、表題後ろに「末二御布施被成下次第有」、「御右筆所控」、本文中の付箋貼付多数／032

0205 御右筆所「御葬送二付触書之案」(上杉鷹山葬送当日は町内火の用心他)／一冊(六丁)／文政五年三月一六日／二四・〇×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御右筆所／裏打あり／墨付四丁／032

0223-02102 触書案(藩主と推測される人物の葬儀に際して家中が月代を割らない日数の定め)／一通(三紙)／(文政五年)三月／一五・三×八一・〇／切継紙楮紙／今度御不幸二付：右之面々へ可被相違事／0223-02101-02紙繕一括／0223-01を抜粋整理したものか、0223-01から作成年は文政五年か／32

0224 「享徳院様御逝去別帳」(文政五年九月一日〜同六年一月三日、上杉治広の葬儀関係)／一冊(四四八丁)／文政五年九月一日／二七・八×一八・〇／豎帳袋綴冊子装 茶地後補表紙・共紙原表紙 楮紙／墨付五〇二丁、付箋貼付多数／032

0225 「来多年三月十三日謙信公二百五拾年御忌御法要就御執行諸事取量之次第」(文政九年一月二三日〜五月三日)／一冊(八三丁)／文政九年三月／二八・〇×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付八三丁／032

0226 「謙信様二百五拾年御忌御法要二付伺書并以付札申達留」(文政九年二月〜同一〇年三月一〇日)／一冊(三〇丁)／文政一〇年二月／二八・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付三〇丁／032

0227 「謙信様二百五拾年御遠忌御法要二付御家中江触書并達書面御用状之留」／一冊(三六丁)／文政一〇年二月／二七・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付三六丁／032

0228-01 「俊徳院様御逝去別冊一」(上杉斉定死去につき埋葬までの行事次第及び御触書案文等)／一冊(二二七丁)／天保一〇年二月／二七・二×一八・三／豎帳袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付二二三丁、挟込資料一点／033

0228-02 「俊徳院様御逝去別冊二」(上杉斉定葬送に係る役付及び葬送行列、位牌入堂等)／一冊(三二七丁)／天保一〇年二月／二七・一×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付三二七丁／033

0228-03 「俊徳院様御逝去別冊三」(斉定の初七日、百箇日法要及び贈官行事、靈屋普請等)／一冊(二五八丁)／天保一〇年二月／二七・二×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／墨付二五五丁／033

0228-04 「俊徳院様御逝去別冊江戸量」(江戸における天保一〇年二月一日、五月二七日の斉定の葬儀日程)／一冊(四七八丁)／天保一〇年二月／二七・〇×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／墨付四七三丁／033

0229 「御家 市谷 末姫君様 御一門様 御諸家御法事御葬送共」(天保一三年一月〜慶応二年二月、上杉家とその親族等の法事・葬儀の記録)／一冊(二五九丁)／

天保一三年一月／一五・三×三七・〇／横帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／綴じ直しの際に再配列を間違え一丁目が最後尾に置かれ、以降逆順に重ねられている／034

0230 御家扶岩田亀松宛 桐生鍋藏・吉江宮之助「憲徳院様御不幸費決算」(大正八年に没した上杉茂憲の葬儀経費の決算書類)／一冊(三七丁)／大正一〇年五月二五日／二三・二×一五・五／豎帳 紙繕綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／桐生鍋藏・吉江宮之助↓御家扶岩田亀松／ケ〇本／034

0232 「御法事式」(藩主や藩主親族の年忌法要の次第)／一冊(三六丁)／寛政一二年七月／三〇・三×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 灰地厚紙原表紙 楮紙／コ〇本・六四 林泉文庫／墨付三五丁、裏表紙見返しに昭和二年に購入した旨の伊佐早謙の書込みあり、表紙と本紙の間に「重定公御葬送書類」と書かれた紐付きの紙片挟み込み／034

0233 本庄善左衛門「高野御供二付而勅方覚書」(高野山へ上杉宗憲の遺骨納骨一件)／一冊(一六丁)／享保一一年／一五・五×四〇・三／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／本庄善左衛門／034

0825-09 達書(上杉鷹山死去につき三の丸御殿の床の間に花を飾るべく)／一通(一紙)／(文政五年)／一五・〇×三七・九／切紙 楮紙／一吉通：被仰渡可被下候／825-01-11紙繕一括／前後欠／123

上杉家—儀礼・儀式—御堂

0234 御堂番掟書 写(慶長一七年閏一〇月二日に出された御堂の番や出入りに関する規定)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／三八・五×一〇二・三／継紙楮紙／一 御堂番出入：被仰出者也仍如件／ケ〇本・二二三／柱題「掟」、紙の大きさ、紙や字の様相から江戸後期に作られた掲示用写しと思われる／034

0235 大乘寺他二寺「御堂年中御行事」(御堂内で行われる年中行事、謙信以下歴代当主の忌日法要の日取りや内容他)／一冊(八七丁)／嘉永五年／二七・〇×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄茶地後補表紙 楮紙／大乘寺他二寺／甲第六八号古文書図書□経巻佛像佛□御堂年中行事□倉庫階下□□段第一号書箱 御記録所／034

0236 御堂階段見取図／一鋪(一紙)／(弘化四年八月)／二七・九×三九・九／豎紙 斐紙／0236-0240封紙一括、0236-238封紙一括／封紙に墨書「謙信公祠堂秘図」林泉文庫 此図他二無シ貴重スヘシ」、押印「林泉文庫」あり、023

6、0238を包んだ封紙墨書「弘化四年八月 作事屋頭ヨリ差出候御堂図面三枚 外二存寄書一通 毛利」/034

0237 御堂御本檀入口正面図及び階段断面図/一鋪(一紙)/ (弘化四年八月) /二七・九×三九・九/豎紙 斐紙/0236、0240封紙一括、0236、0238封紙一括/034

0238 御堂平面図/一鋪(一紙)/ (弘化四年八月) /三九・七×二七・九/豎紙 斐紙/0236、0240封紙一括、0236、0238封紙一括/034

0239 心得書(災害時等の御堂の雁木等の解体手順)/一通(三紙)/ (弘化四年八月) /一五・一×一〇・七/切継紙 斐紙/一 上二段の扉木:扉開ク也/0236、0240封紙一括/柱題「急変の心得」/034

0240 鈴木五郎兵衛筆「明暦元年御堂近火手配之図」写(明暦元年一〇月に出された御堂付近で火災等が生じた際の防火体制他)/一鋪(二紙)/江戸後期(年月日未詳)/三八・四×四六・五/継紙 楮紙/鈴木五郎兵衛/0236、0240封紙一括/034

0241 御堂御茶之間御状(ママ)目 写(慶長一七年、正徳元年に出された御堂及び寺院神社関係)/一冊(七〇丁)/正徳元年以降/二三・四×一六・六/豎帳 袋綴 冊子装 縹地原表紙 楮紙/034

0242 命名書案(誕生した子供は「八重丸」とす、0242-01、02の表紙に転用)/一通/天明八年三月三〇日/三三・二×四七・〇/折紙 楮紙/花押/天明八年三月:所望注付贈筆/0242-01、02貼継/裏面に「古証文 寛永十年御堂御番之事 寛文三年武家諸法度」と記載/034

0242-01 吉祥院御堂御番条目(御堂衆と能化衆の編成と勤行詳細)/一通(四紙)/寛永一〇年四月一五日/三四・五×一七八・六/継紙 楮紙/吉祥院/一番 御本檀 宗□様:八ツ時替り申候/0242-01、02貼継/034

0242-02 「武家諸法度」写/一通(六紙)/寛文三年五月二三日/三三・〇×二五・三/継紙 楮紙/一 文武弓馬之道:堅可相守之者也/0242-01、02貼継/034

0243 香坂外記宛 一一ヶ寺答書(上杉家の先祖祭祀に関して藩から七箇条質問につき)/一通(一四紙)/江戸中期(年未詳)正月二八日/一六・〇×五四三・二/切継紙 楮紙/拾壹ヶ寺↓香坂外記殿/先達而御尋ニ付:御取成奉頼存候以上/柱題「覚」、包紙ウワ書「正月廿八日相尋候答書 再往之答書 拾壹ヶ寺」、文中に「東照宮

百年御忌」の文言があり、享保年間と推定/034

0420 「御幕之覚」(貞享元年二月・元禄一三年三月・寛永元年五月の三度幕を立てた際の経緯や御堂での儀式)/一冊(六一丁)/江戸中期(年月日未詳)/一一・九×一七・一/横帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/才本 林泉文庫/049

上杉家—文芸・遊興—目録

0396 「官庫御書籍目録」写(原本は元禄一二年六月に矢尾板三印が作成した「御書籍目録帳」、本書は御右筆所用の控え)/一冊(二九丁)/宝暦七年六月/三〇・九×二〇・七/豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/ク〇本 林泉文庫/「ク〇本」の下に別ラベルあり/048

0397 御右筆所「御書籍目録」(角御蔵に収蔵の書籍につき、明和七年七月二四日の目録、安永八年七月五日までに加除分の内訳)/一冊(一三丁)/江戸中期(年月日未詳)/三二・六×二一・八/豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/御右筆所/オ〇本 林泉文庫/表紙裏破損/寛政三年、同四年の年月日が記された付箋複数あり/048

0398 「麻布米沢両庫書目」(米沢藩蔵書目録「御蔵書目録」と江戸麻布屋敷の蔵書目録「麻布御蔵書目録」)/一冊(四九丁)/近代(年月日未詳)/二三・〇×一五・一/豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙/ア〇本 林泉文庫/墨付四六丁、表紙に貼紙「書目 一 写本」あり、「麻布御蔵書目録」は弘化二年書写の「麻谷蔵書」を平林家所蔵の享保五年三月「御書御掛物帳御改帳」、弘化三年書写の「御掛物帳」で補う/048

0399-01 御右筆所「麻布御蔵御書籍目録」(江戸麻布屋敷にあった蔵書目録)/一冊(五四丁)/江戸中期(年月日未詳)/三一・七×二〇・五/豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙/米沢御右筆所/ア〇本 林泉文庫/「ア〇本」ラベルのしたに別ラベルあり/048

0399-02 「麻布御蔵本現在目録」(「麻布御蔵御書籍目録」以降に作成された麻布蔵書目録)/一冊(五丁)/江戸後期(年月日未詳)/一一・〇×三三・二/横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙/0399-01に綴込/048

0409 「証文有御道具之御帳」(上杉家が主に拝領または贈られた、折紙つきの刀・脇差類の目録)/一冊(九丁)/貞享五年三月三日/一六・八×二三・七/横半帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/赤ラベル表記無/柱題「折紙御道具之覚」/049

0410 「天明元年六月改 御能装束并御道具帳」(能装束・能道具類・能道具帳の目録)／一冊(一一二丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・七×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／図書第四二号／一部裏打あり／墨付一〇七丁、付箋あり、本文中の記載より天明三年五月以降の作成、後筆の可能性がある「天明三年一〇月中」天明四年閏正月中の書き込み多数／049

0411 「天明元年六月改 狂言方御装束品々留帳」(狂言方で使用する装束・道具類の目録)／一冊(四五丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・八×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／一部裏打あり／墨付四四丁、付箋あり本文中の記載より天明二年八月以降の作成／049

0412 「天明元年六月改 御能造物方帳」(能で使用する造物およびその収納箱類の目録)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・五×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／裏打あり／付箋あり／049

0413 「天明元年六月改 御借長上下・半上下・熨斗目・短刀留帳」(貸出し用の袴、熨斗目、短刀類の目録)／一冊(三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・八×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／裏打あり／墨付一九丁、付箋あり／049

0414 「天明元年六月改 三之印御品々留帳」(三之印の装束類、道具類の目録)／一冊(一四丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・八×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／裏打あり／照合のための付箋と朱筆の書き込みあり、上杉勝延の遺品引継ぎ関連カ／049

0415 「天明元年六月改 三之印御品々留帳」(三之印の装束類、道具類の目録)／一冊(一五丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・八×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／裏打あり／0414の副本か／049

上杉家—文芸・遊興—漢詩

0407-01 「餐霞館遺稿」(上杉鷹山の漢詩文を集めた遺稿集、細井平洲の送別の席上で詠んだ詩他)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／サ本／餐霞館は米沢城三の丸にあった上杉鷹山の隠居所／049

0407-02 「餐霞館遺稿」(上杉鷹山の漢詩文を集めた遺稿集)／一冊(三一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／049

0407-03 「餐霞館遺稿」(上杉鷹山の漢詩文を集めた遺稿集)／一冊(八一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・四×二〇・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／049

0407-04 「餐霞館遺稿」(上杉鷹山の漢詩文を集めた遺稿集、0407-03・02・01の順にまとめた)／一冊(一一〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・九×一八・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／0407-01、03を合わせたもの、野紙を使用／049

0406-01 上杉顕孝「章好館詩稿 初」(漢詩集、章好館は白銀邸時代の雅号、五言絶句九三首、七言絶句三三首)／一冊(二〇丁)／安永七年九月一〇日／二六・三×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地角切亀甲繋ぎ文後補表紙 楮紙／藤原氏撰／章好館蔵書／渋井太室の評と添削あり／048

0406-02 上杉顕孝「章好館詩稿 一」(漢詩集、五言律詩三首、五言絶句八七首、七言律詩一首、七言絶句三三首)／一冊(二四丁)／安永八年二月八日／二六・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地花文二重亀甲繋ぎ文後補表紙 楮紙／藤原氏著／章好館蔵書／048

0406-03 上杉顕孝「章好館詩稿 二」(漢詩集、五言古詩四首、五言絶句八五首、七言律詩二首、七言絶句四九首他)／一冊(二九丁)／安永九年一月一五日／二七・七×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地草花散し文後補表紙 楮紙／藤原氏著／章好館蔵書／048

0406-04 上杉顕孝「章好館詩稿 三」(漢詩集、五言古詩四種、五言絶句一八首、七言絶句三六首他)／一冊(一五丁)／安永一〇年一月一三日／二七・九×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 白茶地氷割れに草花文後補表紙 楮紙／藤原氏著／章好館蔵書／048

0406-05 上杉顕孝「章好館詩稿 四」(漢詩集、五言古詩一首、五言律詩六首、五言絶句一六首、七言絶句五四首)／一冊(二九丁)／天明二年一月／二六・五×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地草花散し文後補表紙 楮紙／藤原氏著／章好館蔵書／048

0406-06 上杉顕孝「章好館詩稿 五」(漢詩集、五言絶句四首、七言絶句四五首)／一冊(一四丁)／天明四年／二七・七×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地草花散し文後補表紙 楮紙／藤原氏著／章好館蔵書／048

0406-07 上杉顕孝「章好館詩稿 六」(漢詩集、天明五年まで章好館詩稿、天明七年から寛政四年まで徠章閣詩稿)／一冊(四二丁)／寛政四年九月／二七・四×一

九・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地草花散し文後補表紙 楮紙／藤原氏著／章好館蔵書
／048

0408 書「鶴」／一枚（一紙）／江戸後期（年月日未詳）／四四・〇×五七・四／
豎紙 楮紙／端書「御じやく年にて御屋かた様御筆」／裏打あり／部分的な補修あり、
上杉家文書に上杉宗房の書あり／049

上杉家—文芸・遊興—和歌

0400-01 豊姫筆和歌短冊（仙人のおる柄にほふ菊のつゆうちほらふにも千代
は経ぬへし）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三六・四×五・四／短冊
楮紙／0400-01-03 包紙一括／箱蓋裏墨書「蔡香院様御筆御短冊七枚外二枚
一箱入 幸姫様御成長之上被進苦 甘粕数右衛門、森此面、01-03の包紙墨書」蔡
香院様御筆御たんざく 三枚、豊姫は重定正室、尾張徳川家出身／048

0400-02 豊姫筆和歌短冊（聞やいかにはの空なる風たにもまつにおとする
ならひありとハ）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三七・三×六・〇／短
冊 楮紙／0400-01-03 包紙一括／048

0400-03 豊姫筆和歌短冊（木の間も影ともいはし夜半の月かすむもおなし
心つくしを）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三七・三×六・〇／短冊
楮紙／0400-01-03 包紙一括／048

0400-04 豊姫筆和歌短冊（河竹の葉こしの色にまかふかなたまのすたれにか
くるあふひハ）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三七・四×六・一／短冊
楮紙／0400-04-08 包紙一括／048の包紙墨書「御筆 御たんざく 蔡
香院様御筆可有之歟 五枚」／048

0400-05 豊姫筆和歌短冊（枝かはすきしの山吹花ちりてこかねの寄に波そこ
えける）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三七・四×六・〇／短冊 楮紙
／0400-04-08 包紙一括／048

0400-06 豊姫筆和歌短冊（嵐吹みねほつれなき白雲のたつかとミれは松の雪
折）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三七・四×六・〇／短冊 楮紙／0
400-04-08 包紙一括／048

0400-07 豊姫筆和歌短冊（幾とせもかはらぬ色を春ハ猶みとりそふかき峯の
松原）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三六・五×六・一／短冊 楮紙／

0400-04-08 包紙一括／048

0400-08 豊姫筆和歌短冊（色かへぬまつのみとりも影そへてちよもすむへき
宿の池水）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三四・八×六・〇／短冊 楮
紙／0400-04-08 包紙一括／048

0400-09 豊姫筆和歌短冊（待ちわひる心にまけよほとときすしのふならひの
初春なりとも）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）四月七日／一九・三×三・九／
短冊 楮紙／包紙あり、包紙墨書「辰ノ年 卯月七日 一枚」／048

0401-01 豊姫筆散文（月はあり明にてひかりおさまれる物のから影さわやか
に見えて中へおかしき曙なり）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三九・五
×五二・〇／豎紙 楮紙／0401-01-02 包紙一括／包紙墨書「蔡香院様御筆
式枚」／048

0401-02 豊姫和歌短冊（御けることに菊花、色々饋下され所から、まいらせ
候や御心さし）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／四〇・〇×五〇・七／
豎紙 楮紙／0401-01-02 包紙一括／048

0403-01 豊姫筆和歌色紙（君が代は雲井はるかに高砂のまつもむかしの友つ
れの声）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／一八・五×一七・三／色紙 斐紙
／0403-01-03 包紙／木箱入り／048

0403-02 豊姫筆和歌色紙（芳野山ゆへたつ岸のしら雲他ねて見ゆる山さくら
哉）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／一八・五×一七・三／色紙 斐紙／
0403-01-03 包紙／木箱入り、包紙墨書「蔡香院様御筆 御色紙 三枚」、木
箱入り、箱蓋裏墨書「蔡香院様御筆御色紙三枚 幸姫様御成長之上被進苦 但老女奉文
有 甘粕数右衛門、森此面」／048

0403-03 豊姫筆和歌色紙（佐保姫のみとりの糸ほおりにかけて波のあやたつ崖
の青柳）／一枚（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／一八・五×一七・三／色紙 斐
紙／0403-01-03 包紙／木箱入り／048

上杉家—文芸・遊興—遊興

0078 能番組（二日間にわたる能の役名・演者）／一通（五紙）／江戸後期（年月
日未詳）／三三・〇×二四二・六／継紙 楮紙／翁三番三千歳：丸山平左衛門／端裏
書「御初入部御規式御能」／柱題「初日 御能組」／026

0424-01 「丹泉斧泉御入浴日記」(文化一四年、文政五年、上杉治広の赤湯温泉、小野川温泉への入湯記録)／一冊(二八丁)／(文政五年)／二四・〇×一六・五／
縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／墨付二三五丁、0424は、現代の補修で二分冊となっている／050

0424-02 丹泉斧泉御入浴日記(文化一四年、文政五年、上杉治広の赤湯温泉、小野川温泉への入湯記録)／一冊(二〇丁)／(文政五年)／二四・〇×一六・五／
縦帳 袋綴冊子装 コピー用紙後補表紙 楮紙／50

0425 「天保五年九月 若殿様赤湯御行列」(上杉齊憲の訪問時)／一冊(六丁)／
天保五年九月／三二・八×一二・三／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／050

0426 山吉盛真筆「北條郷御狩記」写(明暦三年に北條郷で行われた狩の記録を、
嘉永年間に書写)／一冊(三二丁)／嘉永三年八月八如／二三・四×一六・〇／
縦帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／山吉盛真／図書第一〇号 御記録所／050

上杉家—文芸・遊興—馬術伝書

1564-01 「起請文前書」(相伝に際しての遵守事項三ヶ条と起請文)／一卷(一紙)／
嘉永五年三月吉日／三一・七×五三・〇／
縦紙 黒裂地花模様原表紙 雁皮カ
一徒鞍流御相伝之大事：蒙神罰冥罰者也依如件／1564、1566木箱一括／1564は徒鞍流馬書、箱ラベルあり「乙第二号 古文書図書籍経巻佛像仏器 徒鞍流馬術書三冊五帖 南倉庫階下 第七長棹」、木箱蓋表書き「飛田喜左衛門乗長ヨリ齊憲公江献上徒鞍流馬書」、紙背に「乗長」の署名と花押、押印あり、柱題「起請文前書之事」、木箱収納の文書の目録を記した切紙あり／223

1564-02 飛田乗長「徒鞍流目録 初」(伝授項目計一七ヶ条を列挙)／一卷(二紙)／
嘉永五年三月吉日／一七・三×九四・三／
切継紙 茶裂地金箔散原表紙 雁皮カ
／飛田喜左衛門乗長(花押)(朱印)／一前渡之事：以上十五ヶ条／1564、1566木箱一括、1564-02、04風呂敷一括／柱題「徒鞍流乗方目録」、本紙に「徒鞍流」の朱印、紙背に割印あり／223

1564-03 飛田乗長「積之書」(乗馬に際しての目録他)／一卷(三紙)／
嘉永五年三月吉日／一七・五×八九・五／
切継紙 茶裂地金箔散原表紙 雁皮カ／
飛田喜左衛門乗長(花押)(朱印)／一乗馬ニ寄時：不可有放意者也／1564、1566木箱一括、1564-02、04風呂敷一括／柱題「積之書」、本紙に「徒鞍流」の朱印、紙背に割印あり／223

1564-04 飛田乗長「一疋之書」(貴人の前にて乗様他二六ヶ条)／一卷(四紙)／
嘉永五年三月吉日／一七・五×一七八・一／
切継紙 茶裂地金箔散原表紙 雁皮カ
／飛田喜左衛門乗長(花押)(朱印)／一貴人の前にて：以上十五ヶ条／1564、1566木箱一括、1564-02、04風呂敷一括／柱題「一疋之書」、本紙に「徒鞍流」の朱印、紙背に割印あり／223

1564-05 飛田乗長「徒鞍流目録 免」(伝授項目計一七ヶ条を列挙)／一卷(二紙)／
嘉永五年三月吉日／一七・五×一〇三・一／
切継紙 茶裂地金箔散原表紙 雁皮カ
／飛田喜左衛門乗長(花押)(朱印)／一先寄て三かい政事：以上式拾七ヶ条／1564、1566木箱一括、1564-02、04風呂敷一括／柱題「徒鞍流乗方目録」、本紙に「徒鞍流」の朱印、紙背に割印あり／223

1565-01 飛田乗長「徒鞍流目録抄 全」(前渡りの事等二七ヶ条の解説)／一冊(一六丁)／
嘉永五年三月吉日／二一・三×一六・一／
縦帳 袋綴冊子装 黒裂地花模様原表紙 雁皮カ／
飛田喜左衛門乗長(花押)(朱印)／1564、1566木箱一括／本紙に「徒鞍流」の朱印あり／無

1565-02 飛田乗長「徒鞍流鏡書 全」(責馬、曲馬等の心得他)／一冊(四二丁)／
嘉永五年三月吉日／二一・三×一六・二／
縦帳 袋綴冊子装 黒裂地花模様原表紙 雁皮カ／
飛田喜左衛門乗長(花押)(朱印)／1564、1566木箱一括／本紙に「徒鞍流」の朱印あり／無

1566 飛田乗長「乗方合巻聞書」(前渡りの事等の主に口伝に関する解説)／一帖(四二紙)／
嘉永五年三月吉日／一九・〇×一〇・五／
折帖 茶裂地唐花繫模様原表紙 雁皮カ／
飛田喜左衛門乗長(花押)(朱印)／1564、1566木箱一括／本紙に「徒鞍流」の朱印、紙背に割印あり／無

上杉家—当主・家族

0178 上杉鷹山「夏濃夕」写(財政逼迫、家中困窮につき諸役人評議し、毎月会席し前月の入方お調べ他、原本は天明八年五月の執政中への意見書)／一冊(八丁)／
江戸中期(年月日未詳)／三〇・〇×二〇・〇／
縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／031

0263 「綱勝公御道中日記」(三月五日、一五日、江戸への道中日記)／一冊(二丁)／
明暦二年カ)三月五日／二〇・一×一五・四／
縦帳 袋綴冊子装 縹地正繫ぎ原表紙 楮紙／
ツ〇本 伊佐早兼古書之宝／墨付一〇丁、綱憲が参勤のため三月五日に米沢を発ったのは明暦二年のみ、「上杉家御年譜」によると三月一二日に江戸着、但

しこの記録では三月二日は大田原を発ち氏家に宿泊／036

0392 上杉勝応宛 上杉勝道書状(新年の挨拶状に対する返信、一族が揃って新年を迎えたことを寿ぐ)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)一月一日／三四・八×四九・一／折紙 楮紙／上杉駿河守勝道(花押) ↓上杉主水様 尊願／為年頭の御祝：如此御座候恐惶謹言／封紙あり、ウハ書「上杉主水様貴答 上杉駿河守」／047

0565-01 「御上路日帳」写(天正一四年上杉景勝上洛時の供揃、日記)／一冊(二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二〇・五×一四・八／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／コ〇本／0565-01-04合綴／085

0565-02 留帳写(元文四年、安永九年、米沢領内寺院全般の記録抄)／一冊(四〇丁)／近代(年月日未詳)／二五・〇×一六・四／縦帳 紙綴綴冊子装 表紙無し 楮紙／0565-01-04合綴／宝暦五年部分に系図断簡一通挟込／085

0565-03 触書写(百姓・町人の生活全般にわたる規範・法令全五〇ヶ条)／一冊(二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・七×一七・〇／縦帳 紙綴綴冊子装 黒地原表紙 楮紙／羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／0565-01-04合綴／裏表紙見返しに「上永居庄李山郷之中 遠藤文七氏」とあり／085

0565-04 明永筆「定納仕立略法手控 全」写(年貢と諸貢租の算定法詳細、末尾に民間風俗に関する俗謡あり)／一冊(一五丁)／嘉永七年二月一日／二四・二×一六・八／縦帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／出置上永城南角郷住 明永(花押)／羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／0565-01-04合綴／085

0586 「御内帳」(寛文三年九月一日、二月二九日の日記、藩主関連の贈答や動向)／一冊(二九四丁)／寛文三年九月一日／三二・七×二二・〇／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／コ〇本 林泉文庫／一丁目「寛文三年九月ヨリ二月二至ル日記ナリ、御條書御渡シノ事アリ」との近年の解説紙の挟込あり／088

1056 「天正十四年御上洛日帳」(上杉景勝の上洛記録、天正一四年五月二〇日、七月六日)／一冊(二二丁)／江戸中期カ(年月日未詳)／二五・五×一八・七／縦帳 列帖装 朱地鱗文原表紙 斐紙／貴テ〇本 伊佐早兼古書之宝 □蔵書／表紙に墨書「九番之内巻冊」の貼紙あり、墨書「寛延二年□二百六十四年二」付箋が裏表紙見返しにあり／166

1669 「集記」(国家論、武士としての心構え)／一冊(二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 黒地唐花唐草原表紙 楮紙／第参号 違矢丸桔梗／題箋に「兜山公御筆」とあり、上杉茂憲の筆カ／232

1740 「対問 全」写(津山藩主松平康哉からの治世や道徳に関する問に対する上杉鷹山の回答三ヶ条、原本は安永五年頃)／一冊(二二丁)／天保二年六月中／二四・二×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 墨流し後補表紙 楮紙／安田蔵書／『三十輯 第二(国書刊行会本)』に翻刻あり、同書では鷹山から水戸公に贈ったものとする／無

0741 「対問」写(治世や道徳に関する問に対する回答三ヶ条)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一九・四／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／タ〇本 伊佐早兼古書之宝／1741と同文、冒頭に「俊徳公御乗」とある朱書紙片を挟み込み、原本の作者は藤氏とあり／117

上杉家一側方

0532 「御小納戸由緒」(越後以来享保一〇年までの御小納戸の任免及び勤方先例他)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／オ〇本 御記録所／078

0548 「仕官心記」(御小納戸勤の先例、心得詳細)／一冊(三一丁)／文政一〇年頃／一五・〇×九・五／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／作者は佐藤太郎兵衛吉達と推定／085

0592-06-01 日帳(明和七年元旦、六月晦日、米沢城本丸奥付か、御子様付関連の日記)／一冊(一三三丁)／明和七年元旦／二四・二×一六・九／縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／平成四年七月六日補修の際、二冊に分冊(0592-06-02)したと記載あり／089-091

0592-06-02 日帳(明和七年閏六月一日、二月晦日、米沢城本丸奥付か、御子様付関連の日記)／一冊(一二二丁)／明和七年元旦／二四・三×一七・〇／縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／平成四年七月六日補修、0592-06-01と一括／089-091

0592-11-0 齊定付小姓日帳(寛政一〇年九月三日、同一一年二月二九日、大河原善右衛門始め齊定付小姓の日記)／一冊(二八二丁)／寛政一〇年九月三日／二三・四×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／裏打あり／089-091

0592-11-1 奥御用人「日記」(天保三年元旦、二月二七日、奥御用人、新屋・広居・富永)／一冊(二三三丁)／天保三年元旦／二三・四×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 白茶後補表紙 楮紙／□用部屋／裏打あり／089-091

0604 須田義喬「須田家日記 写」(天明三年九月六日、一二月二十九日)／一冊(一〇四丁)／天明三年九月六日／二三・四×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／須田数馬義喬／二〇本・一六／裏打あり／須田は米沢新田藩主家老／093

米沢市文化財調査報告書

上杉文書調査報告書

― 第一分冊 文書編 一 ―

令和八年三月三十一日 発行

発行 米沢市教育委員会

〒九九二-〇〇二二

山形県米沢市金池三丁目一番一四号

電話 (〇三三八) 二二一五二一一

印刷 株式会社 川島印刷

山形県米沢市大字花沢三二一―二

